

県民意識調査

第一章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、男女共同参画等に関する県民の意識や考え方、企業の実態やニーズなどを幅広く把握し、令和7年度に改定する「山形県男女共同参画計画」、「山形県DV被害者支援基本計画」及び「山形県困難な問題を抱える女性への支援にかかる基本計画」並びに今後の県施策の企画・立案などにおける基礎資料を得ることを目的としている。

併せて、本調査を通じて、県民の男女共同参画に関する意識の醸成を図っていく。

2. 調査項目

- (1) 男女共同参画について
- (2) 女性の活躍について
- (3) ワーク・ライフ・バランスについて
- (4) 就業環境について
- (5) 家庭生活について
- (6) 困難な問題を抱える女性への支援について
- (7) 配偶者・パートナーからの暴力について
- (8) LGBTQなど多様な性のあり方について
- (9) 地域活動など社会参加について
- (10) 防災・復興について
- (11) 政策・方針決定過程への女性の参画について
- (12) 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

3. 調査設計

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 調査地域 | 山形県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内在住の満18歳以上の男女個人 |
| (3) 調査時期 | 令和6年8月～9月 |
| (4) 調査方法 | 郵送及びウェブアンケートによる調査 |
| (5) 抽出方法 | 層化二段階無作為抽出法 |
| (6) 対象人数 | 郵送：2,000人 |

4. 回収結果

有効回収数（率） 郵送：464件 ウェブ：223件 合計：687件（34.4%）

5. 調査結果の集計表示法

- (1) 地域別に統計的信頼度が確保される標本数となるよう、次の通りの標本数と抽出ウエイト、集計ウエイトとしている。

地域	抽出ウエイト	標本数	有効回収数	集計ウエイト	規正標本数
村山地域	1 / 2	925	316	2	632
最上地域	1	252	88	1	88
置賜地域	1 / 2	356	117	2	234
庄内地域	1 / 2	467	161	2	322
不明	—	—	5	1	5
計	—	2,000	687	—	1,281

- (2) 地域別の抽出率が異なるため、回収数に集計ウエイトを加重し規正した。調査結果はこの規正標本数を100.0%として算出した。ただし、端数処理の関係で各項目の合計が必ずしも100.0%とならないことがある。

6. 標本抽出法

- 母集団 : 山形県内に居住する満18歳以上の男女個人
- 標本数 : 2,000人
- 地点数 : 130地点
- 抽出法 : 層化二段階無作為抽出法

【層化】

山形県内を4地域に区分し、それぞれの都市規模により9層に層化した。

地域	層	市町村
村山地域	山形市	山形市
	その他の市	寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市
	町村部	山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上地域	市部	新庄市
	町村部	金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜地域	市部	米沢市、長井市、南陽市
	町村部	高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内地域	市部	鶴岡市、酒田市
	町村部	三川町、庄内町、遊佐町

※ 本調査については、令和2年国勢調査のデータを利用している。

【調査地点数及び標本数の配分】

- (1) 令和2年国勢調査の調査区を第一次抽出単位として使用し、地域・市町村部各層に対して、130の調査地点を配分した。
- (2) 調査地点の抽出は、調査地点が2点以上割り当てられた層については、「抽出間隔」(層における調査区数の合計÷層で算出された調査地点数)を算出し、乱数表にてスタート地点を決定し、等間隔抽出法により抽出した。市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時における「市区町村コード一覧」に従った。
- (3) 各調査地点の標本数を14~16程度と設定した。
 あらかじめ各層に割り当てられた地点数×15で、地点ごとの抽出数を算出した。地点ごとの合計抽出数が、与えられた抽出数と差がある場合は、各市町村の人口に応じて比例配分をし、標本数を決定した。
 ※ただし、最上地域は他地域の2倍の地点数を割り当て、ウエイトをかけた。
- (4) 調査時点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内(町・丁目・番地・字などを指定)で、選挙人名簿から等間隔抽出法によって抽出した。なお、抽出に際して、名簿のスタート地点は乱数表を用い、抽出間隔は「対象地点の名簿総数÷抽出数」にて決定した。

各地域・市部町村部別の母集団数及び標本数・調査地点数は次のとおり。

	山形市	その他の市部	町村部	計
村山地域	206,469	183,655	58,771	448,895
	426(27)	378(24)	121(8)	925(59)
最上地域		29,306	31,885	61,191
		121(8)	131(9)	252(17)
置賜地域		118,013	54,811	172,824
		243(16)	113(8)	356(24)
庄内地域		191,056	35,332	226,388
		394(25)	73(5)	467(30)
計	206,469	522,030	180,799	909,298
	426(27)	1,136(73)	438(30)	2,000(130)

※ 上段：令和2年10月1日現在の母集団数
 下段：標本数、()内は地点数

7. この報告書の見方

- (1) 調査結果の構成比はすべて百分比 (%) で表しており、その質問の回答者総数を基数として、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 集計表は全体が回答者数、質問項目は回答率 (%) で示している。
- (3) 複数回答形式の場合、構成比の合計は通常 100.0%を超える。
- (4) グラフ中の「N」とは、その質問への回答者数を表す。
- (5) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答数の合計と単純集計（全体）の回答数が合致しないことがある。
- (6) クロス集計など各層別の分析において、回答総数が僅少（10 未満）なものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として傾向をみるにとどめている。
- (7) 本文中の二重括弧『・・』は2つの選択肢を総合したことを表している。
また、選択肢などの語句を一部簡略化して表す場合にも用いている。
- (8) 性別について、「その他」という回答がなかったため、集計表及びグラフでは掲載を省略している。
- (9) 前回調査（「R1 年度意識調査」、「H26 年度意識調査」、「H21 年度意識調査」、「H18 年度意識調査」、「H11 年度意識調査」）とは調査設計に以下の違いがある。

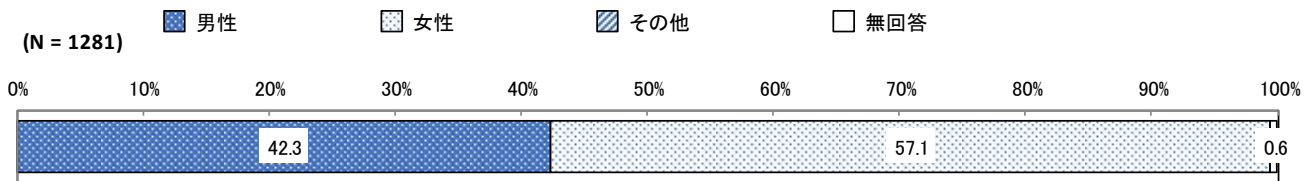
	今 回	R1 年度意識調査
調 査 名	令和6年度男女共同参画等に関する県民意識調査	令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び女性活躍に関する県民意識調査
実施期間	令和6年8月	令和元年8月～9月
調査対象	満18歳以上の男女2,000名	満18歳以上の男女2,000名
回 収 数 (正規標本数)	郵 送：464名 (1,281) ウェブ：223名	郵 送：821名 (1,534) ウェブ：17名
調査方法	郵送及びウェブによるアンケート調査	郵送及びウェブによるアンケート調査
設 問 数	48 問	34 問

	H26 年度意識調査	H21 年度意識調査
調 査 名	平成26年度ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画県民意識調査	平成21年度新男女共同参画計画意識調査
実施期間	平成26年8月～9月	平成21年7月～9月
調査対象	満20歳以上の男女2,000名	満20歳以上の男女1,300名
回 収 数 (正規標本数)	郵 送：900名 (1,659) ウェブ：106名	727名 (1,339)
調査方法	郵送及びウェブによるアンケート調査	調査員の個別面接によるアンケート調査
設 問 数	33 問	30 問

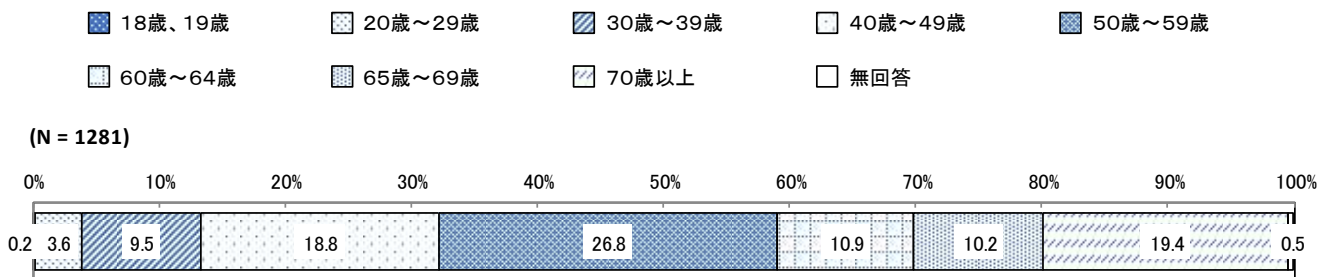
	H18 年度意識調査	H11 年度意識調査
調 査 名	平成18年度新世紀やまがた課題調査	平成11年度県民の意識調査
実施期間	平成18年7月～8月	平成11年9月
調査対象	満20歳以上の男女1,300名	満20歳以上の男女2,000名
回 収 数 (正規標本数)	1,044名 (1,931)	1,067名 (2,005)
調査方法	調査員の個別面接によるアンケート調査	郵送によるアンケート調査
設 問 数	34 問中男女共同参画関連6問	23 問

第二章 回答者の属性

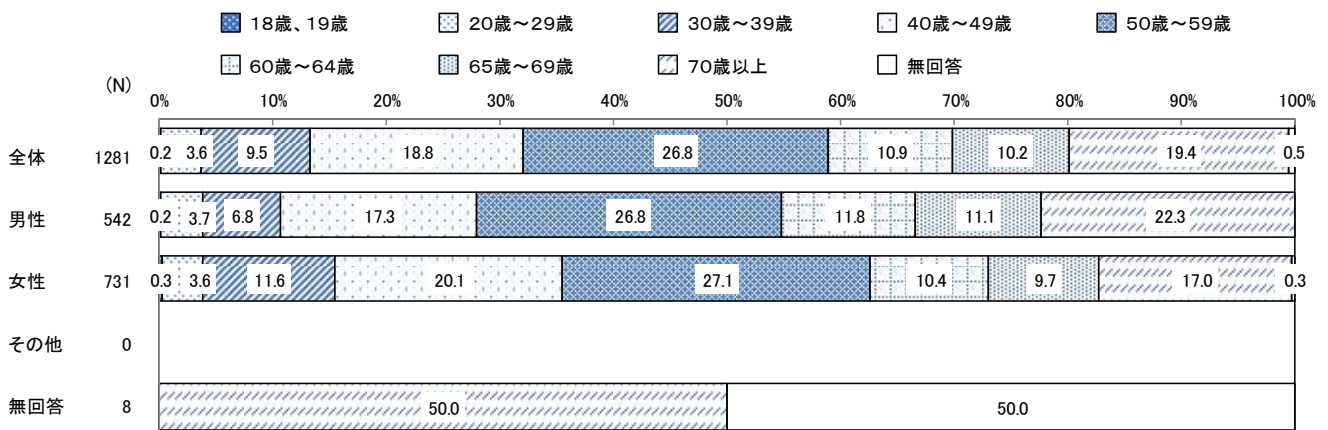
(1) 性別



(2) 年齢<令和6年8月1日現在>



<男女別>

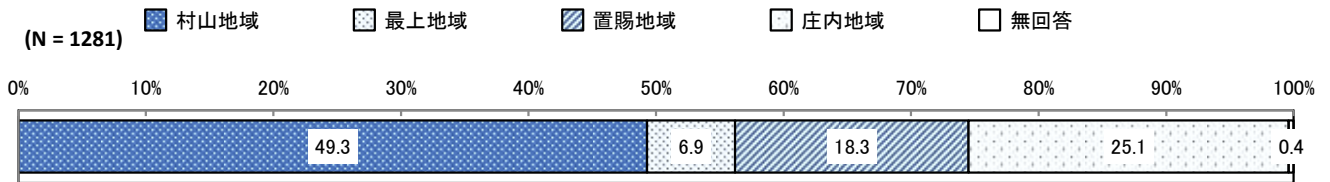


(3) 居住地

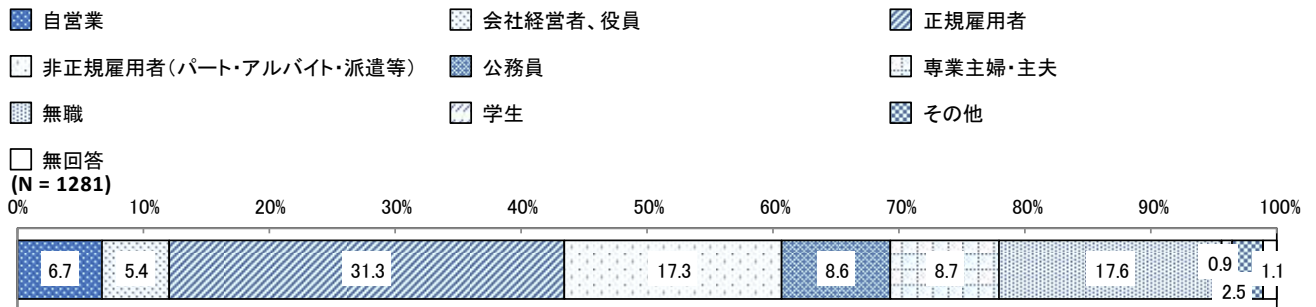
(%)

全 体	山形市	寒河江市	上市市	村山市	天童市	東根市	尾花沢市	山辺町	中山町
100	22.0	4.4	1.6	1.9	6.7	5.5	1.4	0.9	1.2
	河北町	西川町	朝日町	大江町	大石田町	新庄市	金山町	最上町	舟形町
	0.9	0.5	0.5	0.9	0.9	3.0	0.4	0.8	0.9
	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	米沢市	長井市	南陽市	高畠町	川西町
	0.5	0.5	0.4	0.5	6.4	2.8	3.1	2.5	1.2
	小国町	白鷹町	飯豊町	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	無回答
	0.6	1.4	0.2	12.6	8.4	0.6	2.5	0.9	0.4

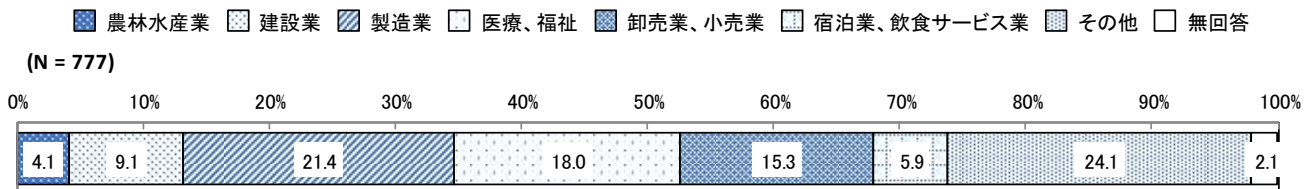
<地域別>



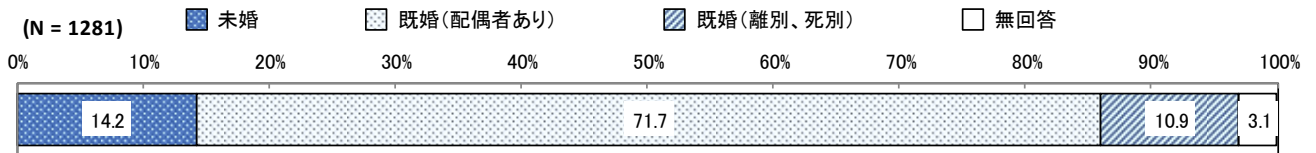
(4) 職業



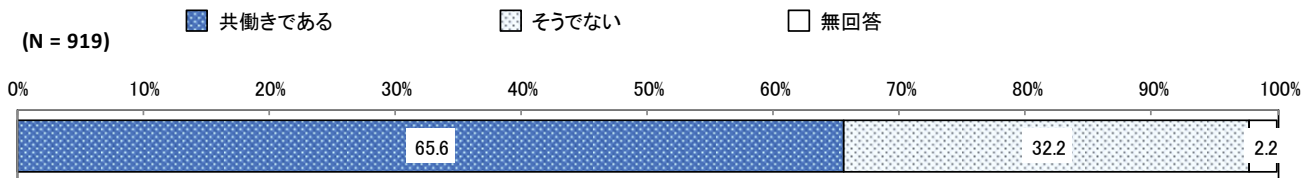
(4-1) 職業の分野



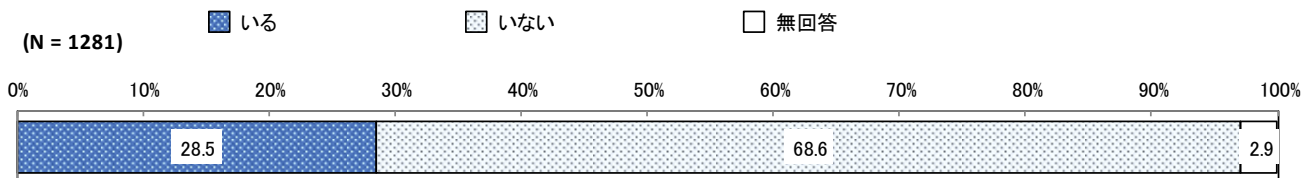
(5) 結婚の状況



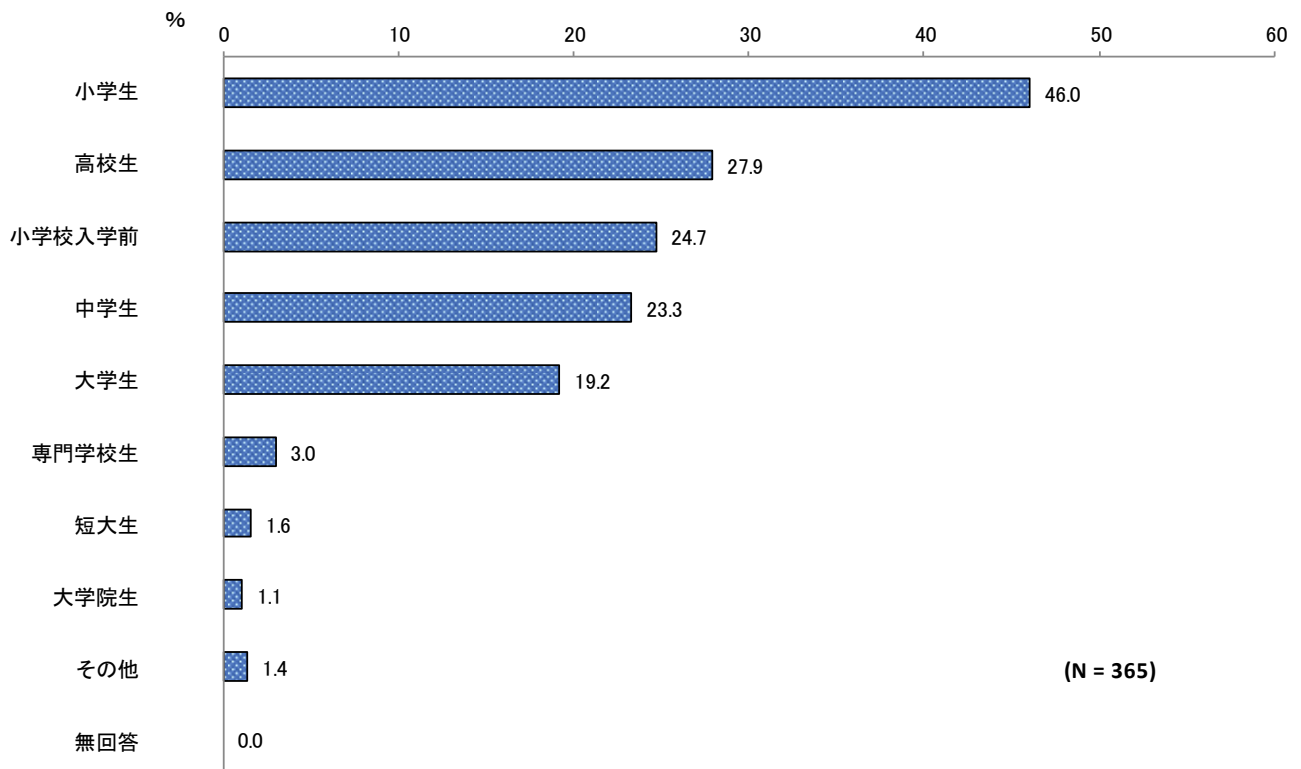
(5-1) 配偶者の就労



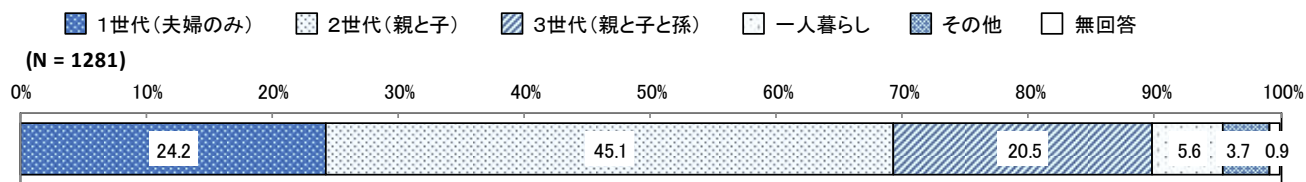
(6) 乳幼児または就学中の子の有無



(6-1) 子の就学段階



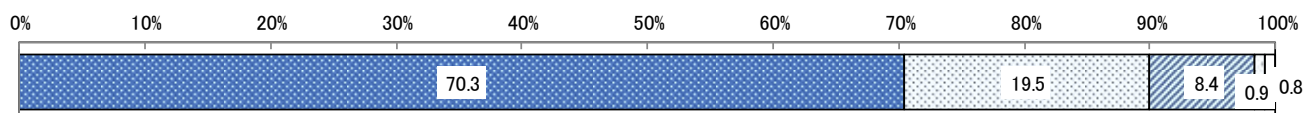
(7) 同居している家族の世代構成



(8) 山形県での居住の状況

- 生まれてからずっと山形県に住んでいる(進学などで一時的に県外へ転居した場合を含む)
 県外への就職などを経て、Uターンした
 県外から移住した
 その他(単身赴任や就学に伴い一時的に山形県に居住しているなど)
 無回答

(N = 1281)



第三章 調査結果のあらまし

1. 男女共同参画について

「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という性別による固定的な役割分担意識については、『反対』が5割を超え、『賛成』が3割を下回っており、固定的な役割分担意識は薄くなってきていることが推察される。

しかし、夫婦の役割分担については、「理想」は「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」が最も高いものの、「現状」は「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」が最も高くなっており、「理想」と「現状」で差が生じているのがうかがえる。

男女の各分野での平等意識については、「学校教育の場」と「PTA、保護者会」は『平等』と考えている人の割合が高いものの、その他の分野については、『男性優遇』と考えている人の割合が4割を超え、女性に不平等感がみられる。

2. 女性の活躍について

各分野への女性の意見・考え方の反映状況については、『反映されている』は、「職場」と「PTA、保護者会」が5割を超えて高くなっている。一方、『反映されていない』は、「政治」と「県や市町村の施策」と「防災・災害対応」が3割を超え高くなっている。男女別にみると、すべての分野において、『反映されている』と回答した人は男性の方が女性よりも多く、特に「町内会などの自治体」と「政治」で大きな差がみられた。

反映されていないと思う理由は、男女ともに「自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない」を挙げる人が多くなっている。

役職の要請があった場合の対応については、男性の方が女性よりも「引き受ける」割合が高くなっている。役職への要請を断る理由は、男女ともに「責任を果たせるだけの自信がないから」が最も高くなっている。

女性の社会参画の促進に必要な取組みについては、女性では「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する」、男性では「家庭・仕事・地域における固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）解消のための理解促進」の割合が高くなっている。

女性が働くことへの意識については、「育児・介護などに関わらず、働き続ける方が良い」が6割を超えて最も高く、次いで「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」が約2割となっている。

女性が働き続けるためには、男女ともに「柔軟な働き方の整備」が5割を超えて高く、次いで「育児休業・介護休業制度の充実」が約3割以上となっている。若年女性が県内に定着し、活躍するために必要な取組みは「県内企業の賃金向上や処遇改善」の割合が高い。

選択的夫婦別姓制度については、「希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい」が5割を超えて高く、夫婦で別々の名字（姓）を名乗ることを希望するかは「夫婦で別々の姓を希望する（自分の姓は変えたくない）」と、「夫婦で同じ姓を希望する（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい）」がほぼ同じ割合となっている。また、結婚によって名字（姓）を変えた場合に生じる不便、不都合については、「金融機関、運転免許証、パスポート、不動産登記などの氏名変更手続きに手間とお金がかかる」が7割を超えている。夫婦別姓が選べないために、事実婚を選ぶ人や、結婚すること自体をやめる人がいると思うかどうかは、「いると思う」が5割以上となっている。

3. ワーク・ライフ・バランスについて

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動」、「余暇（趣味や娯楽など）」の優先度は「理想」は『「仕事」と「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先』が最も高いが、「現実」は『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が高くなっており、ギャップが生じている。

1日あたりの平均所要時間については、女性は仕事や家事の時間が多く、男性は特に仕事に時間を費やしている。

ワーク・ライフ・バランスがとれるようになるために必要なことについては、『柔軟な働き方の整備』や『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』など、職場環境の改善が必要と答えた人の割合が高くなっている。

4. 就業環境について

勤めている会社などで利用したい（した）制度について、「介護休暇」、「介護休業」が7割を超えており、利用したい（しなかった）が、利用できない（できなかつた）理由は、「取得できないから」、「制度がないから」などの職場の制度面の理由が多い。

仕事を辞めた理由は全体では「定年に達したため」、性別では男性が「定年に達したため」、女性は「賃金、休日など労働条件が悪かったため」が最も高くなっている。

5. 家庭生活について

子育てに関する意識については、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのが良い」が『思う』が約3割、『思わない』が約5割と『思わない』が上回った。

家庭での役割分担については、「地域の行事への参加」、「町内会などの自治会活動」は「主として男性」が最も高く、「家事」、「子育て」、「介護」、「家計の管理」は「主として女性」が最も高くなっている。

子育てと介護を両方担う「ダブルケア」については、「現在行っている」という回答は1割に満たないが、「現在行っていないが、数年先に行う可能性がある」は3割を超えており最も高く、今後に向け、「ダブルケア」への支援が求められている。

6. 困難な問題を抱える女性への支援について

悩みや困難を抱えていることは、「健康に係る問題」が5割と最も高い。また、抱える悩みや困難への対応は全体では「家族や周囲の人などに相談している、協力してもらっている」が最も高く、性別では男性は「主に自分一人で何とかしようとしている」、女性は「家族や周囲の人などに相談している、協力してもらっている」が最も高い。自身が抱える困難を解決する環境や支援は、「利用できる支援制度の情報提供」が最も多い。

女性相談窓口の認知度は「知らない」が6割を超えており、女性で実際に窓口を利用している、したことがあると回答した人は3%以下となっている。

7. 配偶者・パートナーからの暴力について

DVの意識については、「暴力だと思う」は「殴る、蹴る、物を投げつける」が8割を超え最も高く、次いで「性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる」、「大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す」が続いている。

DV経験については、「人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力」がされたこと、したことがあるいずれも他の項目より高い。

配偶者・パートナーからの暴力の時期については、過去5年以内の経験者が約4割となり、そのうち1年以内での経験者は約3割となっている。恋人などの親密な関係にある人からの態度や行動について、「されたことがある」ことは、「大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す」が1割を超えており、その後約4割が「別れたかったが、すぐには別れられなかった」と回答している。

DVを受けたときの相談先については、女性では「友人、知人」「家族、親戚」「どこ（だれ）にも相談しなかった」がそれぞれ3割を超えており、男性では「だれ（どこ）にも相談しなかった」と答えた人が5割を超えて最も高くなっている。男女ともに医療関係施設や公共機関を利用した人は1割を下回っている。

DVについて相談しなかった理由については、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていける

と思ったから」が約4割、「相談するほどのことではないと思ったから」が約3割となっている。

DVをなくすために必要な対策については、家庭や学校での『思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実』と答えた人が約5割となっており、家庭や学校での取組みが期待されている。

8. LGBTQなど多様な性のあり方について

多様な性のあり方に関する言葉と意味は、『知っている』としては「カミングアウト」が7割を超えて最も高く、次いで「LGBTQ」と「性的マイノリティ」が約5割となっている。一方、「アウトティング」と「SOGI」の認知度は低くなっている。

自身の性別やセクシュアリティに悩む（悩んだ）ことは「ある」が2%程度、自身が性的マイノリティの当事者である、またはそうかもしれないと思う（思った）ことは「ある」が2%未満となっている。

身近な方に性的マイノリティの方がいるかどうかは、「友人」が最も高く、「セクシュアル・マイノリティである」などと打ち明けられたときに受け入れられるかについては、家族といった身近な人では3割程度に留まり、友人や職場の同僚・同じ学校や身近な人では5割を超えている。

性的マイノリティの方々が困難を感じる場面は「家族や友人など周囲に理解してもらえないこと」が6割を超えており、性的マイノリティが働きやすい職場づくりのために、企業が取り組むべきことは「性的指向・性自認の尊重や、性的指向・性自認に基づくハラスメントの禁止などについて社内規定や行動指針などに記載」が4割を超えた。

山形県が実施した取組みの認知度は「山形県パートナーシップ宣誓制度」が約3割、「多様性が尊重される社会づくり推進セミナー」が1割未満となっている。

性的マイノリティの方々に対する差別をなくし、生活しやすくするために必要だと思う取組みについて、「社会環境（トイレ・更衣室など）の整備」が3割を超え最も高くなっている。

9. 地域活動など社会参加について

仕事以外の活動については、現状では「特にない」が約4割と最も高く、次いで「自治会」、「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」となっており、理想は「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」が最も高い。活動していない理由は、「仕事が忙しくて時間がない」と答えた人が多くなっている。

10. 防災・復興について

性別に配慮した防災・災害対応については、約5割の人が「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策など）」が必要と答えている。

11. 政策・方針決定過程への女性の参画について

地方議会（県議会・市町村議会）における理想の女性議員の割合は、「5割」が最も高く、政策・方針決定過程への女性の参画を進めるために必要なことは、「男性の意識改革」が最も多い。

12. 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

法律や用語、施設などの認知度については、「言葉も意味も知っていた」は「ドメスティックバイオレンス（DV）」、「男女雇用機会均等法」、「育児・介護休業法」が7割を超えて特に高くなっている。

「山形県男女共同参画センター“チェリア”」の利用の有無については、「利用したことはない」が9割以上となっている。期待する役割としては、『人材の育成』、『社会で働く上で役立つ講座の開催』、『男女共同参画に関する学習会の開催』がいずれも3割を超えている。

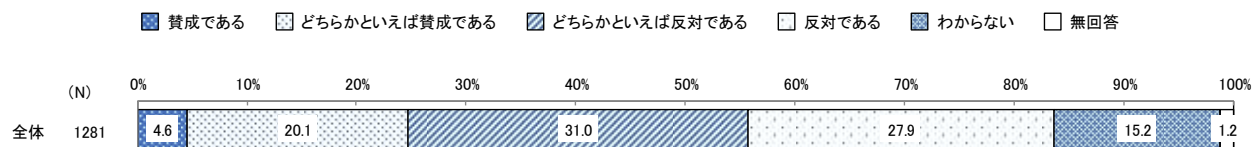
男女共同参画社会を実現するうえで重要なことについては、男女ともに、「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」と答えた人が7割を超えている。

第四章 調査結果の分析

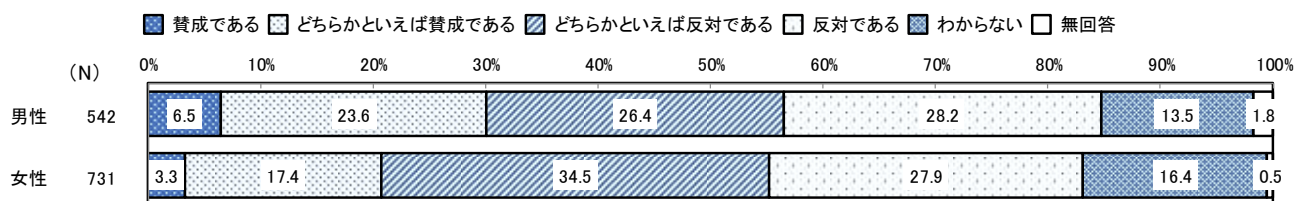
1. 男女共同参画について

(1) 固定的な役割分担意識

問1 あなたは、「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方についてどう思いますか。
あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)



【全体】「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方については、「賛成である」(4.6%)と「どちらかといえば賛成である」(20.1%)を合わせた『賛成』が24.7%、「どちらかといえば反対である」(31.0%)と「反対である」(27.9%)を合わせた『反対』が58.9%となっており、『反対』が『賛成』の2倍以上になっている。



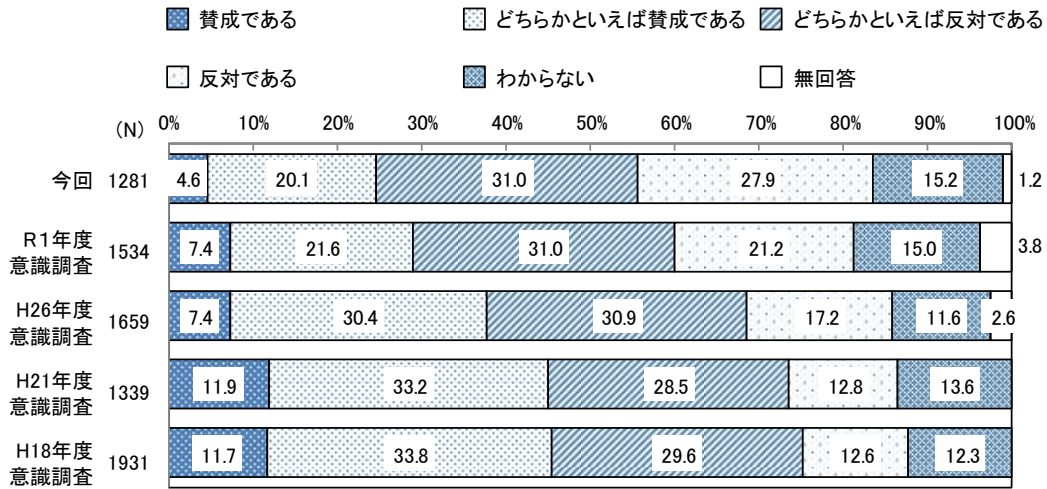
【性別】『賛成』は、男性(30.1%)が女性(20.7%)よりも9.4ポイント高く、『反対』は、女性(62.4%)が男性(54.6%)よりも7.8ポイント高くなっている。

	全体	「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方について						賛成	反対	
		賛成である	どちらかといえば賛成である	どちらかといえば反対である	反対である	わからない	無回答			
全体	1281	4.6	20.1	31.0	27.9	15.2	1.2	24.7	58.9	
性・年齢別	男性(計)	542	6.5	23.6	26.4	28.2	13.5	1.8	30.1	54.6
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	0.0	40.0	40.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	10.8	13.5	48.6	21.6	0.0	16.2	62.1
	男性・40歳～49歳	94	10.6	27.7	19.1	18.1	22.3	2.1	38.3	37.2
	男性・50歳～59歳	145	4.8	19.3	31.0	31.0	12.4	1.4	24.1	62.0
	男性・60歳～64歳	64	3.1	23.4	34.4	18.8	17.2	3.1	26.5	53.2
	男性・65歳～69歳	60	6.7	18.3	26.7	43.3	1.7	3.3	25.0	70.0
	男性・70歳以上	121	3.3	33.9	28.9	24.0	8.3	1.7	37.2	52.9
	女性(計)	731	3.3	17.4	34.5	27.9	16.4	0.5	20.7	62.4
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	30.8	38.5	30.8	0.0	0.0	30.8	69.3
	女性・30歳～39歳	85	4.7	14.1	22.4	36.5	22.4	0.0	18.8	58.9
	女性・40歳～49歳	147	6.8	17.7	24.5	36.1	15.0	0.0	24.5	60.6
	女性・50歳～59歳	198	0.0	14.1	45.5	19.2	21.2	0.0	14.1	64.7
	女性・60歳～64歳	76	0.0	7.9	43.4	40.8	7.9	0.0	7.9	84.2
	女性・65歳～69歳	71	2.8	21.1	31.0	22.5	19.7	2.8	23.9	53.5
	女性・70歳以上	124	6.5	24.2	32.3	21.8	13.7	1.6	30.7	54.1
	無回答	8	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

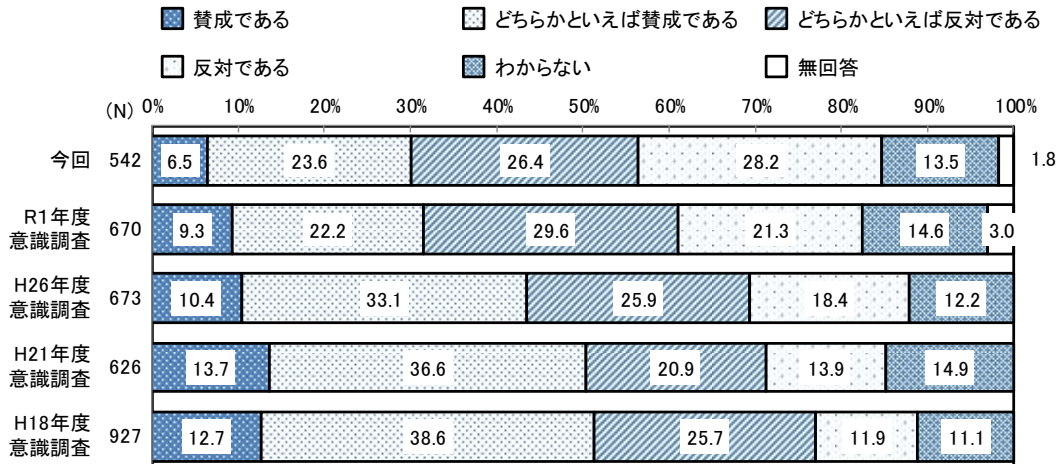
【性・年齢別】男性では「40歳～49歳」で『賛成』が『反対』を上回っている。また、女性では『反対』がすべての年齢層で5割を超えている。

過去調査との比較

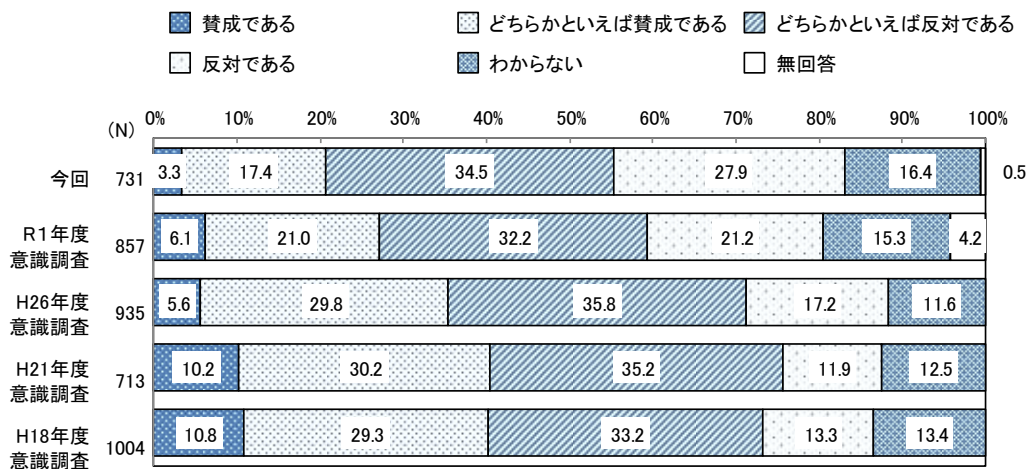
全体



男性



女性

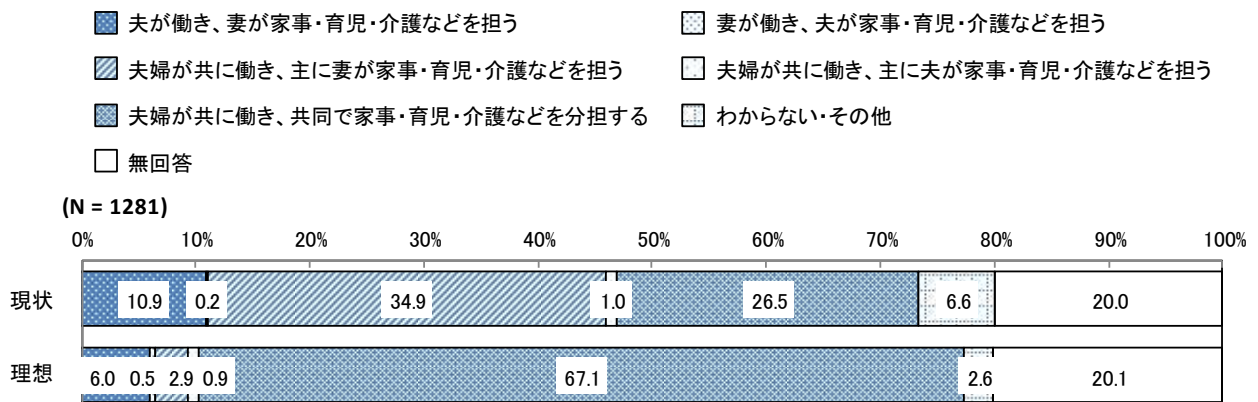


【全体】『賛成』は減少傾向となっており、令和元年度調査より4.3ポイント減少した。一方、『反対』は増加傾向となっており、令和元年度調査より6.7ポイント増加した。

【性別】『賛成』について、男女ともに減少傾向となり、いずれも、今回調査で最も低くなっている。

(2) 夫婦の役割分担

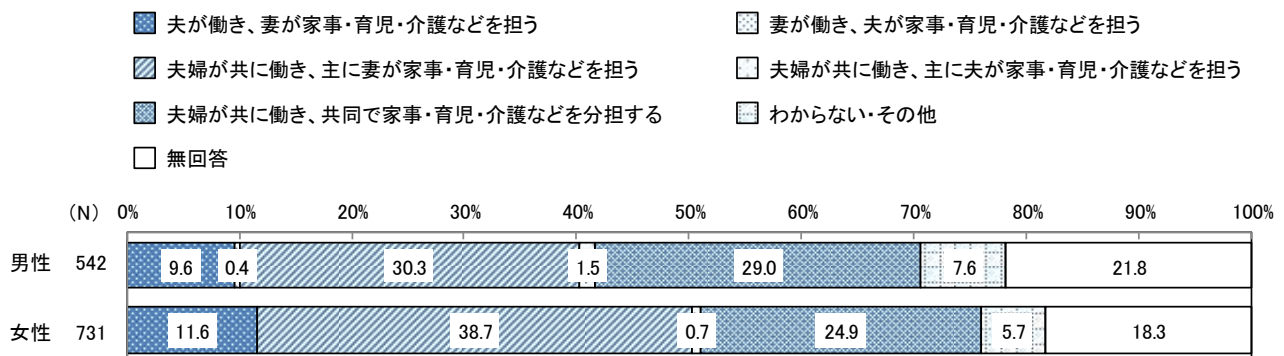
問2 既婚者（事実婚を含む）のみにお伺いします。
夫婦の役割分担について、(1) 現状、(2) 理想を選んでください。（それぞれ〇は1つ）



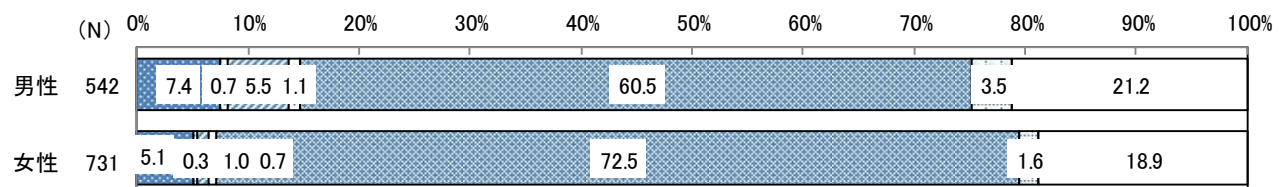
【全体】夫婦の役割分担については、「現状」では、「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」が34.9%と最も高く、次いで「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」(26.5%)、「夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う」(10.9%)となっている。

「理想」では、「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」が67.1%と最も高く、次いで「夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う」(6.0%)、「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」(2.9%)となっている。「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」は、現状(26.5%)との差は40.6ポイントとなっており、「現状」と「理想」の差が表れている。

現状



理想



【性別】「現状」で最も差がみられた「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」では、女性(38.7%)が男性(30.3%)より8.4ポイント高くなっている。

「理想」で最も差がみられた「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」では、女性(72.5%)が男性(60.5%)より12.0ポイント高くなっている。

現状

	全体	夫婦の役割分担について/ 現状							
		夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う	妻が働き、夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する	わからない・その他	無回答	
全体	1281	10.9	0.2	34.9	1.0	26.5	6.6	20.0	
性・年齢別	男性(計)	542	9.6	0.4	30.3	1.5	29.0	7.6	21.8
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	25.0	65.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	5.4	0.0	51.4	10.8	32.4
	男性・40歳～49歳	94	14.9	0.0	28.7	0.0	37.2	0.0	19.1
	男性・50歳～59歳	145	4.1	0.0	38.6	1.4	40.0	1.4	14.5
	男性・60歳～64歳	64	3.1	0.0	53.1	3.1	18.8	0.0	21.9
	男性・65歳～69歳	60	15.0	3.3	31.7	0.0	16.7	13.3	20.0
	男性・70歳以上	121	17.4	0.0	20.7	3.3	17.4	18.2	23.1
	女性(計)	731	11.6	0.0	38.7	0.7	24.9	5.7	18.3
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	38.5	0.0	15.4	7.7	38.5
	女性・30歳～39歳	85	5.9	0.0	30.6	0.0	30.6	2.4	30.6
	女性・40歳～49歳	147	10.2	0.0	39.5	0.0	32.0	1.4	17.0
	女性・50歳～59歳	198	13.6	0.0	44.4	1.0	20.2	5.6	15.2
	女性・60歳～64歳	76	9.2	0.0	44.7	0.0	32.9	5.3	7.9
	女性・65歳～69歳	71	23.9	0.0	40.8	1.4	12.7	11.3	9.9
	女性・70歳以上	124	11.3	0.0	30.6	1.6	25.0	10.5	21.0
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

理想

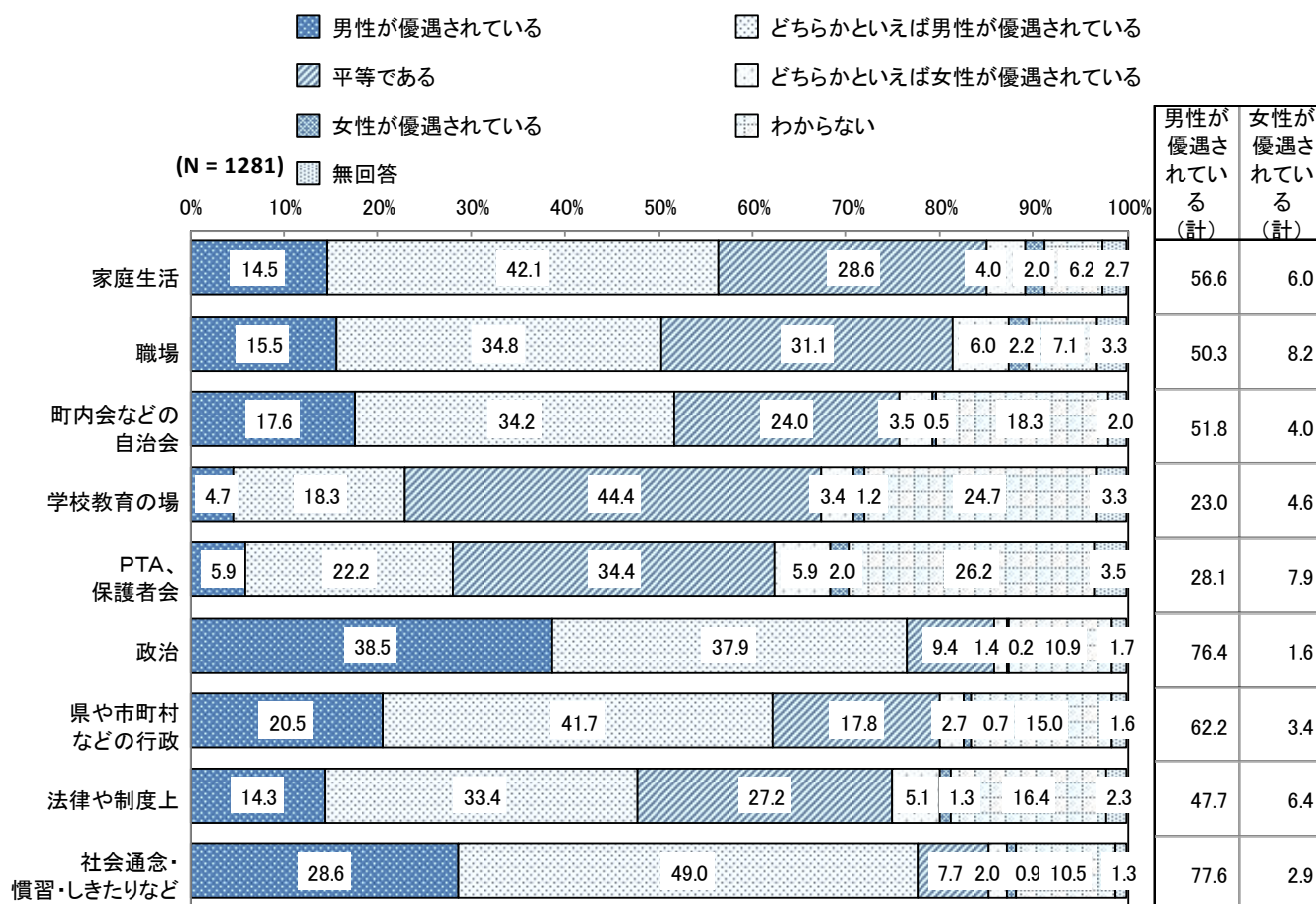
	全体	夫婦の役割分担について/ 理想							
		夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う	妻が働き、夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する	わからない・その他	無回答	
全体	1281	6.0	0.5	2.9	0.9	67.1	2.6	20.1	
性・年齢別	男性(計)	542	7.4	0.7	5.5	1.1	60.5	3.5	21.2
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	62.2	5.4	32.4
	男性・40歳～49歳	94	10.6	4.3	8.5	0.0	54.3	1.1	21.3
	男性・50歳～59歳	145	6.9	0.0	2.8	2.8	69.0	2.8	15.9
	男性・60歳～64歳	64	10.9	0.0	3.1	0.0	70.3	0.0	15.6
	男性・65歳～69歳	60	10.0	0.0	3.3	0.0	58.3	6.7	21.7
	男性・70歳以上	121	5.0	0.0	11.6	1.7	57.0	6.6	18.2
	女性(計)	731	5.1	0.3	1.0	0.7	72.5	1.6	18.9
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	0.0	0.0	0.0	53.8	0.0	38.5
	女性・30歳～39歳	85	4.7	0.0	0.0	0.0	63.5	1.2	30.6
	女性・40歳～49歳	147	11.6	0.0	0.0	0.0	69.4	1.4	17.7
	女性・50歳～59歳	198	2.0	0.0	0.5	0.5	76.8	2.5	17.7
	女性・60歳～64歳	76	2.6	0.0	0.0	5.3	81.6	2.6	7.9
	女性・65歳～69歳	71	0.0	0.0	0.0	0.0	87.3	0.0	12.7
	女性・70歳以上	124	6.5	1.6	4.8	0.0	66.1	1.6	19.4
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0

【性・年齢別】「現状」での回答が最も多かった「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」は、男性の「60歳～64歳」（53.1%）で唯一5割を超え高くなっている。

「理想」での回答が最も多かった「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」は、男性では「60歳～64歳」（70.3%）が、女性では「65歳～69歳」（87.3%）が最も高くなっている。

(3) 男女の地位

問3 あなたは、次のそれぞれの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ〇は1つ)



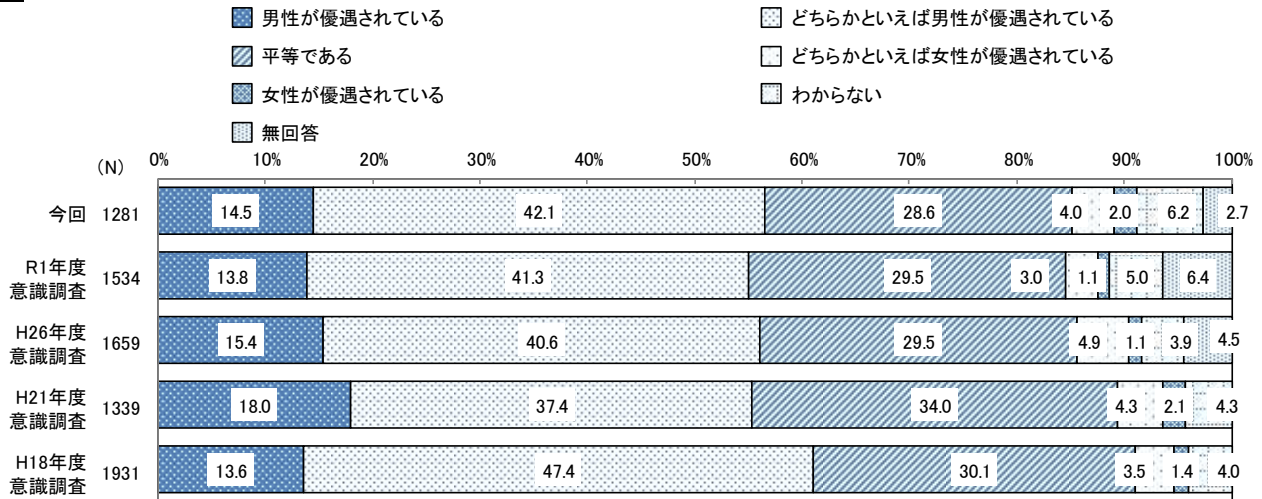
【全体】男女の地位については、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』では、「社会通念・慣習・しきたりなど」が77.6%と最も高く、次いで「政治」(76.4%)、「県や市町村などの行政」(62.2%)となっている。

一方、「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた『女性優遇』では、「職場」が8.2%と最も高く、次いで「PTA、保護者会」(7.9%)、「法律や制度上」(6.4%)となっている。『男性優遇』と『女性優遇』で最も差がみられたのは「政治」となっている。

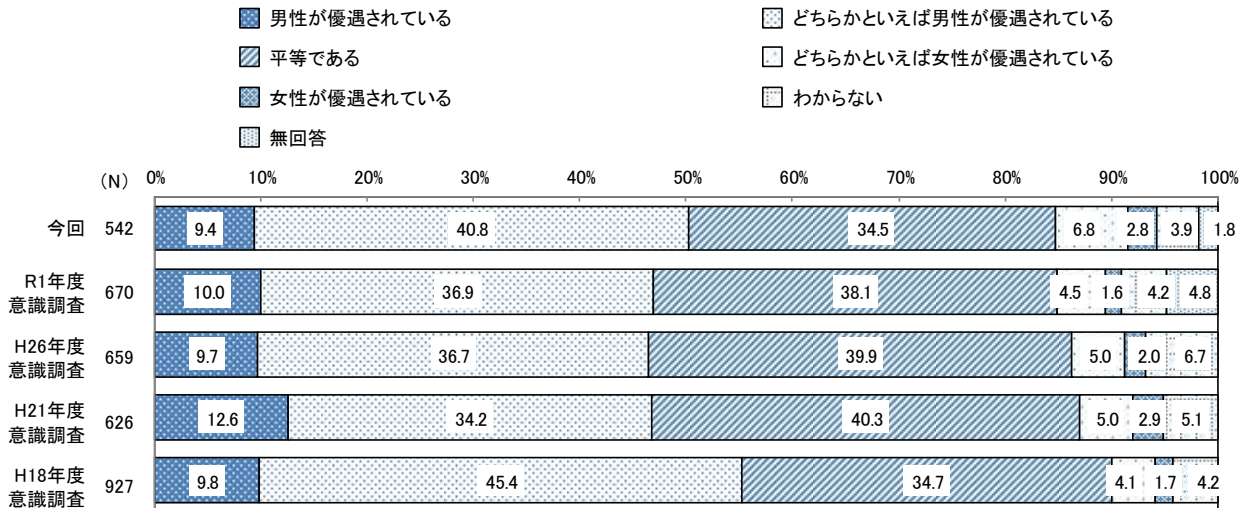
	全体	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	男性優遇	女性優遇
家庭生活	1281	14.5	42.1	28.6	4.0	2.0	6.2	2.7	56.6	6.0
職場	1281	15.5	34.8	31.1	6.0	2.2	7.1	3.3	50.3	8.2
町内会などの自治会	1281	17.6	34.2	24.0	3.5	0.5	18.3	2.0	51.8	4.0
学校教育の場	1281	4.7	18.3	44.4	3.4	1.2	24.7	3.3	23.0	4.6
PTA、保護者会	1281	5.9	22.2	34.4	5.9	2.0	26.2	3.5	28.1	7.9
政治	1281	38.5	37.9	9.4	1.4	0.2	10.9	1.7	76.4	1.6
県や市町村などの行政	1281	20.5	41.7	17.8	2.7	0.7	15.0	1.6	62.2	3.4
法律や制度上	1281	14.3	33.4	27.2	5.1	1.3	16.4	2.3	47.7	6.4
社会通念・慣習・しきたりなど	1281	28.6	49.0	7.7	2.0	0.9	10.5	1.3	77.6	2.9

過去調査との比較【家庭生活】

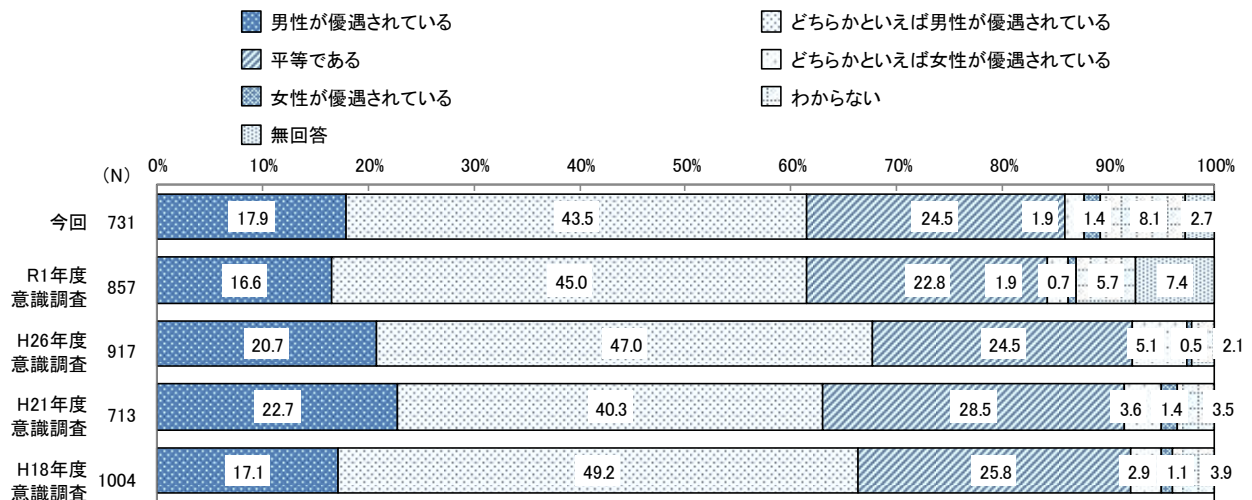
全体



男性



女性

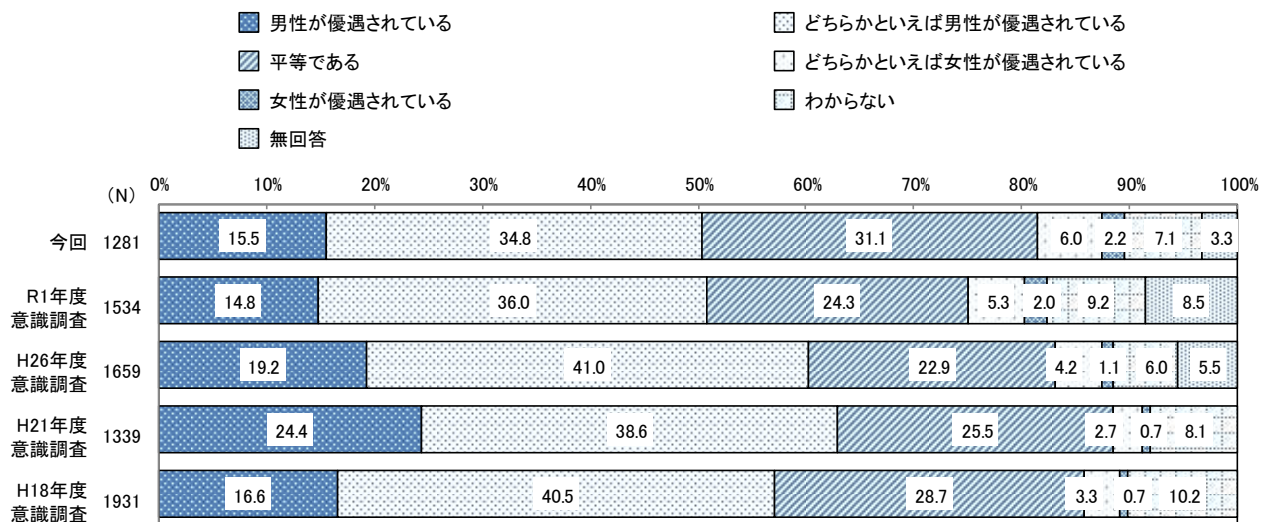


【全体】『男性優遇』は令和元年度調査よりわずかに増加しているものの、平成21年度調査以降、大きな差はみられない。

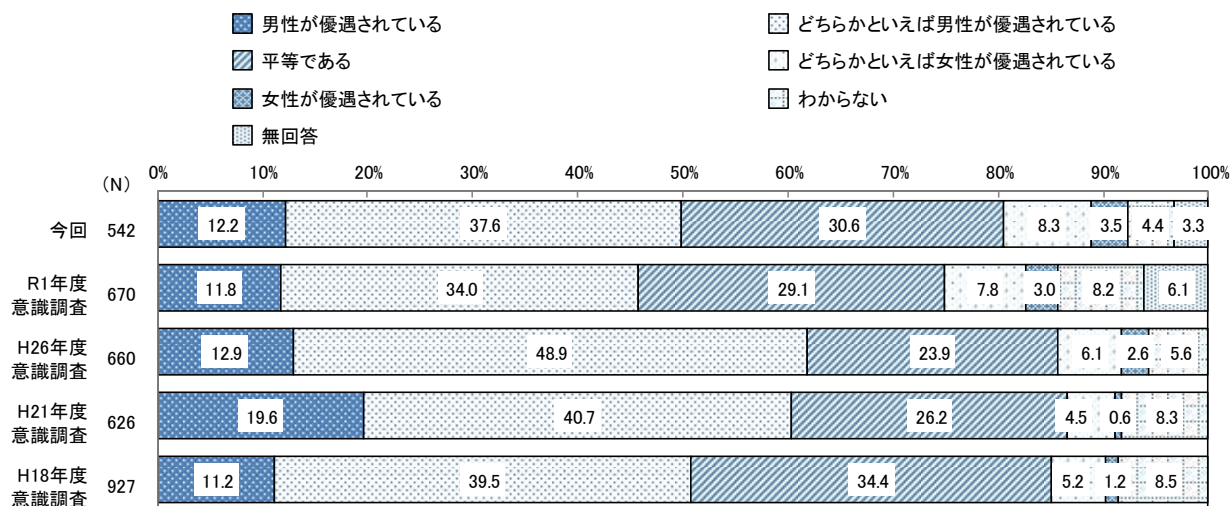
【性別】『男性優遇』は男性ではわずかに増加しており、女性では平成26年度調査より減少傾向にある。

過去調査との比較【職場】

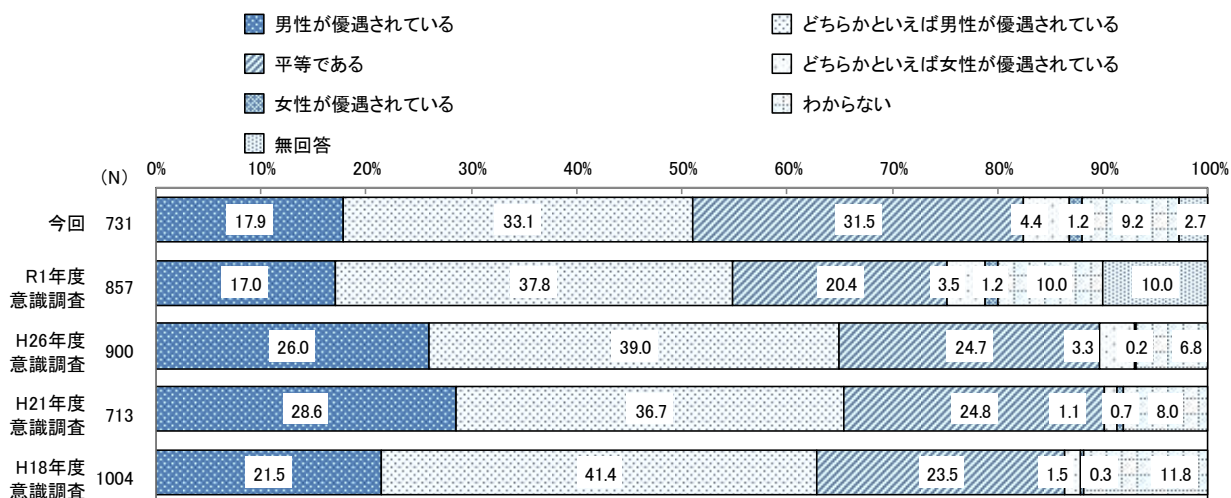
全体



男性



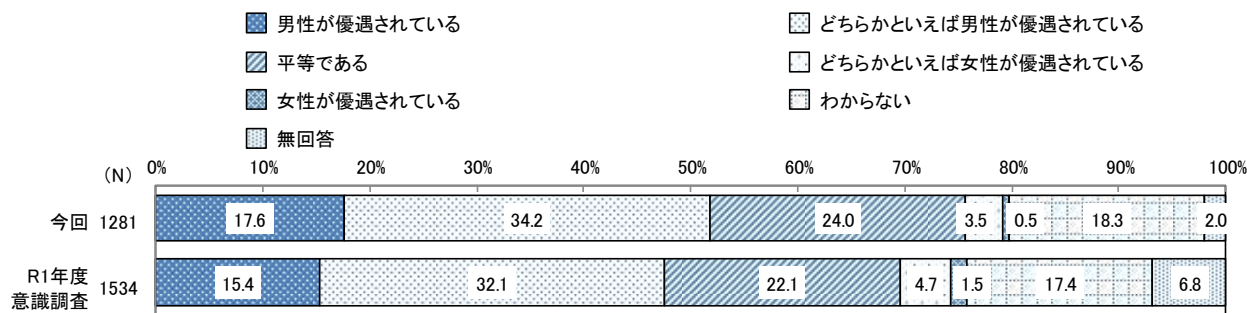
女性



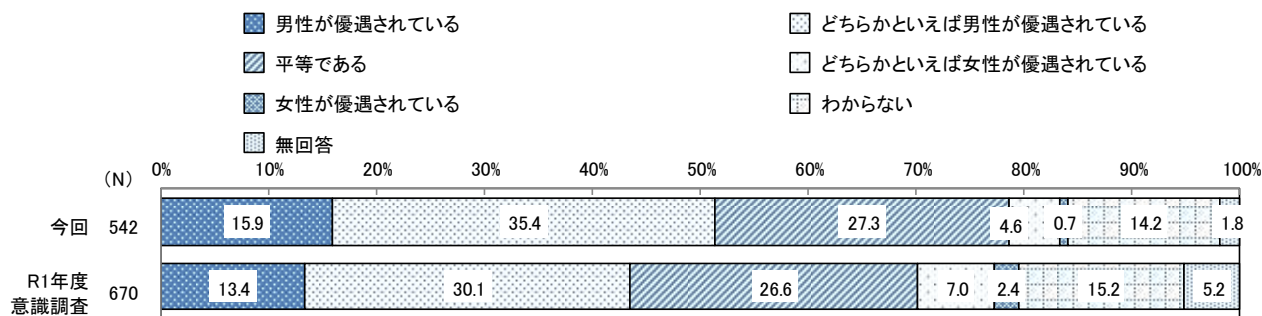
【全体】『男性優遇』は平成21年度調査以降減少傾向となり、今回調査では50.3%と最も低くなっている。
 【性別】『男性優遇』は令和元年度調査より女性では3.8ポイント減少し、これまでで最も低くなっている。

過去調査との比較【町内会などの自治会】

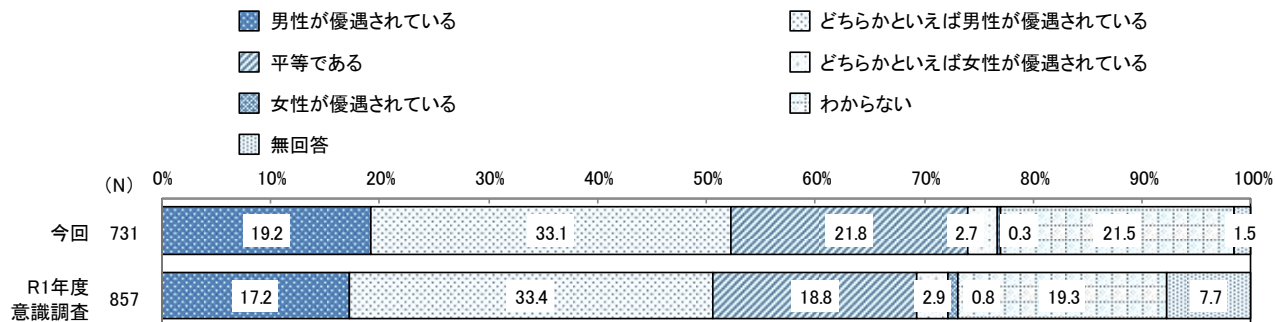
全体



男性



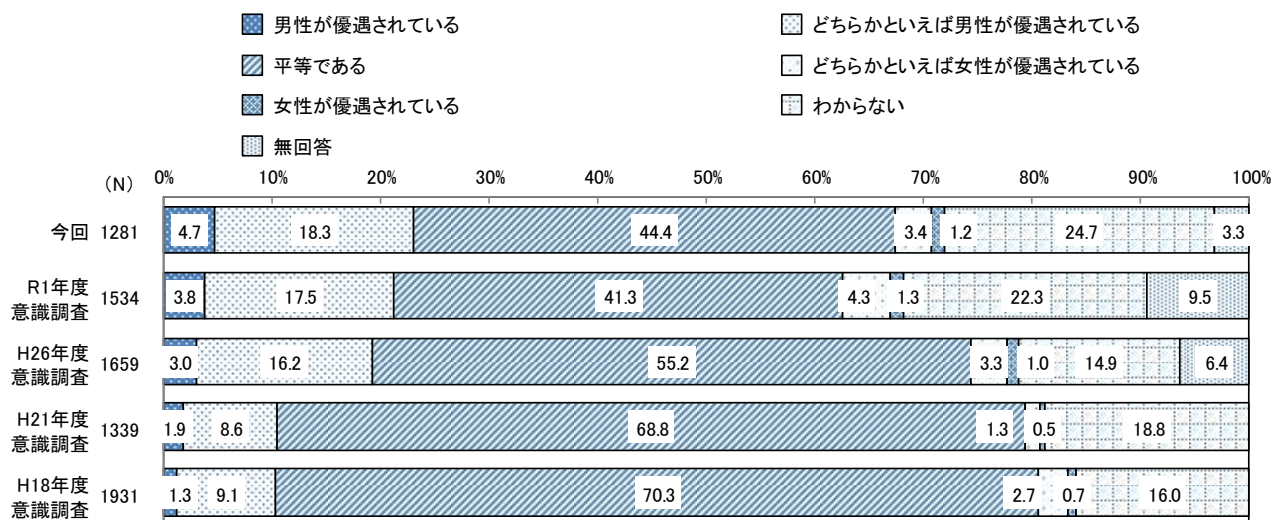
女性



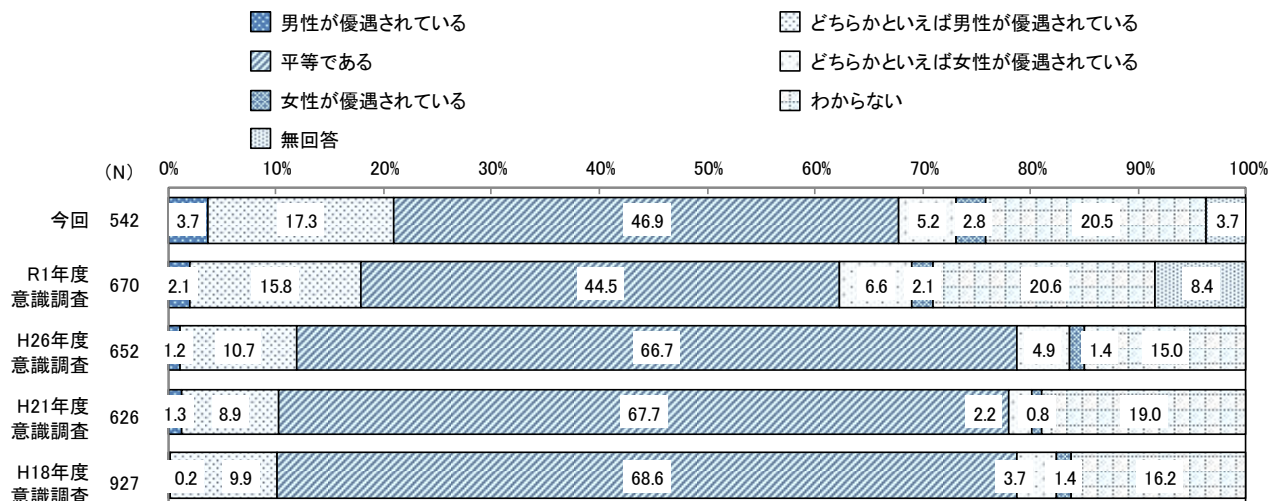
【全体】『男性優遇』は令和元年度調査より増加傾向となっており、今回調査では 51.8%と高くなっている。
 【性別】『男性優遇』は令和元年度調査より、男性では7.8ポイント、女性では1.7ポイント増加している。

過去調査との比較【学校教育の場】

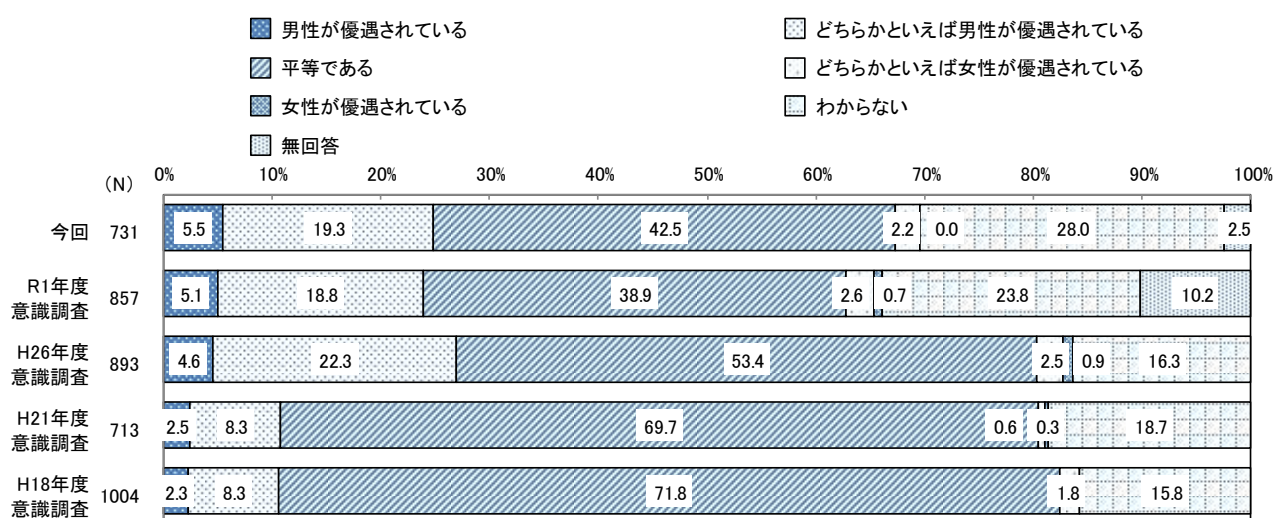
全体



男性



女性

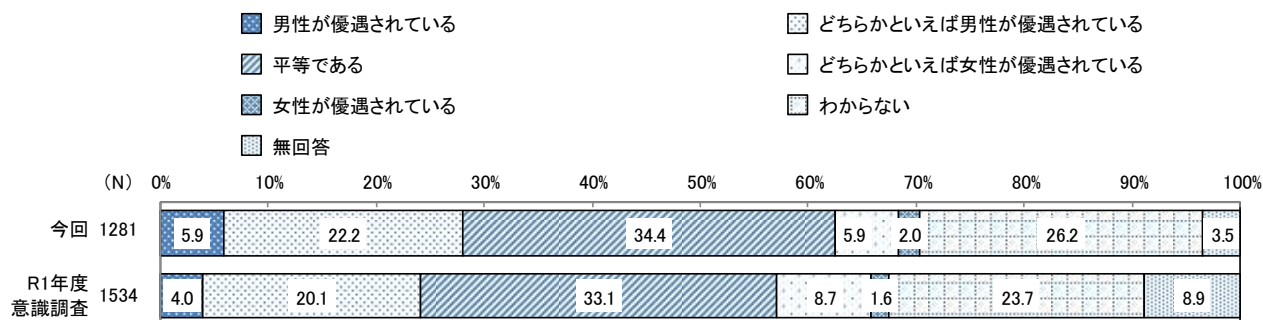


【全体】『男性優遇』は平成18年度調査以降増加傾向となっており、今回調査では23.0%と最も高くなっている。『女性優遇』は令和元年度調査と大きな差はみられない。

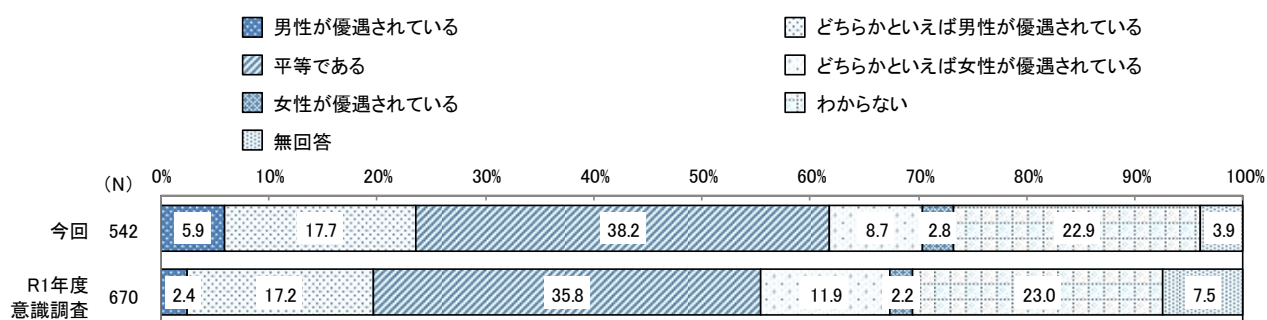
【性別】『男性優遇』は令和元年度調査より、男性では3.1ポイント、女性では0.9ポイント増加している。

過去調査との比較【PTA、保護者会】

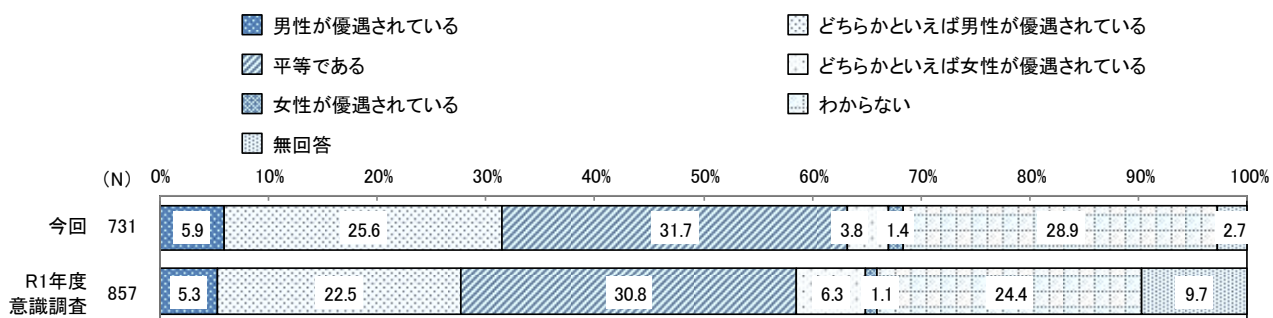
全体



男性



女性

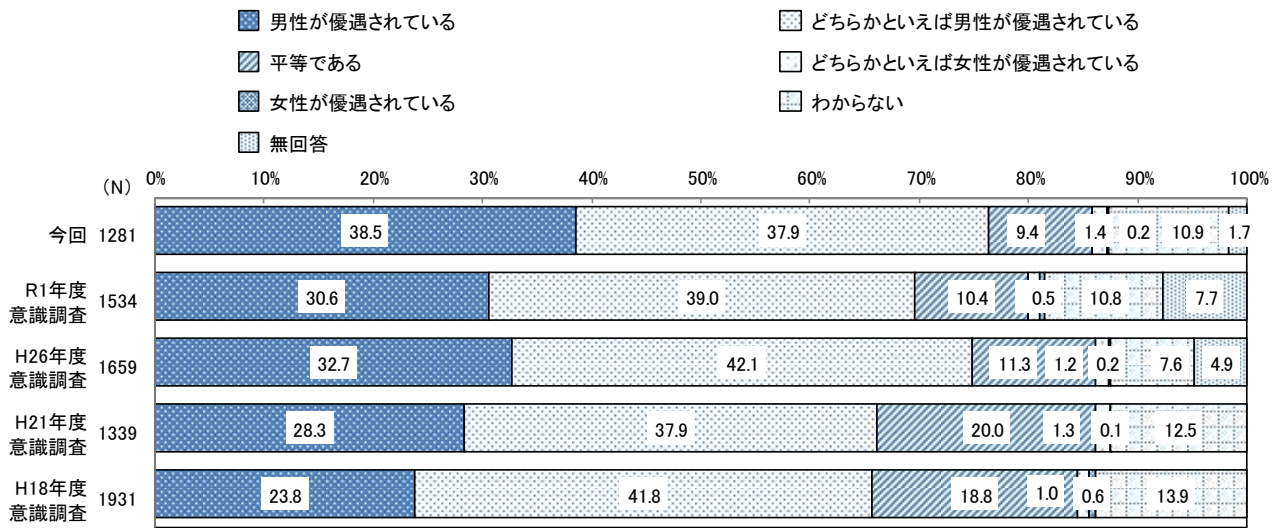


【全体】『男性優遇』は令和元年度調査と比較すると、4.0ポイント増加している。

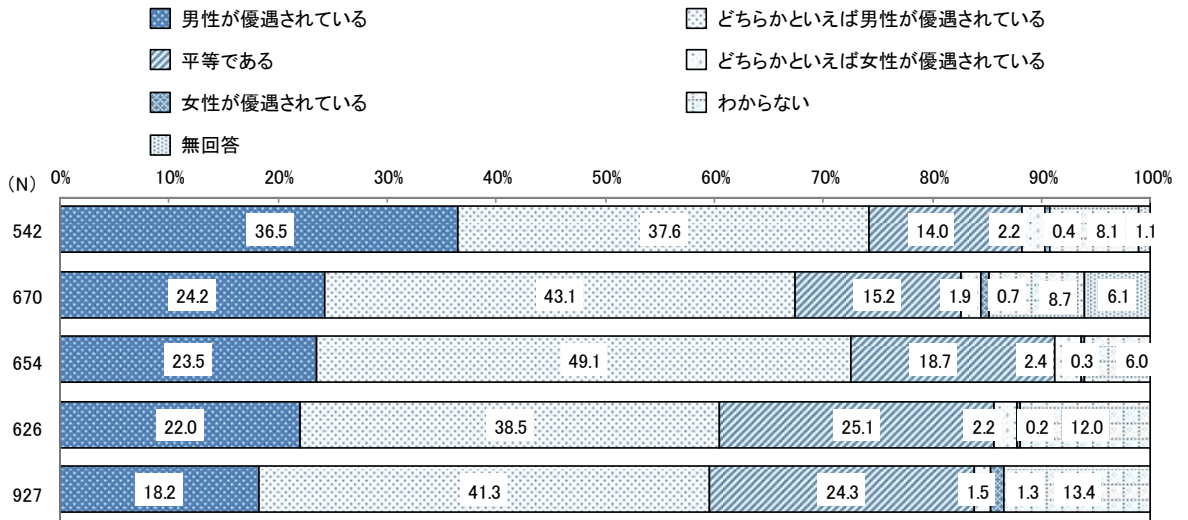
【性別】『男性優遇』は、令和元年度調査と比較すると、男性は4.0ポイント、女性は3.7ポイント増加している。

過去調査との比較【政治】

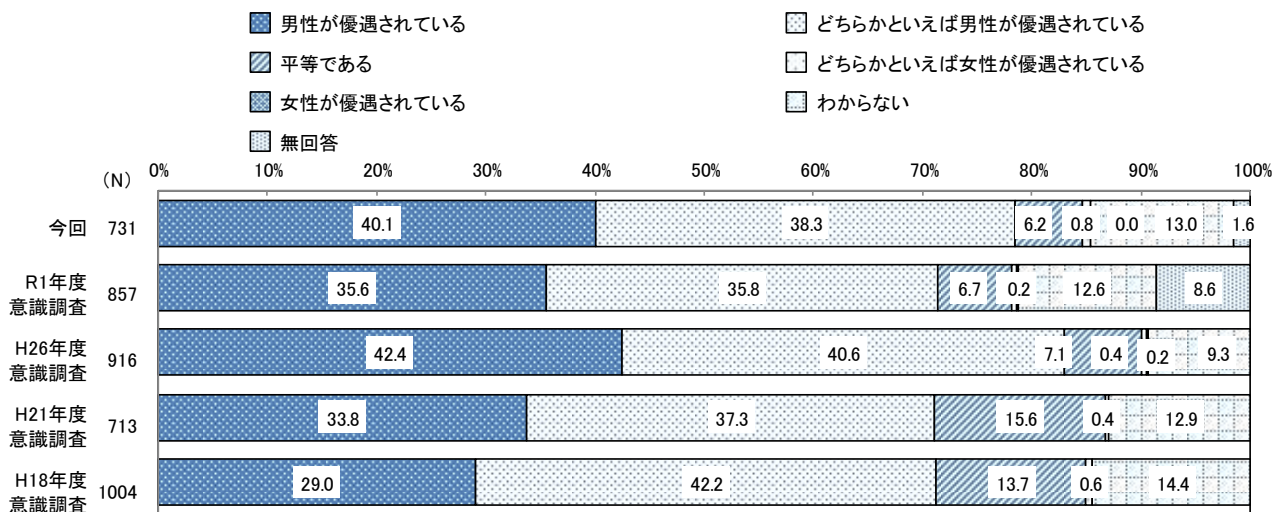
全体



男性



女性

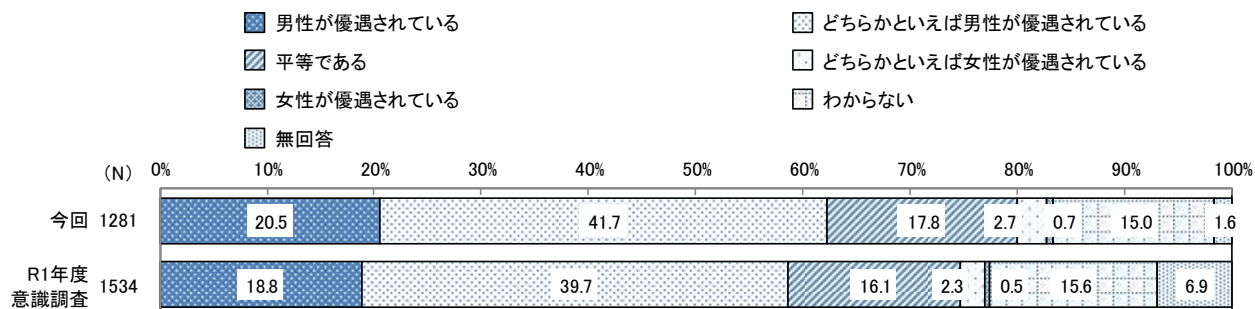


【全体】『男性優遇』は平成26年度調査までは増加傾向だったが、令和元年度調査では平成26年度調査より減少したものの再び増加し、今回では6.8ポイント増えている。

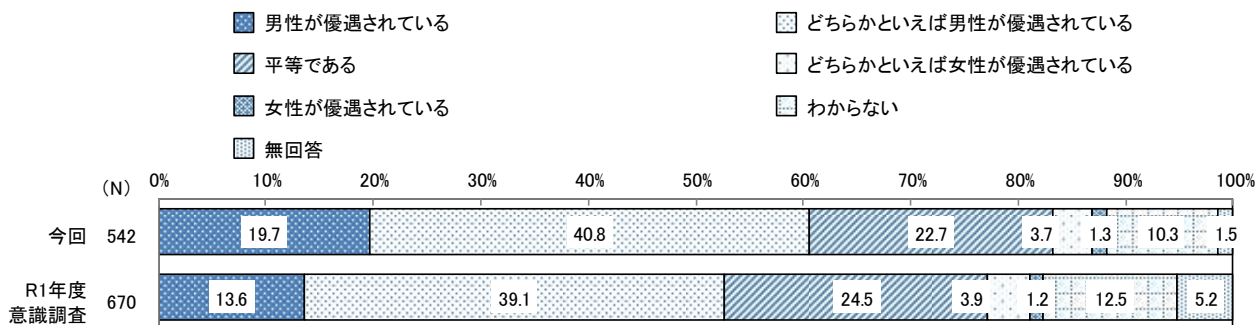
【性別】『男性優遇』は男女ともに、令和元年度調査より増加している。

過去調査との比較【県や市町村などの行政】

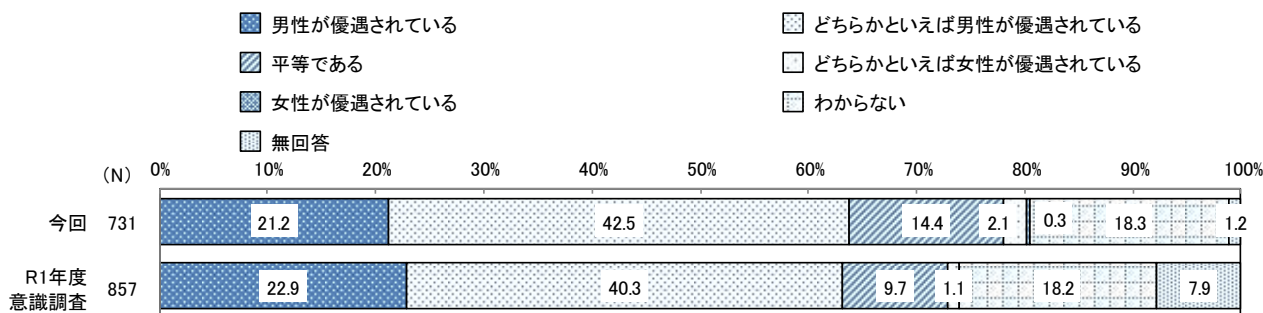
全体



男性



女性

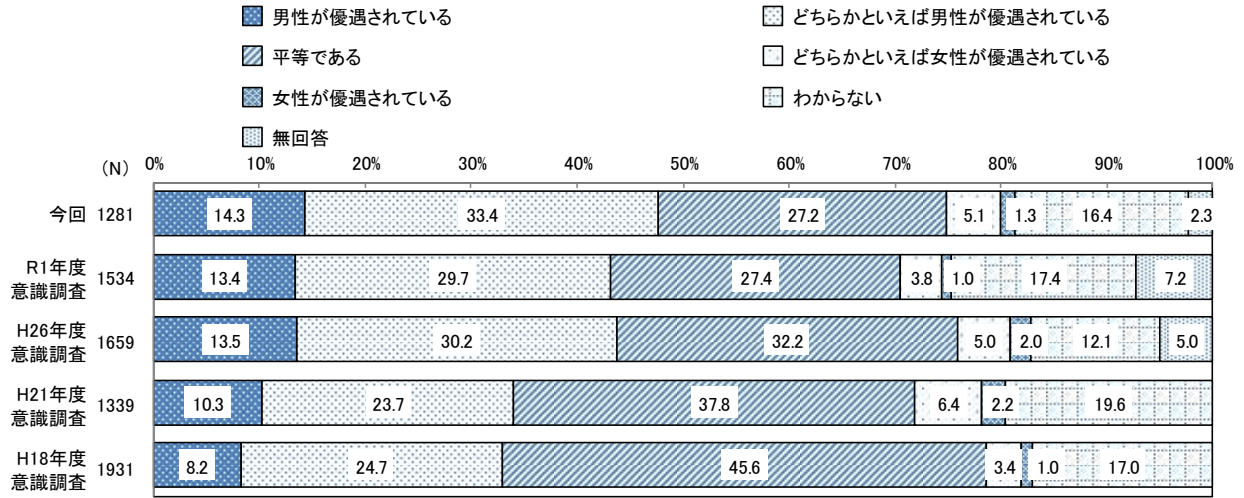


【全 体】『男性優遇』は令和元年度調査より 3.7 ポイント増加している。

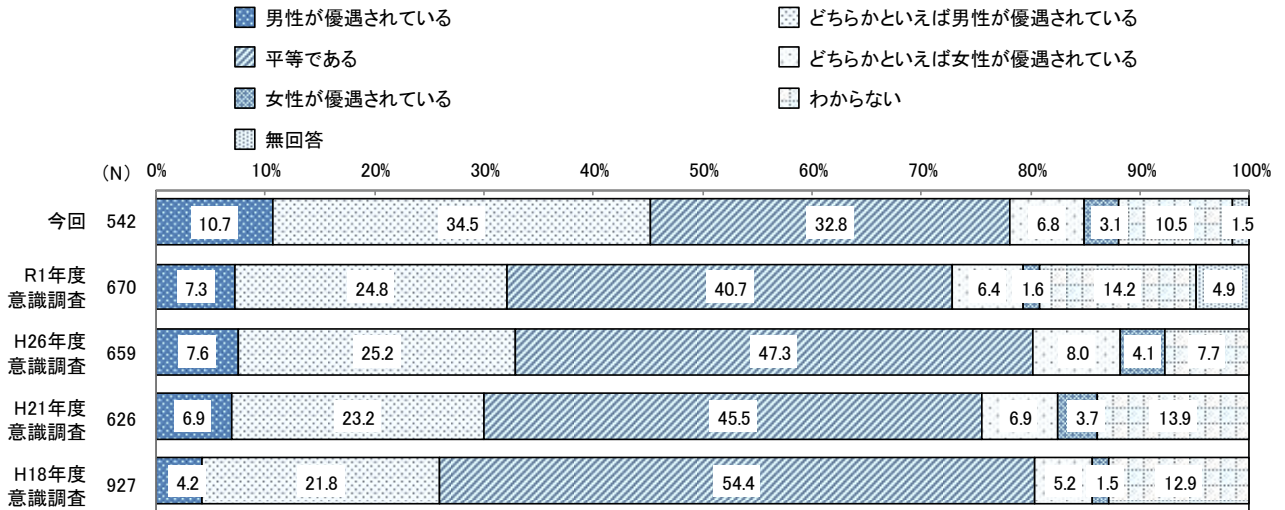
【性 別】『男性優遇』は令和元年度調査より男性が 7.8 ポイント、女性が 0.5 ポイント増加している。

過去調査との比較【法律や制度上】

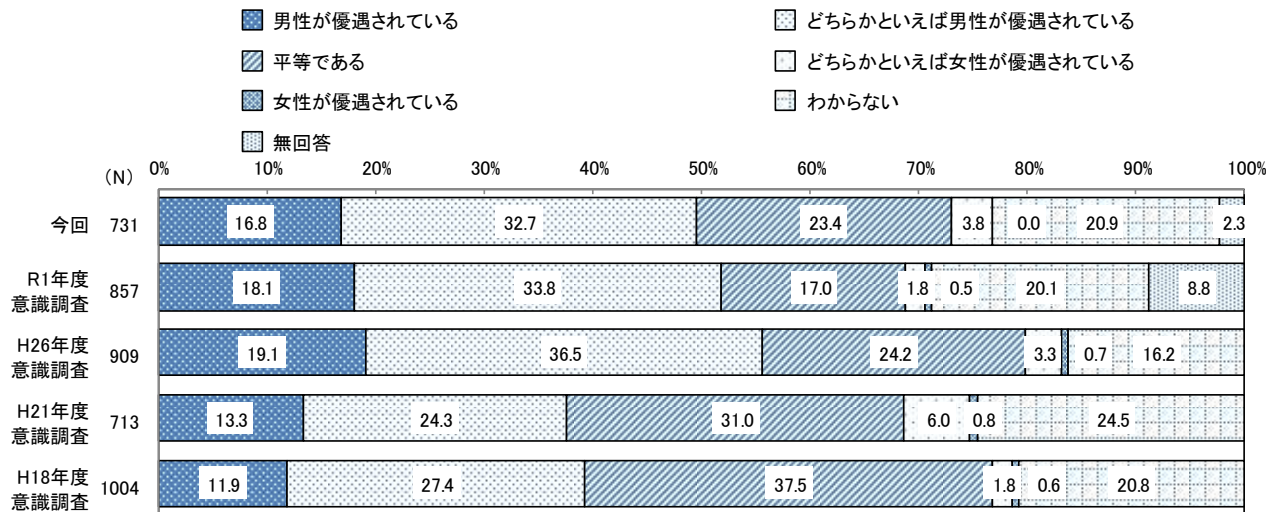
全体



男性



女性

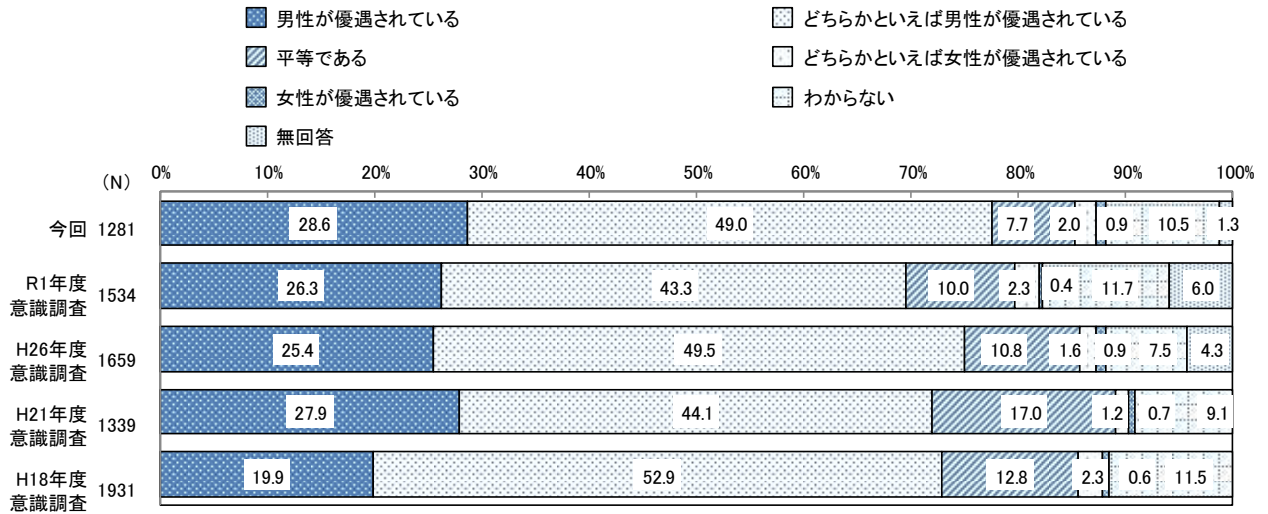


【全体】『男性優遇』は平成26年度調査までは増加傾向だったが、令和元年度調査ではわずかに減少し、今回調査では再び増加に転じている。

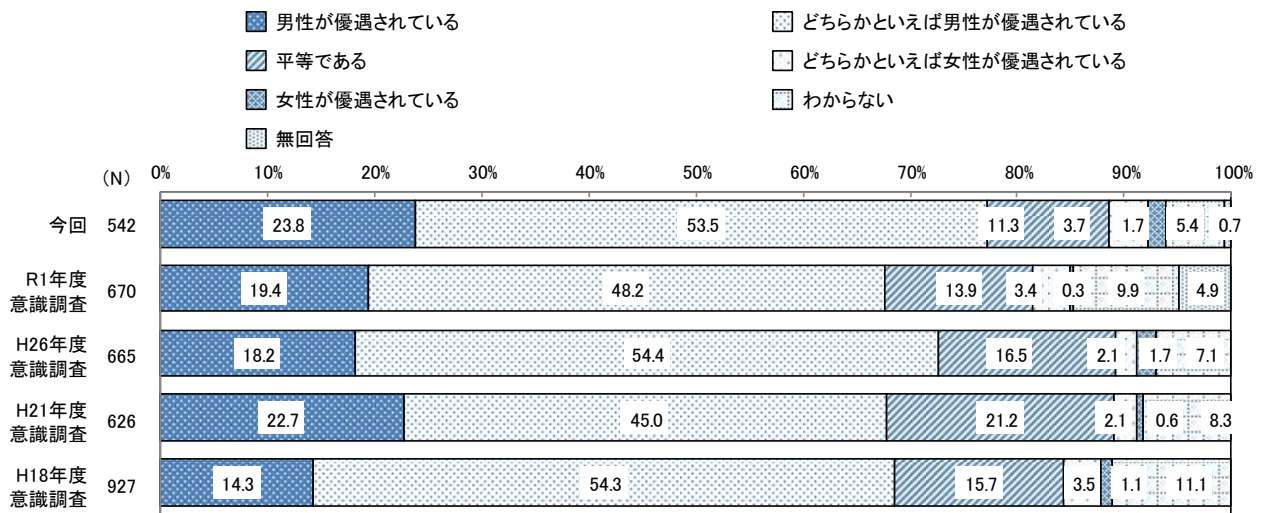
【性別】『男性優遇』は令和元年度調査から、今回調査では男性が13.1ポイント増加、女性が2.4ポイント減少している。

過去調査との比較【社会通念・慣習・しきたりなど】

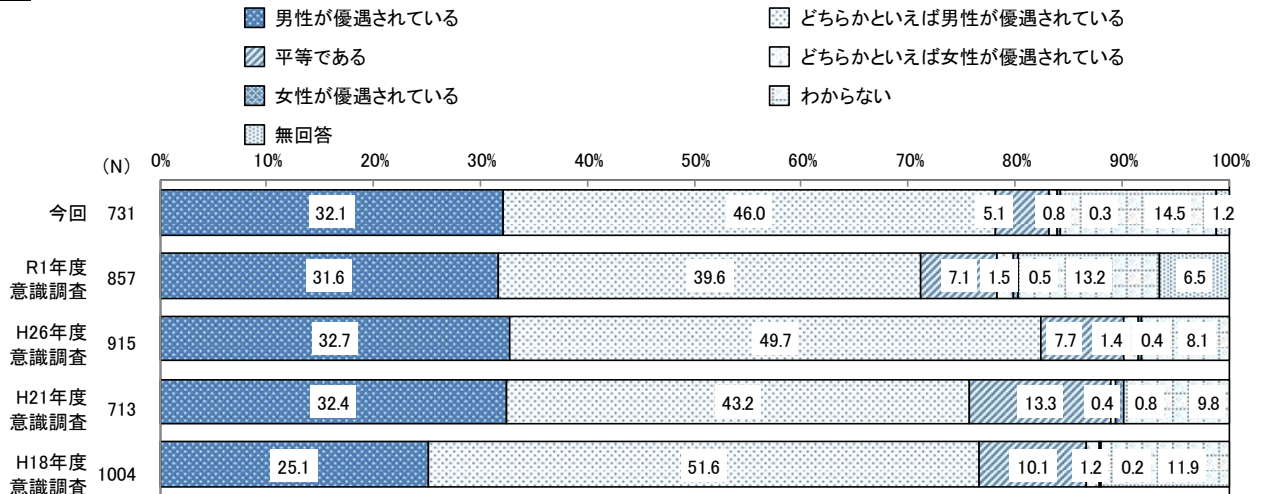
全体



男性



女性

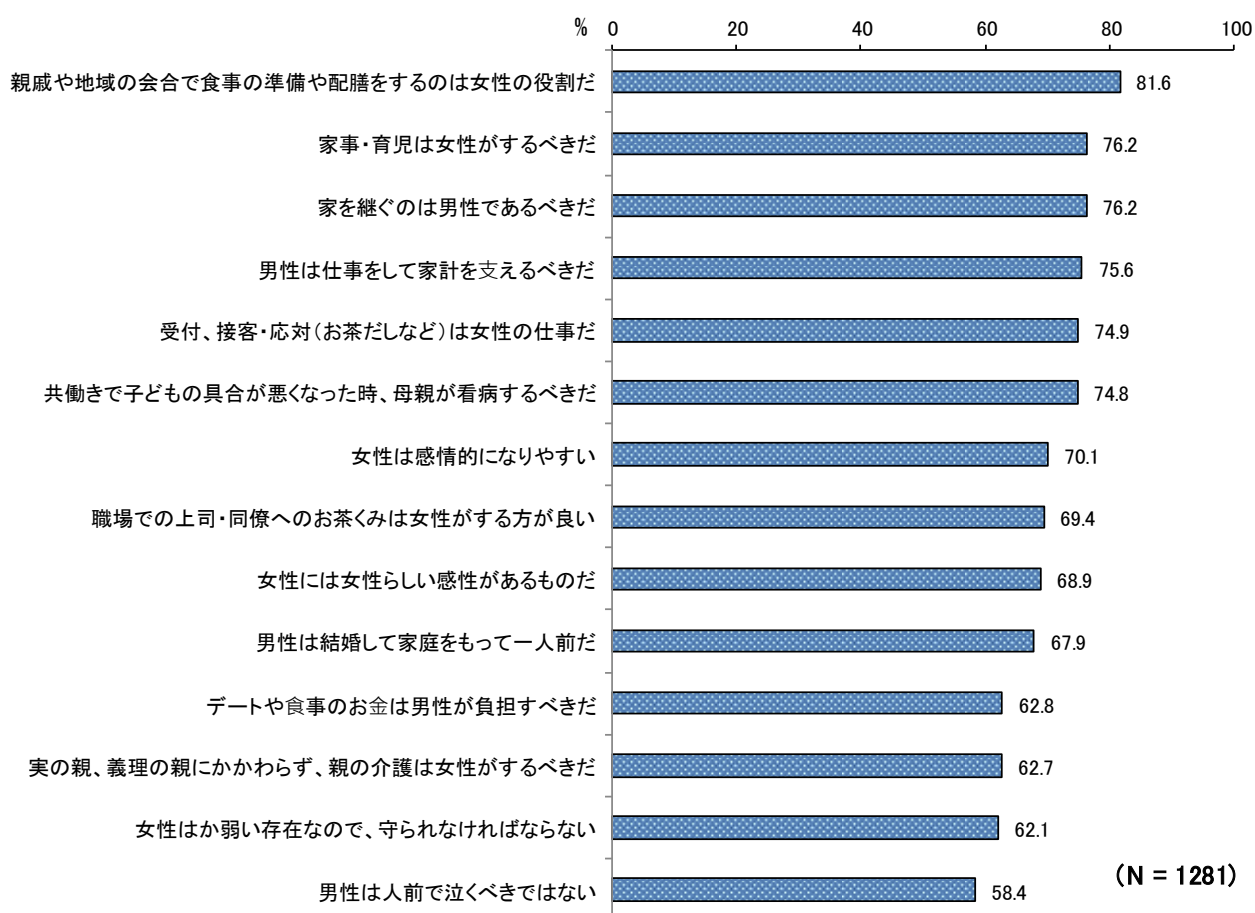


【全体】『男性優遇』は平成26年度調査までは増加傾向だったが、令和元年度調査では平成26年度調査より5.3ポイント減少し、今回調査では再び増加した。

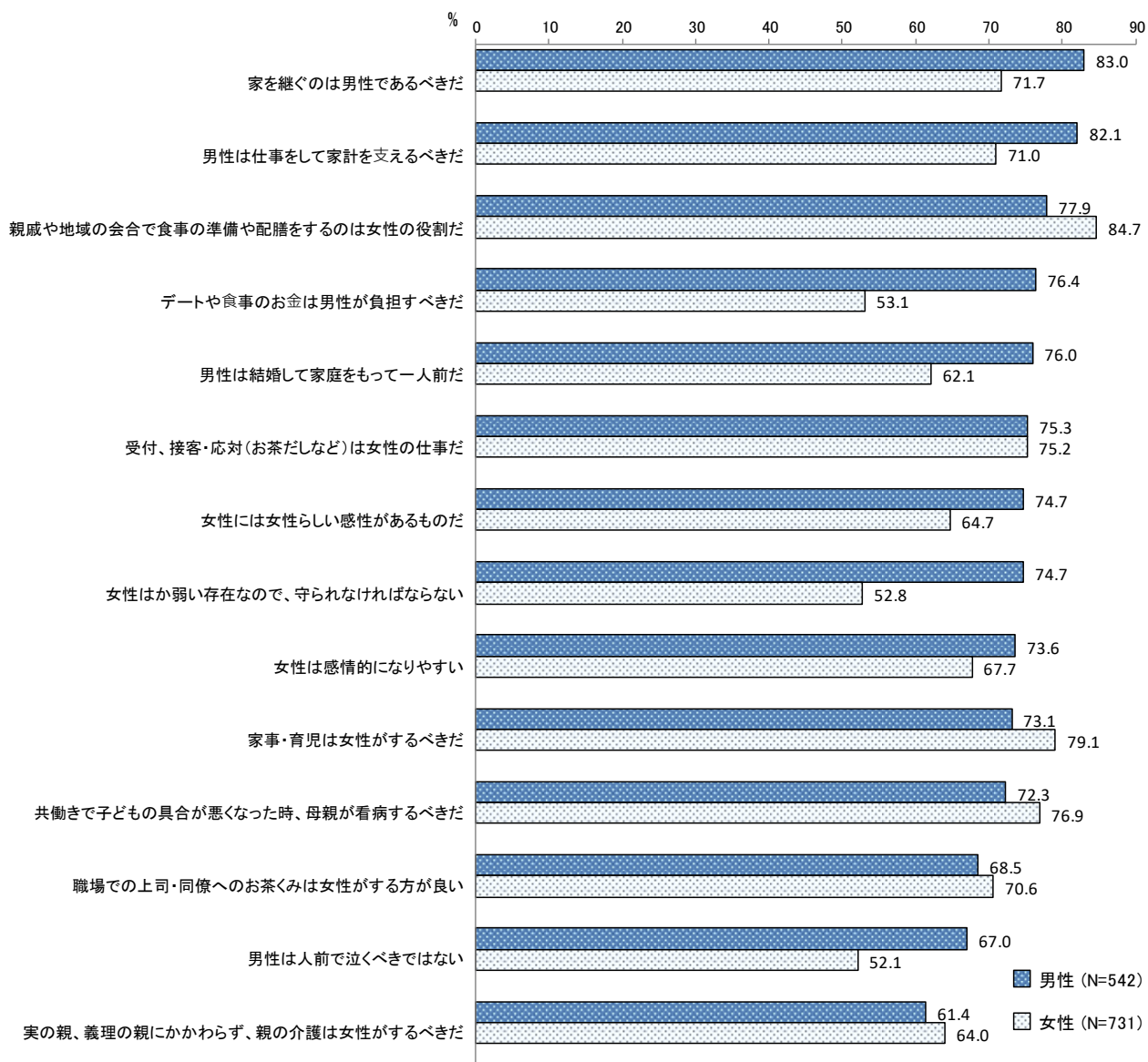
【性別】『男性優遇』は令和元年度調査より、男性が9.7ポイント、女性が6.9ポイント増加している。

(4) 性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験

問4 あなたは、他の人から性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験はありますか。項目ごとに、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)



【全体】性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験については、「直接言われたり聞いたりしたことがある」「直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある」を合わせた合計値では、「親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ」が81.6%と最も高く、次いで「家事・育児は女性がすべきだ」、「家を継ぐのは男性であるべきだ」(それぞれ76.2%)となっている。

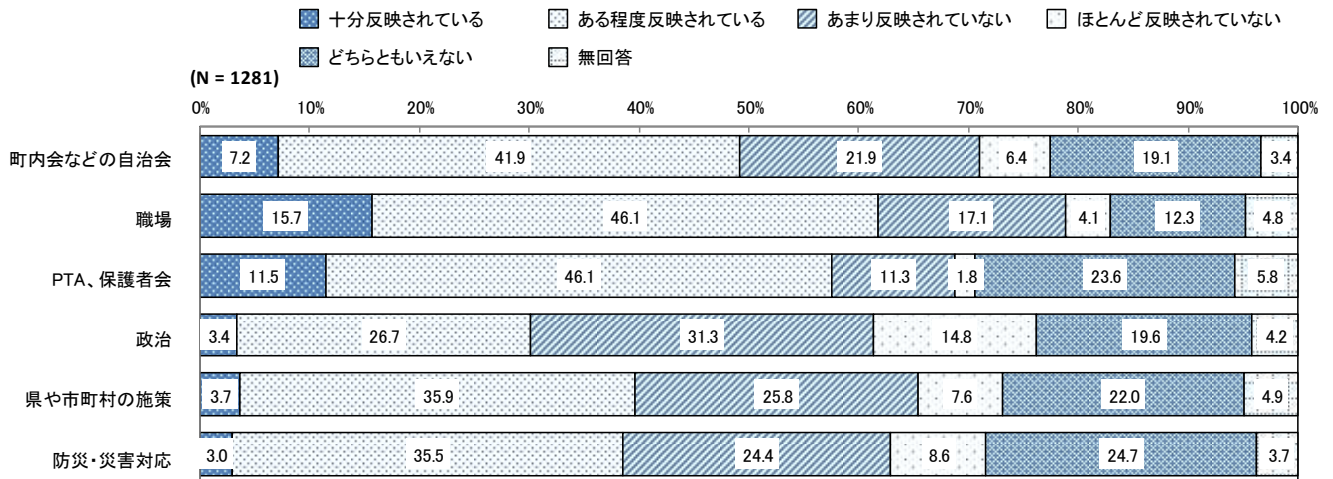


【性別】男性では「家を継ぐのは男性であるべきだ」が83.0%、女性では「親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ」が84.7%とそれぞれ最も高い。

2. 女性の活躍について

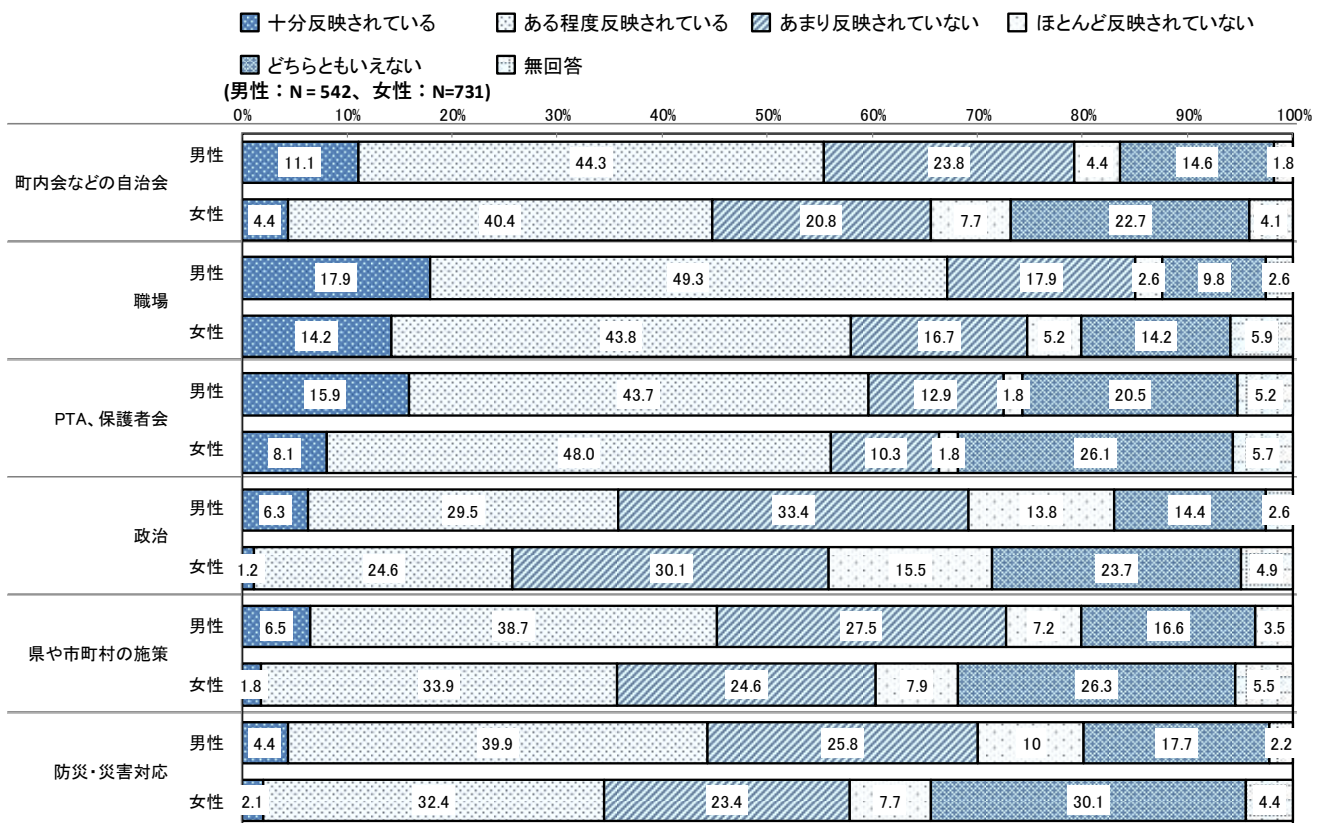
(5) 各分野への女性の意見・考え方の反映

問5 あなたは、次の分野において、女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。
項目ごとに1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。



【全体】各分野への女性の意見・考え方の反映については、「十分反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた『反映されている』は、「職場」が61.8%と最も高く、次いで「PTA、保護者会」(57.6%)、「町内会などの自治体」(49.1%)、となっている。

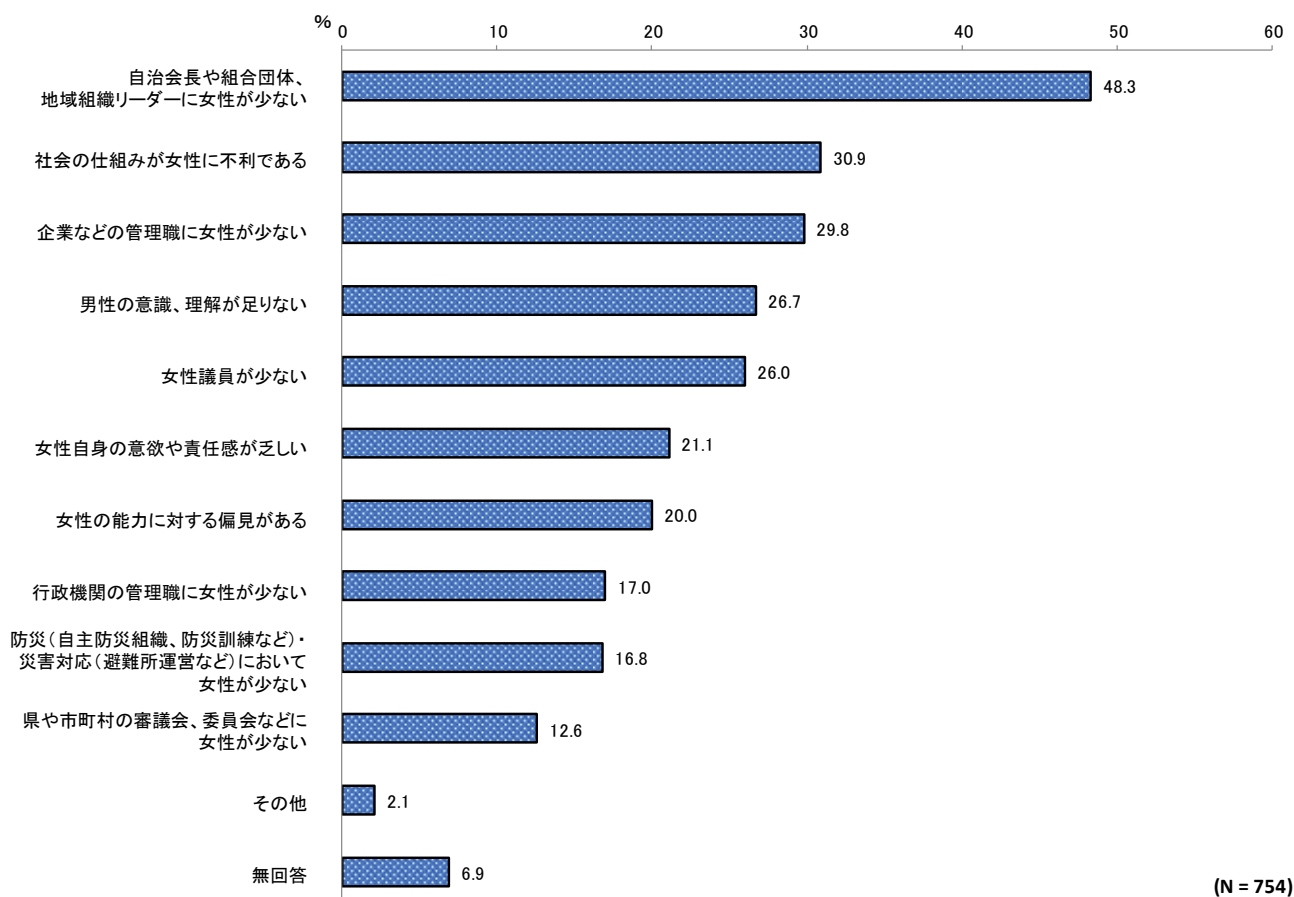
「あまり反映されていない」と「ほとんど反映されていない」を合わせた『反映されていない』は、「政治」が46.1%と最も高く、次いで「県や市町村の施策」(33.4%)、「防災・災害対応」(33.0%)となっている。



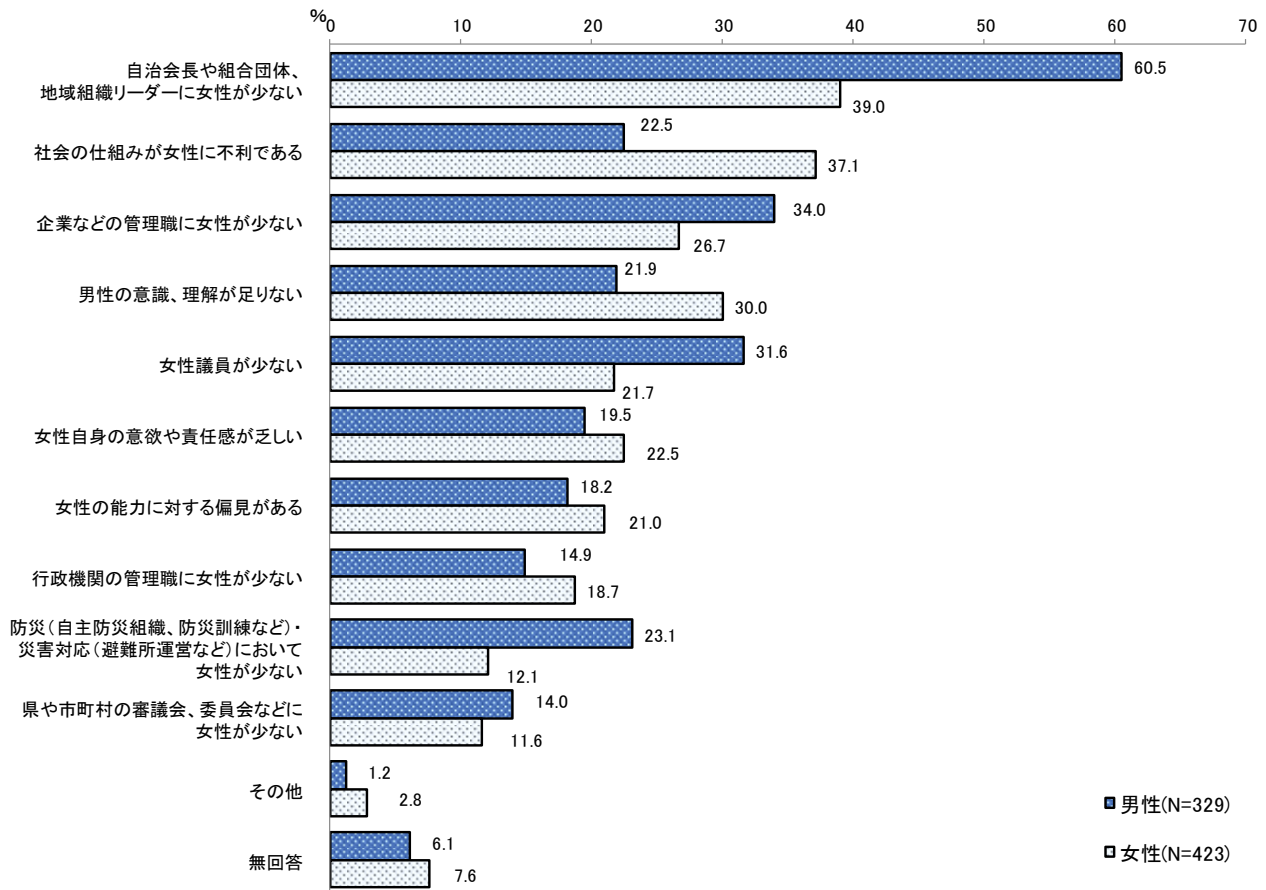
【性別】いずれの項目も、男性が女性よりも『反映されている』と回答した割合が高く、「町内会などの自治体」では10.6ポイントの差がみられた。

(問5で「3 あまり反映されていない」または「4 ほとんど反映されていない」と答えた方が回答)

問5-1 反映されていない理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】反映されていない理由については、「自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない」が48.3%と最も高く、次いで「社会の仕組みが女性に不利である」(30.9%)、「企業などの管理職に女性が少ない」(29.8%)となっている。



【性別】最も差がみられた「自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない」では、男性（60.5%）が女性（39.0%）より 21.5 ポイント高い。次いで差がみられた「社会の仕組みが女性に不利である」では、女性（37.1%）が男性（22.5%）より 14.6 ポイント高い。

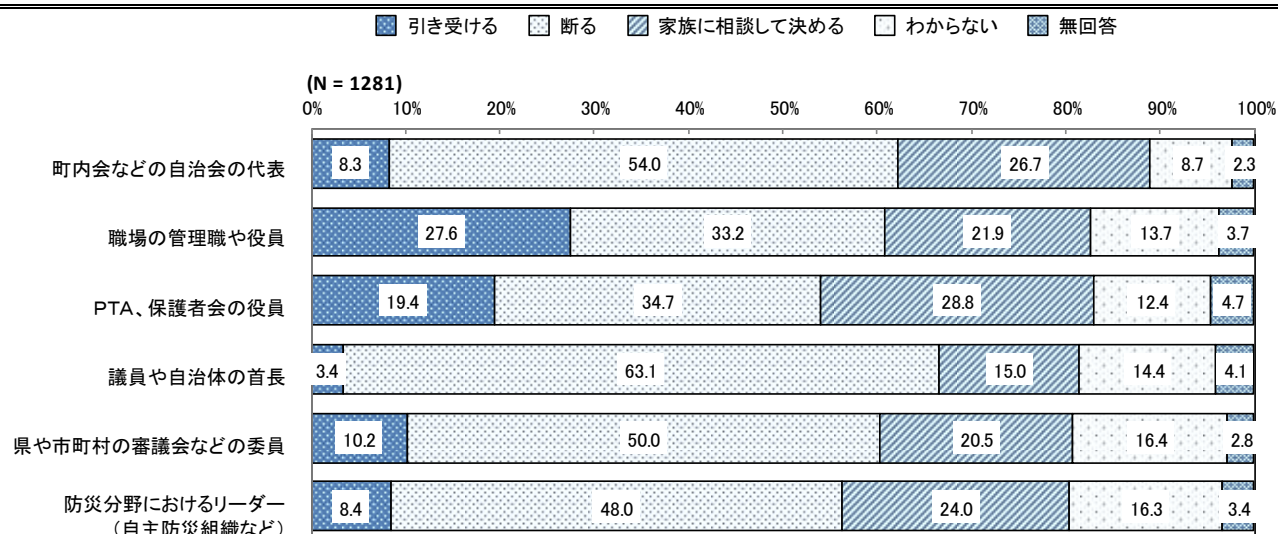
	全体	反映されていない理由												
		自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない	企業などの管理職に女性が少ない	女性議員が少ない	行政機関の管理職に女性が少ない	県や市町村の審議会、委員会などに女性が少ない	防災(自主防災組織、防災訓練など)・災害対応(避難所運営など)において女性が少ない	女性自身の意欲や責任感が乏しい	男性の意識、理解が足りない	社会の仕組みが女性に不利である	女性の能力に対する偏見がある	その他	無回答	
全体	754	48.3	29.8	26.0	17.0	12.6	16.8	21.1	26.7	30.9	20.0	2.1	6.9	
性・年齢別	男性(計)	329	60.5	34.0	31.6	14.9	14.0	23.1	19.5	21.9	22.5	18.2	1.2	6.1
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	7	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	22	54.5	18.2	0.0	0.0	13.6	9.1	4.5	27.3	36.4	18.2	9.1	18.2
	男性・40歳～49歳	57	68.4	36.8	31.6	12.3	10.5	21.1	31.6	21.1	17.5	17.5	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	77	61.0	39.0	29.9	24.7	5.2	28.6	20.8	20.8	33.8	9.1	0.0	3.9
	男性・60歳～64歳	42	57.1	26.2	33.3	4.8	16.7	23.8	19.0	33.3	16.7	26.2	0.0	9.5
	男性・65歳～69歳	43	65.1	39.5	51.2	25.6	27.9	14.0	18.6	18.6	18.6	14.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	81	55.6	34.6	32.1	12.3	16.0	28.4	14.8	17.3	16.0	24.7	2.5	11.1
	女性(計)	423	39.0	26.7	21.7	18.7	11.6	12.1	22.5	30.0	37.1	21.0	2.8	7.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	14	57.1	85.7	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	53	35.8	15.1	30.2	18.9	11.3	9.4	13.2	26.4	35.8	18.9	0.0	9.4
	女性・40歳～49歳	84	35.7	23.8	17.9	14.3	9.5	10.7	15.5	35.7	40.5	22.6	9.5	7.1
	女性・50歳～59歳	119	44.5	22.7	16.8	20.2	9.2	9.2	28.6	33.6	38.7	17.6	3.4	6.7
	女性・60歳～64歳	49	32.7	34.7	26.5	20.4	16.3	16.3	18.4	30.6	38.8	32.7	0.0	8.2
	女性・65歳～69歳	34	38.2	26.5	23.5	17.6	17.6	5.9	29.4	26.5	32.4	20.6	0.0	8.8
女性・70歳以上	66	39.4	30.3	24.2	25.8	15.2	18.2	27.3	22.7	30.3	18.2	0.0	9.1	
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	

【性・年齢別】「自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない」では、「20歳～29歳」を除くすべての年齢層において男性の方が女性よりも高くなっている。

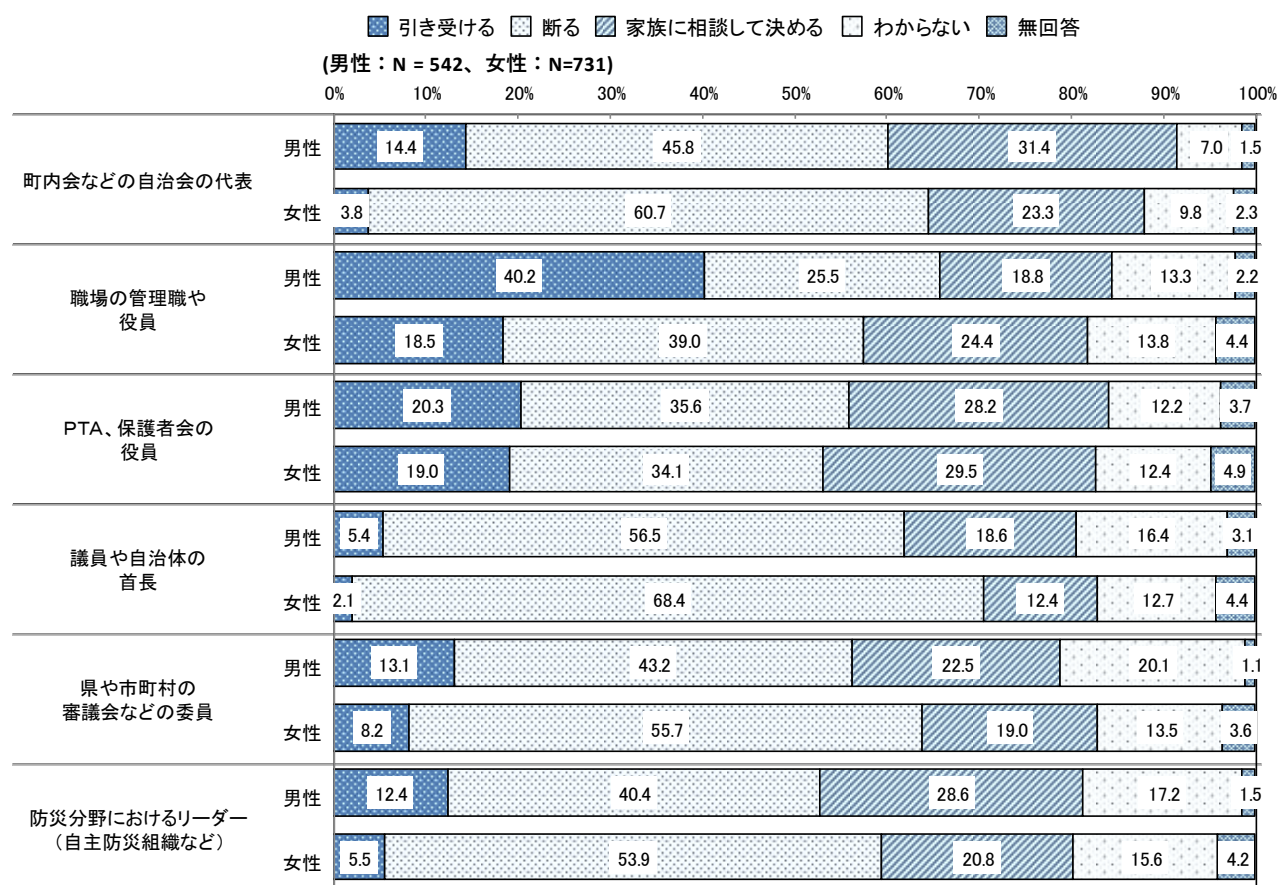
「社会の仕組みが女性に不利である」では、「20歳～29歳」及び「30歳～39歳」を除くすべての年齢層において、女性の方が男性よりも高くなっている。

(6) 役職の要請への対応

問6 あなたは、次の役職について要請があった場合、引き受けますか。(それぞれ〇は1つ)



【全体】役職の要請への対応については、いずれの役職でも「断る」が最も高く、「議員や自治体の首長」では63.1%と最も高く、次いで「町内会などの自治会の代表」(54.0%)、「県や市町村の審議会などの委員」(50.0%)となっている。「引き受ける」は、「職場の管理職や役員」で唯一2割を超えている。

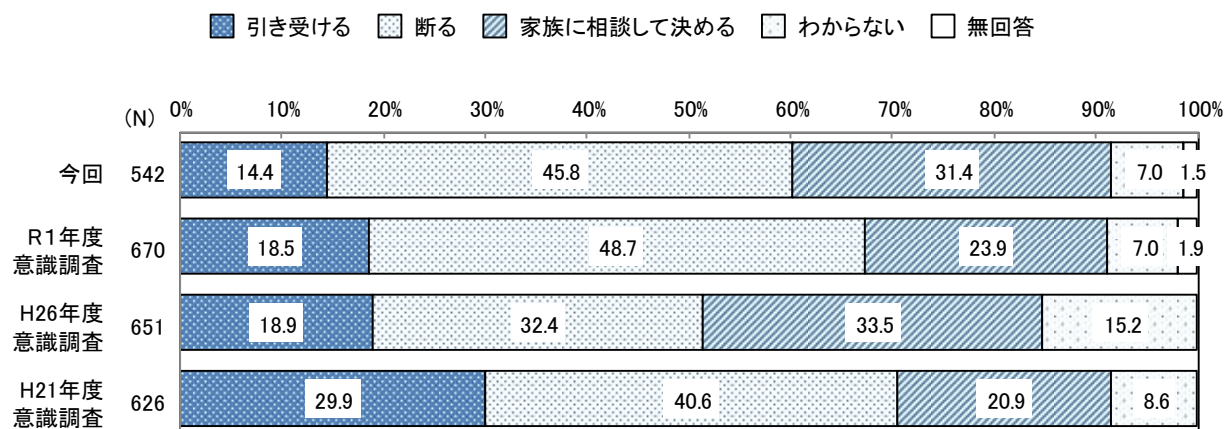


【性別】「引き受ける」は、いずれの役職でも男性の方が女性よりも高い。「断る」は、「PTA、保護者会の役員」のみ女性(34.1%)が男性(35.6%)よりも低くなっている。

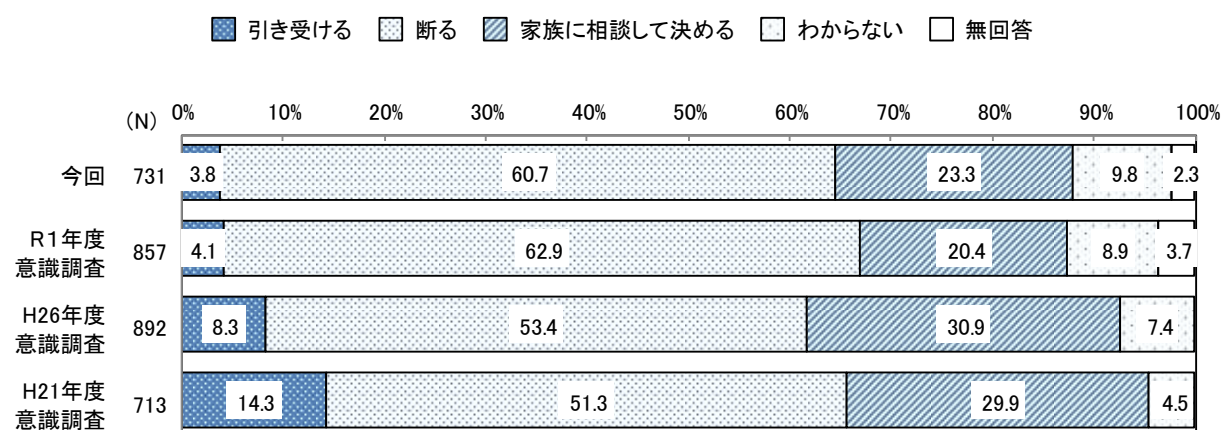
「家族に相談して決める」は、「職場の管理職や役員」と「PTA、保護者会の役員」を除き、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【町内会などの自治会の代表】

男性



女性

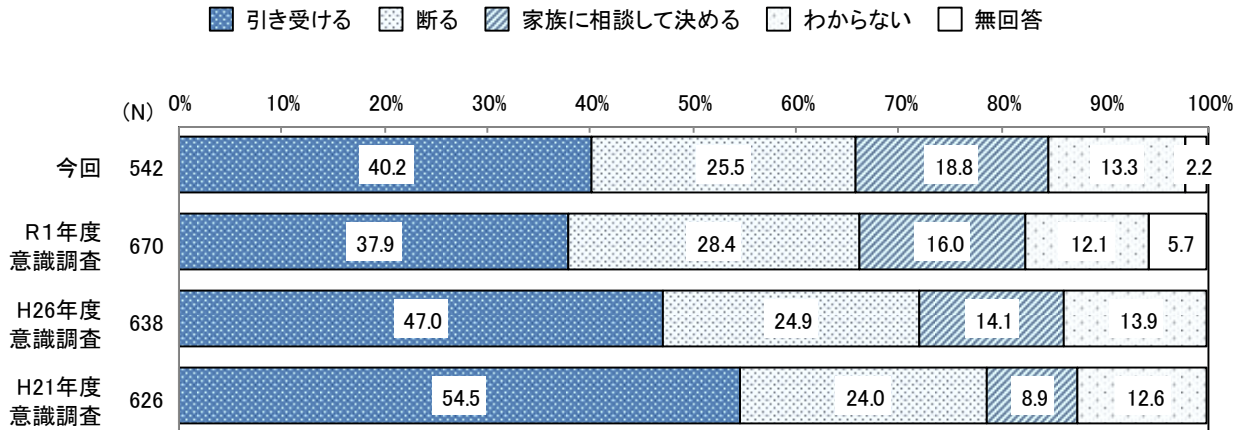


【性別】男女ともに「引き受ける」は減少傾向となり、今回調査では男性が14.4%、女性が3.8%と最も低くなっている。「断る」は男女ともに令和元年度調査より減少している。

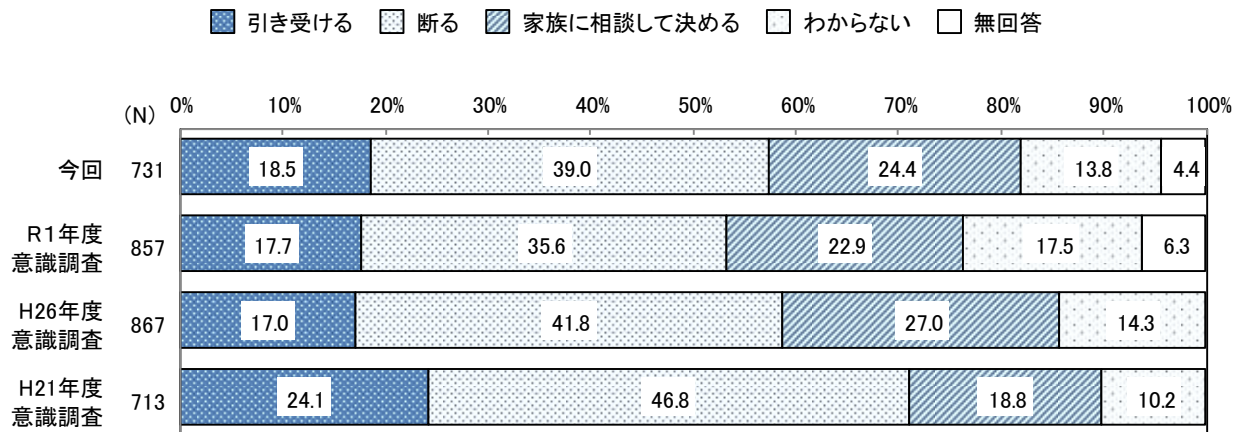
※H21・26年度調査は「PTA・町内会などの代表」となっている。

過去調査との比較【職場の管理職や役員】

男性



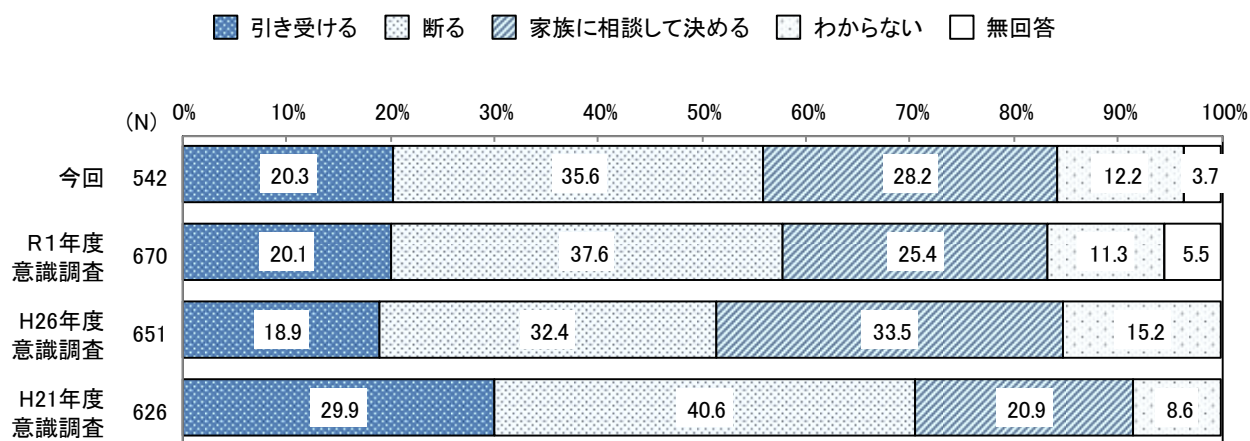
女性



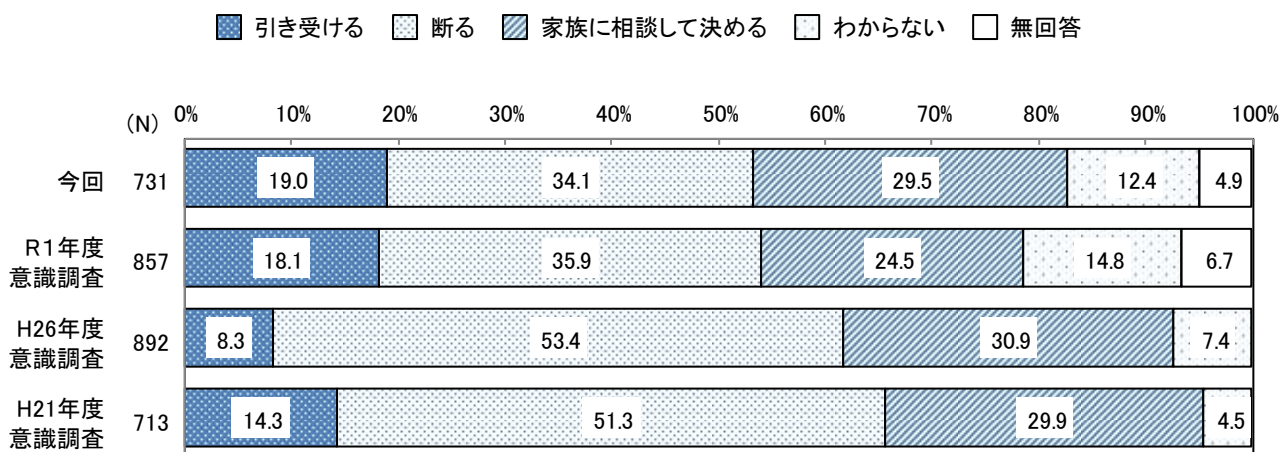
【性別】令和元年度調査と比較すると、「引き受ける」は男性では2.3ポイント増加し、女性では0.8ポイント増加した。「断る」は男性では2.9ポイント減少しているが、女性では3.4ポイント増加している。

過去調査との比較【PTA、保護者会の役員】

男性



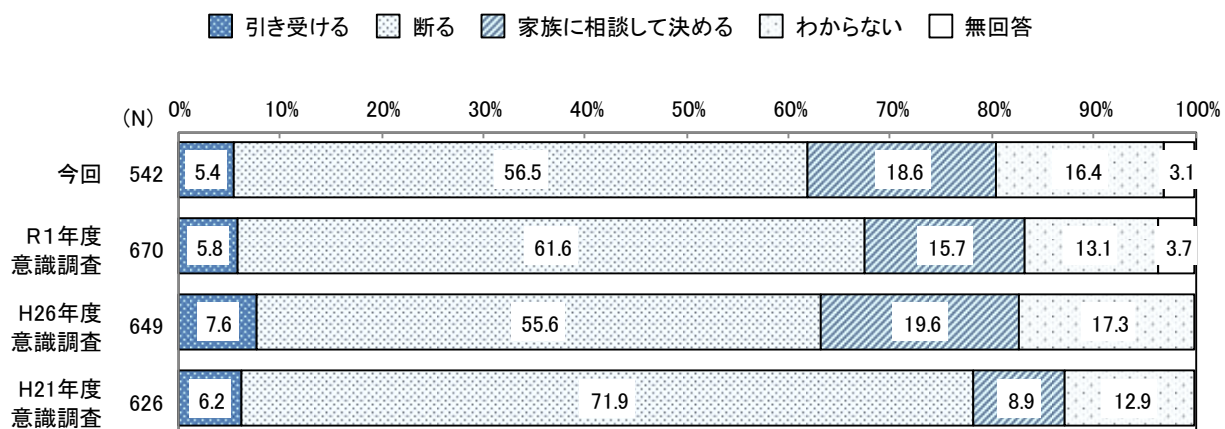
女性



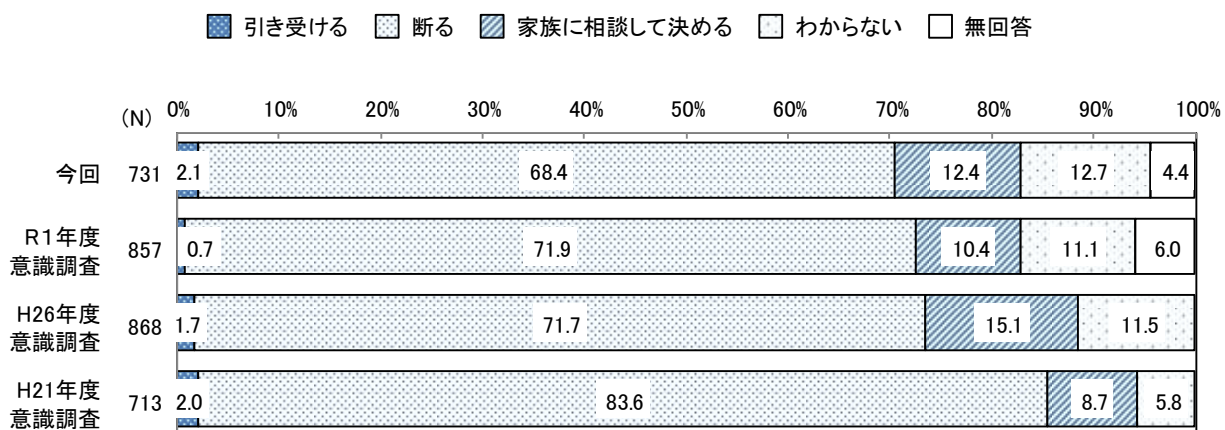
【性別】令和元年度調査と比較すると、「引き受ける」は女性では0.9ポイント増加している。「断る」は男女ともに減少している。

過去調査との比較【議員や自治体の首長】

男性



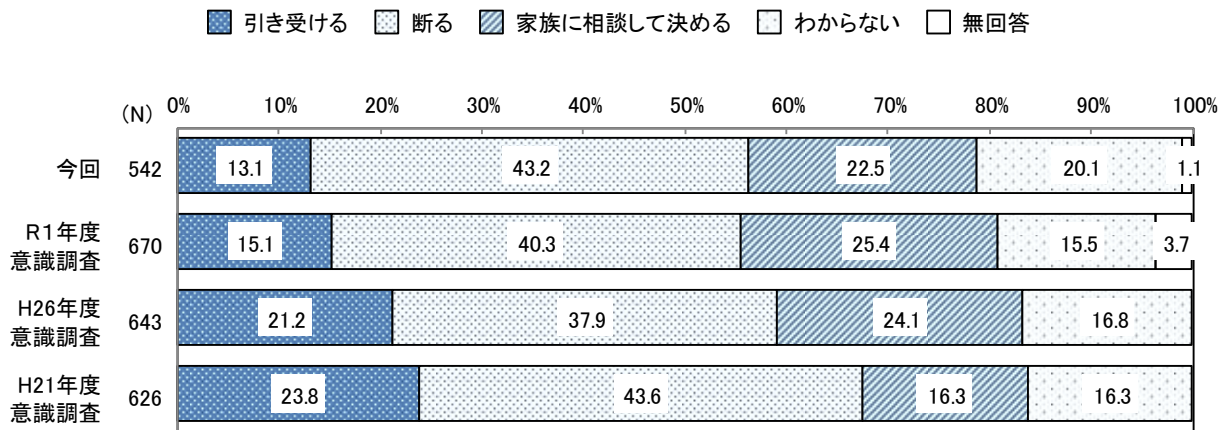
女性



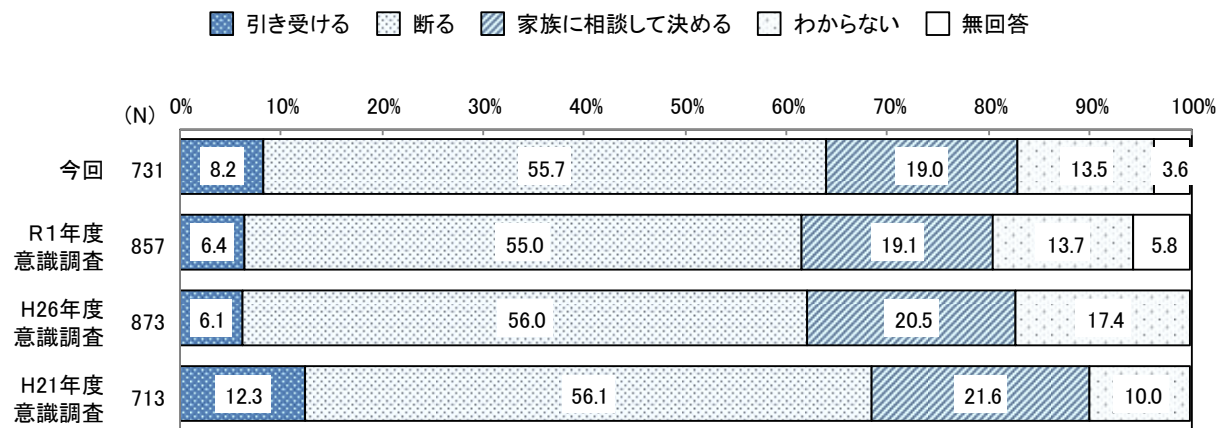
【性別】「引き受ける」は、令和元年度調査から男性は0.4ポイント減少し、女性は1.4ポイント増加した。また、「断る」は男女ともに減少している。

過去調査との比較【県や市町村の審議会などの委員】

男性



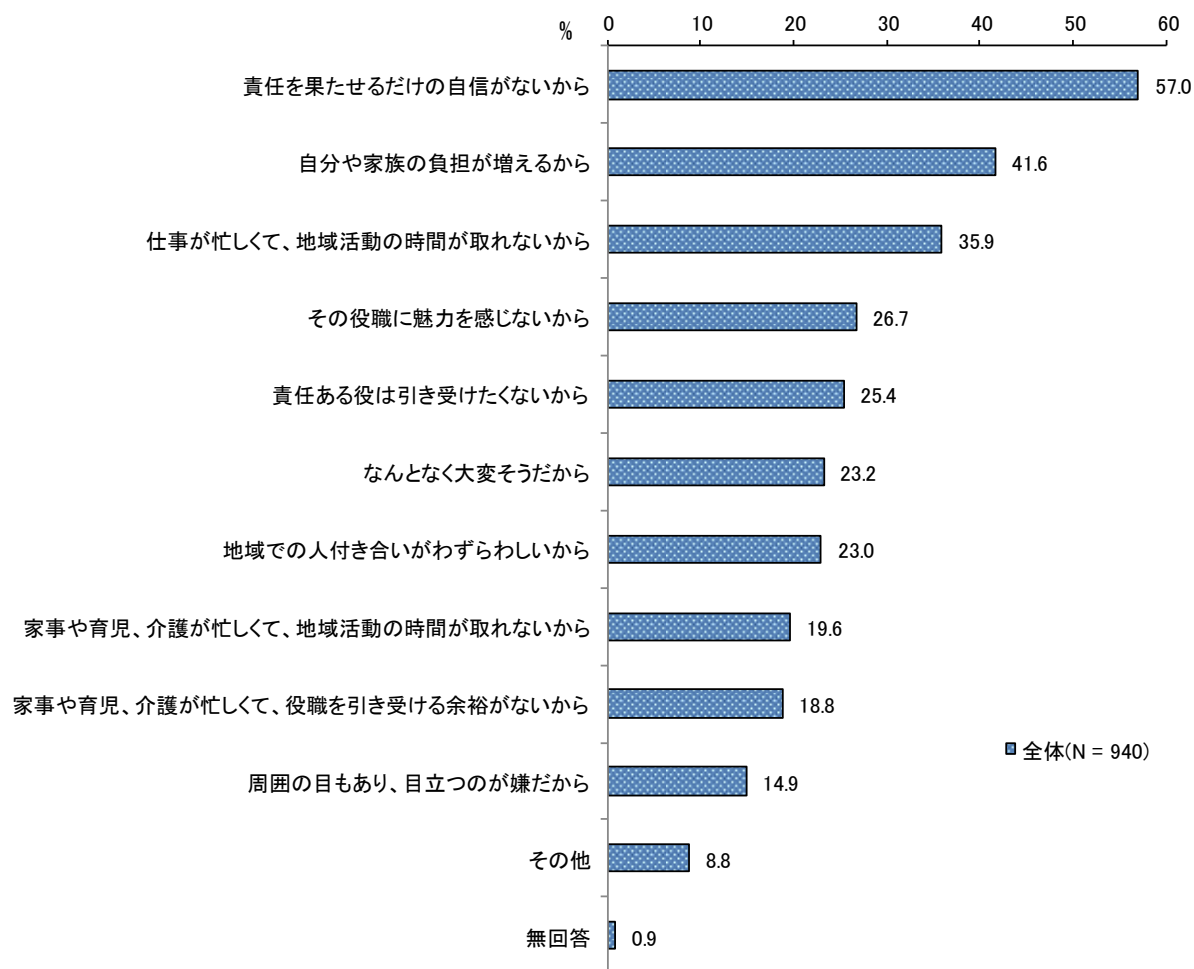
女性



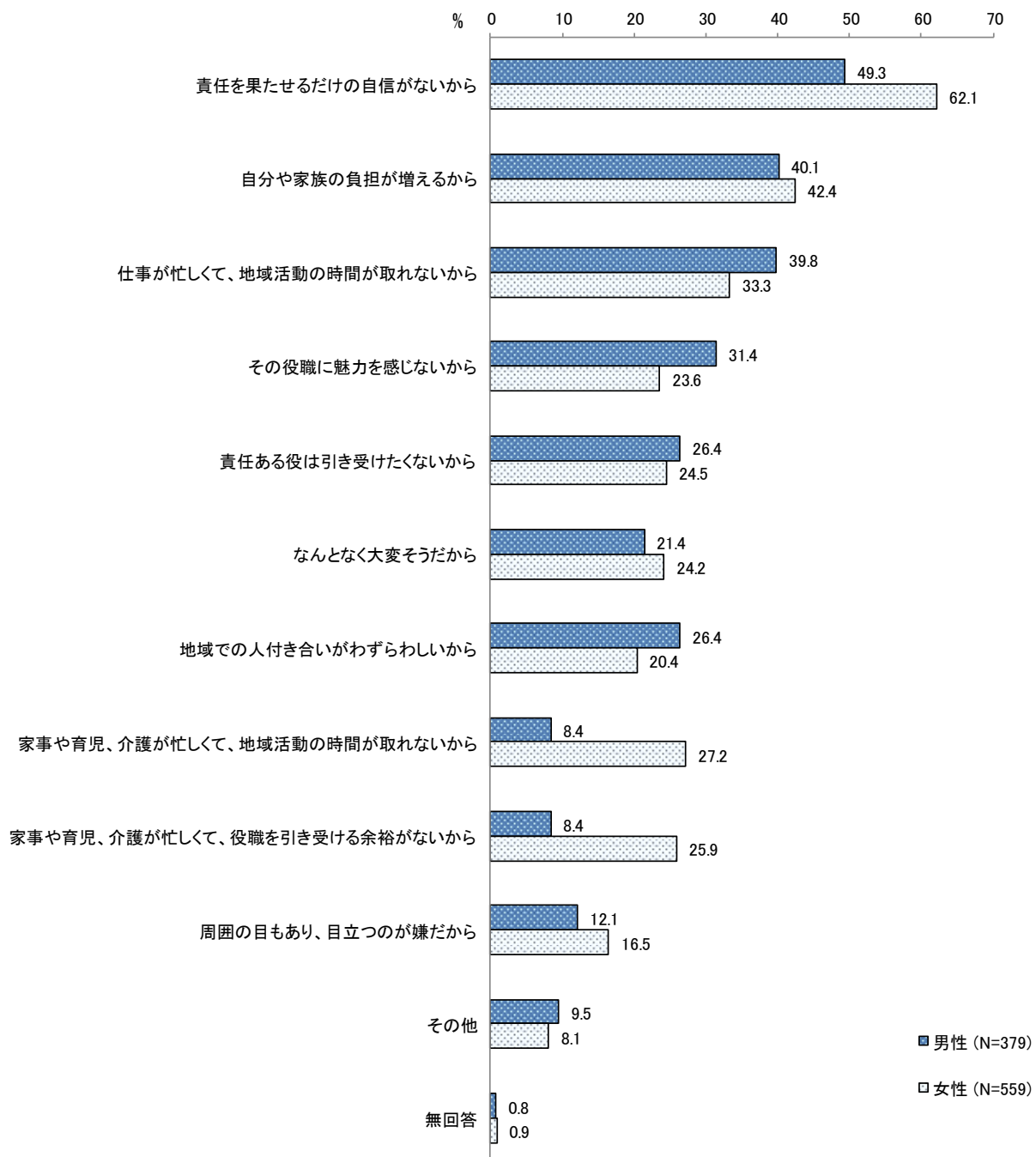
【性別】令和元年度調査と比較すると、「引き受ける」は男性が2.0ポイント減少し、女性では1.8ポイント増加した。「断る」は男性が2.9ポイント増加しているが、女性では大きな差はみられない。

(問6で「2 断る」と答えた方が回答)

問6-1 その理由は、どのようなことですか。あなたの考えに近いものをお答えください。
(○はあてはまるものすべて)



【全体】断る理由については、「責任を果たせるだけの自信がないから」が57.0%と最も高く、次いで「自分や家族の負担が増えるから」(41.6%)、「仕事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから」(35.9%)となっている。



【性別】最も差がみられた「家事や育児、介護が忙しくて、地域活動の時間が取れないから」では、女性(27.2%)が男性(8.4%)より18.8ポイント高くなっている。次いで差がみられた「家事や育児、介護が忙しくて、役職を引き受ける余裕がないから」では、女性(25.9%)が男性(8.4%)より17.5ポイント高くなっている。

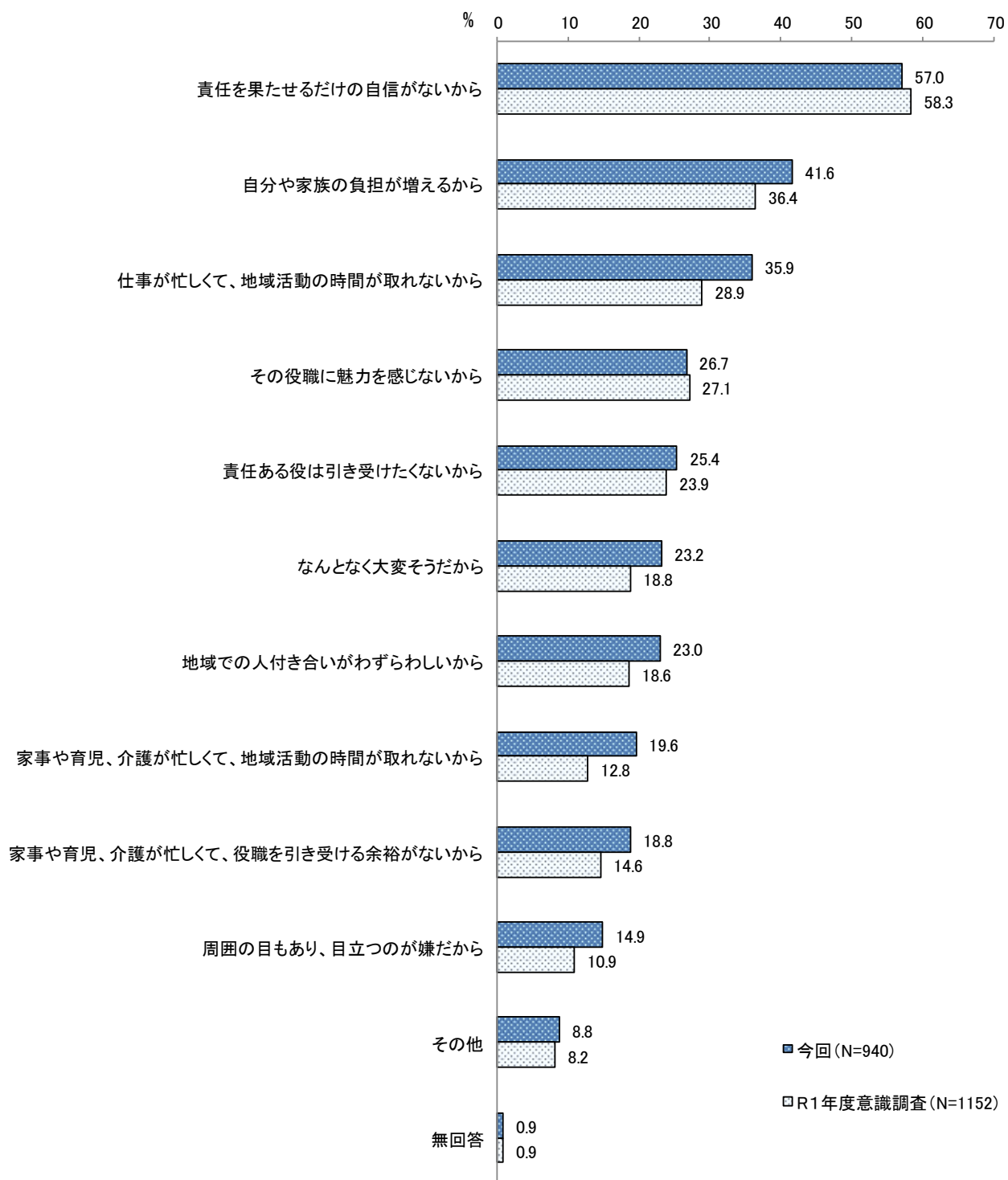
	全体	要請を断る理由												
		仕事 が 忙 し く て 、 地 域 活 動 の 時 間 が 取 れ な い か ら	地 域 活 動 の 時 間 が 取 れ な い か ら	家 事 や 育 児 、 介 護 が 忙 し く て 、 介 護 が 取 れ な い か ら	役 職 を 引 き 受 け る 余 裕 が な い か ら	家 事 や 育 児 、 介 護 が 忙 し く て 、 介 護 が 取 れ な い か ら	地 域 で の 人 付 き 合 い が わ ず ら わ ら な い	責 任 あ る 役 は 引 き 受 け た く な い	責 任 を 果 た せ る だ け の 自 信 が な い	な ん と な く 大 変 そ う だ か ら	自 分 や 家 族 の 負 担 が 増 え る か ら	周 圍 の 目 も あ り 、 目 立 つ の が 嫌 だ か ら	そ の 役 職 に 魅 力 を 感 じ な い か ら	そ の 他
全体	940	35.9	19.6	18.8	23.0	25.4	57.0	23.2	41.6	14.9	26.7	8.8	0.9	
性・年齢別	男性(計)	379	39.8	8.4	8.4	26.4	26.4	49.3	21.4	40.1	12.1	31.4	9.5	0.8
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	13	30.8	0.0	0.0	30.8	38.5	61.5	46.2	53.8	38.5	38.5	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	29	51.7	48.3	34.5	41.4	34.5	44.8	41.4	58.6	13.8	37.9	0.0	3.4
	男性・40歳～49歳	68	50.0	8.8	11.8	29.4	20.6	41.2	22.1	42.6	5.9	42.6	5.9	0.0
	男性・50歳～59歳	100	50.0	8.0	10.0	20.0	24.0	43.0	18.0	36.0	15.0	30.0	6.0	0.0
	男性・60歳～64歳	35	45.7	0.0	0.0	28.6	34.3	54.3	28.6	34.3	5.7	22.9	5.7	0.0
	男性・65歳～69歳	51	31.4	3.9	3.9	31.4	27.5	60.8	27.5	37.3	19.6	41.2	11.8	3.9
	男性・70歳以上	83	19.3	2.4	2.4	21.7	25.3	54.2	7.2	38.6	7.2	18.1	21.7	0.0
	女性(計)	559	33.3	27.2	25.9	20.4	24.5	62.1	24.2	42.4	16.5	23.6	8.1	0.9
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	18	33.3	22.2	33.3	33.3	33.3	55.6	33.3	44.4	22.2	44.4	11.1	0.0
	女性・30歳～39歳	67	47.8	49.3	52.2	26.9	41.8	65.7	40.3	49.3	26.9	40.3	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	109	48.6	43.1	39.4	22.0	21.1	56.0	26.6	53.2	19.3	22.9	2.8	0.0
	女性・50歳～59歳	160	38.1	25.0	23.8	20.0	16.3	62.5	15.6	35.0	13.1	24.4	10.6	0.6
	女性・60歳～64歳	58	27.6	24.1	29.3	20.7	24.1	79.3	24.1	48.3	17.2	29.3	0.0	0.0
	女性・65歳～69歳	54	13.0	9.3	5.6	7.4	25.9	68.5	14.8	35.2	11.1	16.7	7.4	0.0
	女性・70歳以上	89	12.4	10.1	3.4	18.0	29.2	52.8	29.2	39.3	11.2	5.6	21.3	4.5
無回答	2	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	

【性・年齢別】「責任を果たせるだけの自信がないから」では、「20歳～29歳」と「70歳以上」を除くすべての年齢層において女性の方が男性よりも高くなっている。特に、女性の「60歳～64歳」で唯一7割を超え高くなっている。

「自分や家族の負担が増えるから」では、男性の「20歳～29歳」と「30歳～39歳」、女性の「40歳～49歳」で5割を超え高くなっている。

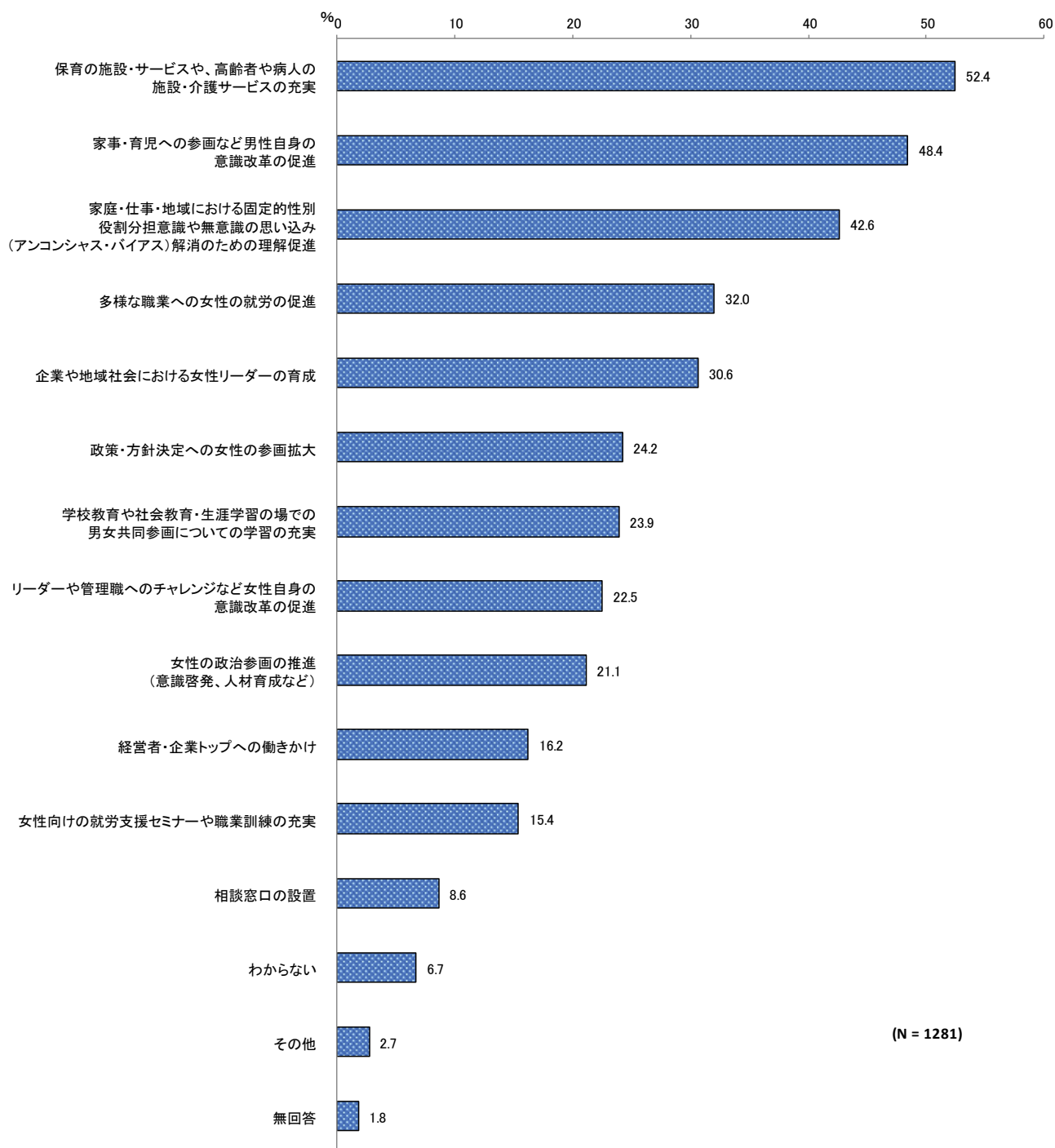
「仕事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから」では、男性の「20歳～29歳」を除くすべての年齢層において、男性の方が女性よりも高くなっている。特に、男性の「30歳～39歳」、「40歳～49歳」、「50歳～59歳」では5割以上となっている。

過去調査との比較【要請を断る理由】

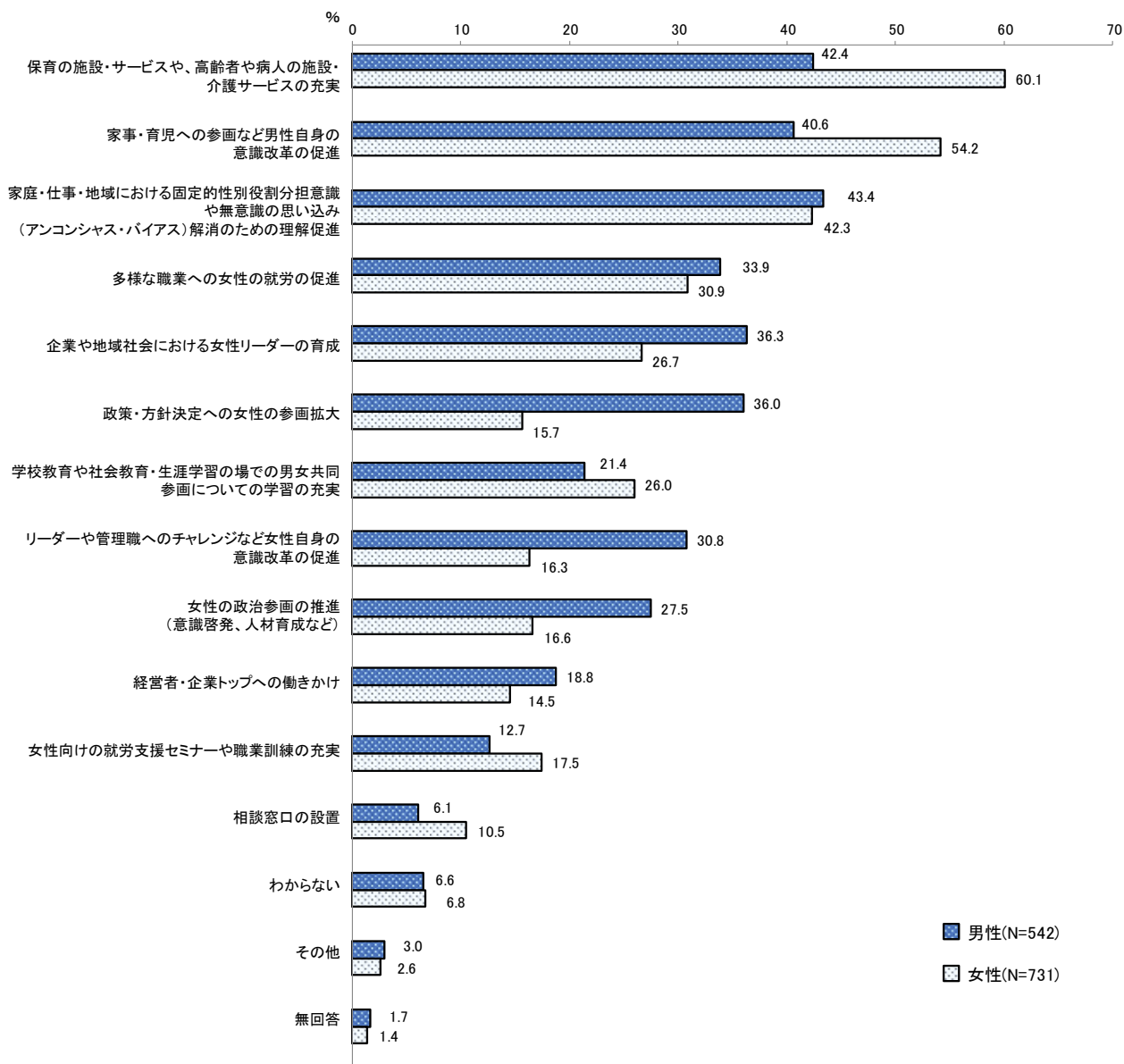


(7) 女性の社会参画の促進や地位向上のために必要な県や市町村の取組み

問7 女性の社会参画の促進や社会的地位向上を図るために、県や市町村は、今後どのような取組みが必要だと思いますか。(〇は5つまで)



【全体】女性の社会参画の促進や地位向上のために必要な県や市町村の取組みについては、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスの充実」が52.4%と最も高く、次いで「家事・育児への参画など男性自身の意識改革の促進」(48.4%)、「家庭・仕事・地域における固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)解消のための理解促進」(42.6%)となっている。



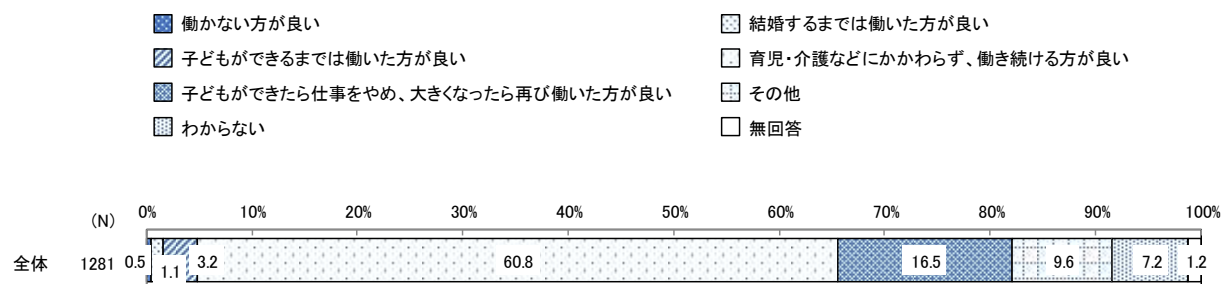
【性別】最も差がみられた「政策・方針決定への女性の参画拡大」では、男性（36.0%）が女性（15.7%）より20.3ポイント高い。次いで差がみられた「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスの充実」では、女性（60.1%）が男性（42.4%）よりも17.7ポイント高い。

	全 体	県や市町村の今後必要な取組み															
		分 担 意 識 ・ パ イ ア ス ） 解 消 の た め の 理 解 促 進	家 庭 ・ 仕 事 ・ 地 域 に お け る 固 定 的 性 別 役 割	多 様 な 職 業 へ の 女 性 の 就 労 の 促 進	充 実 の 女 性 向 け の 就 労 支 援 セ ミ ナ ー や 職 業 訓 練 の	政 策 ・ 方 針 決 定 へ の 女 性 の 参 画 拡 大	女 性 の 政 治 参 画 の 推 進 （ 意 識 啓 発 、 人 材 育 成 な ど ）	成 業 や 地 域 社 会 に お け る 女 性 リ ー ダ ー の 育	経 営 者 ・ 企 業 ト ッ プ へ の 働 き か け	革 の 促 進 家 事 ・ 育 児 へ の 参 画 な ど 男 性 自 身 の 意 識 改	リ ー ダ ー や 管 理 職 へ の チャ レ ン ジ な ど 女 性 自 身 の 意 識 改 革 の 促 進	学 校 教 育 や 社 会 教 育 ・ 生 涯 学 習 の 場 で の 男 女 共 同 参 画 に つ い て の 学 習 の 充 実	相 談 窓 口 の 設 置	保 育 の 施 設 ・ サ ー ビ ス や 、 高 齢 者 や 病 人 の 施 設 ・ 介 護 サ ー ビ ス の 充 実	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1281	42.6	32.0	15.4	24.2	21.1	30.6	16.2	48.4	22.5	23.9	8.6	52.4	2.7	6.7	1.8	
性・年齢別	男性(計)	542	43.4	33.9	12.7	36.0	27.5	36.3	18.8	40.6	30.8	21.4	6.1	42.4	3.0	6.6	1.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	40.0	35.0	0.0	20.0	25.0	5.0	10.0	40.0	30.0	15.0	0.0	25.0	0.0	10.0	0.0
	男性・30歳～39歳	37	59.5	24.3	2.7	24.3	16.2	35.1	5.4	45.9	24.3	37.8	0.0	56.8	0.0	21.6	0.0
	男性・40歳～49歳	94	36.2	28.7	12.8	27.7	20.2	36.2	33.0	30.9	22.3	16.0	8.5	35.1	8.5	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	47.6	29.0	11.0	34.5	21.4	33.1	23.4	38.6	32.4	22.8	4.1	42.8	2.8	5.5	1.4
	男性・60歳～64歳	64	42.2	42.2	17.2	23.4	28.1	46.9	6.3	42.2	35.9	18.8	12.5	40.6	0.0	3.1	4.7
	男性・65歳～69歳	60	40.0	50.0	21.7	58.3	38.3	31.7	23.3	51.7	38.3	20.0	6.7	43.3	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	42.1	33.9	13.2	45.5	38.8	43.0	12.4	42.1	30.6	22.3	5.0	47.1	3.3	9.9	3.3
	女性(計)	731	42.3	30.9	17.5	15.7	16.6	26.7	14.5	54.2	16.3	26.0	10.5	60.1	2.6	6.8	1.4
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	61.5	23.1	23.1	15.4	0.0	30.8	15.4	53.8	15.4	23.1	7.7	69.2	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	35.3	32.9	14.1	17.6	14.1	12.9	22.4	45.9	12.9	30.6	2.4	64.7	8.2	4.7	2.4
	女性・40歳～49歳	147	44.2	33.3	17.7	15.0	13.6	19.0	21.1	49.7	17.0	20.4	10.9	58.5	2.7	4.8	1.4
	女性・50歳～59歳	198	49.5	27.8	12.6	14.6	20.7	32.8	15.7	55.1	15.2	31.3	8.6	58.1	3.0	5.1	1.0
	女性・60歳～64歳	76	50.0	36.8	18.4	13.2	18.4	30.3	9.2	55.3	11.8	27.6	9.2	71.1	2.6	10.5	0.0
	女性・65歳～69歳	71	39.4	35.2	16.9	19.7	18.3	36.6	4.2	62.0	22.5	21.1	4.2	62.0	0.0	8.5	0.0
	女性・70歳以上	124	25.8	28.2	25.0	15.3	15.3	25.8	7.3	58.9	19.4	21.0	24.2	52.4	0.0	12.1	3.2
無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	

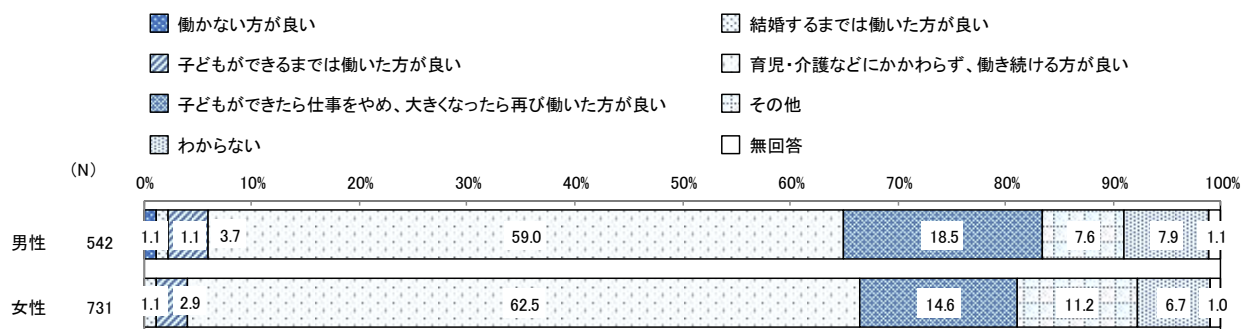
【性・年齢別】「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスの充実」では、すべての年齢層において、女性の方が男性よりも高くなっている。特に、女性の「60歳～64歳」で、唯一7割を超え高くなっている。

(8) 女性が仕事に就くことへの意識

問8 あなたは、女性が仕事に就くことについてどう考えますか。(〇は1つ)



【全体】女性が仕事に就くことへの意識については、「育児・介護などにかかわらず、働き続ける方が良い」が60.8%と最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」(16.5%)、「その他」(9.6%)となっている。



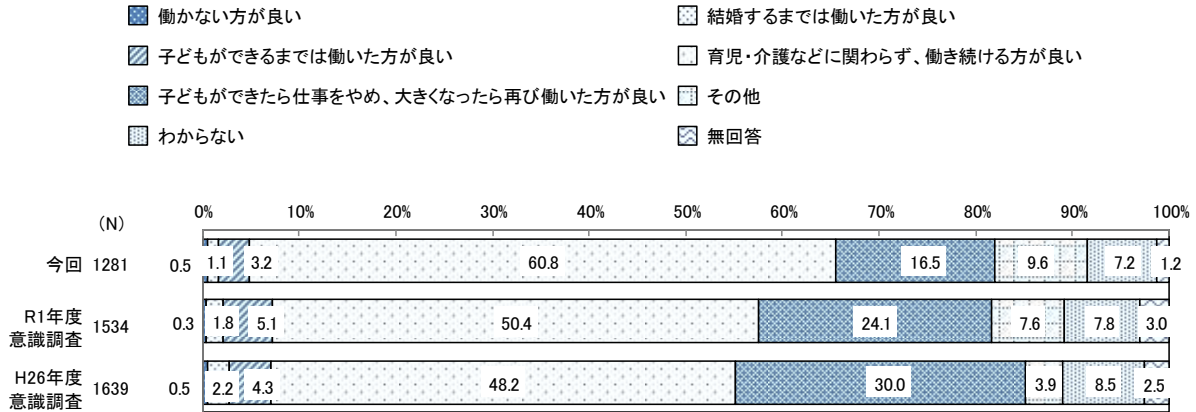
【性別】「育児・介護などにかかわらず、働き続ける方が良い」は男女ともに半数を超えた。「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は男性(18.5%)が女性(14.6%)より3.9ポイント高くなっている。

	全体	女性が仕事に就くことについて								
		働かない方が 良い	結婚するま では働いた 方が良い	子どもがで きるまでは 働いた方が 良い	育児・介護な どにかかわ らず、働き続 ける方が良 い	子どもがで きたら仕事 をやめ、大き くなったら再 び働いた方 が良い	その他	わからない	無回答	
全体	1281	0.5	1.1	3.2	60.8	16.5	9.6	7.2	1.2	
性・ 年齢別	男性(計)	542	1.1	1.1	3.7	59.0	18.5	7.6	7.9	1.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	10.0	0.0	20.0	40.0	5.0	10.0	15.0	0.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	59.5	5.4	16.2	18.9	0.0
	男性・40歳～49歳	94	2.1	0.0	0.0	46.8	25.5	9.6	13.8	2.1
	男性・50歳～59歳	145	0.0	1.4	2.8	62.1	16.6	9.7	6.2	1.4
	男性・60歳～64歳	64	0.0	3.1	4.7	65.6	17.2	3.1	6.3	0.0
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	3.3	81.7	11.7	3.3	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	1.7	1.7	5.8	53.7	24.8	5.0	5.8	1.7
	女性(計)	731	0.0	1.1	2.9	62.5	14.6	11.2	6.7	1.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	0.0	69.2	23.1	0.0	0.0	7.7
	女性・30歳～39歳	85	0.0	0.0	3.5	55.3	17.6	16.5	7.1	0.0
	女性・40歳～49歳	147	0.0	1.4	1.4	50.3	16.3	21.1	9.5	0.0
	女性・50歳～59歳	198	0.0	1.0	4.0	73.7	4.0	12.6	3.5	1.0
	女性・60歳～64歳	76	0.0	0.0	0.0	77.6	10.5	5.3	5.3	1.3
	女性・65歳～69歳	71	0.0	0.0	2.8	62.0	16.9	4.2	14.1	0.0
	女性・70歳以上	124	0.0	3.2	4.8	54.0	25.8	4.0	6.5	1.6
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0

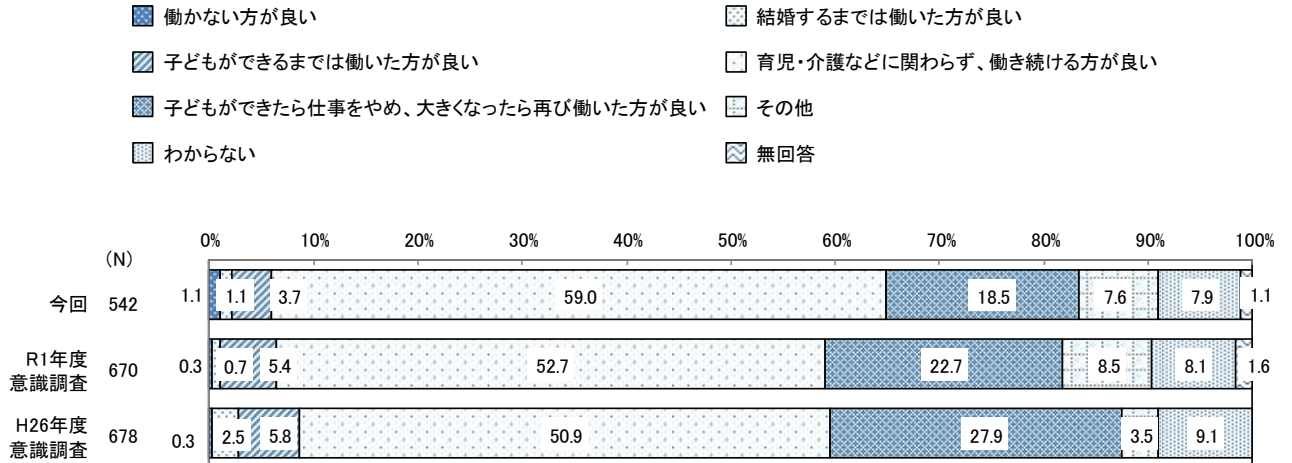
【性・年齢別】「育児・介護などにかかわらず、働き続ける方が良い」では、「30歳～39歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層において、男性の方が女性よりも低くなっている。

過去調査との比較

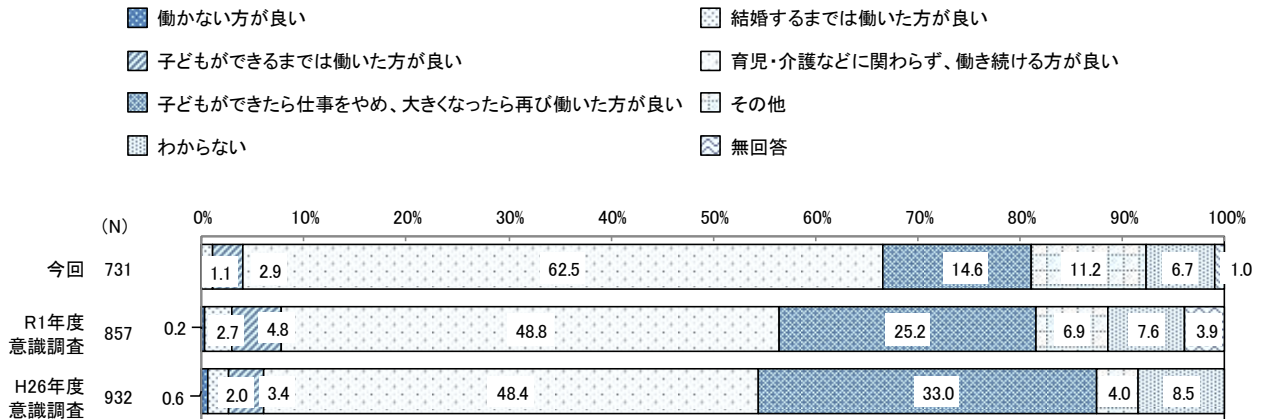
全体



男性



女性



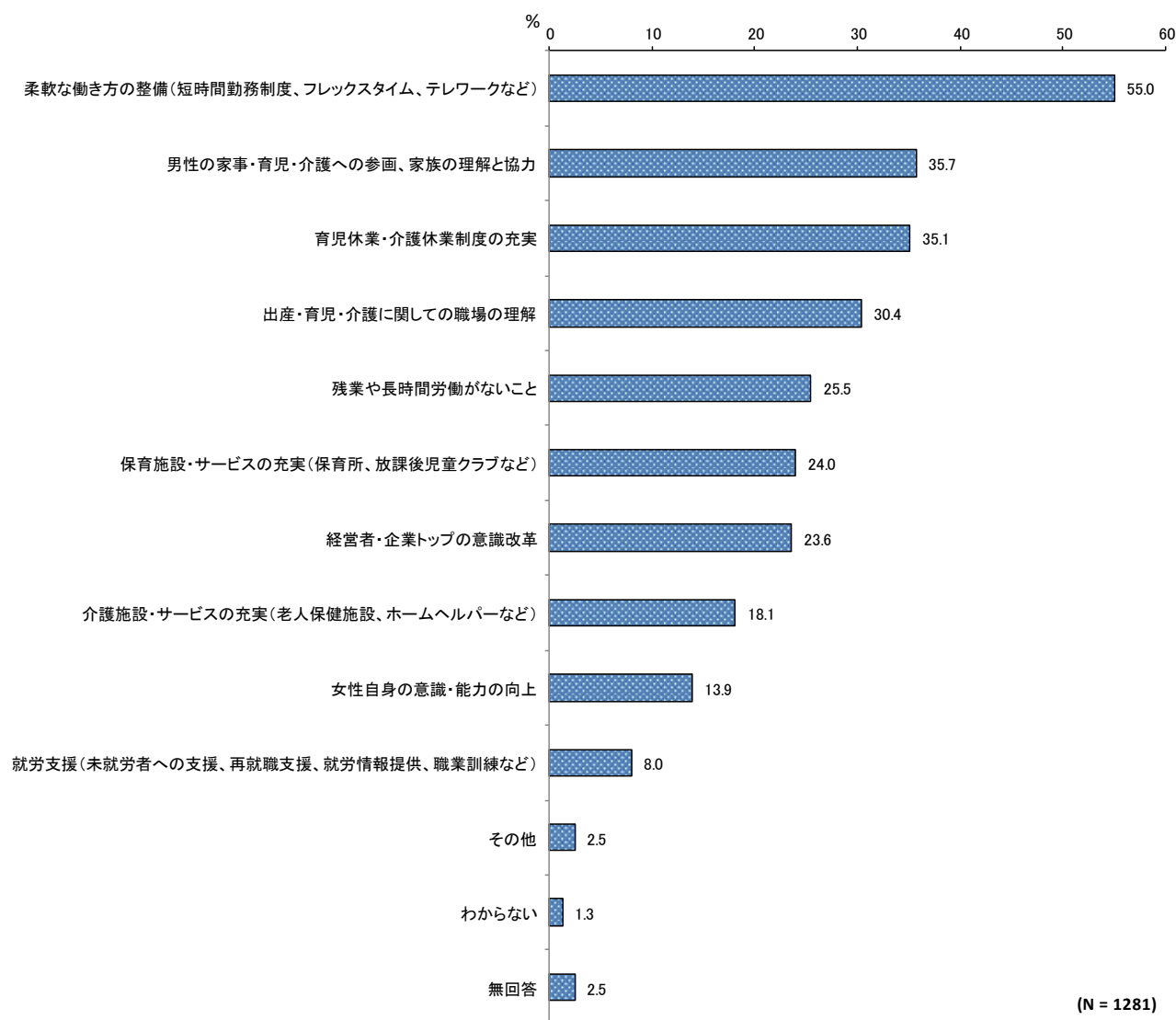
※H26年度調査では、「育児・介護などに関わらず、働き続ける方が良い」は「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」となっている。

【全体】令和元年度調査と比較すると、「育児・介護などに関わらず、働き続ける方が良い」が10.4ポイント増加しているのに対し、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は7.6ポイント減少している。

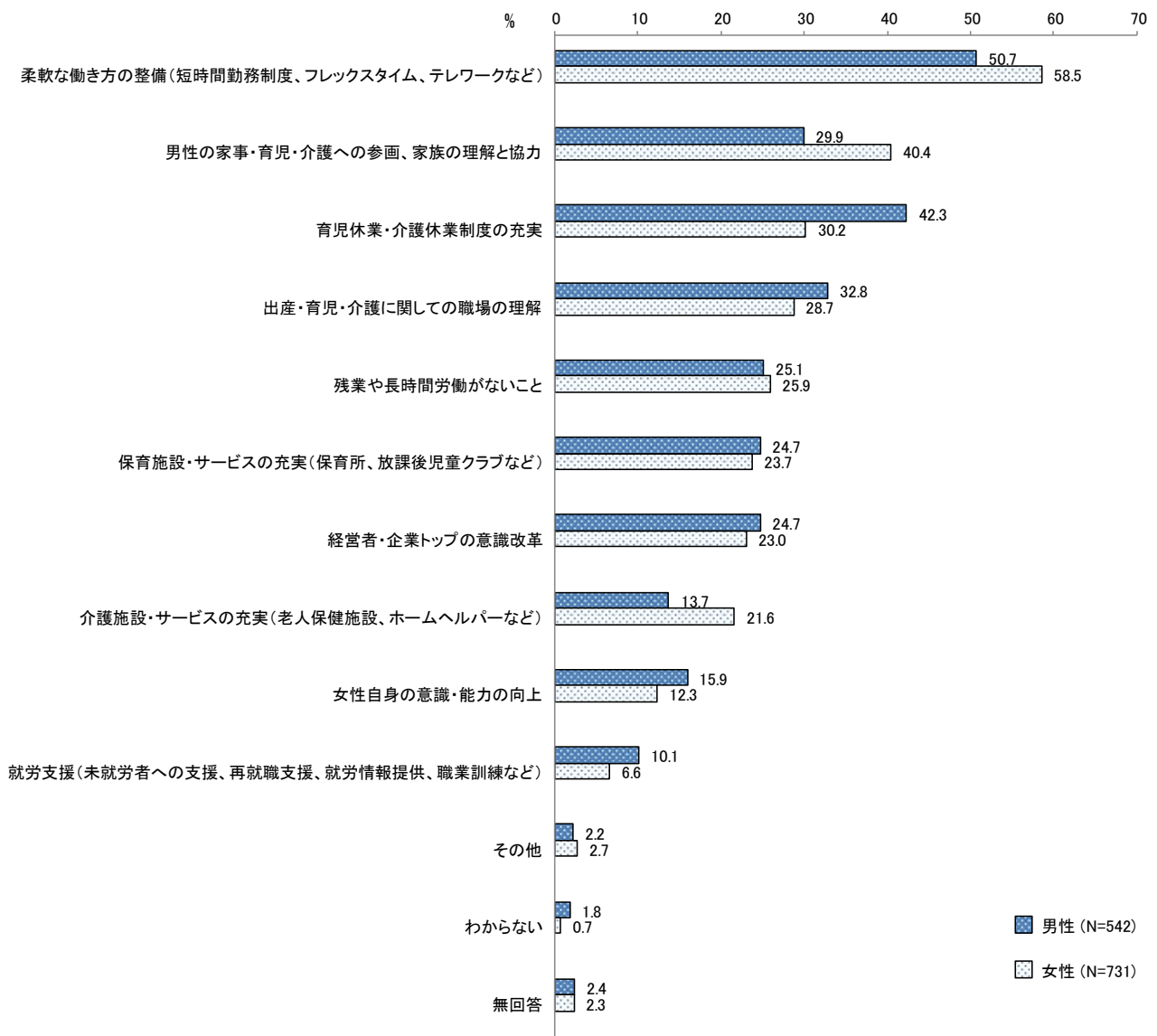
【性別】令和元年度調査と比較すると、男女ともに「育児・介護などに関わらず、働き続ける方が良い」が増加しているのに対し、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は減少している。

(9) 女性が働き続けるために必要なこと

問9 女性が仕事に就くうえで、または働き続けていくうえで、今後どのようなことが必要だと思えますか。
(〇は3つまで)



【全体】女性が働き続けるために必要なことについては、「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」が55.0%と最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護への参画、家族の理解と協力」（35.7%）、「育児休業・介護休業制度の充実」（35.1%）となっている。



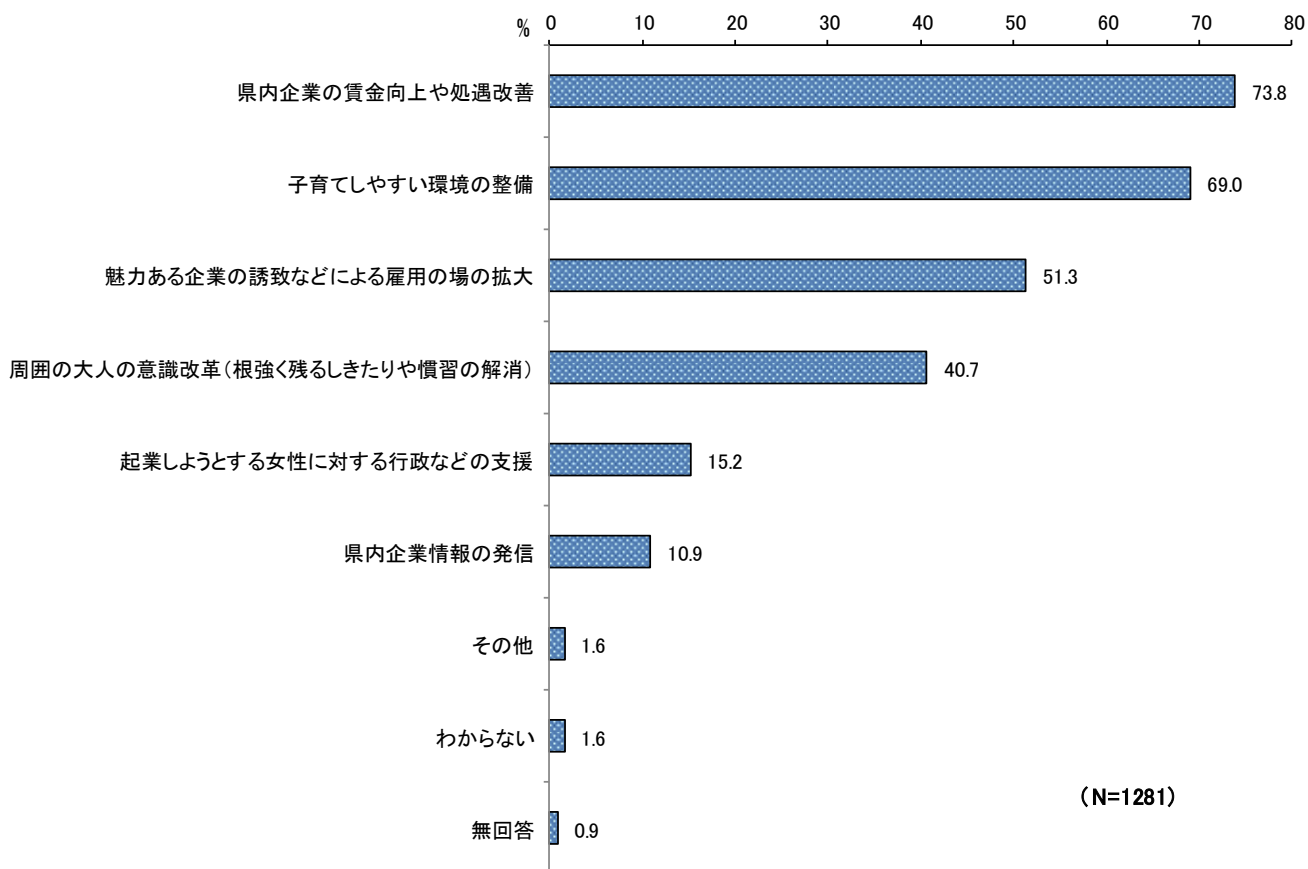
【性別】男女ともに「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」の割合が最も高く、男性は50.7%、女性は58.5%となっている。男性は、次いで「育児休業・介護休業制度の充実」となっているのに対し、女性は「男性の家事・育児・介護への参画、家族の理解と協力」となっている。

	全体	女性が仕事に就くうえで、または働き続けていくうえで、今後必要なこと											その他	わからない	無回答
		経営者・企業トップの意識改革	柔軟な働き方の整備 (短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど)	残業や長時間労働がないこと	就労支援 (未就労者への支援、再就職支援、就労情報提供、職業訓練など)	育児休業・介護休業制度の充実	女性自身の意識・能力の向上	男性の家事・育児・介護への参画、家族の理解と協力	出産・育児・介護に関する職場の理解	保育施設・サービスの充実(保育所、放課後児童クラブなど)	介護施設・サービスの充実(老人保健施設、ホームヘルパーなど)				
全体	1281	23.6	55.0	25.5	8.0	35.1	13.9	35.7	30.4	24.0	18.1	2.5	1.3	2.5	
性・年齢別	男性(計)	542	24.7	50.7	25.1	10.1	42.3	15.9	29.9	32.8	24.7	13.7	2.2	1.8	2.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	20.0	25.0	15.0	10.0	65.0	30.0	5.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	29.7	45.9	27.0	24.3	29.7	0.0	45.9	18.9	5.4	2.7	5.4	16.2	5.4
	男性・40歳～49歳	94	20.2	56.4	22.3	0.0	46.8	27.7	20.2	28.7	23.4	8.5	8.5	0.0	2.1
	男性・50歳～59歳	145	23.4	60.0	18.6	12.4	32.4	16.6	25.5	41.4	33.8	16.6	0.0	0.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	18.8	40.6	32.8	9.4	54.7	14.1	39.1	21.9	25.0	12.5	0.0	0.0	3.1
	男性・65歳～69歳	60	43.3	60.0	26.7	10.0	35.0	10.0	40.0	33.3	21.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	23.1	42.1	31.4	11.6	47.1	12.4	31.4	35.5	24.8	20.7	1.7	1.7	3.3
	女性(計)	731	23.0	58.5	25.9	6.6	30.2	12.3	40.4	28.7	23.7	21.6	2.7	0.7	2.3
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	23.1	92.3	23.1	0.0	46.2	0.0	23.1	38.5	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	22.4	57.6	37.6	7.1	34.1	4.7	36.5	34.1	30.6	2.4	4.7	0.0	5.9
	女性・40歳～49歳	147	25.2	61.2	27.2	6.8	21.1	10.2	31.3	29.9	24.5	23.8	8.2	0.0	2.7
	女性・50歳～59歳	198	23.2	56.1	25.3	7.1	23.7	16.7	46.0	27.3	22.7	23.7	0.0	1.0	2.0
	女性・60歳～64歳	76	21.1	46.1	10.5	7.9	35.5	11.8	53.9	32.9	26.3	27.6	0.0	0.0	2.6
	女性・65歳～69歳	71	18.3	70.4	16.9	5.6	36.6	15.5	42.3	29.6	19.7	21.1	2.8	2.8	0.0
	女性・70歳以上	124	25.0	52.4	33.1	4.8	37.9	12.9	40.3	20.2	16.1	29.0	1.6	0.8	1.6
無回答	8	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	

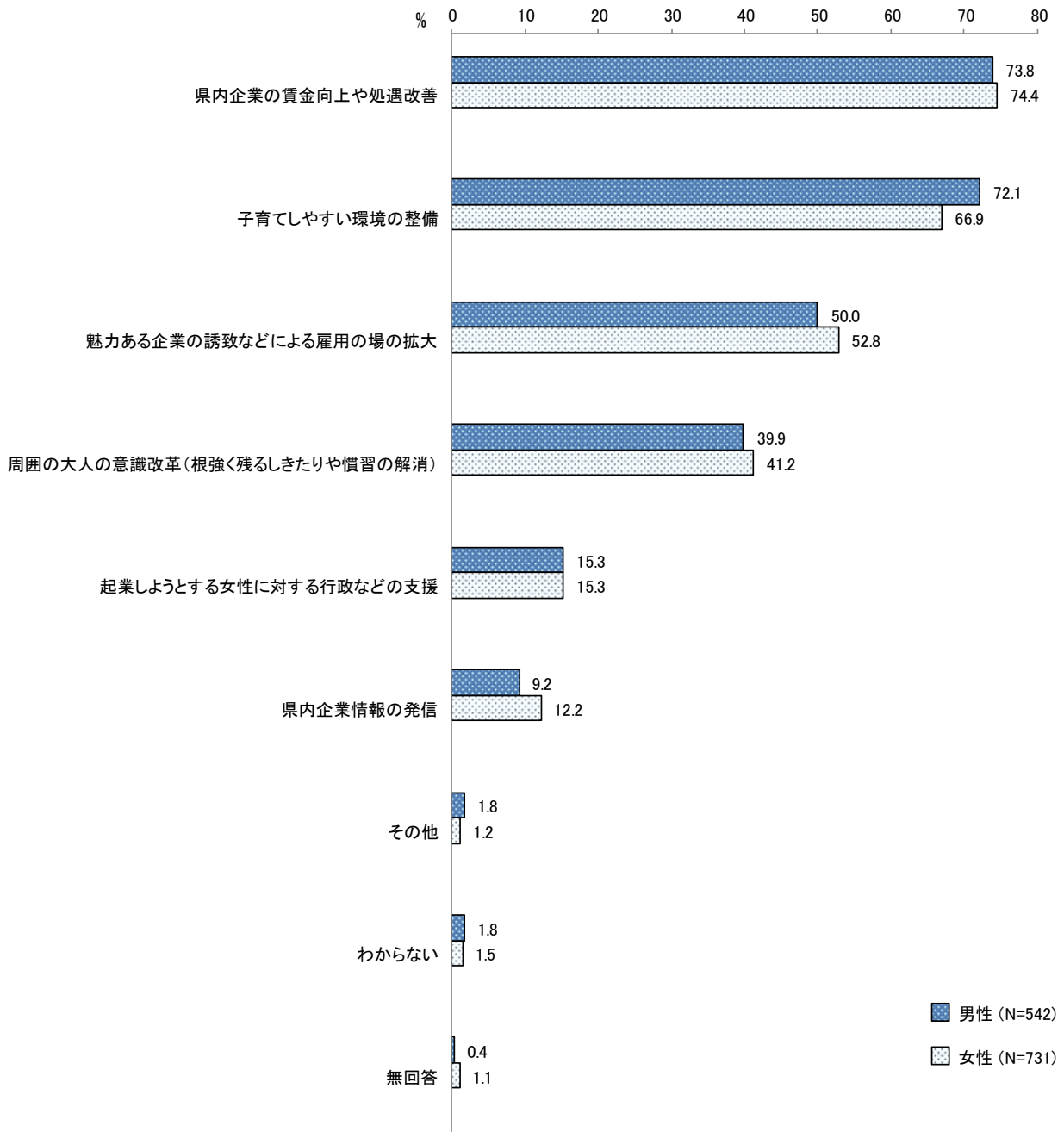
【性・年齢別】男女ともに最も高かった「柔軟な働き方の整備(短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど)」は、男性では「50歳～59歳」と「65歳～69歳」(それぞれ60.0%)で最も高く、女性では「20歳～29歳」(92.3%)、「65歳～69歳」(70.4%)で7割を超え高くなっている。

(10) 若年女性が県内に定着し、活躍するために必要な取組み

問10 若年女性が県内に定着し、活躍するために、どのような取組みが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

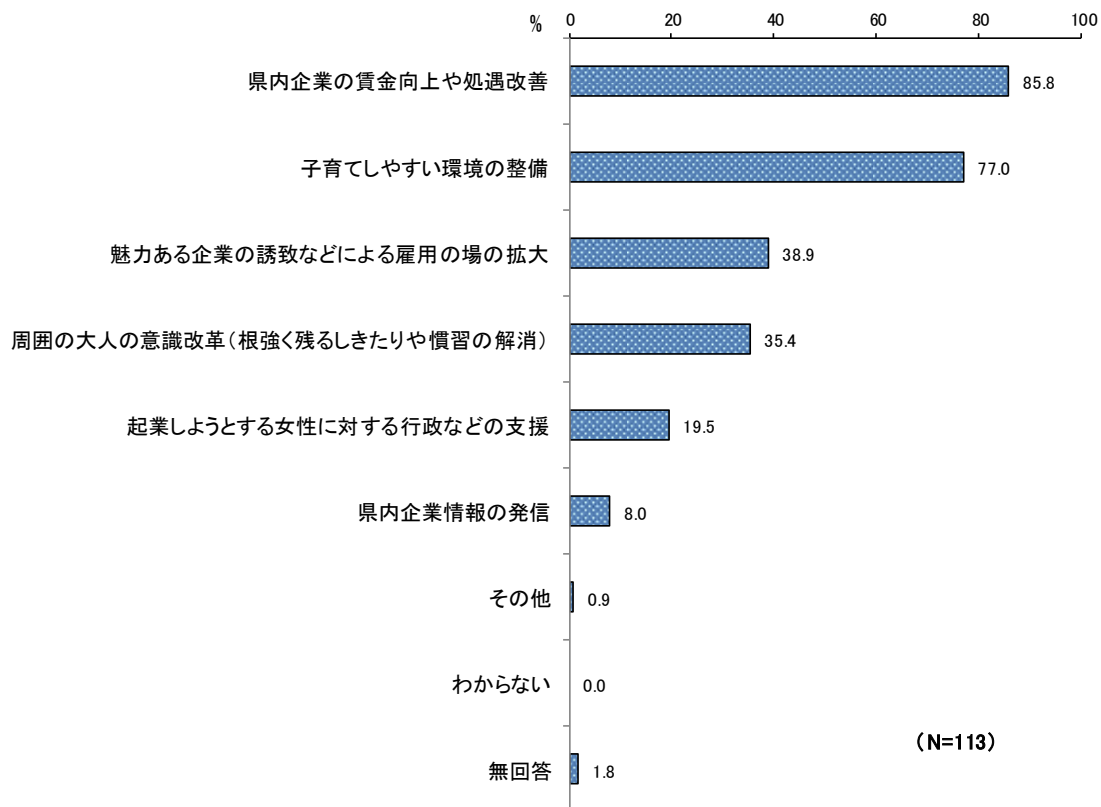


【全体】若年女性が県内に定着し、活躍するために必要な取組みについては、「県内企業の賃金向上や処遇改善」が73.8%と最も高く、次いで「子育てしやすい環境の整備」(69.0%)、「魅力ある企業の誘致などによる雇用の場の拡大」(51.3%)となっている。



【性別】性別で見ると、男女ともに全体と同じ傾向がみられた。

女性 18歳～39歳

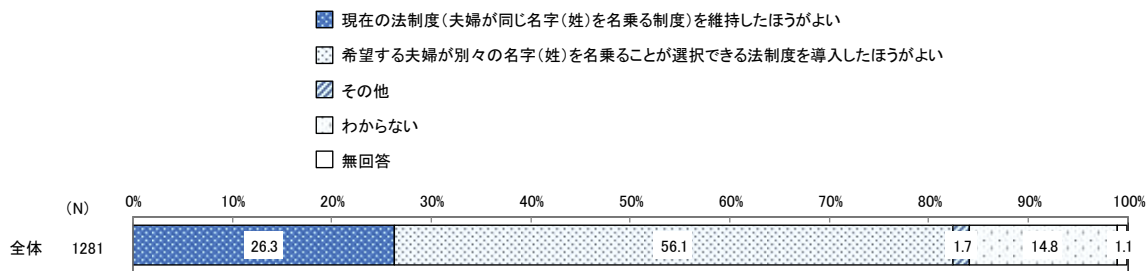


	全 体	若年女性が県内に定着し、活躍するために必要な取組み									
		県内企業の賃金向上や処遇改善	魅力ある企業の雇用の拡大	県内企業情報の発信	起業しよととする女性に対する行政などの支援	子育てしやすい環境の整備	周囲の大人の意識改革（根強く残るしきたりや慣習の解消）	その他	わからない	無回答	
全体	1281	73.8	51.3	10.9	15.2	69.0	40.7	1.6	1.6	0.9	
性・年齢別	男性(計)	542	73.8	50.0	9.2	15.3	72.1	39.9	1.8	1.8	0.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	70.0	25.0	20.0	0.0	65.0	40.0	0.0	10.0	0.0
	男性・30歳～39歳	37	64.9	43.2	10.8	5.4	64.9	51.4	0.0	10.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	66.0	39.4	7.4	14.9	69.1	40.4	8.5	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	79.3	51.7	5.5	13.8	65.5	42.8	1.4	0.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	78.1	48.4	12.5	23.4	75.0	32.8	0.0	0.0	0.0
	男性・65歳～69歳	60	91.7	58.3	10.0	15.0	66.7	41.7	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	66.1	59.5	9.9	19.0	86.8	34.7	0.0	0.0	0.0
	女性(計)	731	74.4	52.8	12.2	15.3	66.9	41.2	1.2	1.5	1.1
	女性・18歳、19歳	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	92.3	38.5	7.7	7.7	84.6	38.5	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	83.5	37.6	8.2	23.5	76.5	32.9	1.2	0.0	2.4
	女性・40歳～49歳	147	69.4	45.6	15.0	15.6	68.0	46.3	1.4	0.0	0.0
	女性・50歳～59歳	198	72.2	58.6	14.1	13.6	65.2	42.9	3.0	0.0	0.0
	女性・60歳～64歳	76	84.2	46.1	13.2	15.8	77.6	32.9	0.0	2.6	2.6
	女性・65歳～69歳	71	76.1	60.6	1.4	8.5	59.2	56.3	0.0	5.6	0.0
	女性・70歳以上	124	66.1	63.7	15.3	17.7	58.1	33.1	0.0	4.0	3.2
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0

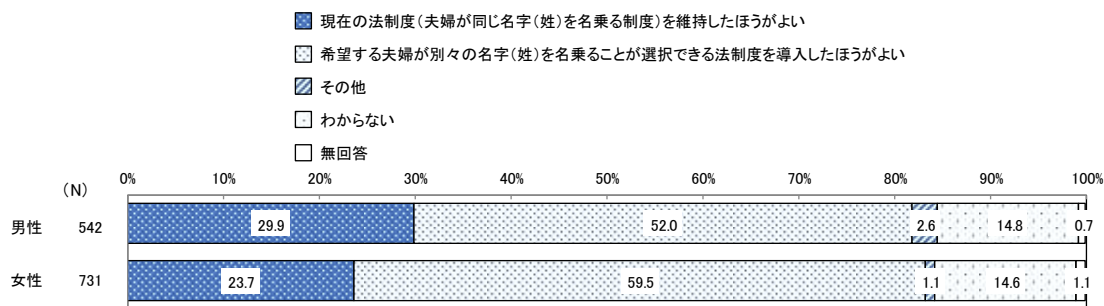
【性・年齢別】男女ともに高かった「県内企業の賃金向上や処遇改善」では「男性65歳～69歳」、「女性18歳、19歳」及び「女性20歳～29歳」で9割を超えている。

(11) 選択的夫婦別姓制度を設けること

問 1 1 現在は、結婚すると、夫婦が同じ名字（姓）を名乗ることが義務付けられています。希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度（選択的夫婦別姓制度）を設けることについて議論がありますが、どのように思いますか。（○は1つ）



【全体】 選択的夫婦別姓制度を設けることについては、「希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい」が56.1%と最も高く、次いで「現在の法制度（夫婦が同じ名字（姓）を名乗る制度）を維持したほうがよい」（26.3%）、「わからない」（14.8%）となっている。



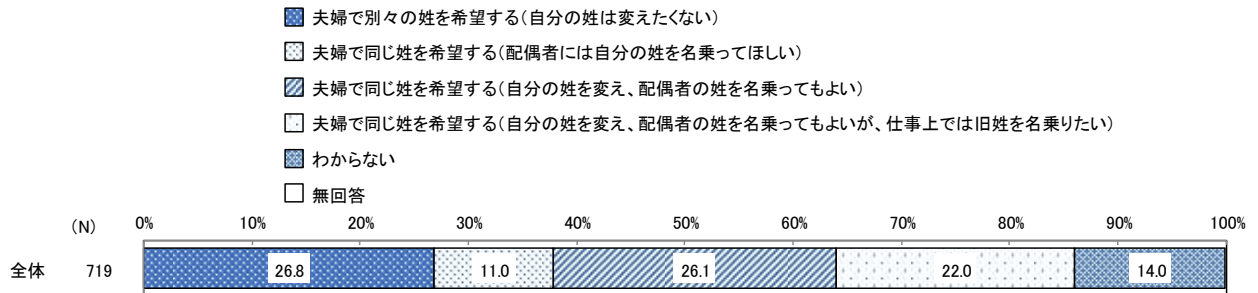
【性別】 「希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい」は男性より女性が7.5ポイント高い。

	全体	選択的夫婦別姓制度を設けることについて					
		現在の法制度(夫婦が同じ名字(姓)を名乗る制度)を維持したほうがよい	希望する夫婦が別々の名字(姓)を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい	その他	わからない	無回答	
全体	1281	26.3	56.1	1.7	14.8	1.1	
性・年齢別	男性(計)	542	29.9	52.0	2.6	14.8	0.7
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	10.0	55.0	0.0	35.0	0.0
	男性・30歳～39歳	37	10.8	48.6	0.0	40.5	0.0
	男性・40歳～49歳	94	36.2	38.3	4.3	19.1	2.1
	男性・50歳～59歳	145	24.1	57.2	2.8	15.9	0.0
	男性・60歳～64歳	64	23.4	65.6	0.0	10.9	0.0
	男性・65歳～69歳	60	28.3	68.3	0.0	3.3	0.0
	男性・70歳以上	121	44.6	42.1	5.0	6.6	1.7
	女性(計)	731	23.7	59.5	1.1	14.6	1.1
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	23.1	53.8	0.0	23.1	0.0
	女性・30歳～39歳	85	20.0	69.4	2.4	8.2	0.0
	女性・40歳～49歳	147	24.5	65.3	0.0	10.2	0.0
	女性・50歳～59歳	198	10.1	66.7	3.0	19.2	1.0
	女性・60歳～64歳	76	36.8	47.4	0.0	13.2	2.6
	女性・65歳～69歳	71	29.6	57.7	0.0	12.7	0.0
	女性・70歳以上	124	36.3	42.7	0.0	17.7	3.2
無回答	8	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	

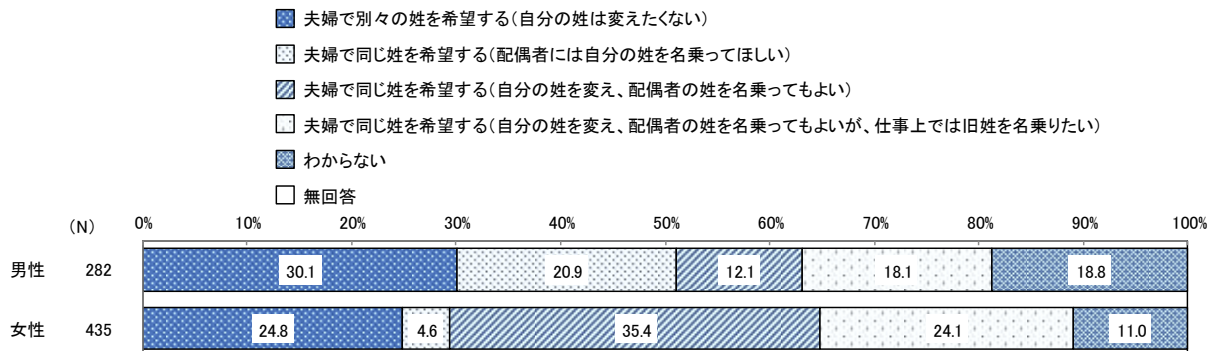
【性・年齢別】「現在の法制度（夫婦が同じ名字（姓）を名乗る制度）を維持したほうがよい」では、「男性18歳、19歳」を除いたすべての年齢層において5割未満となっている。「希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい」では、「女性30歳～39歳」が69.4%と高い。

(問11で「2 希望する夫婦が別々の名字(姓)を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい」と答えた方が回答)

問11-1 夫婦が別々の名字(姓)を名乗ることが選択できる法制度に変わった場合を想定してお答えください。夫婦で別々の名字・姓を名乗ることを希望しますか。あなたが、結婚している、いないにかかわらず、お答えください。(〇は1つ)



【全体】「夫婦で別々の姓を希望する(自分の姓は変えたくない)」が26.8%と最も高く、次いで「夫婦で同じ姓を希望する(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)」(26.1%)、「夫婦で同じ姓を希望する(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが、仕事上では旧姓を名乗りたい)」(22.0%)となっている。



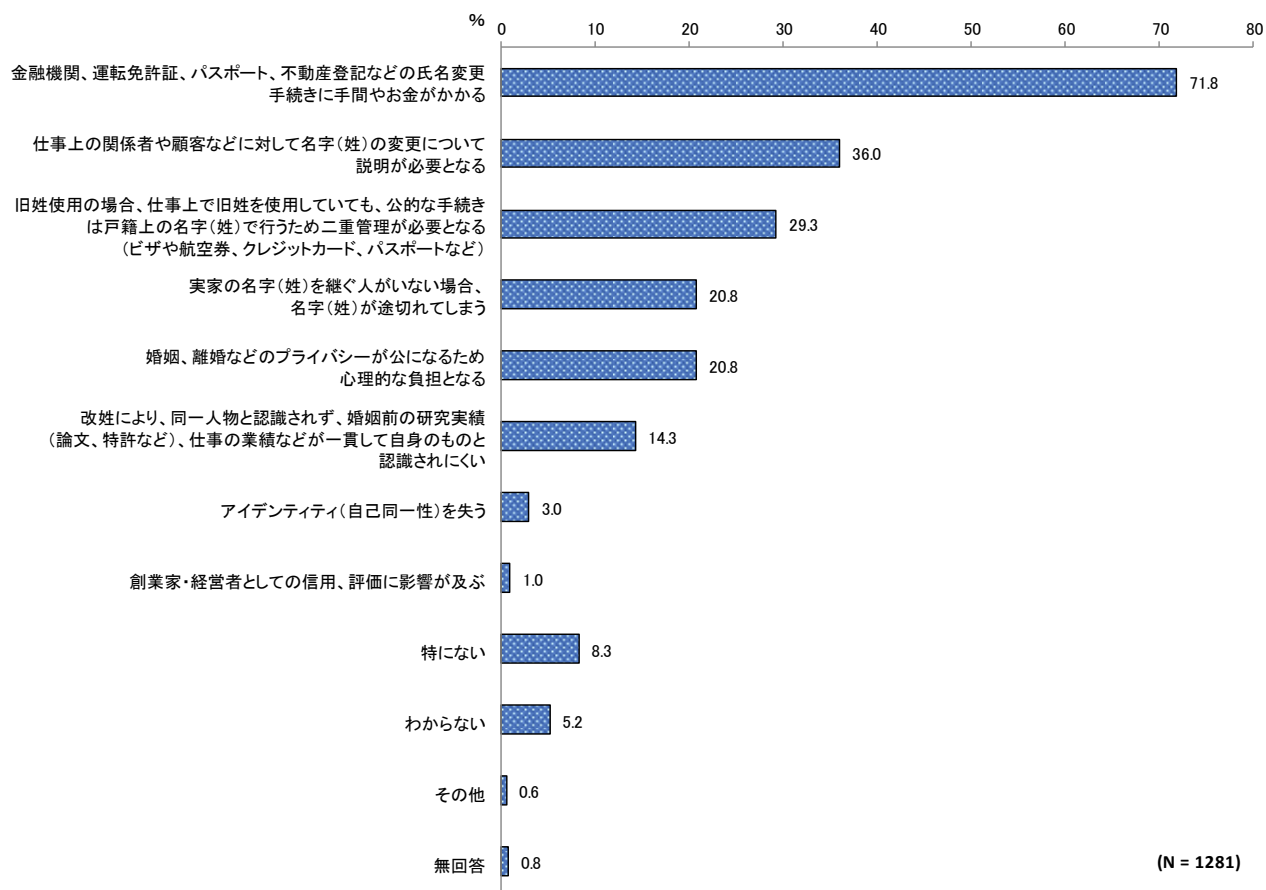
【性別】「夫婦で同じ姓を希望する(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)」では、男性と比べ女性が23.3ポイント高い。

	全体	夫婦で別々の名字・姓を名乗ることを希望するか						
		夫婦で別々の姓を希望する(自分の姓は変えたくない)	夫婦で同じ姓を希望する(配偶者には自分の姓を名乗ってほしい)	夫婦で同じ姓を希望する(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)	夫婦で同じ姓を希望する(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが、仕事上では旧姓を名乗りたい)	わからない	無回答	
全体	719	26.8	11.0	26.1	22.0	14.0	0.0	
性・年齢別	男性(計)	282	30.1	20.9	12.1	18.1	18.8	0.0
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	11	54.5	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0
	男性・30歳～39歳	18	27.8	44.4	11.1	5.6	11.1	0.0
	男性・40歳～49歳	36	27.8	16.7	16.7	16.7	22.2	0.0
	男性・50歳～59歳	83	28.9	25.3	8.4	10.8	26.5	0.0
	男性・60歳～64歳	42	31.0	28.6	11.9	19.0	9.5	0.0
	男性・65歳～69歳	41	39.0	14.6	14.6	17.1	14.6	0.0
	男性・70歳以上	51	21.6	11.8	15.7	39.2	11.8	0.0
	女性(計)	435	24.8	4.6	35.4	24.1	11.0	0.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	14	14.3	14.3	57.1	0.0	14.3	0.0
	女性・30歳～39歳	59	22.0	0.0	45.8	20.3	11.9	0.0
	女性・40歳～49歳	96	20.8	7.3	31.3	25.0	15.6	0.0
	女性・50歳～59歳	132	19.7	3.8	39.4	26.5	10.6	0.0
	女性・60歳～64歳	36	30.6	5.6	27.8	25.0	11.1	0.0
	女性・65歳～69歳	41	34.1	0.0	39.0	22.0	4.9	0.0
	女性・70歳以上	53	41.5	7.5	20.8	22.6	7.5	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

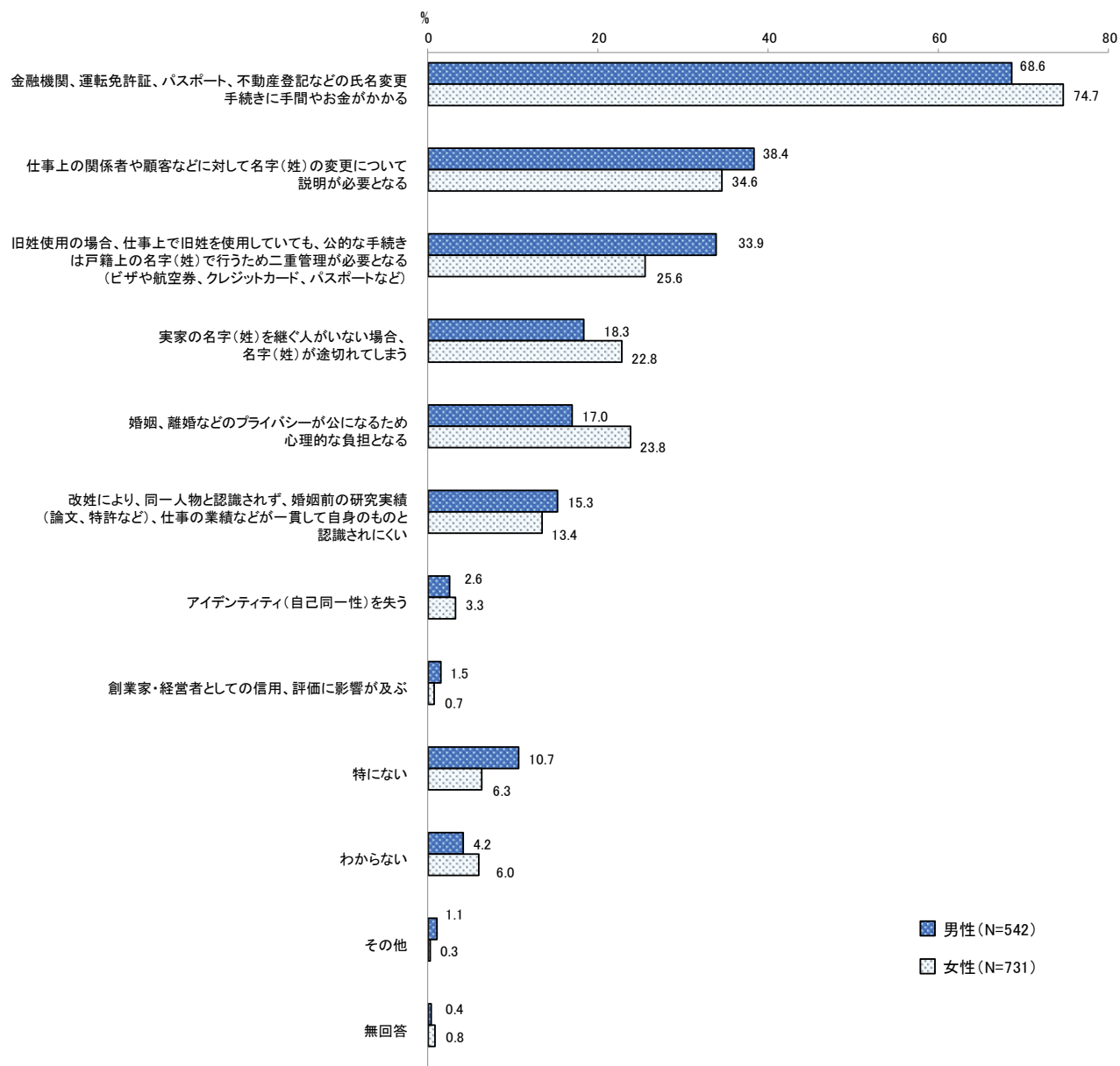
【性・年齢別】男性で最も数値が高い「夫婦で別々の姓を希望する(自分の姓は変えたくない)」は、「男性20歳～29歳」で54.5%と高い。女性で最も数値が高い「夫婦で同じ姓を希望する(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)」は、「女性20歳～29歳」で57.1%と高い。

(12) 結婚により名字（姓）を変えた場合に生じる不便等

問 1 2 結婚によって名字（姓）を変えた場合、社会生活でどのような不便、不都合が生じると思いますか。
（〇は3つまで）



【全 体】結婚により名字（姓）を変えた場合に生じる不便等については、「金融機関、運転免許証、パスポート、不動産登記などの氏名変更手続きに手間やお金がかかる」が71.8%と最も高く、次いで「仕事上の関係者や顧客などに対して名字（姓）の変更について説明が必要となる」（36.0%）、「旧姓使用の場合、仕事上で旧姓を使用しているも、公的な手続きは戸籍上の名字（姓）で行うため二重管理が必要となる（ビザや航空券、クレジットカード、パスポートなど）」（29.3%）となっている。



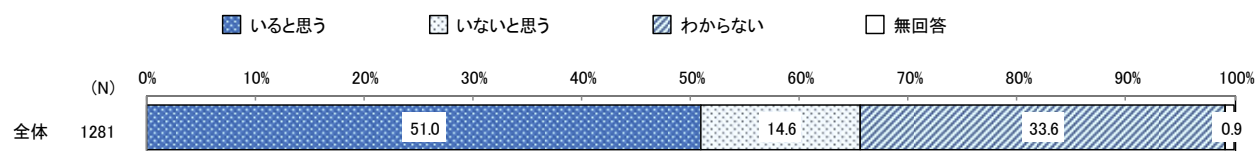
【性別】「金融機関、運転免許証、パスポート、不動産登記などの氏名変更手続きに手間やお金がかかる」、「実家の名字(姓)を継ぐ人がいない場合、名字(姓)が途切れてしまう」、「婚姻、離婚などのプライバシーが公になるため心理的な負担となる」、「アイデンティティ(自己同一性)を失う」では、女性の方が男性よりも高くなっている。

		結婚によって名字(姓)を変えた場合、社会生活で生じる不便、不都合													
		金融機関、運転免許証、パスポート、不動産登記などの氏名変更手続きに手間やお金がかかる	仕事上の関係者や顧客などに対して名字(姓)の変更について説明が必要となる	識事、特許など、同一人物と認識されず、仕事の業績などが一貫して自身のものとして認識されにくい	改姓により、同一人物と認識されず、婚姻前の研究実績(論文、特許など)、仕事の業績などが一貫して自身のものとして認識されにくい	実家の名字(姓)を継ぐ人がいない場合、名字(姓)が途切れてしまう	婚姻、離婚などのプライバシーが公になるため心理的な負担となる	アイデンティティ(自己同一性)を失う	創業者・経営者としての信用、評価に影響が及ぶ	(ビザや航空券、クレジットカード、パスポートなど)	旧姓使用の場合、仕事上で旧姓を使用しても、公的な手続きは戸籍上の名字(姓)で行うため二重管理が必要となる	その他	特にな	わからない	無回答
全体		1281	71.8	36.0	14.3	20.8	20.8	3.0	1.0	29.3	0.6	8.3	5.2	0.8	
性・年齢別	男性(計)	542	68.6	38.4	15.3	18.3	17.0	2.6	1.5	33.9	1.1	10.7	4.2	0.4	
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・20歳～29歳	20	65.0	15.0	0.0	15.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	15.0	20.0	0.0	
	男性・30歳～39歳	37	83.8	37.8	29.7	2.7	18.9	0.0	0.0	29.7	0.0	5.4	0.0	0.0	
	男性・40歳～49歳	94	71.3	42.6	13.8	24.5	14.9	2.1	4.3	23.4	0.0	12.8	4.3	0.0	
	男性・50歳～59歳	145	70.3	37.9	6.9	17.2	17.2	1.4	0.0	35.2	1.4	6.2	8.3	0.0	
	男性・60歳～64歳	64	62.5	57.8	14.1	21.9	10.9	3.1	3.1	31.3	0.0	15.6	0.0	0.0	
	男性・65歳～69歳	60	68.3	40.0	16.7	16.7	13.3	0.0	3.3	46.7	0.0	10.0	1.7	0.0	
	男性・70歳以上	121	63.6	28.9	24.8	18.2	20.7	5.0	0.0	40.5	3.3	13.2	1.7	1.7	
	女性(計)	731	74.7	34.6	13.4	22.8	23.8	3.3	0.7	25.6	0.3	6.3	6.0	0.8	
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・20歳～29歳	26	76.9	61.5	7.7	7.7	23.1	0.0	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・30歳～39歳	85	96.5	44.7	11.8	24.7	31.8	3.5	0.0	9.4	0.0	2.4	1.2	0.0	
	女性・40歳～49歳	147	78.9	36.1	19.7	24.5	21.1	1.4	0.7	27.2	1.4	8.2	1.4	1.4	
	女性・50歳～59歳	198	81.8	36.9	12.1	21.2	21.7	3.0	0.0	30.8	0.0	6.1	4.0	0.5	
	女性・60歳～64歳	76	69.7	30.3	7.9	25.0	27.6	6.6	0.0	25.0	0.0	6.6	7.9	2.6	
	女性・65歳～69歳	71	78.9	14.1	7.0	28.2	28.2	5.6	2.8	26.8	0.0	2.8	8.5	0.0	
	女性・70歳以上	124	46.0	29.0	16.1	20.2	19.4	3.2	0.0	24.2	0.0	10.5	16.9	0.8	
無回答	8	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	

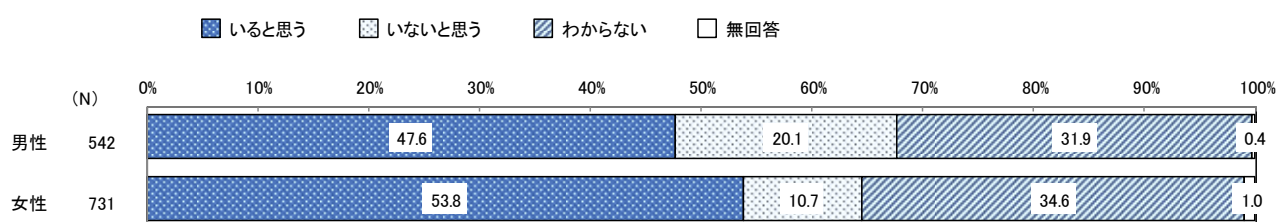
【性・年齢別】男女ともに数値の高い「金融機関、運転免許証、パスポート、不動産登記などの氏名変更手続きに手間やお金がかかる」は、「男性30歳～39歳」、「女性30歳～39歳」及び「女性50歳～59歳」で8割以上となっている。

(13) 夫婦別姓が選べないために事実婚を選ぶこと等への考え

問 1 3 夫婦別姓が選べないために、事実婚を選ぶ人や、結婚すること自体をやめる人がいると思いますか。(〇はひとつ)



【全体】 事実婚を選ぶ人や結婚すること自体をやめる人については、「いると思う」が51.0%と最も高く、次いで「わからない」(33.6%)、「いないと思う」(14.6%)となっている。



【性別】 事実婚を選ぶ、または結婚すること自体をやめる人は「いないと思う」は女性より男性が9.4ポイント高い。

	全体	夫婦別姓が選べないために、事実婚を選ぶ人や、結婚自体をやめる人がいると思うか				
		いると思う	いないと思う	わからない	無回答	
全体	1281	51.0	14.6	33.6	0.9	
性・年齢別	男性(計)	542	47.6	20.1	31.9	0.4
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	45.0	20.0	35.0	0.0
	男性・30歳～39歳	37	54.1	10.8	35.1	0.0
	男性・40歳～49歳	94	45.7	20.2	34.0	0.0
	男性・50歳～59歳	145	51.0	15.2	33.8	0.0
	男性・60歳～64歳	64	37.5	39.1	23.4	0.0
	男性・65歳～69歳	60	63.3	13.3	23.3	0.0
	男性・70歳以上	121	40.5	22.3	35.5	1.7
	女性(計)	731	53.8	10.7	34.6	1.0
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	76.9	0.0	23.1	0.0
	女性・30歳～39歳	85	63.5	11.8	22.4	2.4
	女性・40歳～49歳	147	57.8	8.8	33.3	0.0
	女性・50歳～59歳	198	54.5	9.1	36.4	0.0
	女性・60歳～64歳	76	55.3	5.3	36.8	2.6
	女性・65歳～69歳	71	47.9	9.9	42.3	0.0
	女性・70歳以上	124	37.1	21.0	39.5	2.4
	無回答	8	25.0	0.0	50.0	25.0

【性・年齢別】 「いると思う」は、男性では「60歳～64歳」(37.5%)、女性では「70歳以上」(37.1%)が他の年代に比べて低い傾向にある。

問13-1 問13に記載する「夫婦別姓が選べないために、事実婚を選ぶ・結婚すること自体をやめる」ということについて、あなたの考えを記入してください。

(回答内容 一部抜粋)

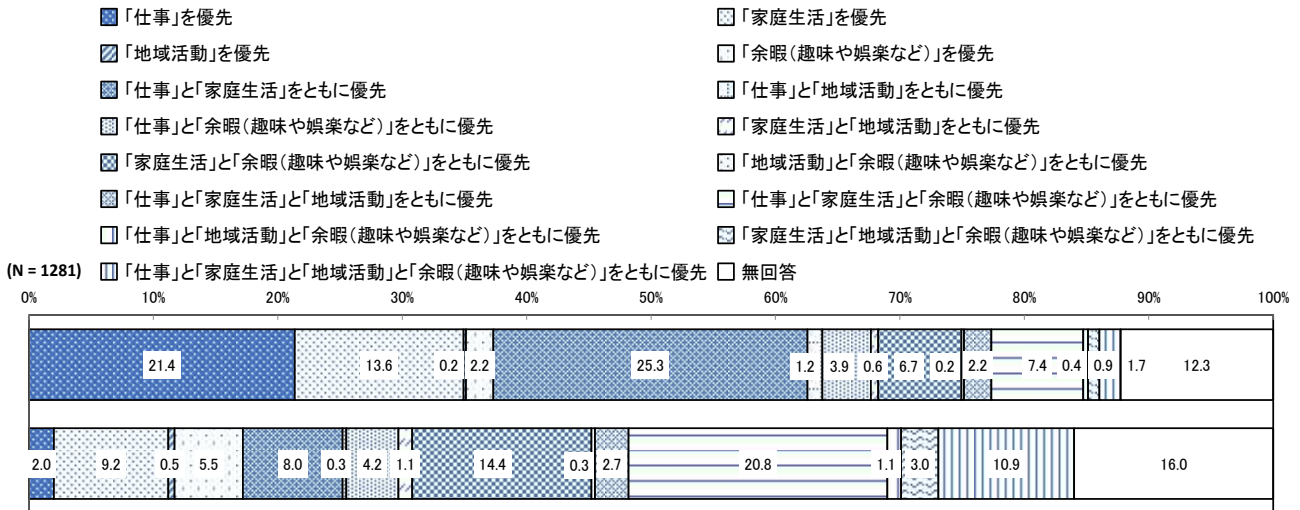
- ・人それぞれ、選択は自由。
- ・様々な選択肢があった方がいいと思う。
- ・仕事上の影響等、姓が変わることに抵抗がある。
- ・姓が変わることでアイデンティティを失うと考える人はいると思う。
- ・選択肢として別姓が必要な時代になっている。
- ・夫婦別姓を正式に認めてほしい。
- ・事実婚でも、法律婚カップル同様の法的保障が受けられることが必要。
- ・(配偶者の姓に改姓したことで)あまり不便を感じたことがない、不満がない。
- ・現在は事実婚に配慮している企業も多く、そこまでの不自由は無いと思う。
- ・子どもが受ける影響への懸念(どちらの姓とするのか、事実婚であることで被る不利益等)。
- ・山形のような田舎では、家を継ぐ、お墓を守る、姓が途切れることはしたくないという人が多い。
- ・(別姓を選択できないことで)結婚を諦める(諦めた)人はいると思う(長男や一人っ子の場合は特に)。
- ・子供の姓や家制度等、簡単に賛成・反対とは言えない。

3. ワーク・ライフ・バランスについて

(14) ワーク・ライフ・バランスの実践

問14 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動」、「余暇（趣味や娯楽など）」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。また、現実にはどうですか。（1）現状、（2）理想を選んでください。（それぞれ〇は1つ）

全体



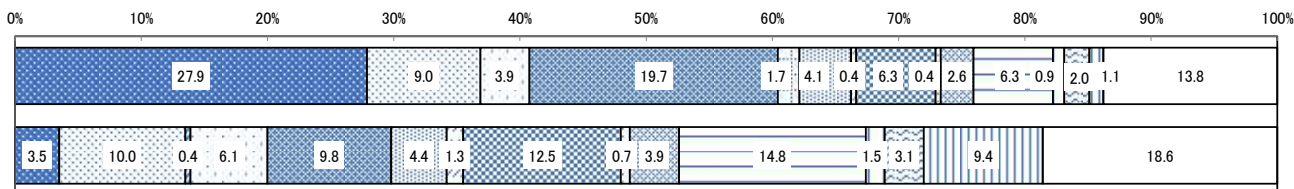
【全体】ワーク・ライフ・バランスの実践については、「現状」では『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が25.3%と最も高く、次いで『「仕事」を優先』（21.4%）、『「家庭生活」を優先』（13.6%）となっている。

「理想」では『「仕事」と「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先』が20.8%と最も高く、次いで『「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先』（14.4%）、『「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先』（10.9%）となっている。

男性

- 「仕事」を優先
- 「地域活動」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 「仕事」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」をともに優先
- 「仕事」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「家庭生活」を優先
- 「余暇(趣味や娯楽など)」を優先
- 「仕事」と「地域活動」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域活動」をともに優先
- 「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 無回答

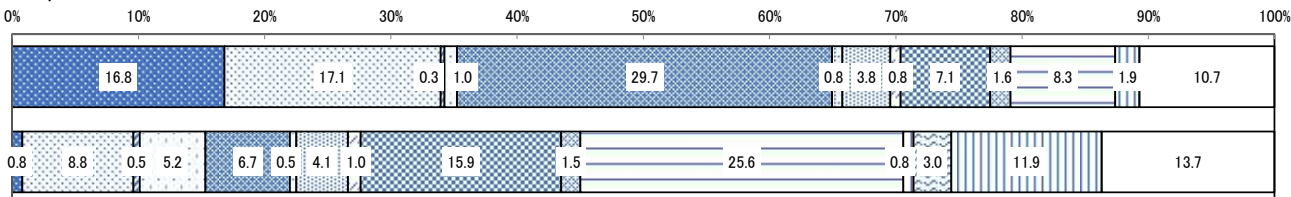
(N = 542)



女性

- 「仕事」を優先
- 「地域活動」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 「仕事」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」をともに優先
- 「仕事」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「家庭生活」を優先
- 「余暇(趣味や娯楽など)」を優先
- 「仕事」と「地域活動」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域活動」をともに優先
- 「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先
- 無回答

(N = 731)



【性別】男性では『「仕事」を優先』、女性では『「仕事」と「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先』が現状と理想で差がみられた。

	全体	(1)現状生活の中の優先度																無回答
		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域活動」を優先	「余暇（趣味や娯楽など）」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域活動」をともに優先	「仕事」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「家庭生活」と「地域活動」をともに優先	「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「仕事」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「家庭生活」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「仕事」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先		
全体	1281	21.4	13.6	0.2	2.2	25.3	1.2	3.9	0.6	6.7	0.2	2.2	7.4	0.4	0.9	1.7	12.3	
性・年齢別	男性(計)	542	27.9	9.0	0.0	3.9	19.7	1.7	4.1	0.4	6.3	0.4	2.6	6.3	0.9	2.0	1.1	13.8
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	30.0	10.0	0.0	5.0	5.0	0.0	15.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	10.0
	男性・30歳～39歳	37	13.5	0.0	0.0	0.0	32.4	10.8	8.1	5.4	5.4	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	18.9
	男性・40歳～49歳	94	29.8	9.6	0.0	4.3	27.7	3.2	10.6	0.0	2.1	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0	2.1	4.3
	男性・50歳～59歳	145	34.5	8.3	0.0	1.4	24.1	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	5.5	12.4	0.0	0.0	1.4	6.9
	男性・60歳～64歳	64	25.0	15.6	0.0	6.3	23.4	0.0	3.1	0.0	4.7	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	15.6
	男性・65歳～69歳	60	28.3	16.7	0.0	10.0	13.3	3.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	8.3	0.0	10.0
	男性・70歳以上	121	24.0	5.0	0.0	3.3	8.3	0.0	0.0	0.0	14.9	0.0	1.7	5.0	1.7	5.0	1.7	29.8
	女性(計)	731	16.8	17.1	0.3	1.0	29.7	0.8	3.8	0.8	7.1	0.0	1.6	8.3	0.0	0.0	1.9	10.7
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	23.1	15.4	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	23.5	9.4	0.0	4.7	36.5	4.7	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	4.7	4.7
	女性・40歳～49歳	147	12.9	14.3	1.4	1.4	37.4	0.0	4.1	1.4	4.8	0.0	2.7	11.6	0.0	0.0	1.4	6.8
	女性・50歳～59歳	198	20.7	17.2	0.0	0.0	29.8	0.0	4.0	1.0	8.6	0.0	2.0	9.6	0.0	0.0	0.0	7.1
	女性・60歳～64歳	76	14.5	21.1	0.0	0.0	43.4	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	10.5	0.0	0.0	2.6	2.6
	女性・65歳～69歳	71	15.5	19.7	0.0	0.0	19.7	0.0	5.6	0.0	8.5	0.0	2.8	8.5	0.0	0.0	2.8	16.9
女性・70歳以上	124	12.1	22.6	0.0	0.8	15.3	1.6	1.6	1.6	10.5	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	29.0	
無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	

	全体	(2)理想生活の中での優先度															無回答	
		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域活動」を優先	「余暇（趣味や娯楽など）」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域活動」をともに優先	「仕事」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「家庭生活」と「地域活動」をともに優先	「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「仕事」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「家庭生活」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先			
全体	1281	2.0	9.2	0.5	5.5	8.0	0.3	4.2	1.1	14.4	0.3	2.7	20.8	1.1	3.0	10.9	16.0	
性・年齢別	男性(計)	542	3.5	10.0	0.4	6.1	9.8	0.0	4.4	1.3	12.5	0.7	3.9	14.8	1.5	3.1	9.4	18.6
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	15.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	21.6	0.0	5.4	5.4	0.0	5.4	0.0	16.2	0.0	5.4	13.5	5.4	0.0	2.7	18.9
	男性・40歳～49歳	94	2.1	13.8	0.0	7.4	9.6	0.0	2.1	1.1	21.3	0.0	2.1	19.1	2.1	2.1	6.4	10.6
	男性・50歳～59歳	145	5.5	6.9	1.4	5.5	6.9	0.0	6.9	1.4	13.1	0.0	6.2	24.8	1.4	1.4	11.7	6.9
	男性・60歳～64歳	64	0.0	18.8	0.0	4.7	18.8	0.0	0.0	0.0	7.8	0.0	3.1	9.4	3.1	0.0	9.4	25.0
	男性・65歳～69歳	60	3.3	10.0	0.0	13.3	13.3	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	3.3	11.7	0.0	5.0	13.3	16.7
	男性・70歳以上	121	3.3	4.1	0.0	0.0	9.9	0.0	3.3	3.3	9.9	1.7	3.3	6.6	0.0	8.3	8.3	38.0
	女性(計)	731	0.8	8.8	0.5	5.2	6.7	0.5	4.1	1.0	15.9	0.0	1.5	25.6	0.8	3.0	11.9	13.7
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	23.1	0.0
	女性・30歳～39歳	85	0.0	24.7	0.0	1.2	4.7	0.0	10.6	1.2	22.4	0.0	1.2	17.6	0.0	1.2	8.2	7.1
	女性・40歳～49歳	147	0.0	6.8	0.0	5.4	8.8	0.0	0.0	1.4	21.8	0.0	1.4	35.4	0.0	1.4	7.5	10.2
	女性・50歳～59歳	198	2.0	10.6	1.0	6.1	8.1	0.0	4.0	0.0	14.6	0.0	0.0	32.8	0.0	2.0	10.6	8.1
	女性・60歳～64歳	76	0.0	6.6	0.0	10.5	2.6	2.6	5.3	0.0	10.5	0.0	5.3	22.4	2.6	1.3	25.0	5.3
	女性・65歳～69歳	71	0.0	4.2	0.0	0.0	8.5	0.0	7.0	0.0	16.9	0.0	2.8	23.9	2.8	5.6	14.1	14.1
	女性・70歳以上	124	0.0	1.6	1.6	5.6	4.8	1.6	0.0	3.2	9.7	0.0	1.6	13.7	1.6	6.5	8.9	39.5
無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	

【性・年齢別】「現状」で最も回答割合が高かった『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』では、「女性 60歳～64歳」（43.4%）が最も高く、「理想」で最も回答割合が高かった『「仕事」と「家庭生活」と「余暇（趣味や娯楽など）」をともに優先』では「女性 40歳～49歳」（35.4%）が最も高い。

(15) 1日あたりの平均所要時間

問15 あなたは「仕事がある日」および「休日」1日あたり、次の事柄にどのくらい時間をかけていますか。
 次のア～ケのそれぞれの質問について、10分単位（10分未満は切り捨て）でお答えください。
 ※週1日または月1回などの場合、1日あたりに換算してお考えください。

1日あたりの平均所要時間 (全体)

	仕事がある日	休日
ア. 仕事（通勤時間を含む）	N=903 508.5分	N=667 69.7分
イ. 家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む）	N=884 130.2分	N=886 211.5分
ウ. 育児	N=665 62.6分	N=653 169.6分
エ. 介護・看護	N=656 12.0分	N=659 27.9分
オ. 買い物	N=832 37.5分	N=877 96.1分
カ. 余暇（趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間）	N=811 82.4分	N=876 228.4分
キ. 地域活動（子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など）	N=676 5.9分	N=662 15.7分
ク. ボランティアやNPO活動	N=652 2.6分	N=635 8.4分
ケ. その他	N=351 14.0分	N=365 35.0分

【全体】1日あたりの平均所要時間については、仕事がある日は、「仕事（通勤時間を含む）」が508.5分と最も高く、次いで、「家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む）」（130.2分）、「余暇（趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間）」（82.4分）となっている。

休日は、「余暇（趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間）」が228.4分と最も高く、次いで「家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む）」（211.5分）、「育児」（169.6分）となっている。

1日あたりの平均所要時間 (男女別)

	女 性		男 性	
	仕事がある日	休 日	仕事がある日	休 日
ア. 仕事(通勤時間を含む)	N=505 491.9 分	N=361 55.1 分	N=396 529.7 分	N=304 87.1 分
イ. 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む)	N=511 170.5 分	N=503 262.9 分	N=371 72.7 分	N=381 144.0 分
ウ. 育児	N=368 88.2 分	N=359 227.1 分	N=295 30.5 分	N=292 99.4 分
エ. 介護・看護	N=364 12.9 分	N=373 36.3 分	N=290 11.0 分	N=284 17.2 分
オ. 買い物	N=485 42.8 分	N=497 99.2 分	N=345 30.2 分	N=378 92.3 分
カ. 余暇(趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間)	N=449 81.5 分	N=486 213.3 分	N=360 82.9 分	N=388 247.8 分
キ. 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など)	N=370 6.0 分	N=351 14.0 分	N=304 5.9 分	N=309 17.4 分
ク. ボランティアやNPO活動	N=355 2.1 分	N=340 4.4 分	N=295 3.1 分	N=293 12.8 分
ケ. その他	N=170 8.8 分	N=177 32.9 分	N=181 18.8 分	N=188 37.0 分

【性 別】1日あたりの仕事や家事の平均所要時間について、仕事がある日は、男女ともに「仕事」が最も多く、男性が529.7分、女性が491.9分となっている。次いで女性は、「家事」が170.5分、「育児」が88.2分となっており、男性は、「余暇」が82.9分、「家事」が72.7分となっている。

休日は、女性は「家事」が262.9分で最も多く、次いで「育児」が227.1分、「余暇」が213.3分となっている。男性は、「余暇」が247.8分で最も多く、次いで「家事」が144.0分、「育児」が99.4分となっている。

「家事」については、仕事がある日は、女性が170.5分、男性が72.7分で女性の方が97.8分多く、休日は、女性が262.9分、男性が144.0分で女性の方が118.9分多くなっている。

「育児」については、仕事がある日は、女性が88.2分、男性が30.5分で女性の方が57.7分多く、休日は、女性が227.1分、男性が99.4分で女性の方が127.7分多くなっている。

過去調査との比較

全体

1日あたりの平均所要時間(仕事がある日)

	今 回		R 1 年度 意識調査	
	N=	所要時間	N=	所要時間
ア. 仕事 (通勤時間を含む)	903	508.5 分	1129	436.0 分
イ. 家事 (屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む)	884	130.2 分	1284	145.9 分
ウ. 育児	665	62.6 分	757	61.8 分
エ. 介護・看護	656	12.0 分	777	22.0 分
オ. 買い物	832	37.5 分	1186	42.1 分
カ. 余暇 (趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間)	811	82.4 分	1159	112.7 分
キ. 地域活動 (子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など)	676	5.9 分	767	7.1 分
ク. ボランティアやNPO活動	652	2.6 分	755	7.1 分
ケ. その他	351	14.0 分	257	56.1 分

1日あたりの平均所要時間(休日)

	今 回		R 1 年度 意識調査	
	N=	所要時間	N=	所要時間
ア. 仕事 (通勤時間を含む)	667	69.7 分	799	83.7 分
イ. 家事 (屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む)	886	211.5 分	1172	188.0 分
ウ. 育児	653	169.6 分	722	132.7 分
エ. 介護・看護	659	27.9 分	754	22.2 分
オ. 買い物	877	96.1 分	1130	78.2 分
カ. 余暇 (趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間)	876	228.4 分	1135	199.0 分
キ. 地域活動 (子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など)	662	15.7 分	748	11.7 分
ク. ボランティアやNPO活動	635	8.4 分	732	9.2 分
ケ. その他	365	35.0 分	248	43.0 分

【全 体】仕事がある日の1日あたりの平均所要時間を令和元年度調査と比較すると、「仕事」は前回より72.5分、「育児」は0.8分増加している。一方、「家事」は15.7分、「介護・看護」は10.0分、「余暇」は30.3分、「地域活動」は1.2分、「ボランティアやNPO活動」は4.5分の減少となっている。

休日では、「仕事」は前回より14.0分、「ボランティアやNPO活動」は0.8分減少している。他の項目はいずれも増加しており、「家事」は23.5分、「育児」は36.9分、「介護・看護」は5.7分、「買い物」は17.9分、「余暇」は29.4分、「地域活動」は4.0分の増加となっている。

男女別

1日あたりの平均所要時間(仕事がある日)

	女性				男性			
	今回		R1年度意識調査		今回		R1年度意識調査	
ア. 仕事(通勤時間を含む)	N=505	491.9分	N=611	400.5分	N=396	529.7分	N=518	478.0分
イ. 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む)	N=511	170.5分	N=751	201.9分	N=371	72.7分	N=533	67.0分
ウ. 育児	N=368	88.2分	N=404	100.0分	N=295	30.5分	N=353	18.2分
エ. 介護・看護	N=364	12.9分	N=428	27.7分	N=290	11.0分	N=349	15.4分
オ. 買い物	N=485	42.8分	N=709	50.5分	N=345	30.2分	N=477	29.5分
カ. 余暇(趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間)	N=449	81.5分	N=656	110.4分	N=360	82.9分	N=503	115.7分
キ. 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など)	N=370	6.0分	N=391	7.2分	N=304	5.9分	N=376	7.0分
ク. ボランティアやNPO活動	N=355	2.1分	N=395	6.4分	N=295	3.1分	N=360	7.9分
ケ. その他	N=170	8.8分	N=129	57.6分	N=181	18.8分	N=128	54.5分

1日あたりの平均所要時間(休日)

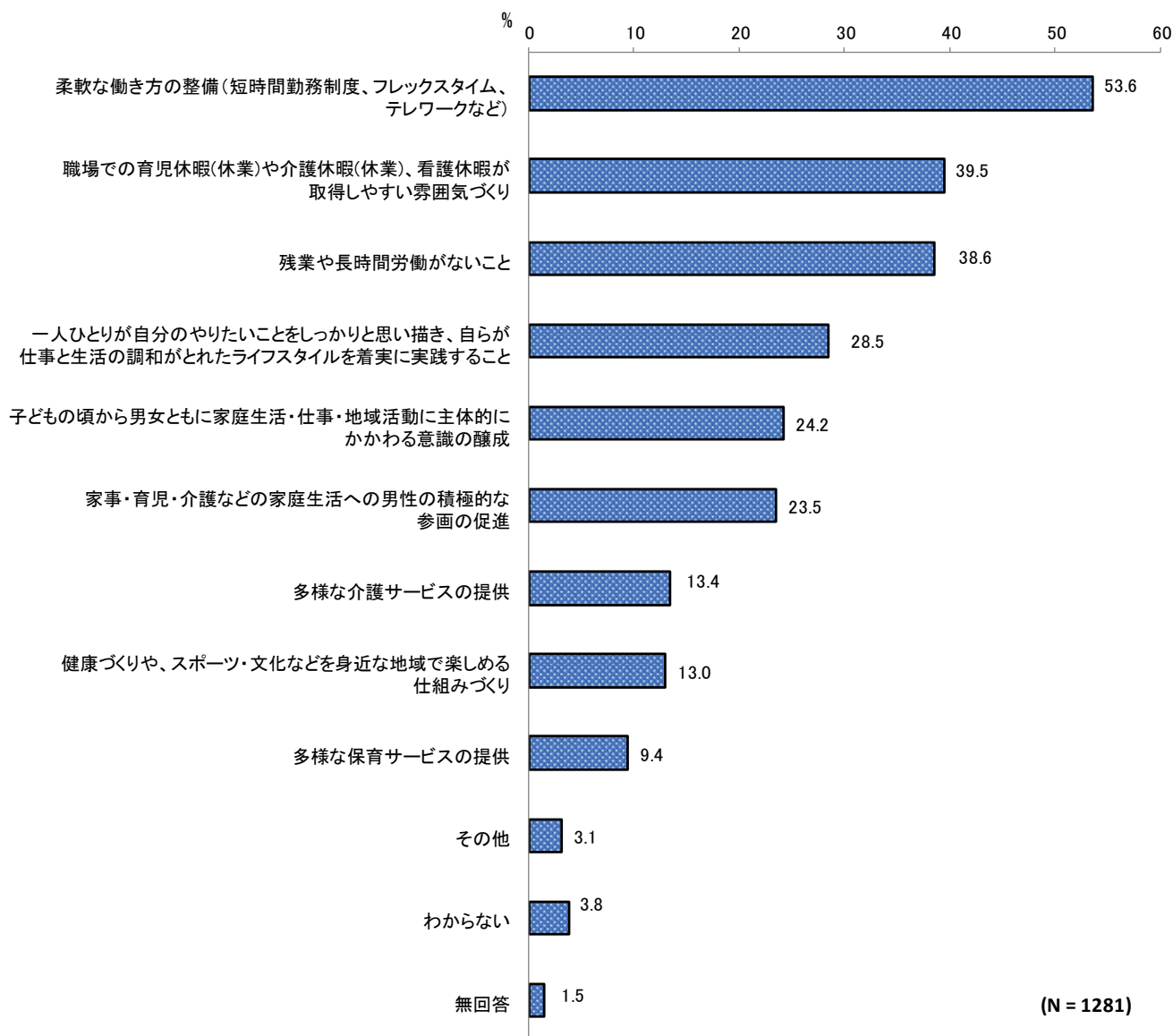
	女性				男性			
	今回		R1年度意識調査		今回		R1年度意識調査	
ア. 仕事(通勤時間を含む)	N=361	55.1分	N=404	83.0分	N=304	87.1分	N=395	84.5分
イ. 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む)	N=503	262.9分	N=647	251.8分	N=381	144.0分	N=525	109.5分
ウ. 育児	N=359	227.1分	N=369	197.6分	N=292	99.4分	N=353	64.8分
エ. 介護・看護	N=373	36.3分	N=403	30.1分	N=284	17.2分	N=351	13.1分
オ. 買い物	N=497	99.2分	N=636	87.8分	N=378	92.3分	N=494	65.8分
カ. 余暇(趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間)	N=486	213.3分	N=605	176.4分	N=388	247.8分	N=530	224.8分
キ. 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など)	N=351	14.0分	N=362	6.7分	N=309	17.4分	N=386	16.4分
ク. ボランティアやNPO活動	N=340	4.4分	N=364	5.7分	N=293	12.8分	N=368	12.7分
ケ. その他	N=177	32.9分	N=117	46.8分	N=188	37.0分	N=131	39.5分

【性別】仕事がある日では男女ともに「仕事」で最も差がみられ、前回より女性は91.4分、男性は51.7分増加となっている。「余暇」では、男女ともに減少しており、前回より女性は28.9分、男性は32.8分減少している。

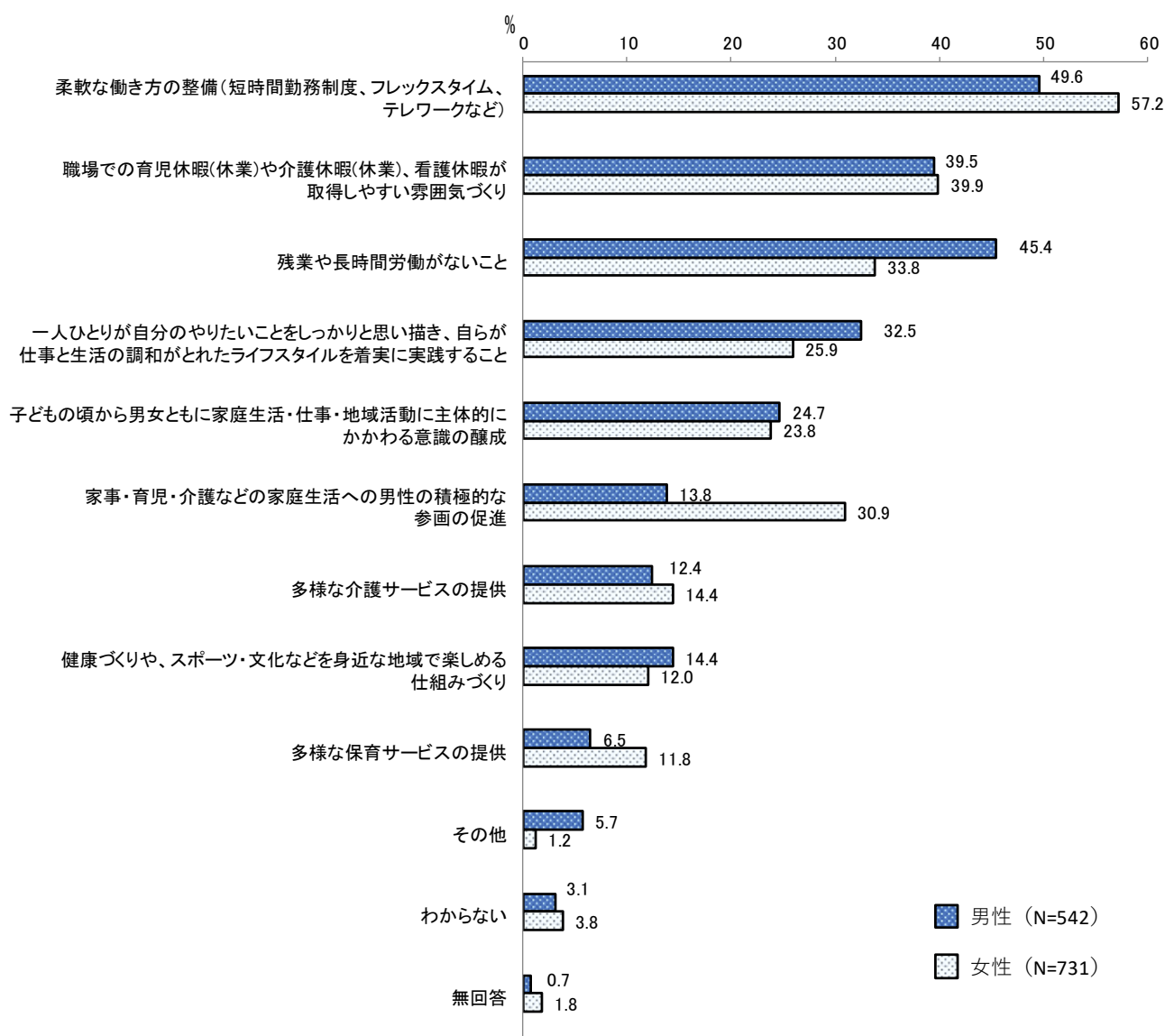
休日では、女性の「仕事」と「ボランティアやNPO活動」以外のすべての項目で増加となっている。前回と比較して最も差がみられたのは、女性では「余暇」が36.9分増加、男性では「育児」が34.6分増加となっている。

(16) ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なこと

問16 あなたは、ワーク・ライフ・バランスがとれるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なことについては、「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」が53.6%と最も高く、次いで「職場での育児休暇(休業)や介護休暇(休業)、看護休暇が取得しやすい雰囲気づくり」(39.5%)、「残業や長時間労働がないこと」(38.6%)となっている。



【性別】男性は、「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」が49.6%と最も高く、次いで「残業や長時間労働がないこと」（45.4%）、「職場での育児休暇(休業)や介護休暇(休業)、看護休暇が取得しやすい雰囲気づくり」（39.5%）となっている。

女性は、「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」が57.2%と最も高く、次いで「職場での育児休暇(休業)や介護休暇(休業)、看護休暇が取得しやすい雰囲気づくり」（39.9%）、「残業や長時間労働がないこと」（33.8%）となっている。

最も差がみられた「家事・育児・介護などの家庭生活への男性の積極的な参画の促進」では、女性（30.9%）が男性（13.8%）より17.1ポイント高くなっている。

	全体	ワーク・ライフ・バランスがとれるようになるために必要なこと												
		柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）	残業や長時間労働がないこと	職場での育児休暇（休業）や介護休暇（休業）、看護休暇が取得しやすい雰囲気づくり	思い描き、自分がやりたいことをしっかりと実践すること	一人ひとりが自分のやりたいことをしっかりと実践すること	積極的な参画の促進	家事・育児・介護などの家庭生活への男性の参加	地域活動に主体的にかかわる意識の醸成	子どもの頃から男女ともに家庭生活・仕事・地域活動	多様な保育サービスの提供	多様な介護サービスの提供	健康づくりや、スポーツ・文化などを身近な地域で楽しめる仕組みづくり	その他
全体	1281	53.6	38.6	39.5	28.5	23.5	24.2	9.4	13.4	13.0	3.1	3.8	1.5	
性・年齢別	男性（計）	542	49.6	45.4	39.5	32.5	13.8	24.7	6.5	12.4	14.4	5.7	3.1	0.7
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	80.0	50.0	60.0	30.0	0.0	5.0	20.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	37	70.3	56.8	51.4	27.0	13.5	18.9	5.4	8.1	5.4	0.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	44.7	57.4	37.2	30.9	10.6	24.5	10.6	6.4	8.5	14.9	2.1	0.0
	男性・50歳～59歳	145	48.3	54.5	31.7	25.5	13.8	21.4	5.5	13.8	17.2	6.9	2.8	0.0
	男性・60歳～64歳	64	48.4	64.1	28.1	32.8	20.3	34.4	6.3	9.4	15.6	3.1	0.0	0.0
	男性・65歳～69歳	60	66.7	25.0	41.7	46.7	15.0	23.3	5.0	11.7	18.3	0.0	3.3	3.3
	男性・70歳以上	121	35.5	21.5	48.8	36.4	14.0	29.8	3.3	20.7	16.5	3.3	7.4	1.7
	女性（計）	731	57.2	33.8	39.9	25.9	30.9	23.8	11.8	14.4	12.0	1.2	3.8	1.8
	女性・18歳、19歳	2	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	76.9	30.8	61.5	38.5	38.5	15.4	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	76.5	56.5	36.5	27.1	25.9	23.5	27.1	5.9	2.4	1.2	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	63.3	42.9	44.2	29.3	32.7	21.8	11.6	10.9	4.8	4.1	0.0	0.0
	女性・50歳～59歳	198	56.1	32.3	35.4	21.7	30.3	24.2	8.6	14.6	16.2	1.0	4.0	1.0
	女性・60歳～64歳	76	59.2	21.1	35.5	34.2	30.3	27.6	7.9	28.9	5.3	0.0	2.6	2.6
	女性・65歳～69歳	71	45.1	18.3	47.9	23.9	38.0	33.8	9.9	15.5	14.1	0.0	5.6	0.0
	女性・70歳以上	124	38.7	26.6	37.9	20.2	29.0	20.2	6.5	17.7	26.6	0.0	11.3	7.3
無回答	8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	

【性・年齢別】「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」では、「65歳～69歳」、「70歳以上」を除いた年齢層の女性は半数を超えている。

「職場での育児休暇（休業）や介護休暇（休業）、看護休暇が取得しやすい雰囲気づくり」では、男女ともに「20歳～29歳」で6割以上と高くなっている。

「残業や長時間労働がないこと」では、男性の「60歳～64歳」で唯一6割を超えている。

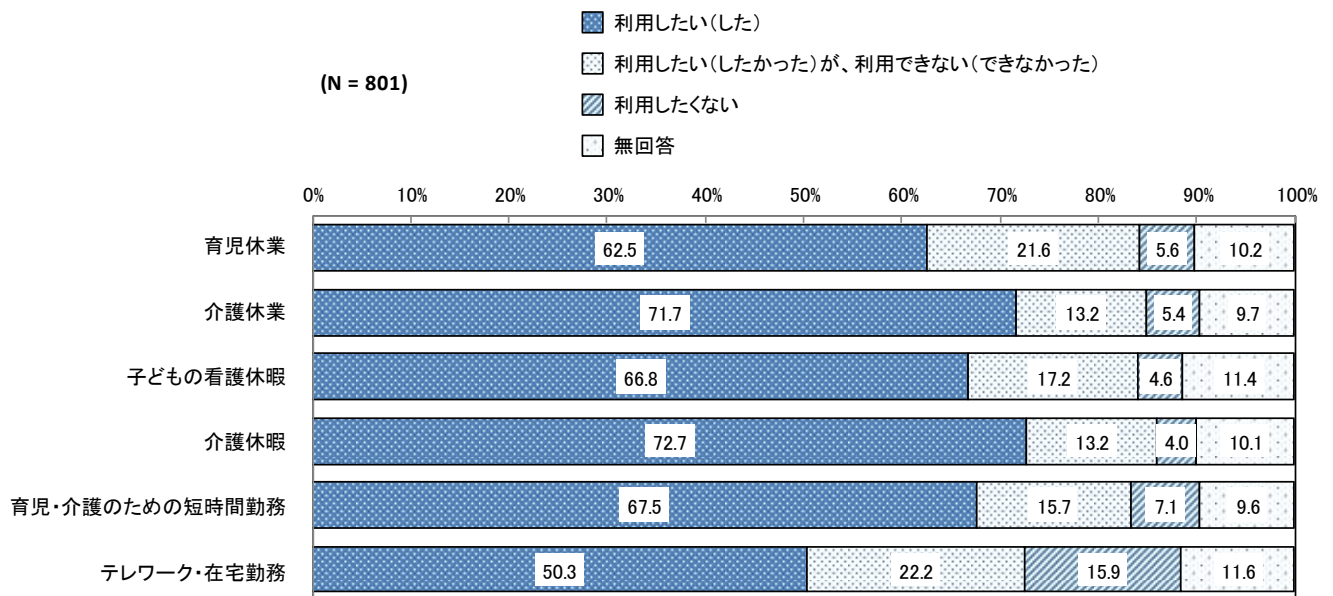
4. 就業環境について

(17) 各種制度の利用状況

(現在、働いている方が回答)

問17 あなたの勤めている会社などで、各制度を利用したいと思いますか。

(※該当しない方も、その立場にあった場合を想定してお答えください。)(それぞれ〇は1つ)



【全体】各種制度の利用状況などについては、「利用したい(した)」は、「介護休暇」が72.7%と最も高く、次いで「介護休業」(71.7%)、「育児・介護のための短時間勤務」(67.5%)となっている。

(問17で「2. 利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった)」と答えた方が回答)
 問17-1 その理由は何ですか。

利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった)理由 (自由記述)

(件数)

		育児休業	介護休業	子ども看護休暇	介護休暇	育児・介護のための短時間勤務	テレワーク・在宅勤務	計	
働き方、職場環境面	職場に迷惑がかかるから	5	3	4	3	3	1	19	136
	収入が減ると困るから	4	1	2	2	1	0	10	
	自営業・経営者だから	2	2	1	1	1	1	8	
	有給休暇で十分だから	1	1	2	3	1	0	8	
	時間で職場にしばられるから	0	1	0	1	0	0	2	
	制度があるのを知らなかった	1	0	3	0	2	0	6	
	テレワークができない仕事だから	0	0	0	0	0	57	57	
	正社員にだけ優遇されるから	7	5	4	4	4	2	26	
制度面の職場の	取得できないから	36	22	27	23	30	15	153	257
	制度がないから	25	15	21	12	16	12	101	
	制度を利用するための手続きが煩雑だから	0	2	0	1	0	0	3	
家庭面	施設に任せる	0	1	0	0	0	0	1	49
	必要なし	7	8	6	10	5	6	42	
	その他	1	0	2	0	2	1	6	
		89	61	72	60	65	95	442	442

※その他について

◎育児休業 (1件)

- ・産後は自分の体もボロボロな状態。子どもも少子化が進むこのご時世、宝とも言っているほど貴重だ。育児休業を取ることが母子ともに必要だと思う。

◎子ども看護休暇 (2件)

- ・スタッフの人数不足のため休めなかった。
- ・子どもが病気で入院などをすると、我が子のそばにいたいと思う親は多いと思う。

◎育児・介護のための短時間勤務 (2件)

- ・育児の時は短時間勤務ができたが、介護の時は短時間勤務ができなかった。

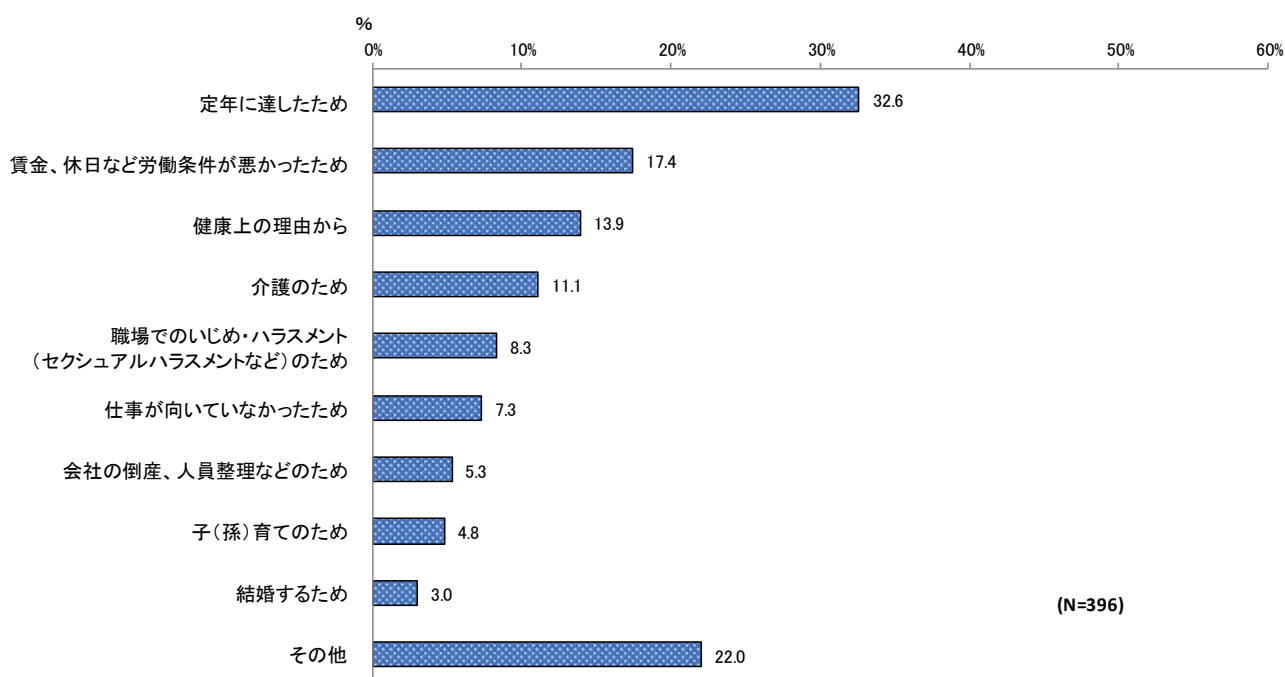
◎テレワーク・在宅勤務 (1件)

- ・考えてもみなかった。

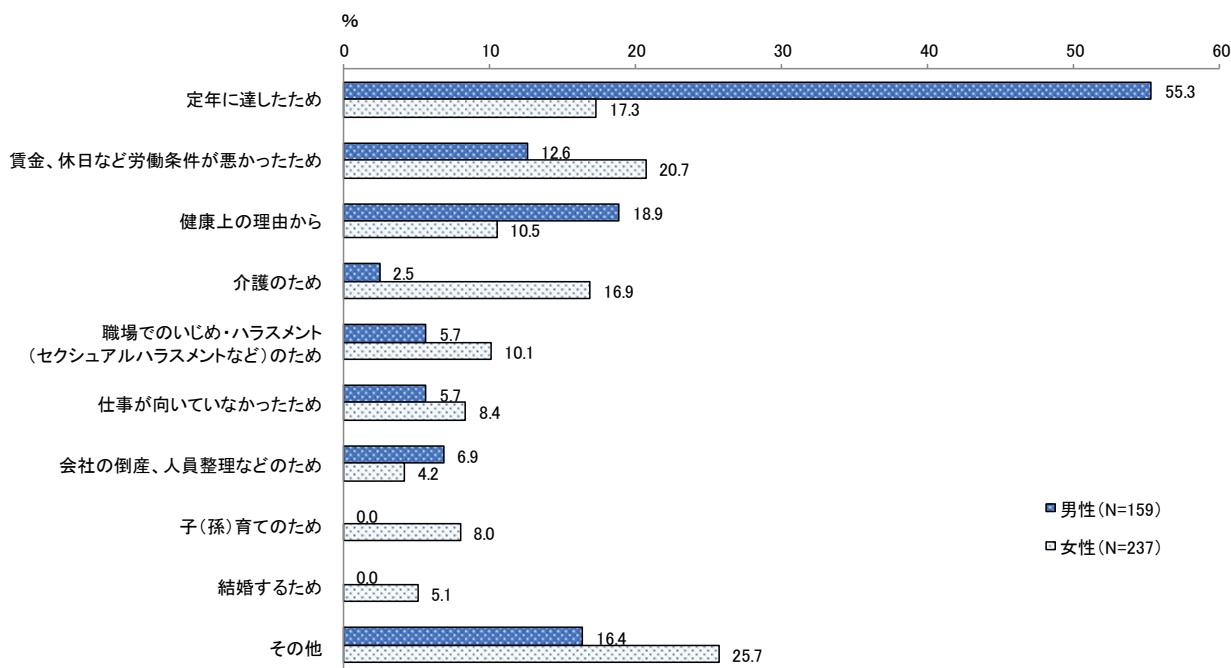
【全体】休暇の取得について、「利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった)」と答えた人に、その理由を自由記述で尋ね、同じような趣旨の記述ごとにまとめたところ、有休の時間休を除いた制度では「取得できないから」という理由が最も多く、次いで「制度がない」という職場の制度面の理由が最も多くなっている。なお、件数については集計ウエイトを加重していない。

(18) 仕事を辞めた理由

(平成30年以降に仕事を辞めたことのある方が回答)
 問18 仕事を辞めたのは、どのような理由ですか。(〇は2つまで)



【全体】仕事を辞めた理由については、「定年に達したため」が32.6%と最も高く、次いで「賃金、休日など労働条件が悪かったため」(17.4%)、「健康上の理由から」(13.9%)となっている。



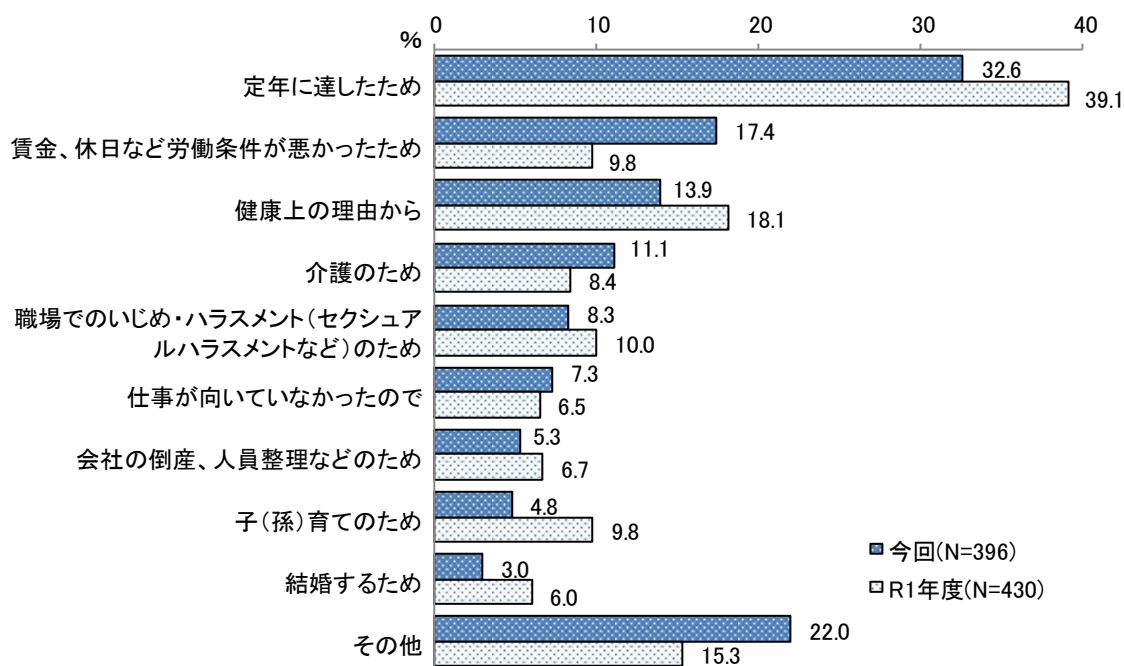
【性別】男性は「定年に達したため」が55.3%と最も高く、次いで「健康上の理由から」(18.9%)、「賃金、休日など労働条件が悪かったため」(12.6%)となっている。女性は「賃金、休日など労働条件が悪かったため」が20.7%と最も高く、次いで「定年に達したため」(17.3%)、「介護のため」(16.9%)となっている。

	全 体	仕事を辞めたのは、どのような理由ですか										
		定年に達したため	仕事に向いていなかったため	賃金、休日など労働条件が悪かったため	結婚するため	子(孫)育てのため	介護のため	健康上の理由から	会社の倒産、人員整理などのため	職場でのいじめ・ハラスメント(セクシュアルハラスメントなど)のため	その他	
全 体	396	32.6	7.3	17.4	3.0	4.8	11.1	13.9	5.3	8.3	22.0	
性・年齢別	男性(計)	159	55.3	5.7	12.6	0.0	0.0	2.5	18.9	6.9	5.7	16.4
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	3	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	男性・30歳～39歳	12	8.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0	50.0
	男性・40歳～49歳	19	0.0	10.5	31.6	0.0	0.0	0.0	21.1	31.6	10.5	26.3
	男性・50歳～59歳	13	15.4	15.4	46.2	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7	0.0	15.4
	男性・60歳～64歳	25	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	16.0	8.0	0.0	8.0
	男性・65歳～69歳	31	77.4	0.0	3.2	0.0	0.0	6.5	12.9	6.5	6.5	9.7
	男性・70歳以上	56	82.1	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	23.2	0.0	0.0	14.3
	女性(計)	237	17.3	8.4	20.7	5.1	8.0	16.9	10.5	4.2	10.1	25.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	8	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	20	0.0	5.0	60.0	10.0	30.0	5.0	20.0	0.0	10.0	10.0
	女性・40歳～49歳	47	0.0	14.9	17.0	4.3	12.8	10.6	6.4	8.5	19.1	40.4
	女性・50歳～59歳	62	0.0	12.9	24.2	0.0	3.2	14.5	16.1	9.7	17.7	35.5
	女性・60歳～64歳	25	28.0	8.0	16.0	8.0	0.0	16.0	4.0	0.0	0.0	20.0
	女性・65歳～69歳	28	39.3	0.0	7.1	0.0	14.3	35.7	10.7	0.0	0.0	14.3
	女性・70歳以上	45	51.1	4.4	4.4	4.4	2.2	20.0	8.9	0.0	4.4	20.0

【性・年齢別】「賃金、休日など労働条件が悪かったため」では、男女ともに「20歳～29歳」で最も高く、「結婚するため」では女性の「20歳～29歳」が、「子(孫)育てのため」では女性の「30歳～39歳」が最も高く、すべての年齢層で女性のみの回答となっている。

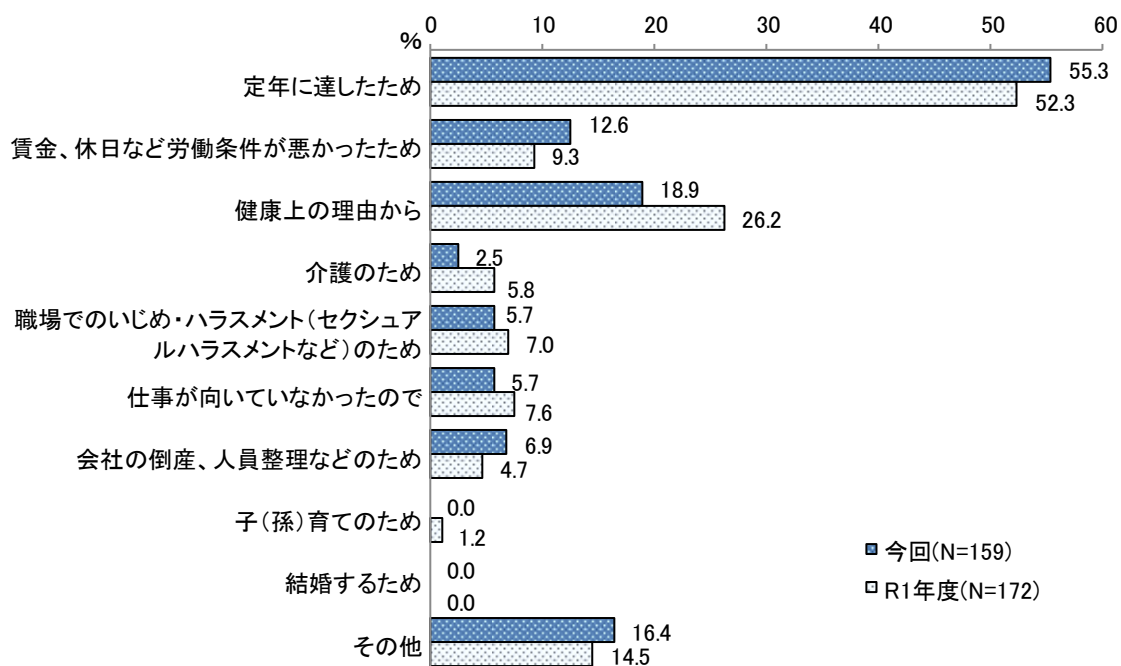
過去調査との比較

全体

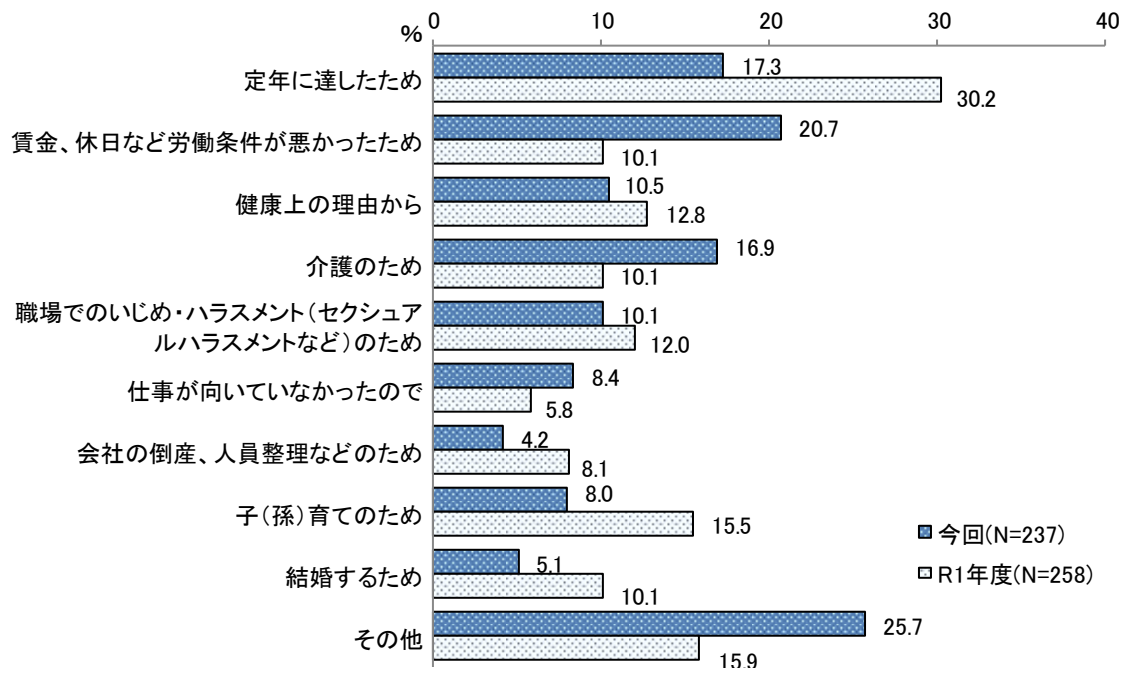


【全体】最も差がみられたのは「賃金、休日など労働条件が悪かったため」となっており、令和元年度調査より7.6ポイント増加している。また、「子(孫)育てのため」は5.0ポイント減少している。

男性



女性



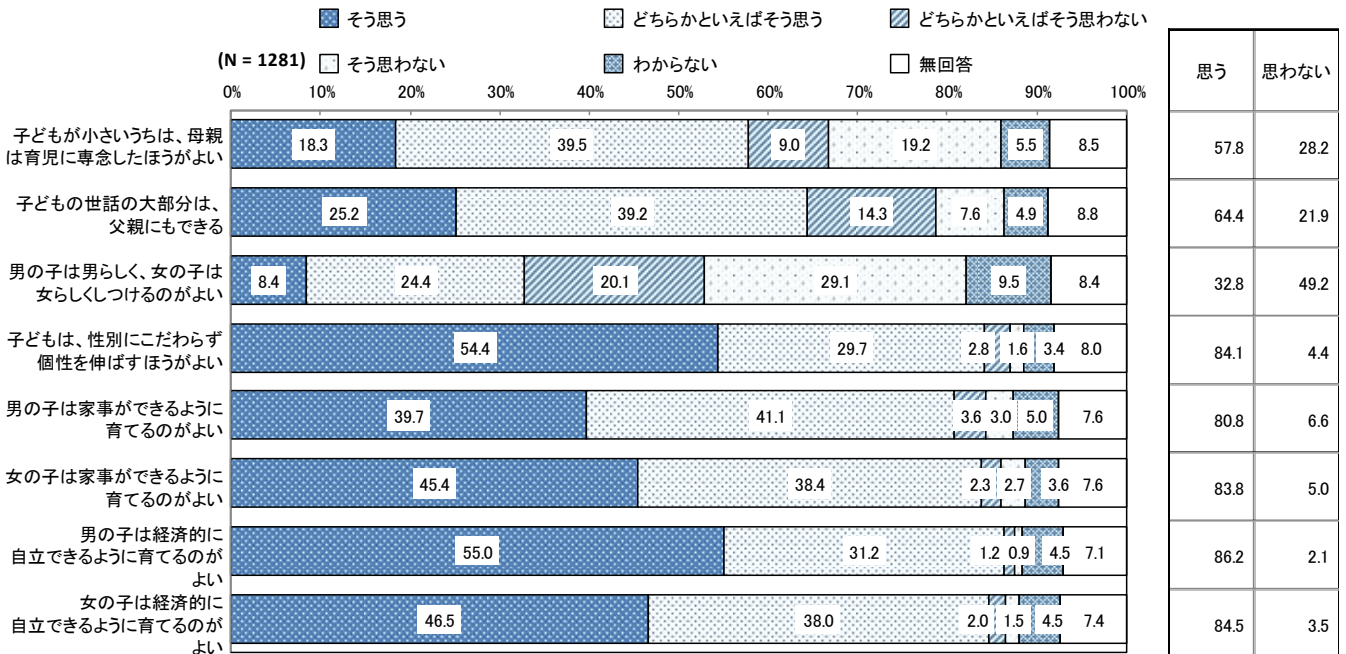
【性別】男性で最も差がみられたのは「健康上の理由から」となっており、令和元年度調査より7.3ポイント減少している。

女性で最も差がみられたのは、「定年に達したため」となっており、令和元年度調査より12.9ポイント減少している。また、「賃金、休日など労働条件が悪かったため」については10.6ポイント、「介護のため」については6.8ポイント増加している。

5. 家庭生活について

(19) 子育てについての考え

問19 子育てに関する次のそれぞれの質問について、あなたの考えに近いものを選んでください。
(それぞれ〇は1つ)



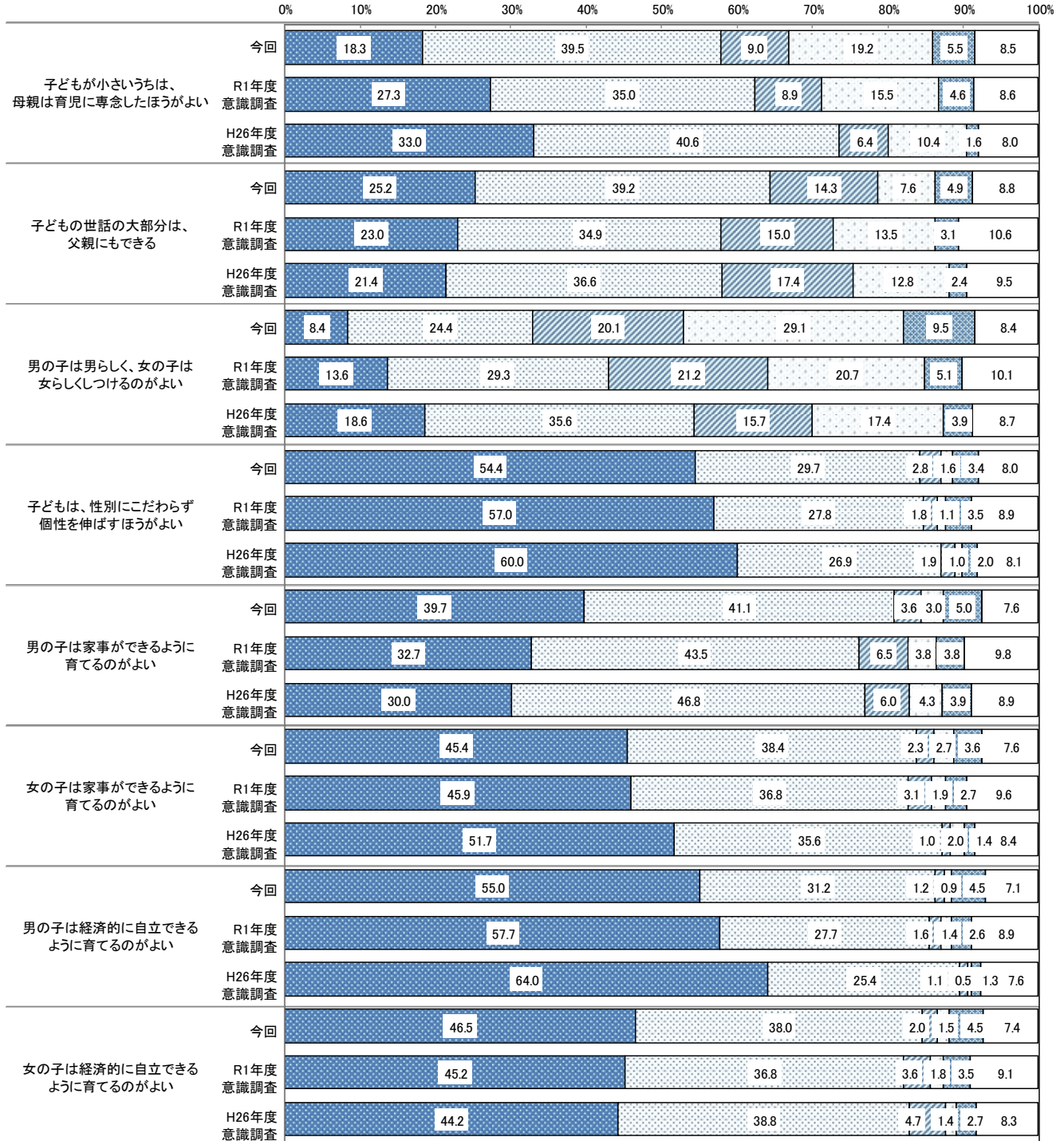
【全体】 子育てについての考えについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』では、「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」が86.2%で最も高く、次いで「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」(84.5%)、「子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい」(84.1%)となっている。

また、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」は、『思わない』(49.2%)が『思う』(32.8%)より16.4ポイント高くなっている。

過去調査との比較

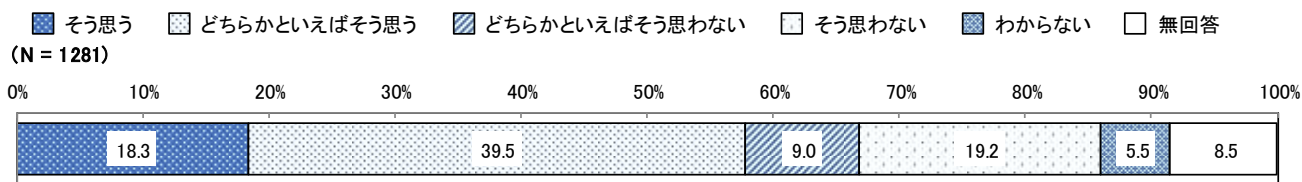
そう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

(今回：N =1281、令和元年度：N= 1534、H26年度：N=1659)



【全体】最も差がみられたのは「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」で、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』が令和元年度調査より7.3ポイント増加し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は10.1ポイント減少した。

子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい

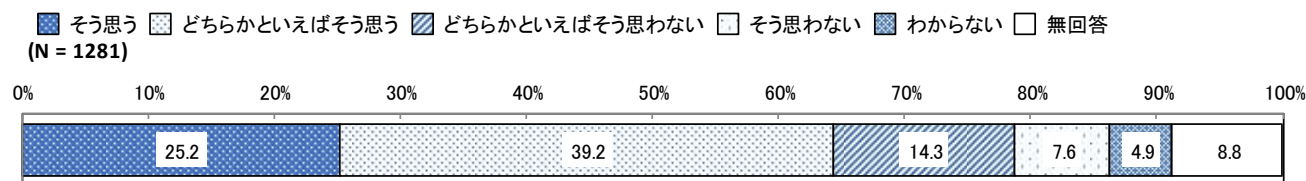


【全 体】子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよいについては、「どちらかといえばそう思う」が39.5%と最も高く、次いで「そう思わない」(19.2%)、「そう思う」(18.3%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	18.3	39.5	9.0	19.2	5.5	8.5	57.8	28.2
男性	542	21.6	40.6	7.9	15.9	5.0	9.0	62.2	23.8
女性	731	16.1	38.9	9.8	21.9	5.6	7.7	55.0	31.7

【性 別】『思う』では男性の方が7.2ポイント高く、『思わない』では、女性の方が7.9ポイント高い。

子どもの世話の大部分は、父親にもできる

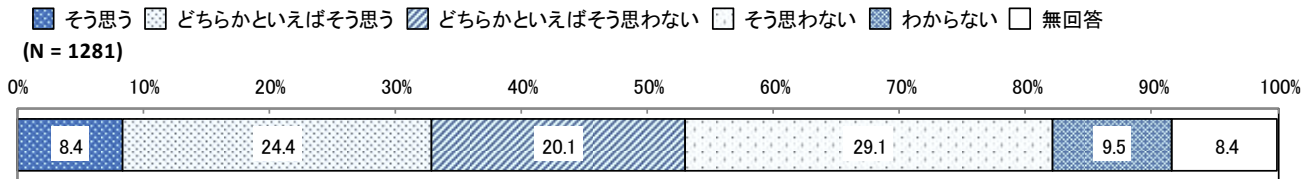


【全 体】子どもの世話の大部分は父親にもできるについては、「どちらかといえばそう思う」が39.2%と最も高く、次いで「そう思う」(25.2%)、「どちらかといえばそう思わない」(14.3%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	25.2	39.2	14.3	7.6	4.9	8.8	64.4	21.9
男性	542	17.3	37.6	19.9	10.3	6.3	8.5	54.9	30.2
女性	731	31.1	40.5	10.3	5.6	4.0	8.6	71.6	15.9

【性 別】『思う』では女性(71.6%)が男性(54.9%)より16.7ポイント高く、『思わない』では男性(30.2%)が女性(15.9%)より14.3ポイント高くなっている。

男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい

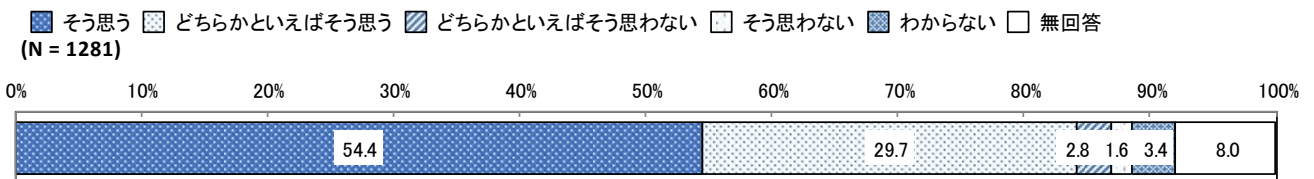


【全体】男の子は男らしく女の子は女らしくしつけるのがよいについては、「そう思わない」が29.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(24.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(20.1%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	8.4	24.4	20.1	29.1	9.5	8.4	32.8	49.2
男性	542	13.7	30.8	14.2	20.8	11.8	8.7	44.5	35.0
女性	731	4.7	20.0	24.4	35.6	7.7	7.8	24.7	60.0

【性別】『思う』では男性(44.5%)が女性(24.7%)より19.8ポイント高く、『思わない』では女性(60.0%)が男性(35.0%)より25.0ポイント高くなっている。

子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい

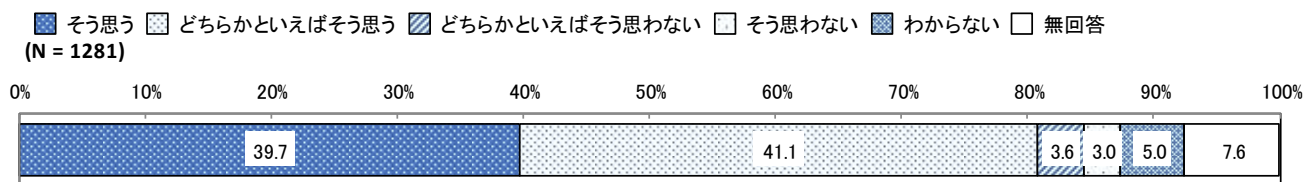


【全体】子どもは性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよいについては、「そう思う」が54.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(29.7%)、「わからない」(3.4%)となっている。

	全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	54.4	29.7	2.8	1.6	3.4	8.0	84.1	4.4
男性	542	46.7	34.3	4.8	2.8	3.9	7.6	81.0	7.6
女性	731	60.5	26.4	1.4	0.8	3.0	7.9	86.9	2.2

【性別】『思う』では女性(86.9%)が男性(81.0%)より5.9ポイント高く、『思わない』では男性(7.6%)が女性(2.2%)より5.4ポイント高くなっている。

男の子は家事ができるように育てるのがよい

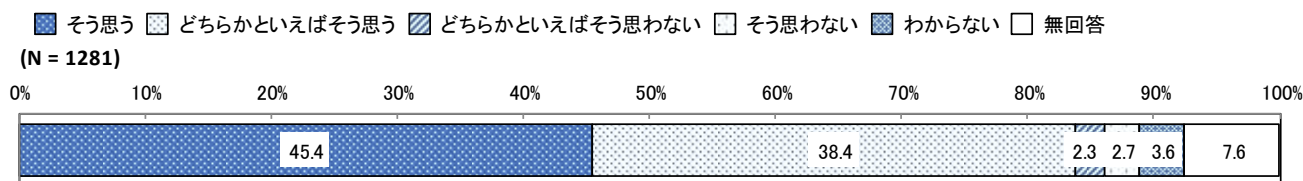


【全 体】男の子は家事ができるように育てるのがよいについては、「どちらかといえばそう思う」が41.1%と最も高く、次いで「そう思う」(39.7%)、「わからない」(5.0%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	39.7	41.1	3.6	3.0	5.0	7.6	80.8	6.6
男性	542	33.6	43.4	5.5	3.1	6.5	7.9	77.0	8.6
女性	731	44.3	39.7	2.2	3.0	4.0	6.8	84.0	5.2

【性 別】『思う』では女性(84.0%)が男性(77.0%)より7.0ポイント高く、『思わない』では男性(8.6%)が女性(5.2%)より3.4ポイント高くなっている。

女の子は家事ができるように育てるのがよい

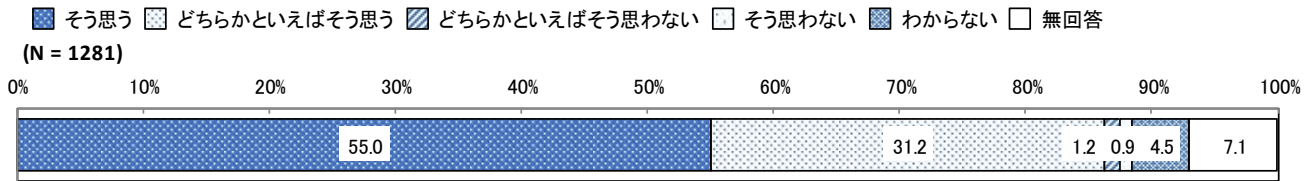


【全 体】女の子は家事ができるように育てるのがよいについては、「そう思う」が45.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(38.4%)、「わからない」(3.6%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	45.4	38.4	2.3	2.7	3.6	7.6	83.8	5.0
男性	542	41.0	41.0	2.2	2.6	5.4	7.9	82.0	4.8
女性	731	49.0	36.4	2.5	2.7	2.3	7.1	85.4	5.2

【性 別】『思う』では女性(85.4%)が男性(82.0%)より3.4ポイント高く、『思わない』では男女に大きな差はみられない。

男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい

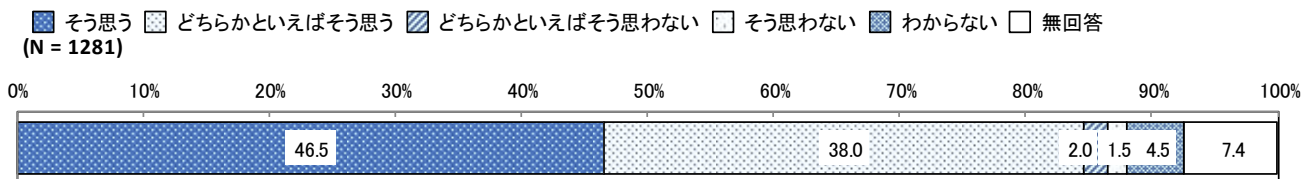


【全 体】男の子は経済的に自立できるように育てるのがよいについては、「そう思う」が 55.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(31.2%)、「わからない」(4.5%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	55.0	31.2	1.2	0.9	4.5	7.1	86.2	2.1
男性	542	55.5	29.9	0.7	1.1	5.5	7.2	85.4	1.8
女性	731	55.0	32.3	1.6	0.7	3.8	6.6	87.3	2.3

【性 別】『思う』と『思わない』では、男女に大きな差はみられない。

女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい



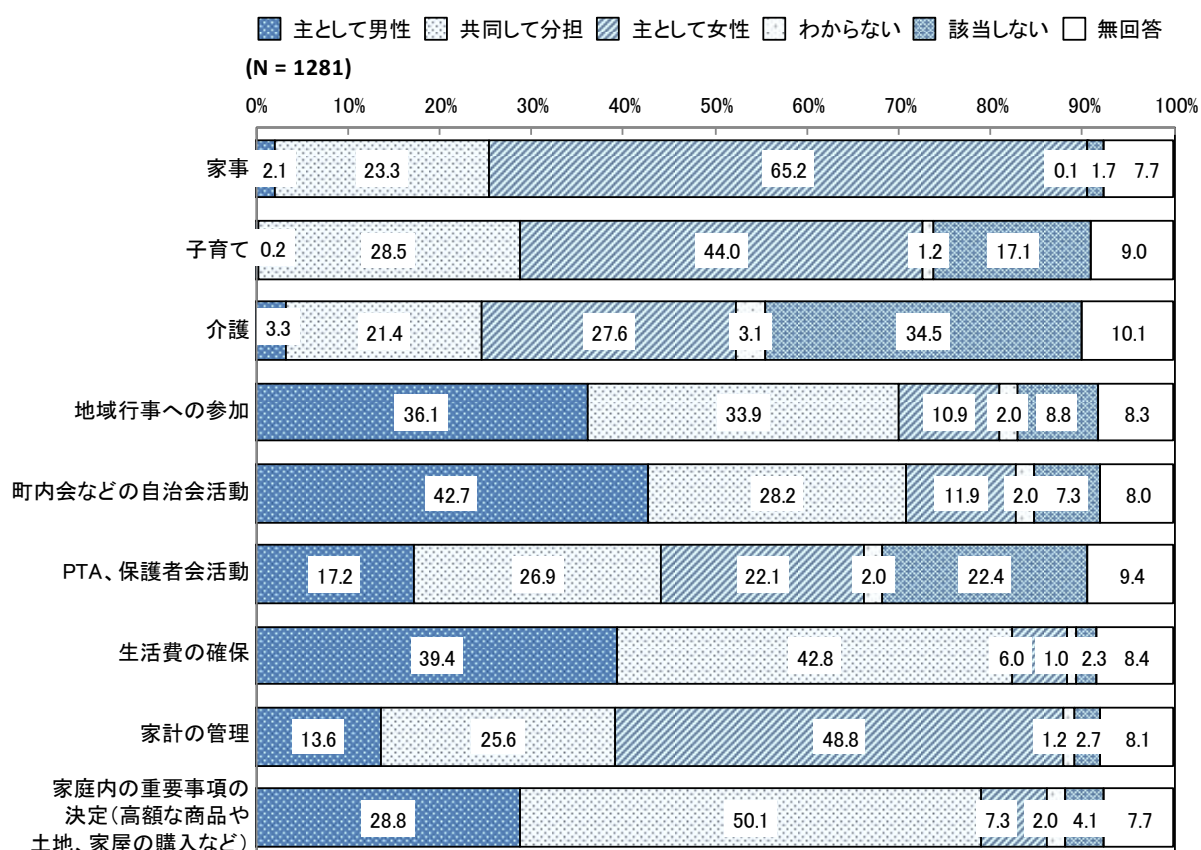
【全 体】女の子は経済的に自立できるように育てるのがよいについては、「そう思う」が 46.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(38.0%)、「わからない」(4.5%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1281	46.5	38.0	2.0	1.5	4.5	7.4	84.5	3.5
男性	542	43.7	39.3	1.5	2.0	5.9	7.6	83.0	3.5
女性	731	48.8	37.2	2.5	1.1	3.6	6.8	86.0	3.6

【性 別】『思う』では女性 (86.0%) が男性 (83.0%) より 3.0 ポイント高く、『思わない』では男女に大きな差はみられない。

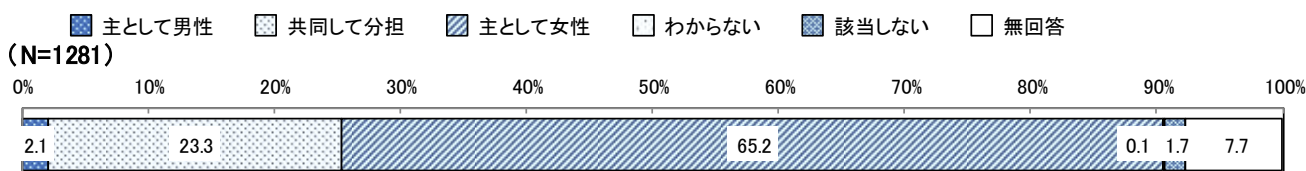
(20) 家事、子育て、介護などの分担

問20 あなたの家庭では、次のことについて、主に男性、女性のどちらが行っていますか。
(それぞれ〇は1つ)



【全体】家事、子育て、介護などの役割分担については、「該当しない」を除くと、「地域の行事への参加」、「町内会などの自治会活動」は「主として男性」が最も高く、「家事」、「子育て」、「介護」、「家計の管理」は「主として女性」が最も高くなっている。「PTA、保護者会活動」、「生活費の確保」「家庭内の重要事項の決定(高額な商品や土地、家屋の購入など)」では「共同して分担」が最も高くなっている。

家事

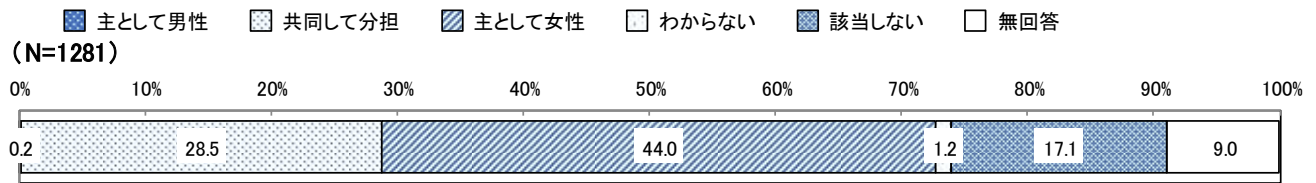


【全体】家事については、「主として女性」が65.2%と最も高く、次いで「共同して分担」(23.3%)、「主として男性」(2.1%)となっている。

	全体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	2.1	23.3	65.2	0.1	1.7	7.7
男性	542	4.2	25.6	60.7	0.2	1.7	7.6
女性	731	0.5	21.8	68.7	0.0	1.8	7.3

【性別】男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

子育て

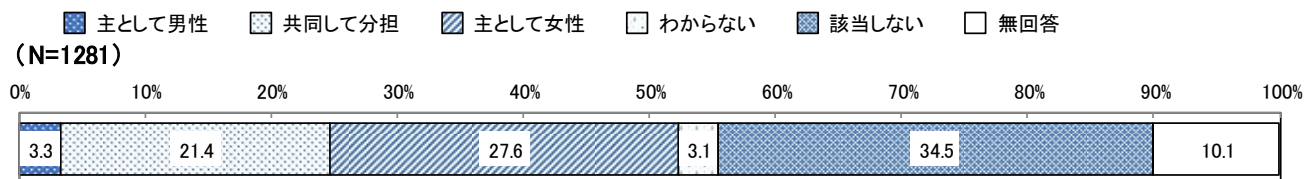


【全 体】子育てについては、「主として女性」が44.0%と最も高く、次いで「共同して分担」(28.5%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	0.2	28.5	44.0	1.2	17.1	9.0
男性	542	0.6	30.4	38.4	1.5	19.7	9.4
女性	731	0.0	27.4	48.2	1.0	15.3	8.2

【性 別】男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

介護 ※別居の家族も含む

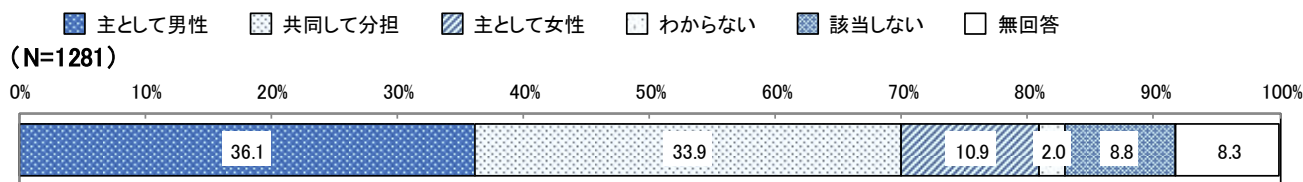


【全 体】介護については、「該当しない」を除くと、「主として女性」が27.6%と最も高く、次いで「共同して分担」(21.4%)、「主として男性」(3.3%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	3.3	21.4	27.6	3.1	34.5	10.1
男性	542	5.7	20.8	21.0	4.6	36.3	11.4
女性	731	1.5	21.8	32.4	2.1	33.5	8.8

【性 別】「該当しない」を除くと、男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

地域の行事への参加

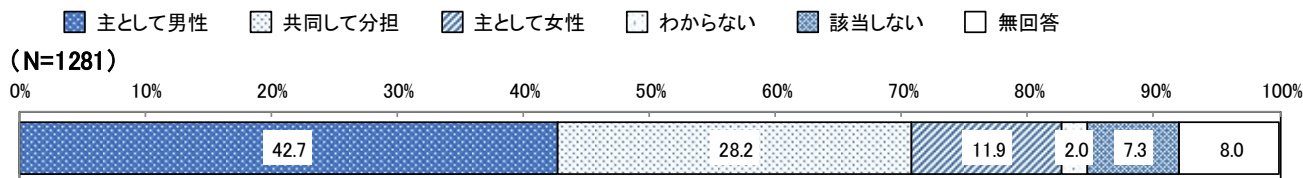


【全体】地域の行事への参加については、「主として男性」が36.1%と最も高く、次いで「共同して分担」(33.9%)、「主として女性」(10.9%)となっている。

	全体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	36.1	33.9	10.9	2.0	8.8	8.3
男性	542	45.4	30.4	6.5	1.5	8.3	7.9
女性	731	29.3	36.5	14.4	2.5	9.3	8.1

【性別】男性は「主として男性」(45.4%)が最も高くなっているが、女性は「共同して分担」(36.5%)が最も高くなっている。

町内会などの自治会活動

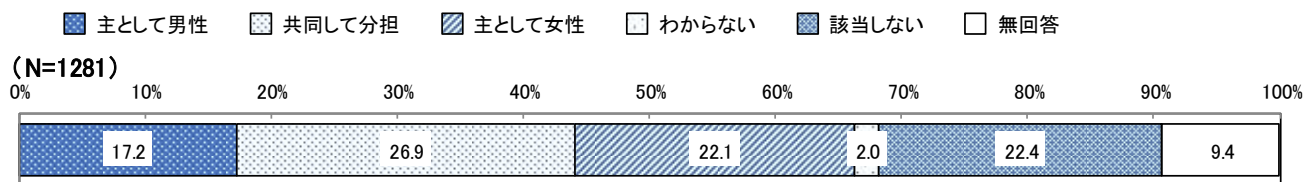


【全体】町内会などの自治会活動については、「主として男性」が42.7%と最も高く、次いで「共同して分担」(28.2%)、「主として女性」(11.9%)となっている。

	全体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	42.7	28.2	11.9	2.0	7.3	8.0
男性	542	52.8	24.5	6.5	2.8	6.3	7.2
女性	731	35.4	30.9	16.0	1.4	8.1	8.2

【性別】男女ともに「主として男性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

P T A、保護者会活動

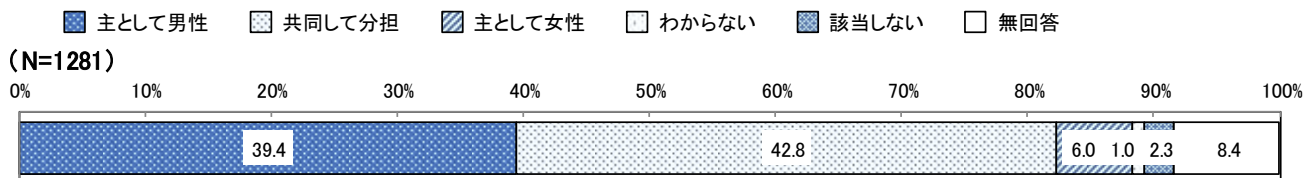


【全 体】P T A、保護者会活動については、「該当しない」を除くと、「共同して分担」が26.9%と最も高く、次いで「主として女性」(22.1%)、「主として男性」(17.2%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	17.2	26.9	22.1	2.0	22.4	9.4
男性	542	23.6	25.6	14.4	2.4	24.4	9.6
女性	731	12.6	28.2	27.5	1.6	21.2	8.9

【性 別】「該当しない」を除くと、男女ともに「共同して分担」が最も高く、次いで男性では「主として男性」(23.6%)、女性では「主として女性」(27.5%)となっている。

生活費の確保

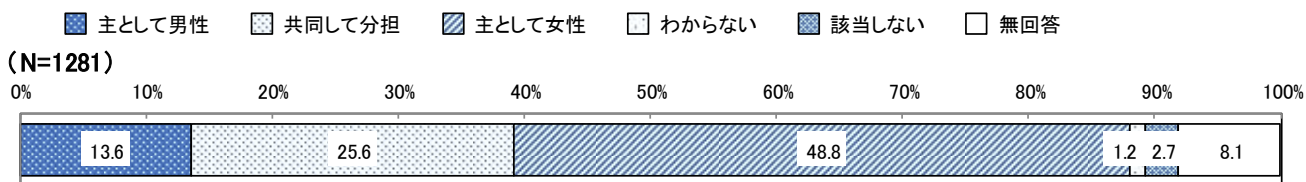


【全 体】生活費の確保については、「共同して分担」が42.8%と最も高く、次いで「主として男性」(39.4%)「主として女性」(6.0%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	39.4	42.8	6.0	1.0	2.3	8.4
男性	542	45.4	40.4	2.2	1.7	2.6	7.7
女性	731	35.2	44.7	8.9	0.5	2.2	8.5

【性 別】男性は「主として男性」(45.4%)が、女性は「共同して分担」(44.7%)が最も高くなっている。

家計の管理

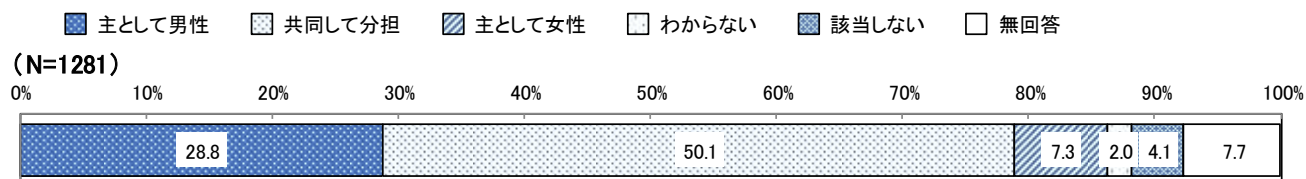


【全 体】家計の管理については、「主として女性」が 48.8%と最も高く、次いで「共同して分担」(25.6%)、「主として男性」(13.6%) となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	13.6	25.6	48.8	1.2	2.7	8.1
男性	542	16.4	23.8	48.5	2.0	2.2	7.0
女性	731	11.4	26.9	49.5	0.7	3.0	8.5

【性 別】男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

家庭内の重要事項の決定（高額な商品や土地、家屋の購入など）



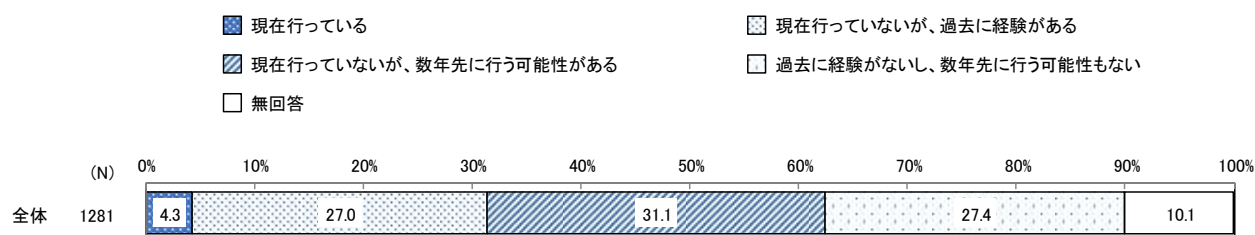
【全 体】家庭内の重要事項の決定（高額な商品や土地、家屋の購入など）については、「共同して分担」が 50.1%と最も高く、次いで「主として男性」(28.8%)、「主として女性」(7.3%) となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1281	28.8	50.1	7.3	2.0	4.1	7.7
男性	542	26.6	55.4	5.7	1.3	4.1	7.0
女性	731	30.2	46.8	8.6	2.5	4.1	7.8

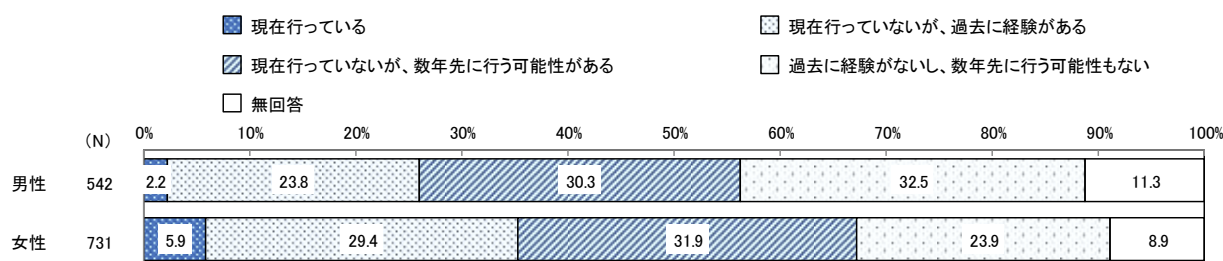
【性 別】男女ともに「共同して分担」が最も高く、次いで「主として男性」となっている。

(21) 子育てと介護のダブルケア

問 2 1 あなたは現在、子育てと介護を同時に行っていますか。(○は1つ)



【全 体】子育てと介護のダブルケアについては、「現在行っていないが、数年先に行う可能性がある」が31.1%と最も高く、次いで「過去に経験がないし、数年先に行う可能性もない」(27.4%)、「現在行っていないが、過去に経験がある」(27.0%)となっている。



【性 別】最も差がみられた「過去に経験がないし、数年先に行う可能性もない」では、男性(32.5%)が女性(23.9%)より8.6ポイント高い。また、「現在行っている」は、女性(5.9%)が男性(2.2%)より3.7ポイント高い。

	全体	子育てと介護のダブルケアの経験					
		現在行っている	現在行っていないが、過去に経験がある	現在行っていないが、数年先に行う可能性がある	過去に経験がないし、数年先に行う可能性もない	無回答	
全体	1281	4.3	27.0	31.1	27.4	10.1	
性・年齢別	男性(計)	542	2.2	23.8	30.3	32.5	11.3
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	10.0	30.0	45.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	43.2	56.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	4.3	6.4	55.3	29.8	4.3
	男性・50歳～59歳	145	1.4	17.2	42.1	35.2	4.1
	男性・60歳～64歳	64	3.1	18.8	17.2	45.3	15.6
	男性・65歳～69歳	60	3.3	55.0	6.7	30.0	5.0
	男性・70歳以上	121	1.7	42.1	10.7	16.5	28.9
	女性(計)	731	5.9	29.4	31.9	23.9	8.9
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	69.2	30.8	0.0
	女性・30歳～39歳	85	3.5	3.5	58.8	34.1	0.0
	女性・40歳～49歳	147	9.5	16.3	49.0	19.0	6.1
	女性・50歳～59歳	198	7.6	27.8	32.3	26.3	6.1
	女性・60歳～64歳	76	9.2	42.1	13.2	22.4	13.2
	女性・65歳～69歳	71	0.0	50.7	15.5	22.5	11.3
	女性・70歳以上	124	3.2	52.4	4.8	18.5	21.0
	無回答	8	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0

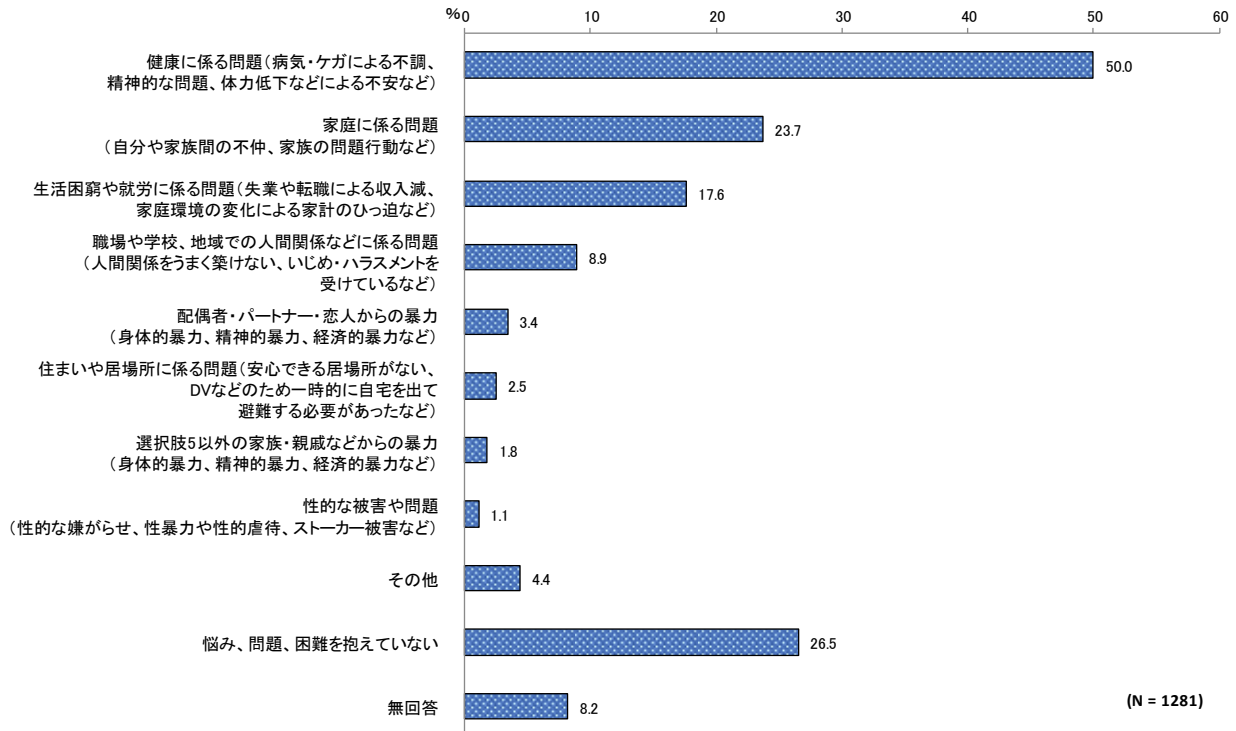
【性・年齢別】「現在行っていないが、数年先に行う可能性がある」は、すべての年齢層で回答しており、特に女性の「20歳～29歳」で唯一6割を超えている。

「過去に経験がないし、数年先に行う可能性もない」は、男女ともに「30歳～39歳」が最も高くなっている。

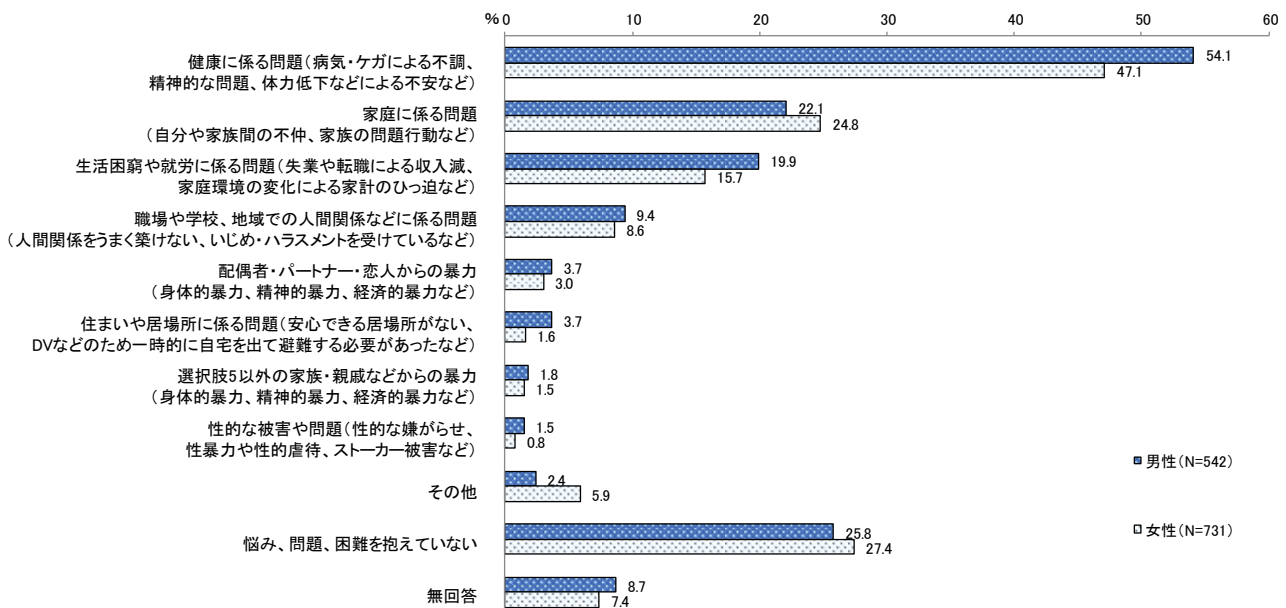
6. 困難な問題を抱える女性への支援について

(22) 抱える困難の状況

問22 あなたは、次の項目について、悩みや困難を抱えていますか。(あてはまるものすべてに○)



【全体】抱える困難の状況については、「健康に係る問題」が50.0%と最も高く、次いで「家庭に係る問題」(23.7%)、「生活困窮や就労に係る問題」(17.6%)となっている。



【性別】男性、女性ともに、大きな傾向の違いはみられなかったが、「家庭に係る問題」は、女性の方が男性より2.7ポイント高い。

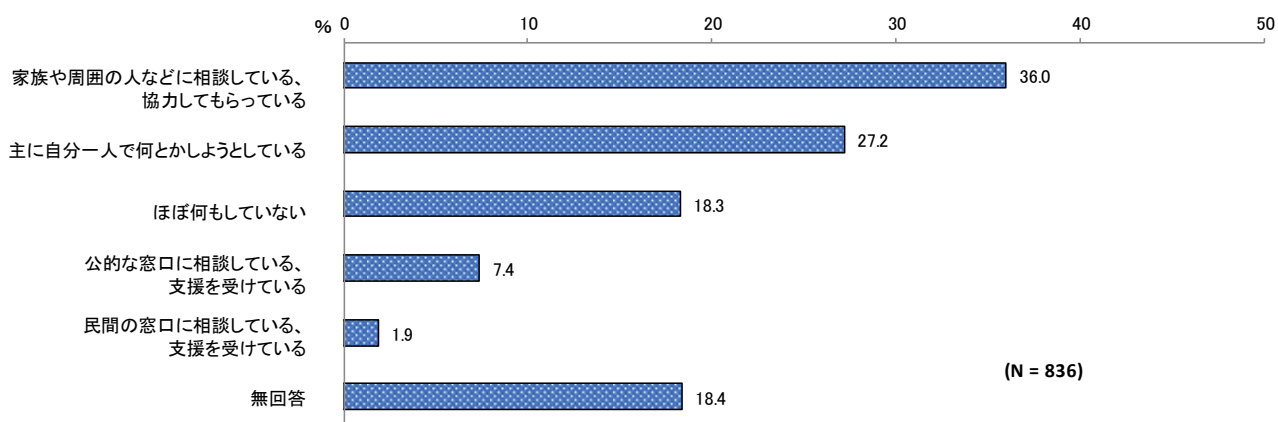
	全体	悩みや困難を抱えているか											
		健康に係る問題（体力低下などによる不安など）	（家庭に係る問題（自分や家族間の不仲、家族の問題行動など）	生活困窮や就業環境の変化による家計のひっ迫など）	（人間関係がうまく築けない、いじめ・ハラスメントを受けているなど）	（職場や学校、地域での人間関係などに係る問題）	（身体的暴力、精神的暴力、恋人からの暴力）	（身体的暴力、精神的暴力、経済的暴力など）	（選択肢5以外の家族・親戚などからの暴力）	（性的虐待、ストーカー被害など）	（性的被害や問題（性的な嫌がらせ、性暴力や性的虐待、ストーカー被害など）	（住まいや居場所に係る問題（安心して居場所がない、DVなどのため一時的に自宅を出て避難する必要があるなど）	その他
全体	1281	50.0	23.7	17.6	8.9	3.4	1.8	1.1	2.5	4.4	26.5	8.2	
性・年齢別	男性(計)	542	54.1	22.1	19.9	9.4	3.7	1.8	1.5	3.7	2.4	25.8	8.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	45.0	30.0	15.0	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	25.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	35.1	24.3	13.5	10.8	2.7	2.7	2.7	2.7	5.4	37.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	55.3	26.6	33.0	12.8	5.3	4.3	0.0	6.4	0.0	23.4	9.6
	男性・50歳～59歳	145	52.4	29.0	18.6	13.8	4.1	1.4	1.4	1.4	2.8	26.2	4.1
	男性・60歳～64歳	64	54.7	25.0	15.6	4.7	1.6	1.6	4.7	4.7	3.1	28.1	10.9
	男性・65歳～69歳	60	65.0	20.0	21.7	6.7	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	23.3	5.0
	男性・70歳以上	121	57.0	8.3	15.7	5.0	5.0	1.7	1.7	3.3	1.7	23.1	15.7
	女性(計)	731	47.1	24.8	15.7	8.6	3.0	1.5	0.8	1.6	5.9	27.4	7.4
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	46.2	15.4	15.4	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	7.7
	女性・30歳～39歳	85	47.1	32.9	25.9	14.1	1.2	1.2	0.0	1.2	2.4	27.1	0.0
	女性・40歳～49歳	147	39.5	32.0	17.0	10.9	4.1	4.1	2.7	2.7	5.4	26.5	4.8
	女性・50歳～59歳	198	48.5	26.3	17.2	9.6	2.0	0.0	1.0	2.5	9.1	30.3	5.1
	女性・60歳～64歳	76	53.9	31.6	11.8	2.6	5.3	2.6	0.0	0.0	7.9	18.4	7.9
	女性・65歳～69歳	71	52.1	25.4	15.5	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	4.2	21.1	14.1
	女性・70歳以上	124	46.8	6.5	8.1	1.6	4.8	1.6	0.0	1.6	4.8	33.1	13.7
無回答	8	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	

【性・年齢別】「健康に係る問題」は、男性では「65歳～69歳」（65.0%）、女性では「60歳～64歳」（53.9%）が最も高かった。

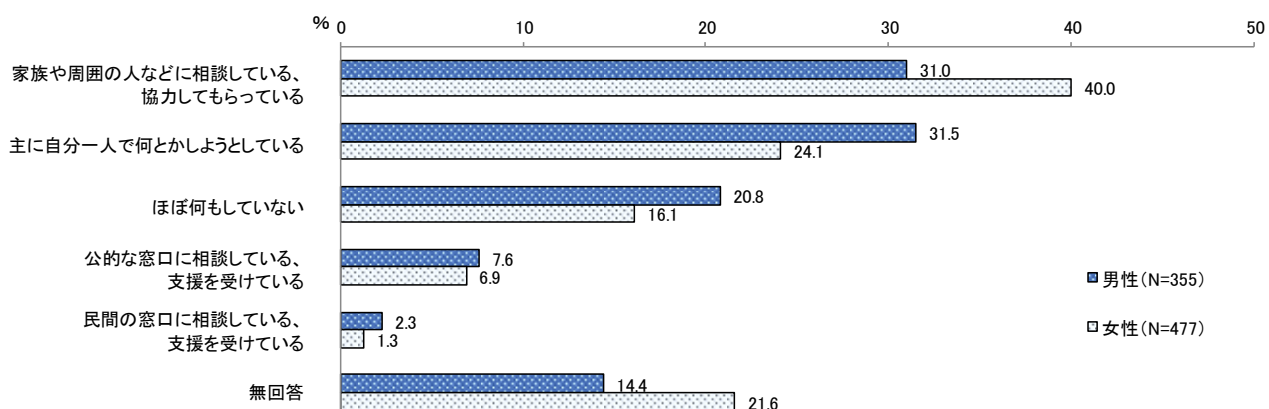
(23) 抱える困難への対応状況

(問22で「10」以外を選んだ方が回答)

問23 あなたは、抱える悩みや困難へどのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)



【全体】抱える悩みや困難への対応については、「家族や周囲の人などに相談している、協力してもらっている」が36.0%と最も高く、次いで「主に自分一人で何とかしようとしている」(27.2%)、「ほぼ何もしていない」(18.3%)となっている。



【性別】男性では、「主に自分一人で何とかしようとしている」(31.5%)が最も高く、女性では「家族や周囲の人などに相談している、協力してもらっている」(40.0%)が最も高い。

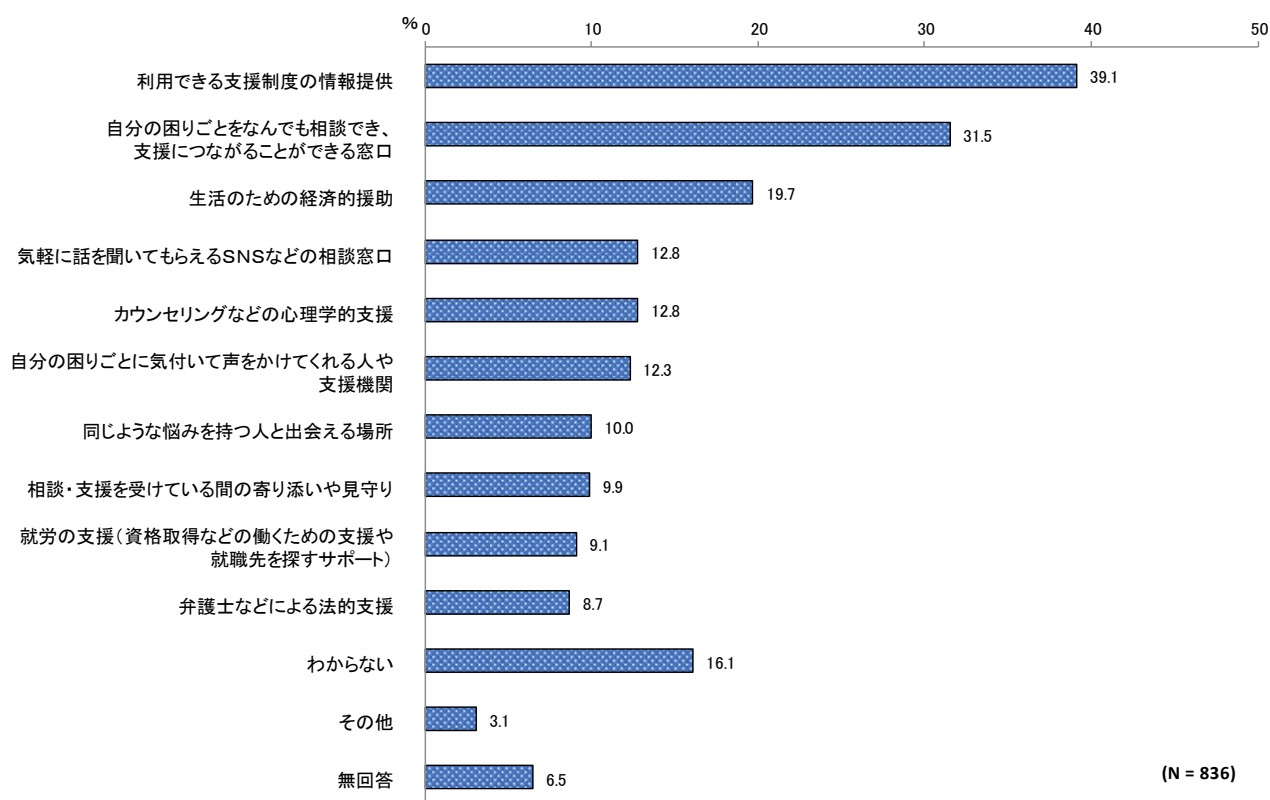
	全体	抱える悩みや困難への対処						
		公的な窓口 に相談して いる、支援を 受けて いる	民間の窓口 に相談して いる、支援を 受けて いる	家族や周囲 の人などに 相談してい る、協力し てもらって いる	主に自分一 人で何とかし ようとしてい る	ほぼ何もし ていない	無回答	
全体	836	7.4	1.9	36.0	27.2	18.3	18.4	
性・ 年齢別	男性(計)	355	7.6	2.3	31.0	31.5	20.8	14.4
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	12	0.0	0.0	16.7	16.7	41.7	25.0
	男性・30歳～39歳	23	4.3	8.7	73.9	21.7	13.0	0.0
	男性・40歳～49歳	63	6.3	0.0	22.2	27.0	28.6	15.9
	男性・50歳～59歳	101	4.0	4.0	28.7	36.6	18.8	11.9
	男性・60歳～64歳	39	12.8	5.1	30.8	28.2	28.2	10.3
	男性・65歳～69歳	43	11.6	0.0	27.9	41.9	14.0	18.6
	男性・70歳以上	74	10.8	0.0	32.4	29.7	16.2	18.9
	女性(計)	477	6.9	1.3	40.0	24.1	16.1	21.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	16	0.0	0.0	62.5	37.5	25.0	0.0
	女性・30歳～39歳	62	9.7	0.0	58.1	25.8	21.0	3.2
	女性・40歳～49歳	101	9.9	0.0	28.7	24.8	18.8	25.7
	女性・50歳～59歳	128	4.7	1.6	42.2	25.8	13.3	20.3
	女性・60歳～64歳	56	3.6	0.0	42.9	21.4	12.5	30.4
	女性・65歳～69歳	46	8.7	0.0	39.1	17.4	15.2	28.3
	女性・70歳以上	66	7.6	3.0	30.3	22.7	15.2	28.8
無回答	4	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

【性・年齢別】「家族や周囲の人などに相談している、協力してもらっている」では、「男性30歳～39歳」(73.9%)が最も高い。

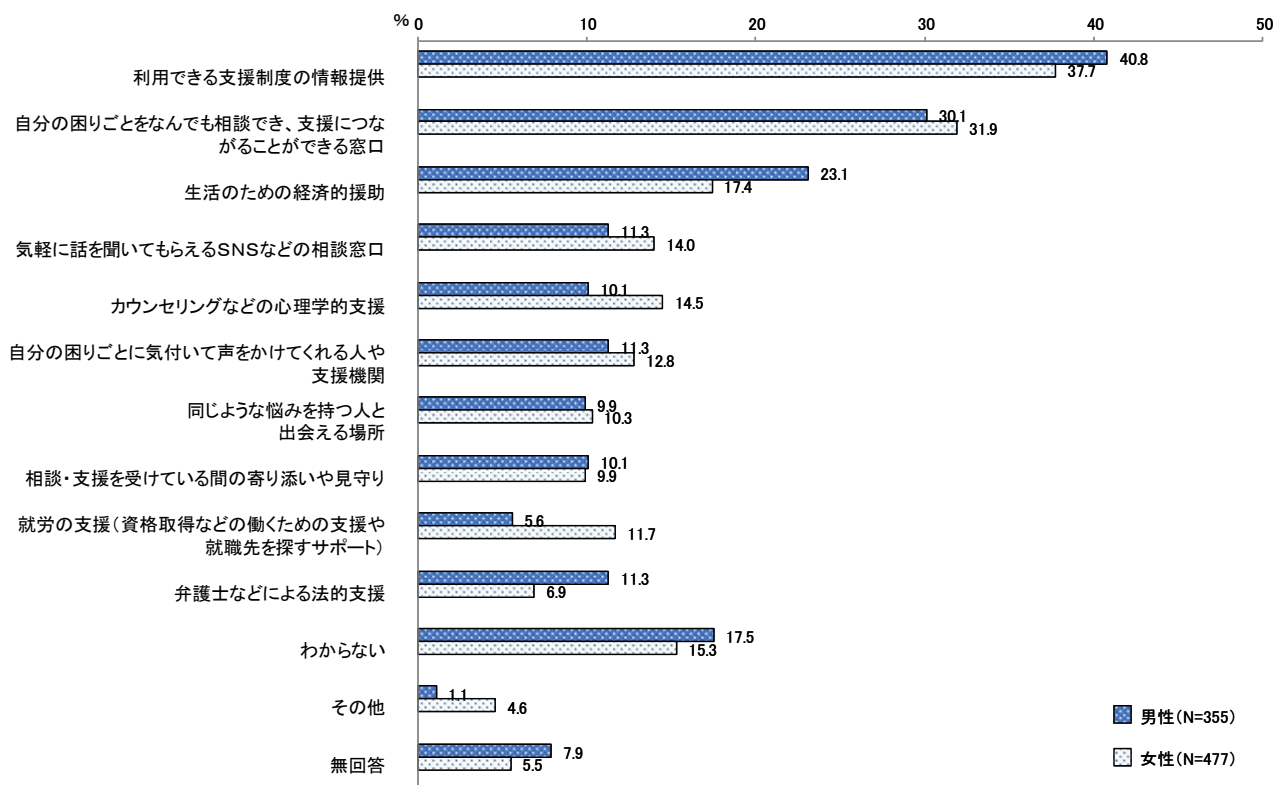
(24) 困難を解決するために必要な環境・支援

(問22で「10」以外を選んだ方が回答)

問24 あなたは、自身が抱える困難を解決するために、どのような環境や支援があると良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



【全体】困難を解決するために必要な環境・支援については、「利用できる支援制度の情報提供」が39.1%と最も高く、次いで「自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるることができる窓口」(31.5%)、「生活のための経済的援助」(19.7%)となっている。



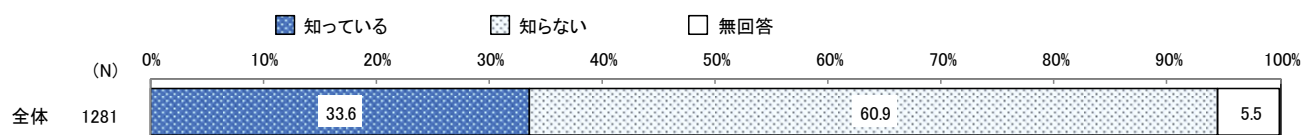
【性別】男性、女性で傾向に大きな差はみられなかったが、「生活のための経済的援助」が男性の方が女性より 5.7 ポイント高い。

	全体	困難を解決するためがあると良い環境や支援													
		利用できる支援制度の情報提供	自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながる事ができる窓口	気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口	生活のための経済的援助	カウンセリングなどの心理学的支援	同じような悩みを持つ人と出会える場所	自分の困りごとに関心を持って声をかけてくれる人や支援機関	弁護士などによる法的支援	就労の支援や就職（資格取得などの働くための先を探すサポート）	相談・支援を受けている間の寄り添いや見守り	その他	わからない	無回答	
全体	836	39.1	31.5	12.8	19.7	12.8	10.0	12.3	8.7	9.1	9.9	3.1	16.1	6.5	
性・年齢別	男性(計)	355	40.8	30.1	11.3	23.1	10.1	9.9	11.3	11.3	5.6	10.1	1.1	17.5	7.9
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	12	41.7	16.7	16.7	33.3	41.7	25.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0
	男性・30歳～39歳	23	39.1	34.8	21.7	21.7	4.3	13.0	17.4	8.7	30.4	17.4	0.0	26.1	0.0
	男性・40歳～49歳	63	38.1	23.8	6.3	33.3	6.3	17.5	9.5	23.8	9.5	6.3	3.2	9.5	6.3
	男性・50歳～59歳	101	31.7	24.8	13.9	17.8	14.9	9.9	9.9	7.9	1.0	2.0	2.0	22.8	7.9
	男性・60歳～64歳	39	48.7	41.0	17.9	30.8	12.8	0.0	10.3	2.6	10.3	10.3	0.0	10.3	10.3
	男性・65歳～69歳	43	58.1	46.5	0.0	25.6	0.0	4.7	18.6	14.0	0.0	14.0	0.0	9.3	4.7
	男性・70歳以上	74	41.9	28.4	10.8	14.9	8.1	8.1	5.4	8.1	2.7	18.9	0.0	24.3	13.5
	女性(計)	477	37.7	31.9	14.0	17.4	14.5	10.3	12.8	6.9	11.7	9.9	4.6	15.3	5.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	16	25.0	37.5	12.5	37.5	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	62	33.9	33.9	30.6	24.2	12.9	12.9	21.0	4.8	22.6	4.8	3.2	17.7	3.2
	女性・40歳～49歳	101	34.7	31.7	16.8	24.8	19.8	5.9	16.8	7.9	12.9	8.9	2.0	18.8	6.9
	女性・50歳～59歳	128	39.8	32.8	10.9	15.6	15.6	9.4	9.4	9.4	12.5	10.2	6.3	15.6	3.1
	女性・60歳～64歳	56	50.0	21.4	12.5	10.7	14.3	16.1	10.7	7.1	7.1	16.1	3.6	12.5	3.6
	女性・65歳～69歳	46	45.7	41.3	4.3	15.2	4.3	4.3	6.5	4.3	10.9	2.2	0.0	19.6	4.3
	女性・70歳以上	66	30.3	30.3	6.1	6.1	7.6	12.1	9.1	0.0	3.0	15.2	12.1	10.6	13.6
	無回答	4	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

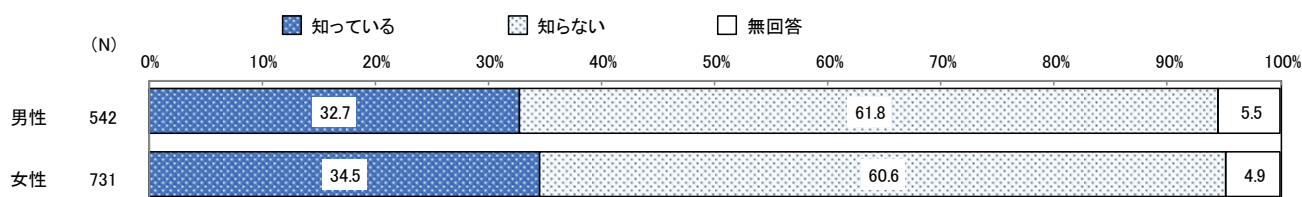
【性・年齢別】「利用できる支援制度の情報提供」は「男性 65歳～69歳」(58.1%)が最も高い。

(25) 女性相談窓口の認知度

問25 あなたは、女性相談窓口（女性相談支援センター、配偶者暴力相談支援センター、県総合支庁相談窓口、市町村の相談窓口など）を知っていますか。（○は1つ）



【全体】女性相談窓口の認知度については、「知っている」が33.6%、「知らない」が60.9%となっている。



【性別】認知度に大きな差はみられなかったが、「知っている」割合は女性が男性より1.8ポイント高い。

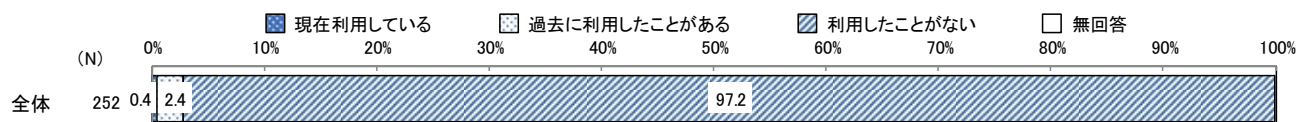
	全体	女性相談窓口を知っているか			
		知っている	知らない	無回答	
全体	1281	33.6	60.9	5.5	
性・年齢別	男性(計)	542	32.7	61.8	5.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	35.0	60.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	48.6	51.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	34.0	61.7	4.3
	男性・50歳～59歳	145	30.3	66.9	2.8
	男性・60歳～64歳	64	29.7	62.5	7.8
	男性・65歳～69歳	60	30.0	68.3	1.7
	男性・70歳以上	121	32.2	55.4	12.4
	女性(計)	731	34.5	60.6	4.9
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	38.5	61.5	0.0
	女性・30歳～39歳	85	36.5	63.5	0.0
	女性・40歳～49歳	147	38.8	59.2	2.0
	女性・50歳～59歳	198	41.4	55.6	3.0
	女性・60歳～64歳	76	22.4	72.4	5.3
	女性・65歳～69歳	71	25.4	63.4	11.3
	女性・70歳以上	124	28.2	59.7	12.1
無回答	8	25.0	25.0	50.0	

【性・年齢別】「知っている」は、「男性 30歳～39歳」(48.6%)が最も高い。

(26) 女性相談窓口の利用状況

(女性のみが回答)

問26 問25で「1」を選んだ方にお伺いします。女性相談窓口を利用したことがありますか。
(○は1つ)



【全体】女性相談窓口の利用については、「利用したことがない」が97.2%と最も高く、次いで、「過去に利用したことがある」(2.4%)、「現在利用している」(0.4%)となっている。

	全体	女性相談窓口の利用				
		現在利用している	過去に利用したことがある	利用したことがない	無回答	
全体	252	0.4	2.4	97.2	0.0	
性・年齢別	男性(計)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・60歳～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・65歳～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性(計)	252	0.4	2.4	97.2	0.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・30歳～39歳	31	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・40歳～49歳	57	0.0	7.0	93.0	0.0
	女性・50歳～59歳	82	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・60歳～64歳	17	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・65歳～69歳	18	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・70歳以上	35	2.9	5.7	91.4	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	

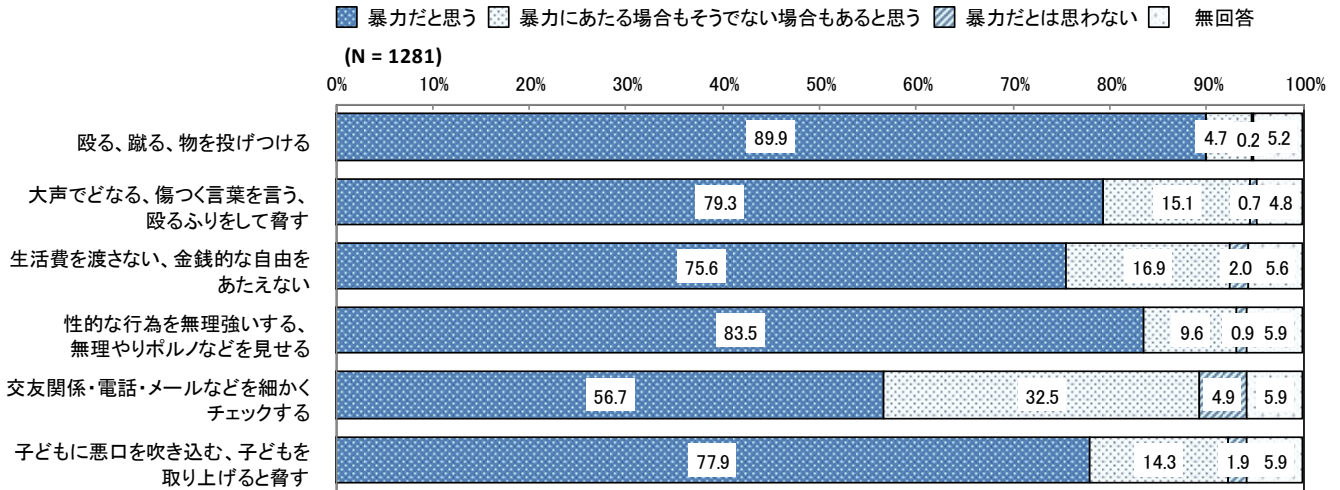
【性・年齢別】「現在利用している」は「女性 70歳以上」(2.9%)が最も高かった。

7. 配偶者・パートナーからの暴力について

(27) DVについての意識

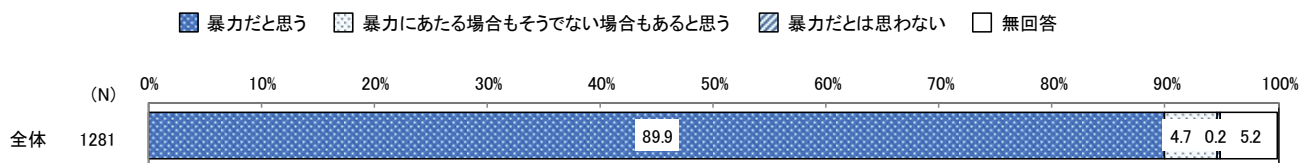
(結婚の有無にかかわらず、すべての方が回答)

問27 あなたは、次のようなことが夫婦(事実婚や別居中を含む)の間で行われた場合、それをどのように感じますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ〇は1つ)

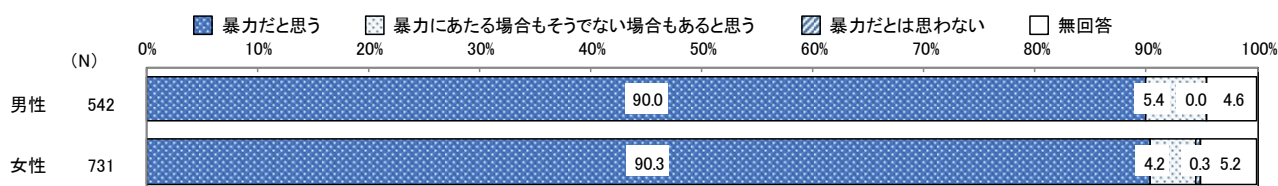


【全体】DVについての意識については、いずれの行動も「暴力だと思う」が最も高いが、「殴る、蹴る、物を投げつける」が89.9%と最も高く、次いで「性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる」(83.5%)、「大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す」(79.3%)となっている。

殴る、蹴る、物を投げつける



【全体】殴る、蹴る、物を投げつけるについては、「暴力だと思う」が89.9%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」（4.7%）、「暴力だとは思わない」（0.2%）となっている。



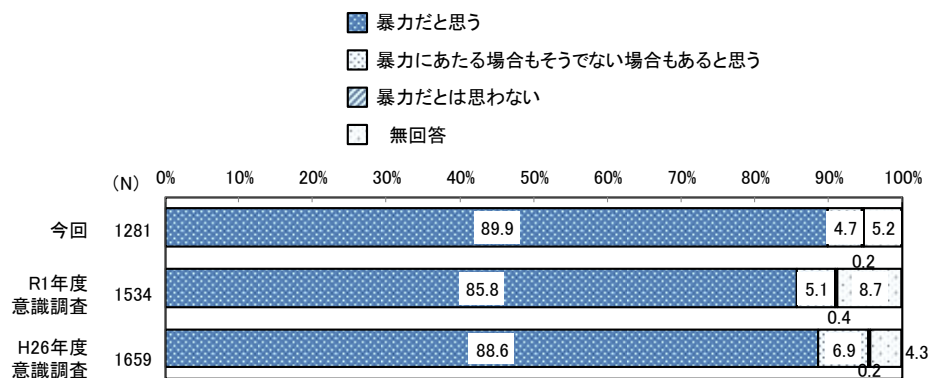
【性別】男女にほとんど大きな差はみられない。

	全体	殴る、蹴る、物を投げつける				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全体	1281	89.9	4.7	0.2	5.2	
性・年齢別	男性(計)	542	90.0	5.4	0.0	4.6
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	85.0	0.0	0.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	89.2	10.8	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	88.3	11.7	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	145	93.1	5.5	0.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	90.6	3.1	0.0	6.3
	男性・65歳～69歳	60	96.7	3.3	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	85.1	1.7	0.0	13.2
	女性(計)	731	90.3	4.2	0.3	5.2
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	97.6	2.4	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	95.9	4.1	0.0	0.0
	女性・50歳～59歳	198	94.4	2.5	0.0	3.0
	女性・60歳～64歳	76	89.5	7.9	0.0	2.6
	女性・65歳～69歳	71	85.9	5.6	0.0	8.5
	女性・70歳以上	124	74.2	6.5	1.6	17.7
	無回答	8	50.0	0.0	0.0	50.0

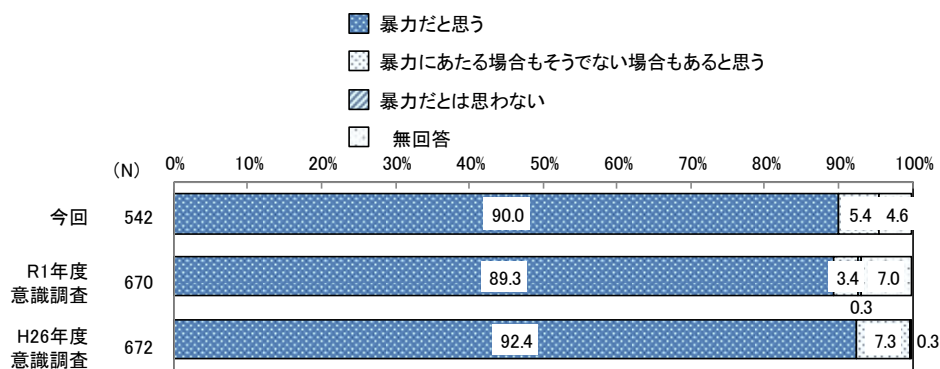
【性・年齢別】「暴力だとは思わない」は、女性の「70歳以上」（1.6%）で唯一回答があった。

過去調査との比較【殴る、蹴る、物を投げつける】

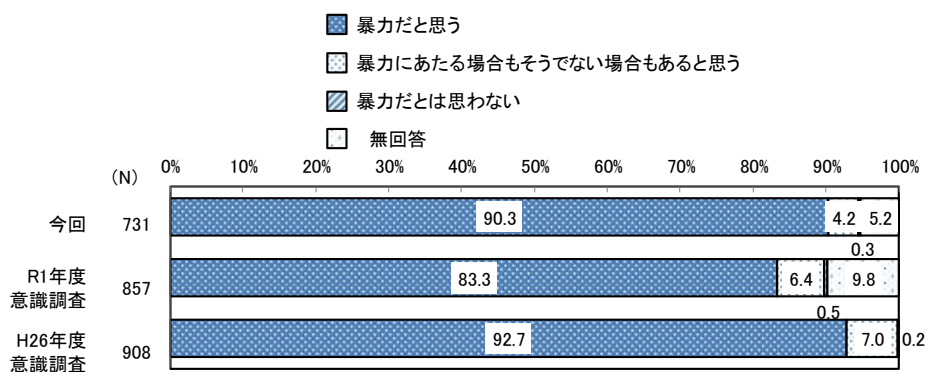
全体



男性



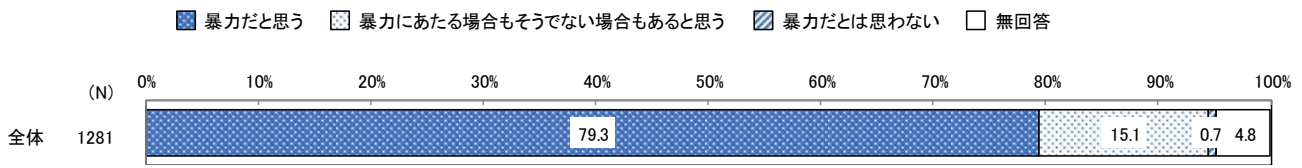
女性



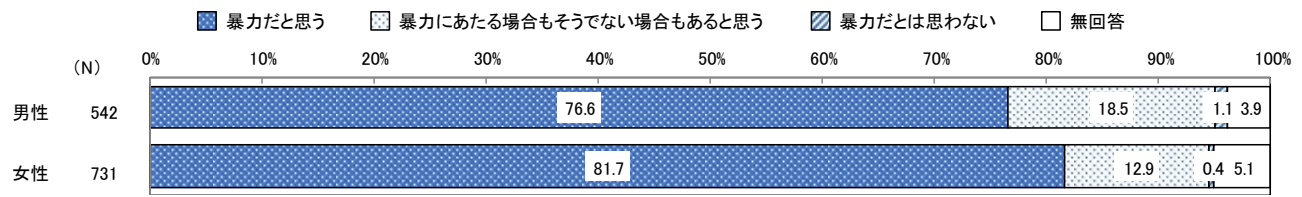
【全体】令和元年度調査と比べて「暴力だと思う」は4.1ポイント増加している。

【性別】「暴力だと思う」については、男性は大きな差はみられない。一方で、女性は7.0ポイント増加している。

大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す



【全体】 大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅すについては、「暴力だと思う」が79.3%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(15.1%)、「暴力だとは思わない」(0.7%)となっている。



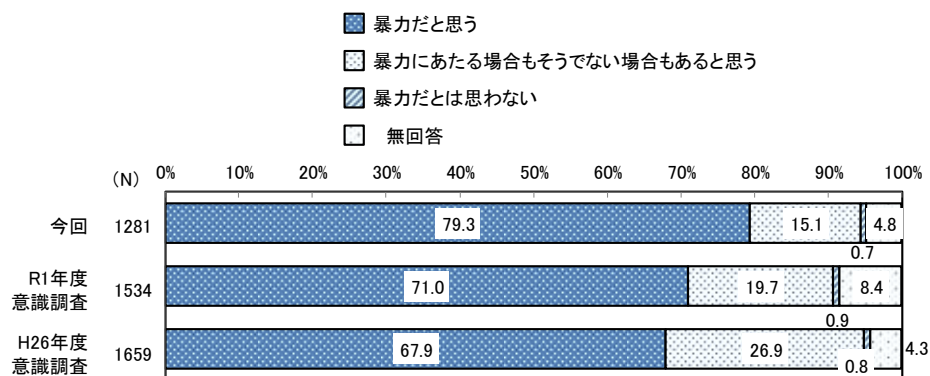
【性別】 「暴力だと思う」と回答した女性が81.7%だったのに対し、男性は76.6%と5.1ポイント低くなっている。

	全体	大声でどなる、傷つく言葉を言う、 殴るふりをして脅す				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全体	1281	79.3	15.1	0.7	4.8	
性・年齢別	男性(計)	542	76.6	18.5	1.1	3.9
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	85.0	0.0	0.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	83.8	16.2	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	77.7	18.1	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	80.7	16.6	1.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	78.1	15.6	0.0	6.3
	男性・65歳～69歳	60	80.0	20.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	65.3	24.8	0.0	9.9
	女性(計)	731	81.7	12.9	0.4	5.1
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	84.7	15.3	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	85.0	14.3	0.7	0.0
	女性・50歳～59歳	198	90.9	6.6	0.0	2.5
	女性・60歳～64歳	76	76.3	18.4	0.0	5.3
	女性・65歳～69歳	71	73.2	18.3	0.0	8.5
	女性・70歳以上	124	66.1	16.1	1.6	16.1
	無回答	8	50.0	0.0	0.0	50.0

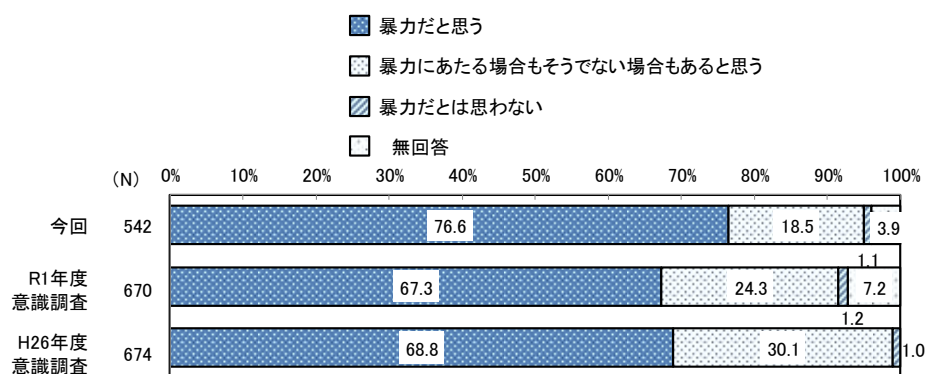
【性・年齢別】 「暴力だと思う」は、「60歳～64歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較【大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す】

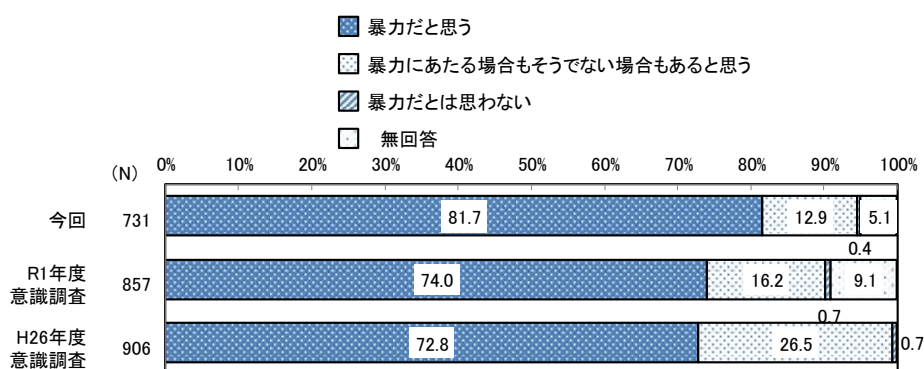
全体



男性



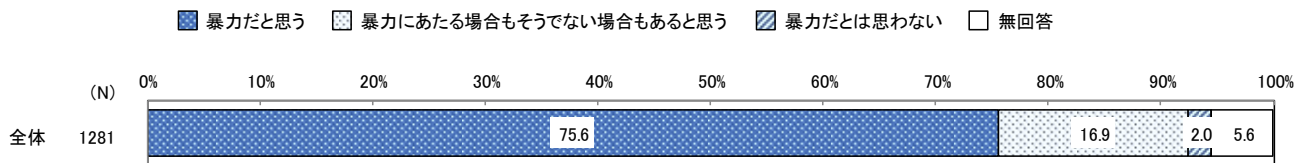
女性



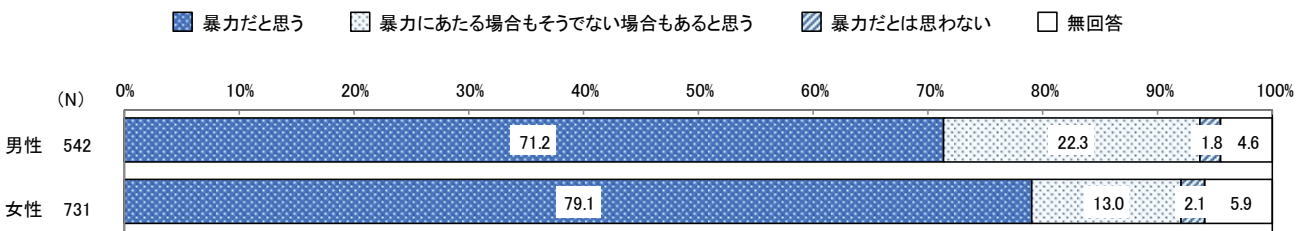
【全体】「暴力だと思う」については、令和元年度調査より 8.3 ポイント高くなっている。

【性別】「暴力だと思う」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに傾向に大きな差はみられないが、令和元年度調査と比較して「暴力だと思う」数値がいずれも高くなっている。

生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない



【全体】生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえないについては、「暴力だと思う」が75.6%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(16.9%)、「暴力だとは思わない」(2.0%)となっている。



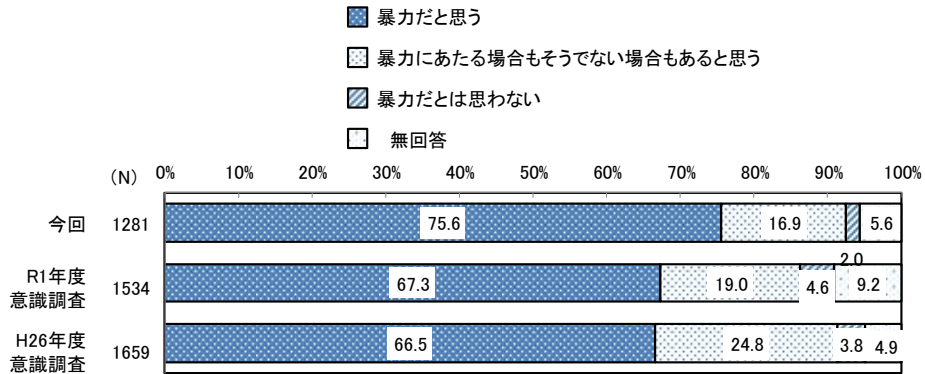
【性別】「暴力だと思う」と回答した女性が79.1%だったのに対し、男性は71.2%と7.9ポイント低くなっている。

	全体	生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全体	1281	75.6	16.9	2.0	5.6	
性・年齢別	男性(計)	542	71.2	22.3	1.8	4.6
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	75.0	10.0	0.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	73.0	27.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	58.5	37.2	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	77.2	19.3	2.1	1.4
	男性・60歳～64歳	64	78.1	9.4	3.1	9.4
	男性・65歳～69歳	60	76.7	23.3	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	66.1	21.5	0.8	11.6
	女性(計)	731	79.1	13.0	2.1	5.9
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	76.9	23.1	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	80.0	16.5	3.5	0.0
	女性・40歳～49歳	147	88.4	9.5	2.0	0.0
	女性・50歳～59歳	198	88.9	7.6	1.0	2.5
	女性・60歳～64歳	76	73.7	18.4	2.6	5.3
	女性・65歳～69歳	71	80.3	11.3	0.0	8.5
	女性・70歳以上	124	57.3	17.7	4.0	21.0
	無回答	8	50.0	0.0	0.0	50.0

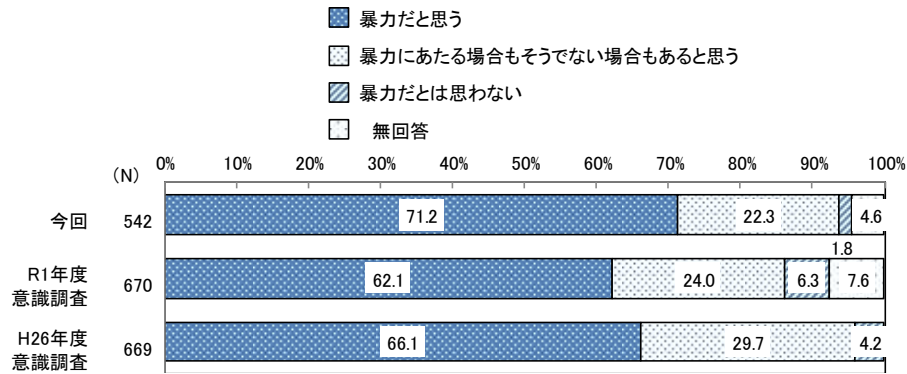
【性・年齢別】「暴力だと思う」で最も差がみられたのは「40歳～49歳」で、女性(88.4%)が男性(58.5%)より29.9ポイント高い。「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」では、男性の「40歳～49歳」が唯一3割を超えて高くなっている。

過去調査との比較【生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない】

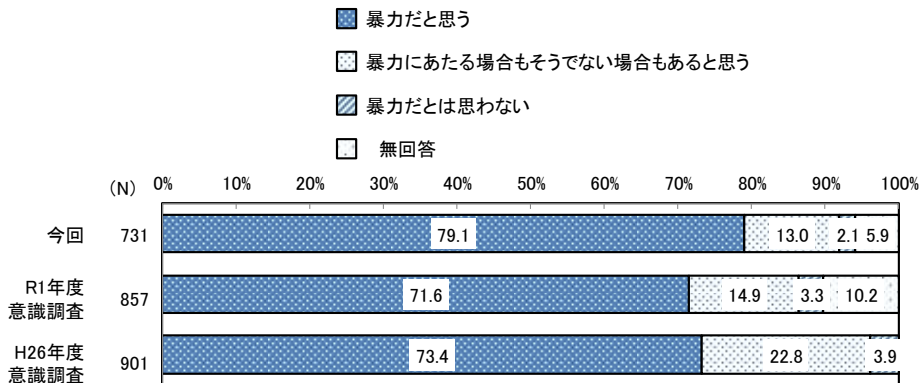
全体



男性



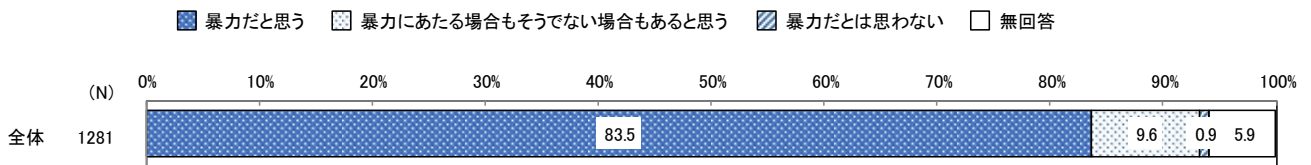
女性



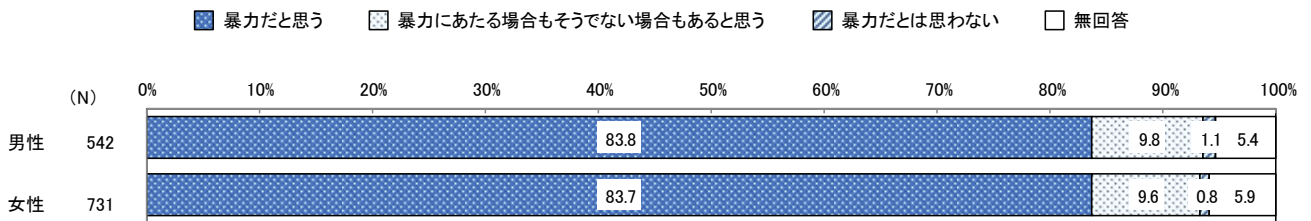
【全体】令和元年度調査と比べると「暴力だと思う」は8.3ポイント高くなっている。

【性別】「暴力だと思う」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに「暴力だと思う」数値は高くなっている（男性9.1ポイント、女性7.5ポイント増加）。

性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる



【全体】性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せるについては、「暴力だと思う」が83.5%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(9.6%)、「暴力だとは思わない」(0.9%)となっている。



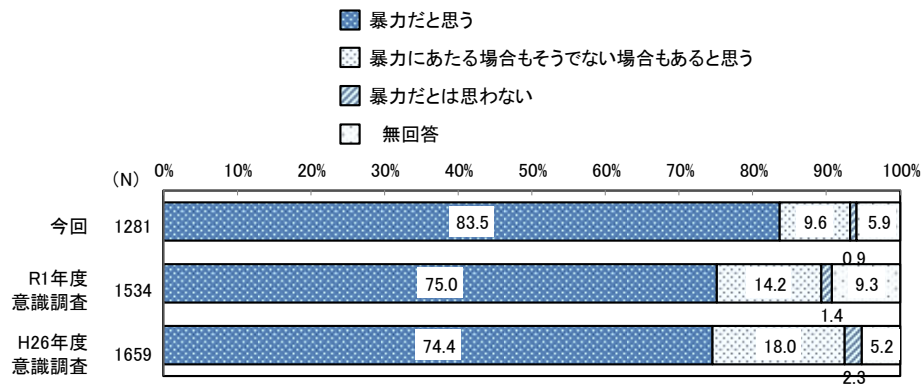
【性別】男女に大きな差はみられない。

	全体	性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全体	1281	83.5	9.6	0.9	5.9	
性・年齢別	男性(計)	542	83.8	9.8	1.1	5.4
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	85.0	0.0	0.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	94.6	5.4	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	85.1	10.6	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	94.5	4.1	0.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	79.7	10.9	0.0	9.4
	男性・65歳～69歳	60	83.3	16.7	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	68.6	14.9	1.7	14.9
	女性(計)	731	83.7	9.6	0.8	5.9
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	89.4	10.6	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	94.6	5.4	0.0	0.0
	女性・50歳～59歳	198	89.4	8.1	0.0	2.5
	女性・60歳～64歳	76	84.2	7.9	2.6	5.3
	女性・65歳～69歳	71	80.3	8.5	0.0	11.3
	女性・70歳以上	124	58.9	20.2	1.6	19.4
	無回答	8	50.0	0.0	0.0	50.0

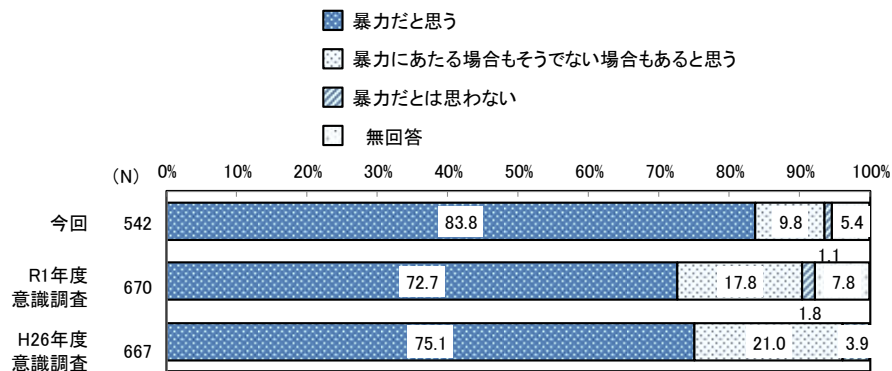
【性・年齢別】「暴力だとは思わない」は、男性では「40歳～49歳」、「70歳以上」、女性では「18歳、19歳」、「60歳～64歳」、「70歳以上」で回答があった。

過去調査との比較【性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる】

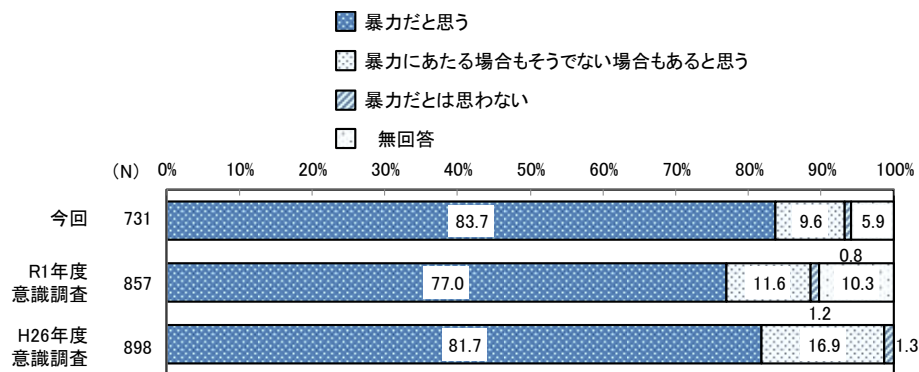
全体



男性



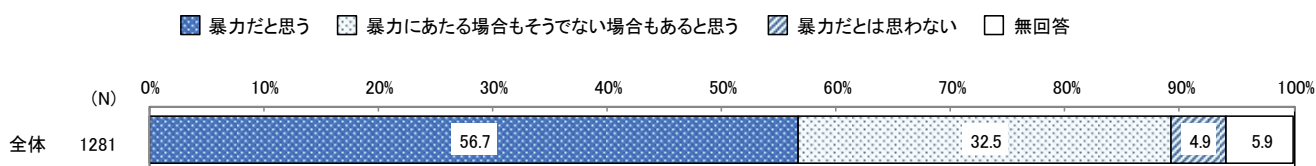
女性



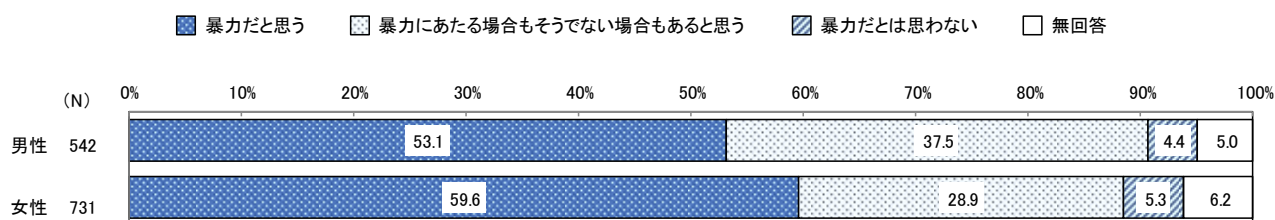
【全体】「暴力だと思う」については、令和元年度調査と比べ8.5ポイント高い。

【性別】「暴力だと思う」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに傾向に大きな差はみられない。

交友関係・電話・メールなどを細かくチェックする



【全体】交友関係・電話・メールなどを細かくチェックするについては、「暴力だと思う」が56.7%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(32.5%)、「暴力だとは思わない」(4.9%)となっている。



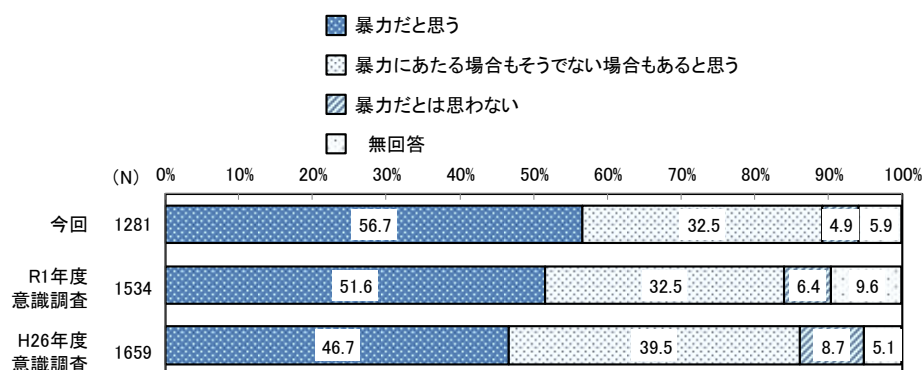
【性別】「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」と回答した男性が37.5%だったのに対し、女性は28.9%と8.6ポイント低くなっている。

	全体	交友関係・電話・メールなどを細かくチェックする				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全体	1281	56.7	32.5	4.9	5.9	
性・年齢別	男性(計)	542	53.1	37.5	4.4	5.0
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	35.0	50.0	0.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	51.4	43.2	5.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	40.4	50.0	9.6	0.0
	男性・50歳～59歳	145	52.4	40.0	6.2	1.4
	男性・60歳～64歳	64	68.8	21.9	3.1	6.3
	男性・65歳～69歳	60	63.3	36.7	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	54.5	28.9	1.7	14.9
	女性(計)	731	59.6	28.9	5.3	6.2
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	53.8	46.2	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	48.2	43.5	8.2	0.0
	女性・40歳～49歳	147	57.8	36.7	5.4	0.0
	女性・50歳～59歳	198	77.8	14.1	5.6	2.5
	女性・60歳～64歳	76	64.5	25.0	5.3	5.3
	女性・65歳～69歳	71	59.2	23.9	5.6	11.3
	女性・70歳以上	124	41.1	33.9	4.0	21.0
	無回答	8	25.0	25.0	0.0	50.0

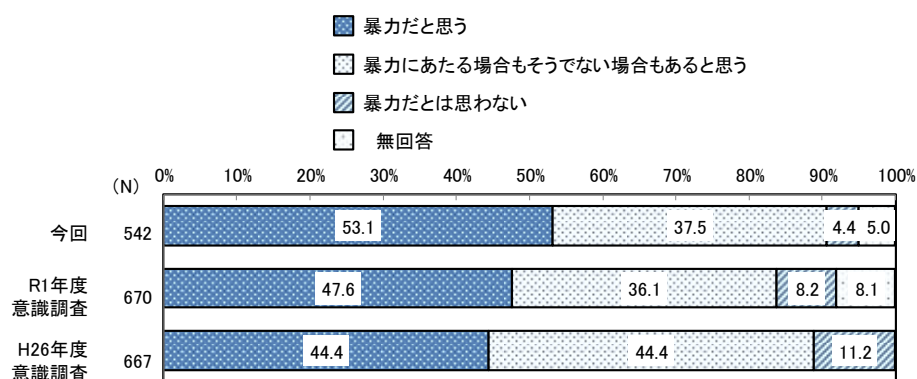
【性・年齢別】最も差がみられたのは「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」の「50歳～59歳」で、男性(40.0%)に対し女性(14.1%)と、男性の方が25.9ポイント高くなっている。

過去調査との比較【交友関係・電話・メールなどを細かくチェックする】

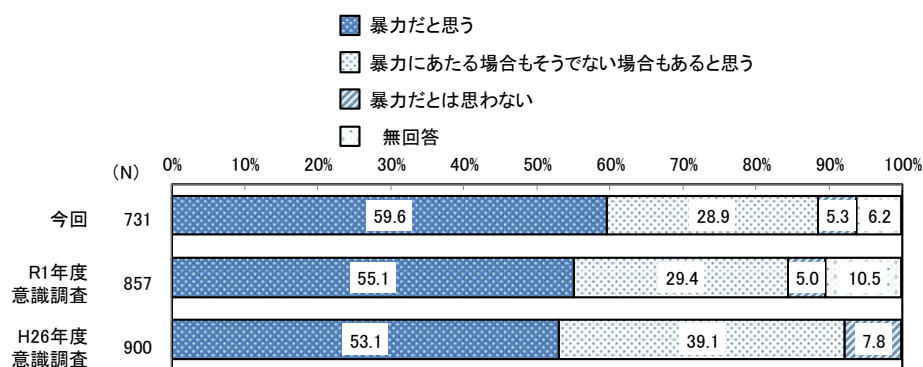
全体



男性



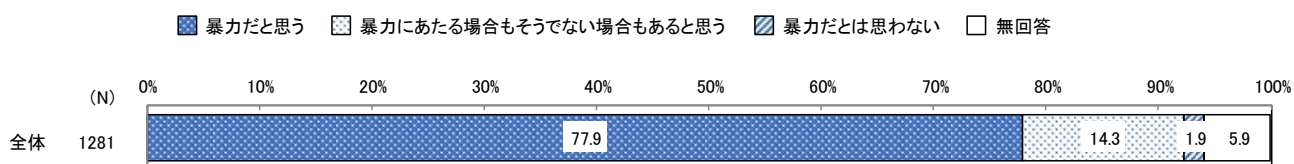
女性



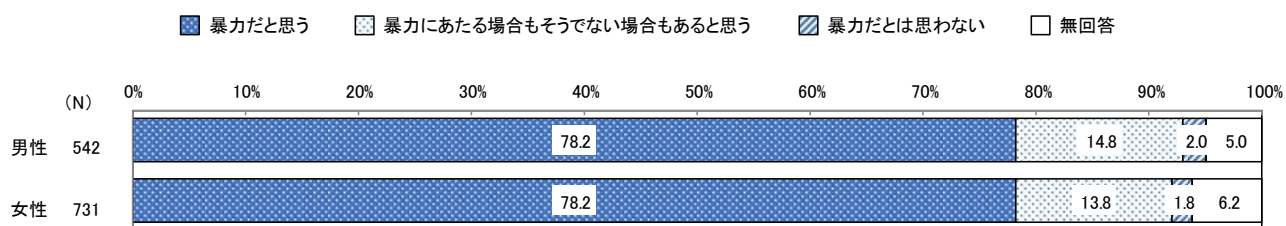
【全体】「暴力だと思う」について、令和元年度調査より 5.1 ポイント増加している。

【性別】「暴力だと思う」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに大きな傾向の差はみられない。

子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅す



【全体】子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅すについては、「暴力だと思う」が77.9%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(14.3%)、「暴力だとは思わない」(1.9%)となっている。



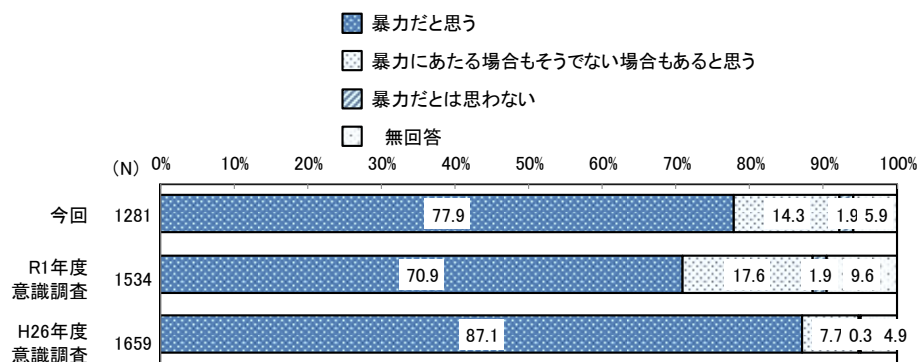
【性別】男女に大きな差はみられない。

	全体	子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅す				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全体	1281	77.9	14.3	1.9	5.9	
性・年齢別	男性(計)	542	78.2	14.8	2.0	5.0
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	75.0	10.0	0.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	94.6	5.4	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	74.5	21.3	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	85.5	9.7	3.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	82.8	7.8	3.1	6.3
	男性・65歳～69歳	60	76.7	20.0	0.0	3.3
	男性・70歳以上	121	66.9	19.8	0.0	13.2
	女性(計)	731	78.2	13.8	1.8	6.2
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	84.6	15.4	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	88.2	8.2	3.5	0.0
	女性・40歳～49歳	147	83.0	14.3	1.4	1.4
	女性・50歳～59歳	198	84.8	12.6	0.0	2.5
	女性・60歳～64歳	76	76.3	15.8	2.6	5.3
	女性・65歳～69歳	71	76.1	12.7	2.8	8.5
	女性・70歳以上	124	57.3	18.5	3.2	21.0
無回答	8	25.0	25.0	0.0	50.0	

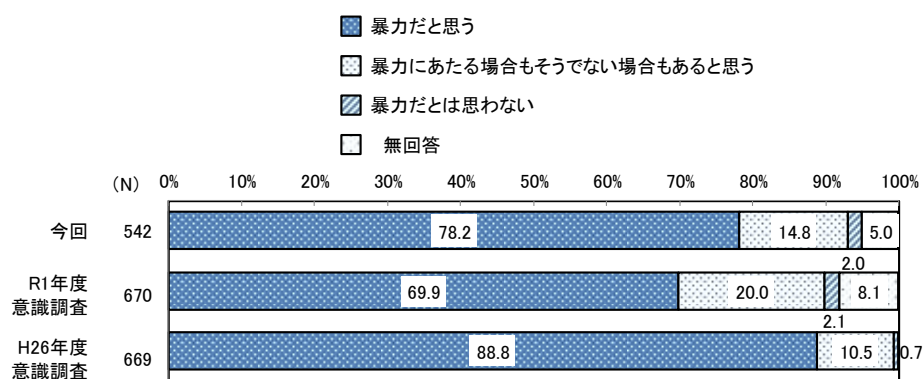
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、男性「30歳～39歳」が唯一9割を超えて、最も高くなっている。

過去調査との比較【子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅す】

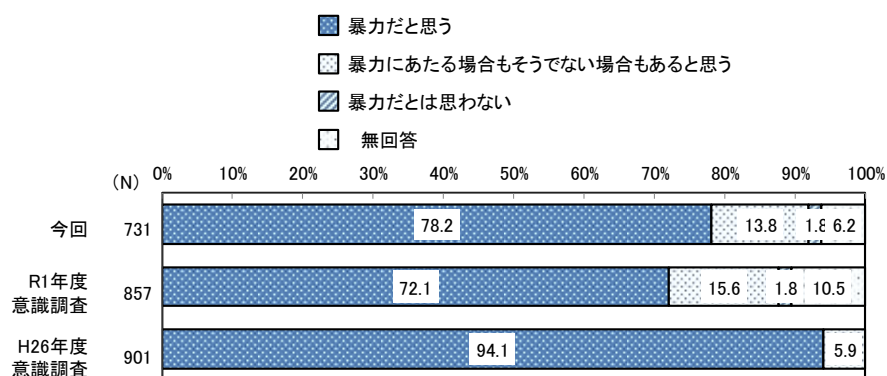
全体



男性



女性



【全体】「暴力だと思う」について、令和元年度調査より 7.0 ポイント増加している。

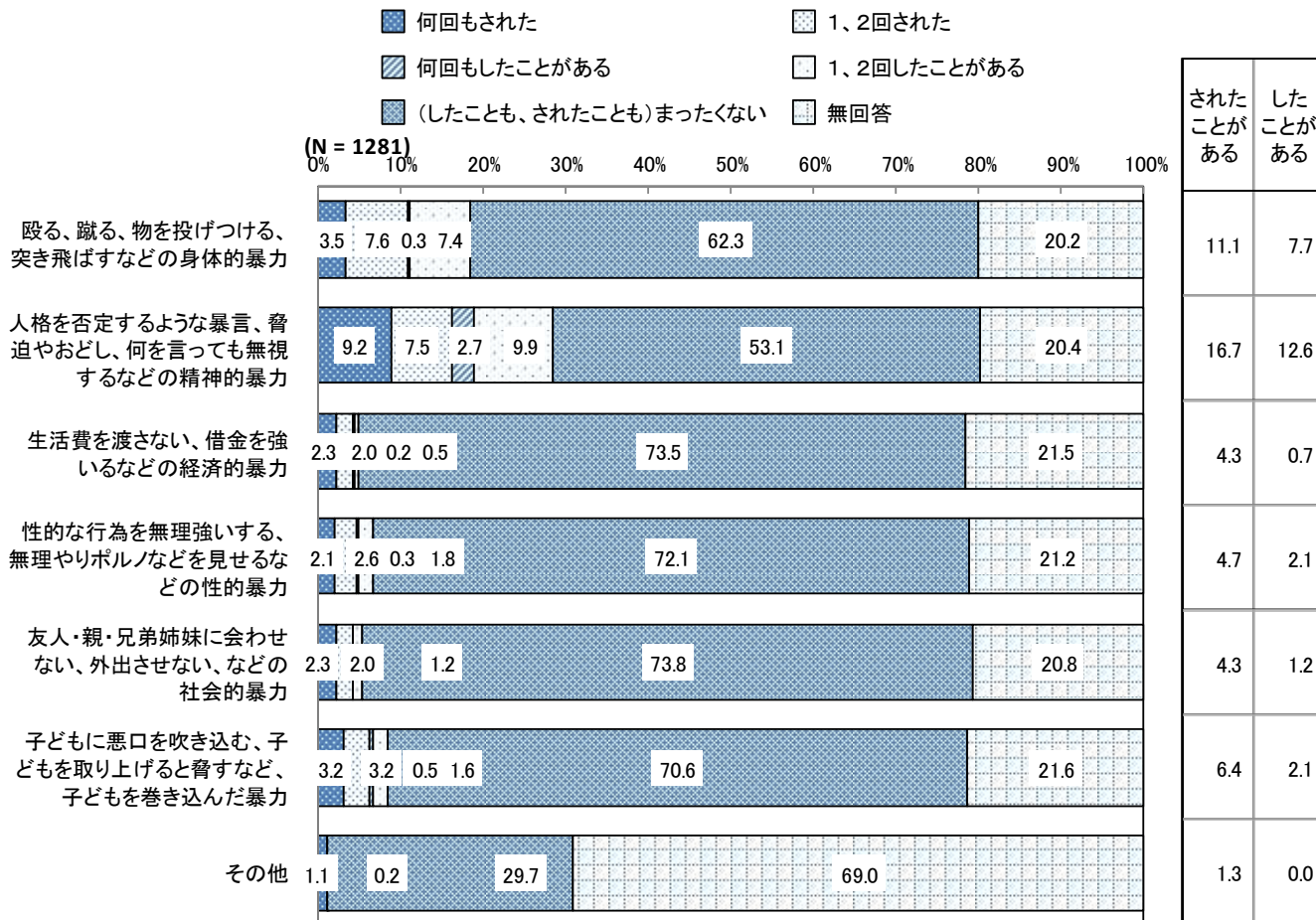
【性別】「暴力だと思う」について、令和元年度調査より、男性は 8.3 ポイント、女性は 6.1 ポイント増加している。

(28) DV経験の有無

(配偶者・パートナー※がいる方が回答)

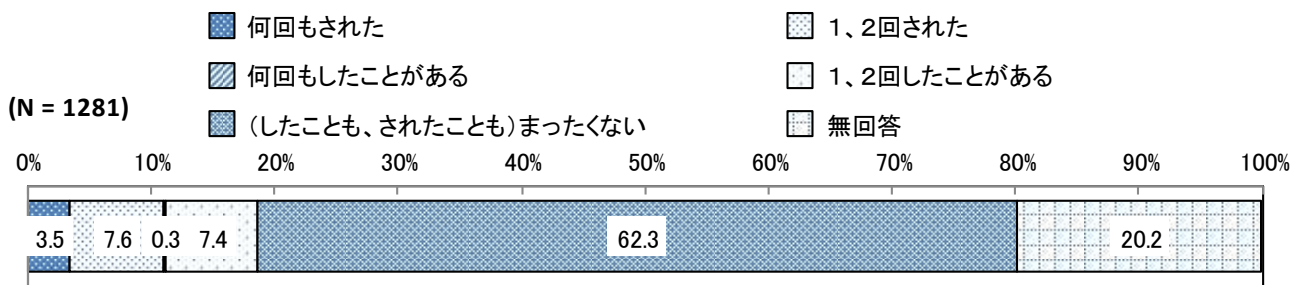
問28 あなたはこれまでに、次のようなことを「配偶者・パートナーからされた」または「配偶者・パートナーにした」経験がありますか。(〇は当てはまるものすべて)

※ここでのパートナーには、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者を含みます。

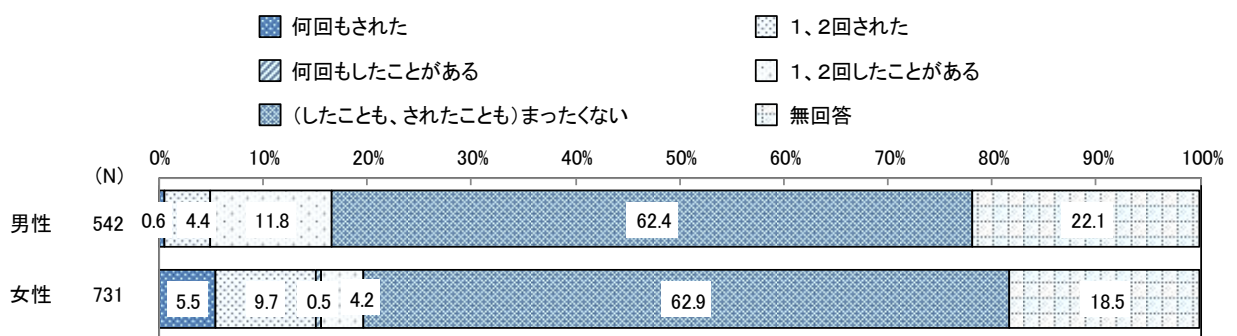


【全体】DV経験の有無については、「何回もされた」と「1、2回された」を合わせた『されたことがある』と「何回もしたことがある」と「1、2回したことがある」を合わせた『したことがある』のいずれも、「人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力」が最も高く、次いで「殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体的暴力」が『されたことがある』では11.0%、『したことがある』では7.7%となっている。

殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体的暴力



【全 体】殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体的暴力については、「(したことも、されたことも)まったくない」が62.3%と最も高く、次いで「1、2回された」(7.6%)、「1、2回したことがある」(7.4%)となっている。

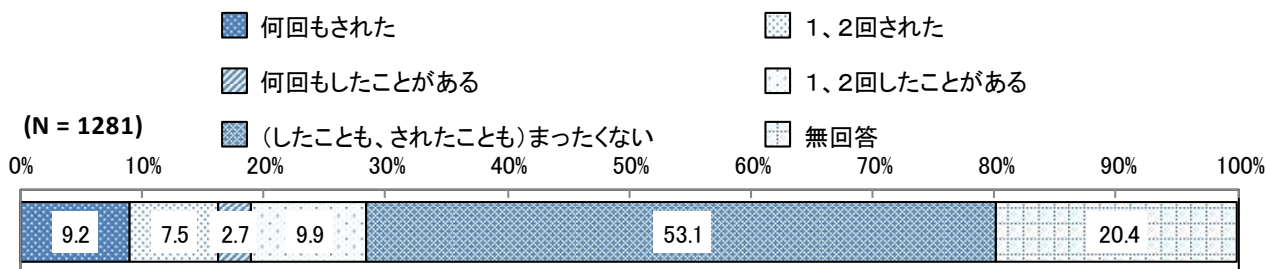


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が15.2%だったのに対し、男性は5.0%と10.2ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が4.7%だったのに対し、男性は11.8%と7.1ポイント高くなっている。

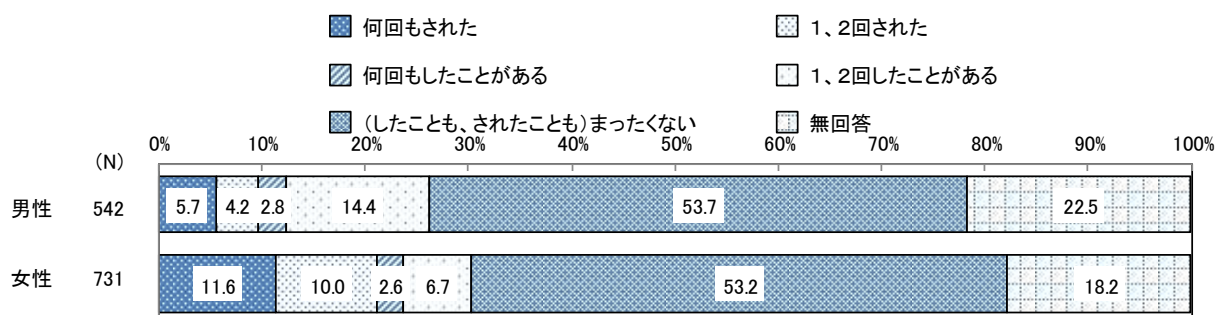
	全体	殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも) まったくない	無回答	
全体	1281	3.5	7.6	0.3	7.4	62.3	20.2	
性・年齢別	男性(計)	542	0.6	4.4	0.0	11.8	62.4	22.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	5.4	0.0	0.0	54.1	40.5
	男性・40歳～49歳	94	3.2	9.6	0.0	9.6	59.6	21.3
	男性・50歳～59歳	145	0.0	2.8	0.0	8.3	73.1	17.2
	男性・60歳～64歳	64	0.0	7.8	0.0	15.6	51.6	28.1
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	0.0	35.0	51.7	13.3
	男性・70歳以上	121	0.0	3.3	0.0	9.9	71.9	14.9
	女性(計)	731	5.5	9.7	0.5	4.2	62.9	18.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	15.4	0.0	23.1	30.8	46.2
	女性・30歳～39歳	85	4.7	12.9	2.4	2.4	60.0	21.2
	女性・40歳～49歳	147	9.5	10.2	1.4	2.0	68.0	8.8
	女性・50歳～59歳	198	4.5	10.1	0.0	3.5	68.7	14.1
	女性・60歳～64歳	76	7.9	13.2	0.0	0.0	57.9	21.1
	女性・65歳～69歳	71	1.4	5.6	0.0	9.9	60.6	23.9
	女性・70歳以上	124	4.8	5.6	0.0	4.8	61.3	23.4
	無回答	8	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0

【性・年齢別】『されたことがある』は、女性の「60歳～64歳」で2割を超え高くなっている。『したことがある』は、男性の「65歳～69歳」で3割を超えて高くなっている。

人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力



【全体】人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力については、「(したことも、されたことも)まったくない」が 53.1%と最も高く、次いで「1、2回したことがある」(9.9%)、「何回もされた」(9.2%) となっている。

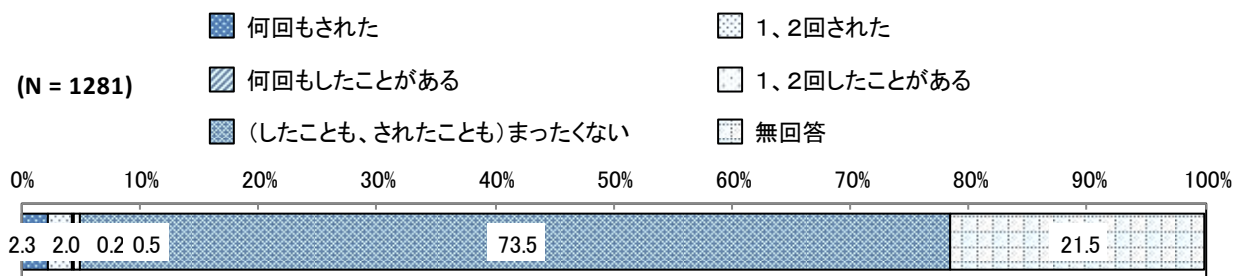


【性別】『されたことがある』と回答した女性が 21.6%だったのに対し、男性は 9.9%と 11.7 ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が 9.3%だったのに対し、男性は 17.2%と 7.9 ポイント高くなっている。

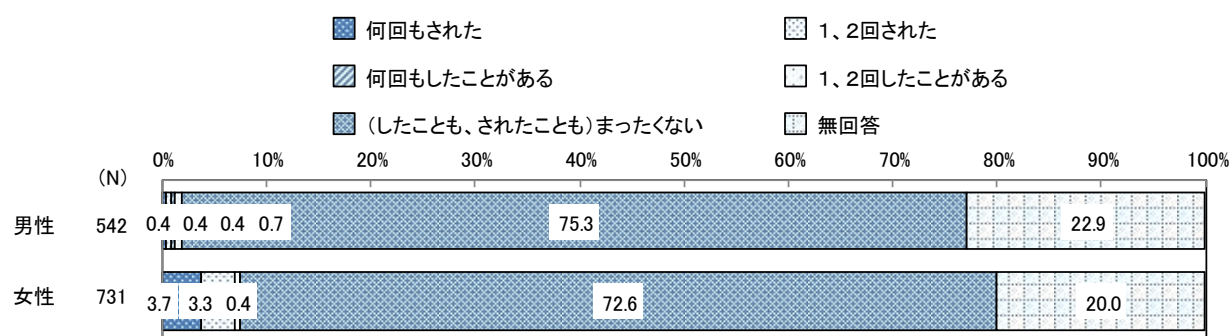
	全 体	人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも) まったくない	無回答	
全 体	1281	9.2	7.5	2.7	9.9	53.1	20.4	
性・年齢別	男性(計)	542	5.7	4.2	2.8	14.4	53.7	22.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	0.0	0.0	0.0	10.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	10.8	0.0	5.4	43.2	40.5
	男性・40歳～49歳	94	12.8	6.4	7.4	9.6	51.1	21.3
	男性・50歳～59歳	145	6.9	2.8	2.8	14.5	57.2	17.2
	男性・60歳～64歳	64	3.1	4.7	0.0	25.0	42.2	28.1
	男性・65歳～69歳	60	6.7	3.3	6.7	26.7	53.3	13.3
	男性・70歳以上	121	0.0	3.3	0.0	11.6	68.6	16.5
	女性(計)	731	11.6	10.0	2.6	6.7	53.2	18.2
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	15.4	0.0	15.4	23.1	46.2
	女性・30歳～39歳	85	15.3	7.1	5.9	3.5	51.8	23.5
	女性・40歳～49歳	147	16.3	15.6	2.7	6.1	55.1	8.8
	女性・50歳～59歳	198	10.6	10.6	2.0	8.1	56.6	14.1
	女性・60歳～64歳	76	10.5	10.5	2.6	7.9	44.7	23.7
	女性・65歳～69歳	71	4.2	7.0	2.8	7.0	54.9	23.9
	女性・70歳以上	124	12.9	4.8	1.6	4.8	57.3	18.5
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

【性・年齢別】『されたことがある』は、女性の「40歳～49歳」で唯一3割を超えている。『したことがある』は、男性の「65歳～69歳」で唯一3割を超えている。

生活費を渡さない、借金を強いるなどの経済的暴力



【全 体】生活費を渡さない、借金を強いるなどの経済的暴力については、「(したことも、されたことも)まったくくない」が73.5%と最も高く、次いで「何回もされた」(2.3%)、「1、2回された」(2.0%)となっている。

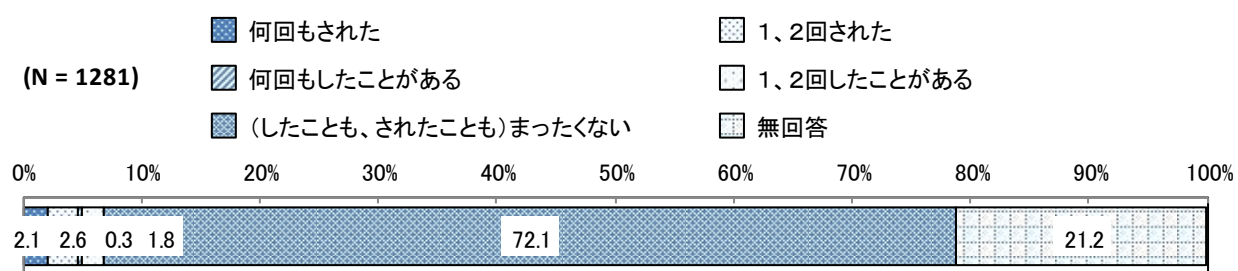


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が7.0%だったのに対し、男性は0.8%と6.2ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が0.4%だったのに対し、男性は1.1%と大きな差はみられない。

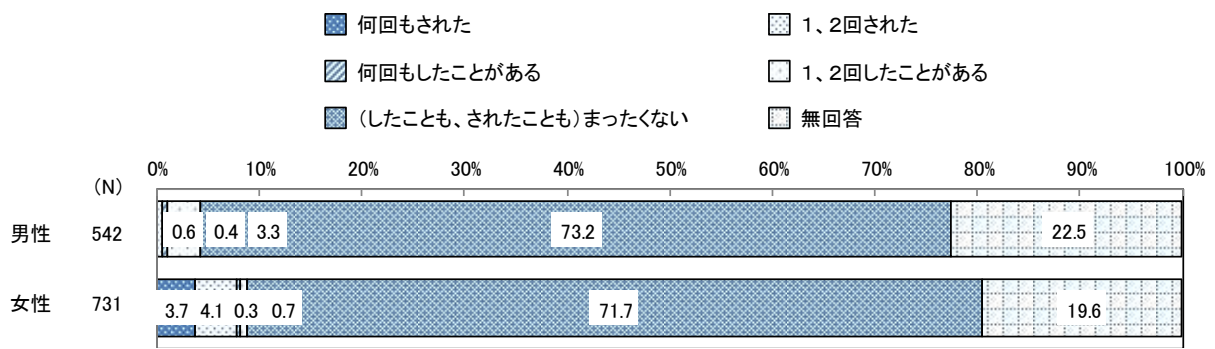
	全体	生活費を渡さない、借金を強いるなどの経済的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも) まったくない	無回答	
全体	1281	2.3	2.0	0.2	0.5	73.5	21.5	
性・年齢別	男性(計)	542	0.4	0.4	0.4	0.7	75.3	22.9
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5	40.5
	男性・40歳～49歳	94	0.0	0.0	0.0	4.3	74.5	21.3
	男性・50歳～59歳	145	1.4	0.0	0.0	0.0	78.6	20.0
	男性・60歳～64歳	64	0.0	3.1	0.0	0.0	68.8	28.1
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	3.3	0.0	83.3	13.3
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	0.0	0.0	85.1	14.9
	女性(計)	731	3.7	3.3	0.0	0.4	72.6	20.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	46.2
	女性・30歳～39歳	85	2.4	0.0	0.0	0.0	76.5	21.2
	女性・40歳～49歳	147	7.5	3.4	0.0	0.0	80.3	8.8
	女性・50歳～59歳	198	4.5	5.1	0.0	0.5	74.7	15.2
	女性・60歳～64歳	76	5.3	3.9	0.0	0.0	61.8	28.9
	女性・65歳～69歳	71	1.4	2.8	0.0	0.0	71.8	23.9
	女性・70歳以上	124	0.0	3.2	0.0	1.6	69.4	25.8
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0

【性・年齢別】『されたことがある』と回答したのは、男性は「50歳～59歳」と「60歳～64歳」のみとなっているが、女性は「20歳～29歳」を除くすべての年齢層となっている。

性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる、避妊に協力しないなどの性的暴力



【全 体】性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる、避妊に協力しないなどの性的暴力については、「(したことも、されたことも)まったくくない」が72.1%と最も高く、次いで「1、2回された」(2.6%)、「何回もされた」(2.1%) となっている。

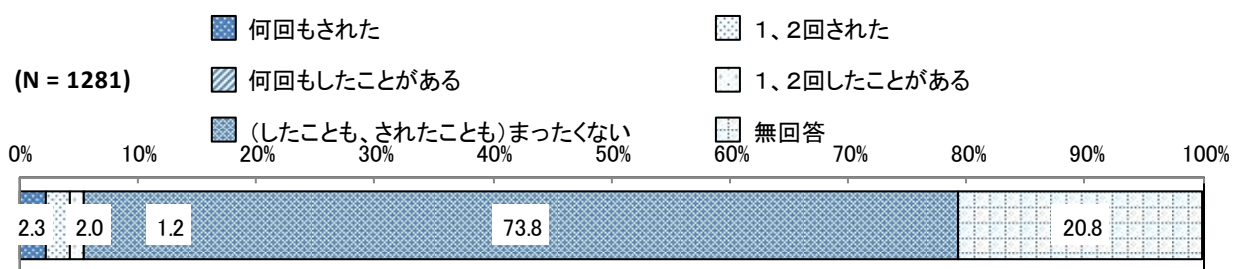


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が7.8%だったのに対し、男性は0.6%と7.2ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が1.0%だったのに対し、男性は3.7%であった。

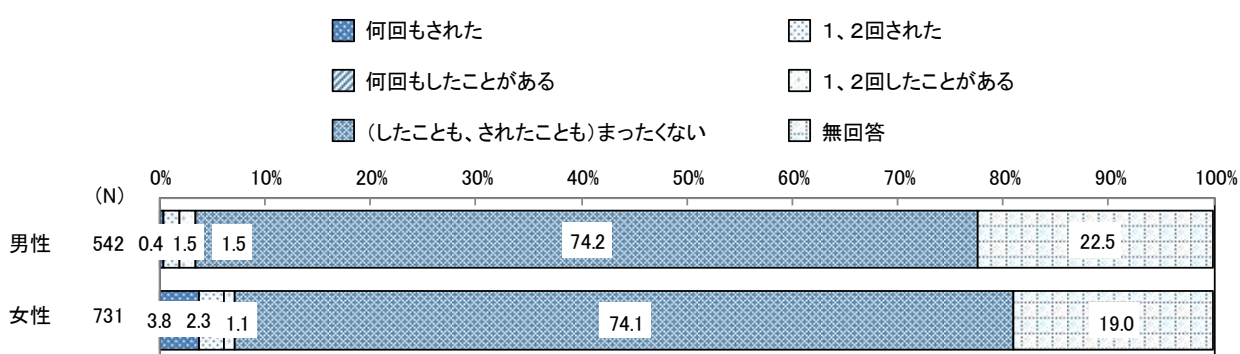
	全体	性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せるなどの性的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも) まったくない	無回答	
全体	1281	2.1	2.6	0.3	1.8	72.1	21.2	
性・年齢別	男性(計)	542	0.0	0.6	0.4	3.3	73.2	22.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5	40.5
	男性・40歳～49歳	94	0.0	2.1	0.0	2.1	74.5	21.3
	男性・50歳～59歳	145	0.0	0.0	0.0	1.4	81.4	17.2
	男性・60歳～64歳	64	0.0	1.6	0.0	3.1	67.2	28.1
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	3.3	3.3	80.0	13.3
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	0.0	8.3	75.2	16.5
	女性(計)	731	3.7	4.1	0.3	0.7	71.7	19.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	46.2
	女性・30歳～39歳	85	7.1	4.7	0.0	0.0	67.1	21.2
	女性・40歳～49歳	147	7.5	2.0	1.4	0.0	79.6	9.5
	女性・50歳～59歳	198	1.5	6.1	0.0	0.5	76.8	15.2
	女性・60歳～64歳	76	2.6	9.2	0.0	2.6	59.2	26.3
	女性・65歳～69歳	71	1.4	2.8	0.0	0.0	71.8	23.9
	女性・70歳以上	124	3.2	1.6	0.0	1.6	69.4	24.2
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0

【性・年齢別】『されたことがある』と回答したのは、男性は「40歳～49歳」と「60歳～64歳」のみとなっているが、女性は「20歳～29歳」を除くすべての年齢層となっている。

友人・親・兄弟姉妹に会わせない、外出させない、交友関係・電話・メールなどを細かくチェックするなどの社会的暴力



【全 体】友人・親・兄弟姉妹に会わせない、外出させない、交友関係・電話・メールなどを細かくチェックするなどの社会的暴力については、「(したことも、されたことも)まったくない」が73.8%と最も高く、次いで「何回もされた」(2.3%)、「1、2回された」(2.0%)となっている。

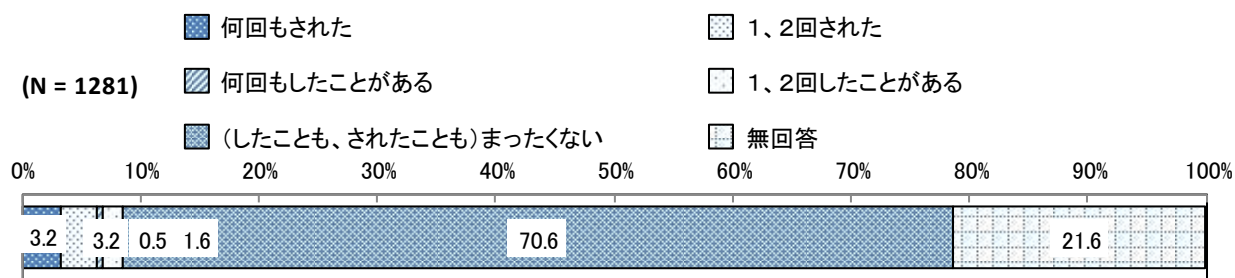


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が6.1%だったのに対し、男性は1.9%と4.2ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が1.1%だったのに対し、男性は1.5%と大きな差はみられない。

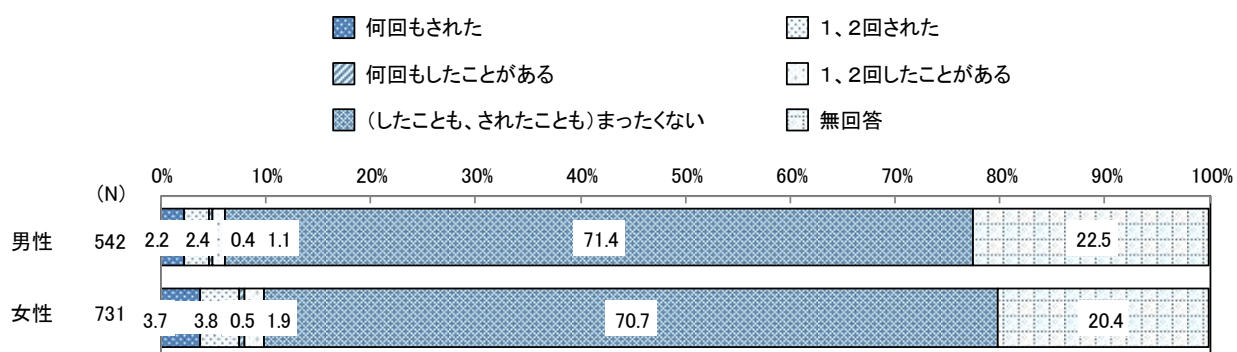
	全体	友人・親・兄弟姉妹に会わせない、外出させない、などの社会的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも) まったくない	無回答	
全体	1281	2.3	2.0	0.0	1.2	73.8	20.8	
性・年齢別	男性(計)	542	0.4	1.5	0.0	1.5	74.2	22.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5	40.5
	男性・40歳～49歳	94	2.1	2.1	0.0	2.1	72.3	21.3
	男性・50歳～59歳	145	0.0	2.1	0.0	0.0	80.7	17.2
	男性・60歳～64歳	64	0.0	1.6	0.0	3.1	67.2	28.1
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	0.0	3.3	83.3	13.3
	男性・70歳以上	121	0.0	1.7	0.0	1.7	80.2	16.5
	女性(計)	731	3.8	2.3	0.0	1.1	74.1	19.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	7.7	0.0	15.4	38.5	46.2
	女性・30歳～39歳	85	1.2	3.5	0.0	1.2	74.1	21.2
	女性・40歳～49歳	147	8.8	4.1	0.0	0.0	78.2	8.8
	女性・50歳～59歳	198	1.5	1.0	0.0	1.5	80.8	15.2
	女性・60歳～64歳	76	5.3	2.6	0.0	0.0	68.4	23.7
	女性・65歳～69歳	71	1.4	0.0	0.0	0.0	74.6	23.9
	女性・70歳以上	124	4.8	1.6	0.0	0.0	70.2	23.4
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0

【性・年齢別】『されたことがある』について、女性の「40歳～49歳」(12.9%)で唯一1割を超えている。『したことがある』については、女性の「20歳～29歳」(15.4%)で唯一1割を超えている。

子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅すなど、子どもを巻き込んだ暴力



【全 体】子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅すなど、子どもを巻き込んだ暴力については、「(したことも、されたことも)まったくない」が70.6%と最も高く、次いで「何回もされた」、「1、2回された」(それぞれ3.2%)となっている。

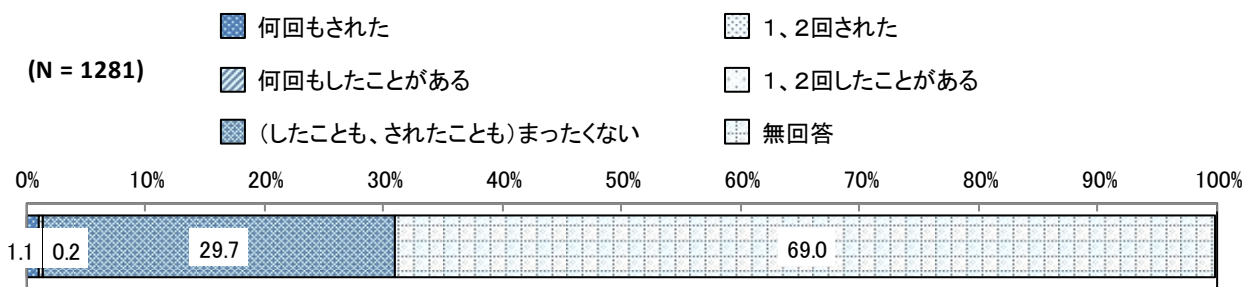


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が7.5%だったのに対し、男性は4.6%と2.9ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が2.4%だったのに対し、男性は1.5%と大きな差はみられない。

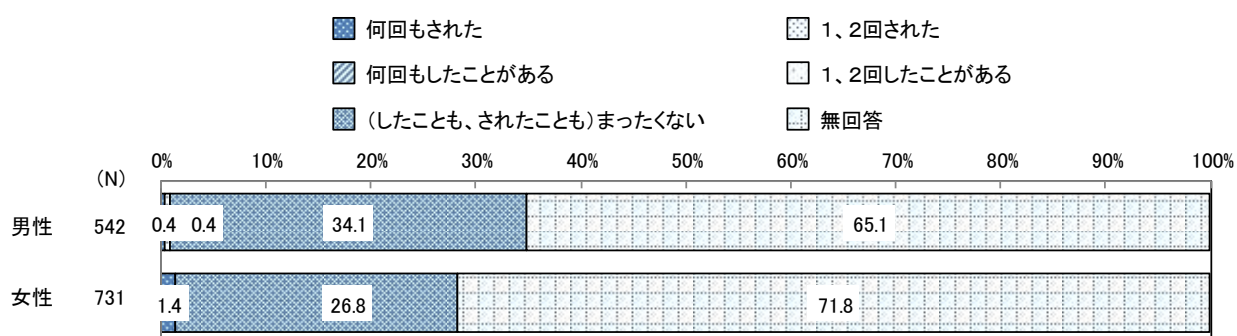
	全 体	子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅すなど、子どもを巻き込んだ暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも) まったくない	無回答	
全 体	1281	3.2	3.2	0.5	1.6	70.6	21.6	
性・年齢別	男性(計)	542	2.2	2.4	0.4	1.1	71.4	22.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	75.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5	40.5
	男性・40歳～49歳	94	6.4	2.1	2.1	2.1	66.0	21.3
	男性・50歳～59歳	145	2.1	4.1	0.0	1.4	75.2	17.2
	男性・60歳～64歳	64	3.1	1.6	0.0	0.0	67.2	28.1
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	0.0	3.3	80.0	16.7
	男性・70歳以上	121	0.0	3.3	0.0	0.0	81.8	14.9
	女性(計)	731	3.7	3.8	0.5	1.9	70.7	20.4
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	46.2
	女性・30歳～39歳	85	2.4	4.7	2.4	0.0	71.8	21.2
	女性・40歳～49歳	147	8.2	6.1	0.0	5.4	72.8	10.2
	女性・50歳～59歳	198	5.1	5.6	1.0	2.0	71.2	16.2
	女性・60歳～64歳	76	2.6	5.3	0.0	0.0	63.2	28.9
	女性・65歳～69歳	71	1.4	0.0	0.0	2.8	71.8	23.9
	女性・70歳以上	124	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

【性・年齢別】『されたことがある』について、女性の「40歳～49歳」と「50歳～59歳」で1割を超えている。

その他



【全 体】その他については、「(したことも、されたことも)まったくない」が29.7%と最も高く、次いで「何回もされた」(1.1%)、「1、2回された」(0.2%)となっている。



【性 別】男女ともに大きな傾向の差はみられない。

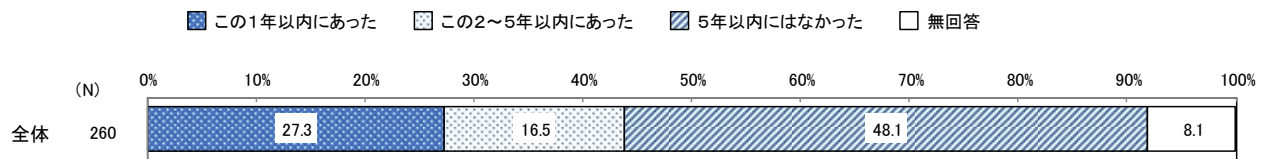
	全体	その他						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくない	無回答	
全 体	1281	1.1	0.2	0.0	0.0	29.7	69.0	
性・年齢別	男性(計)	542	0.4	0.4	0.0	0.0	34.1	65.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	43.2	56.8
	男性・40歳～49歳	94	0.0	0.0	0.0	0.0	40.4	59.6
	男性・50歳～59歳	145	1.4	0.0	0.0	0.0	47.6	51.0
	男性・60歳～64歳	64	0.0	0.0	0.0	0.0	28.1	71.9
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	男性・70歳以上	121	0.0	1.7	0.0	0.0	18.2	80.2
	女性(計)	731	1.4	0.0	0.0	0.0	26.8	71.8
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	69.2
	女性・30歳～39歳	85	2.4	0.0	0.0	0.0	36.5	61.2
	女性・40歳～49歳	147	1.4	0.0	0.0	0.0	43.5	55.1
	女性・50歳～59歳	198	3.0	0.0	0.0	0.0	27.8	69.2
	女性・60歳～64歳	76	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	89.5
	女性・65歳～69歳	71	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	83.1
	女性・70歳以上	124	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5	85.5
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

【性・年齢別】『したことがある』について、男女ともにすべての年齢層で回答がなかった。

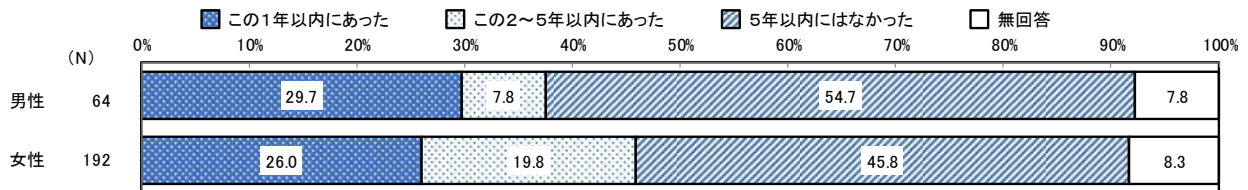
【その他】

- ・お願いした事を引き受けておきながら一切しない。
- ・裏切り行為など。
- ・子供への暴言やタバコのポイ捨てや空き缶のポイ捨てなどを子供の前でやる。
- ・空気による圧力（いるだけで）。
- ・あいさつ以外の会話なし。言葉はすべて敬語。
- ・長時間怒ってくる。何度も。

(問28で「何回もされた」「1、2回された」と1つでも答えた方が回答)
 問28-1 問28であげたような配偶者やパートナーからの行為は、直近ではいつ頃ありましたか。
 (○は1つ)



【全体】直近ではいつ頃あったかについては、「5年以内にはなかった」が48.1%と最も高く、次いで「この1年以内にあった」(27.3%)、「この2～5年以内にあった」(16.5%)となっている。



【性別】男女ともに、「5年以内にはなかった」が最も高くなっている。「この2～5年以内にあった」と回答した男性が7.8%だったのに対し、女性は19.8%と12.0ポイント高くなっている。

	全体	問28のような行為を受けた直近の時期				
		この1年以内 にあった	この2～5年 以内にあった	5年以内には なかった	無回答	
全体	260	27.3	16.5	48.1	8.1	
性・年齢別	男性(計)	64	29.7	7.8	54.7	7.8
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	3	33.3	0.0	66.7	0.0
	男性・30歳～39歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・40歳～49歳	18	38.9	11.1	50.0	0.0
	男性・50歳～59歳	19	36.8	10.5	52.6	0.0
	男性・60歳～64歳	6	66.7	16.7	0.0	16.7
	男性・65歳～69歳	6	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・70歳以上	8	0.0	0.0	50.0	50.0
	女性(計)	192	26.0	19.8	45.8	8.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	8	25.0	75.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	26	38.5	23.1	38.5	0.0
	女性・40歳～49歳	50	38.0	12.0	42.0	8.0
	女性・50歳～59歳	53	22.6	17.0	56.6	3.8
	女性・60歳～64歳	22	27.3	18.2	54.5	0.0
	女性・65歳～69歳	9	11.1	33.3	55.6	0.0
	女性・70歳以上	24	0.0	16.7	41.7	41.7
無回答	4	50.0	0.0	50.0	0.0	

【性・年齢別】「5年以内にはなかった」の割合は、男性は「30歳～39歳」、「65歳～69歳」、女性は「50歳～59歳」の割合が高くなっている。

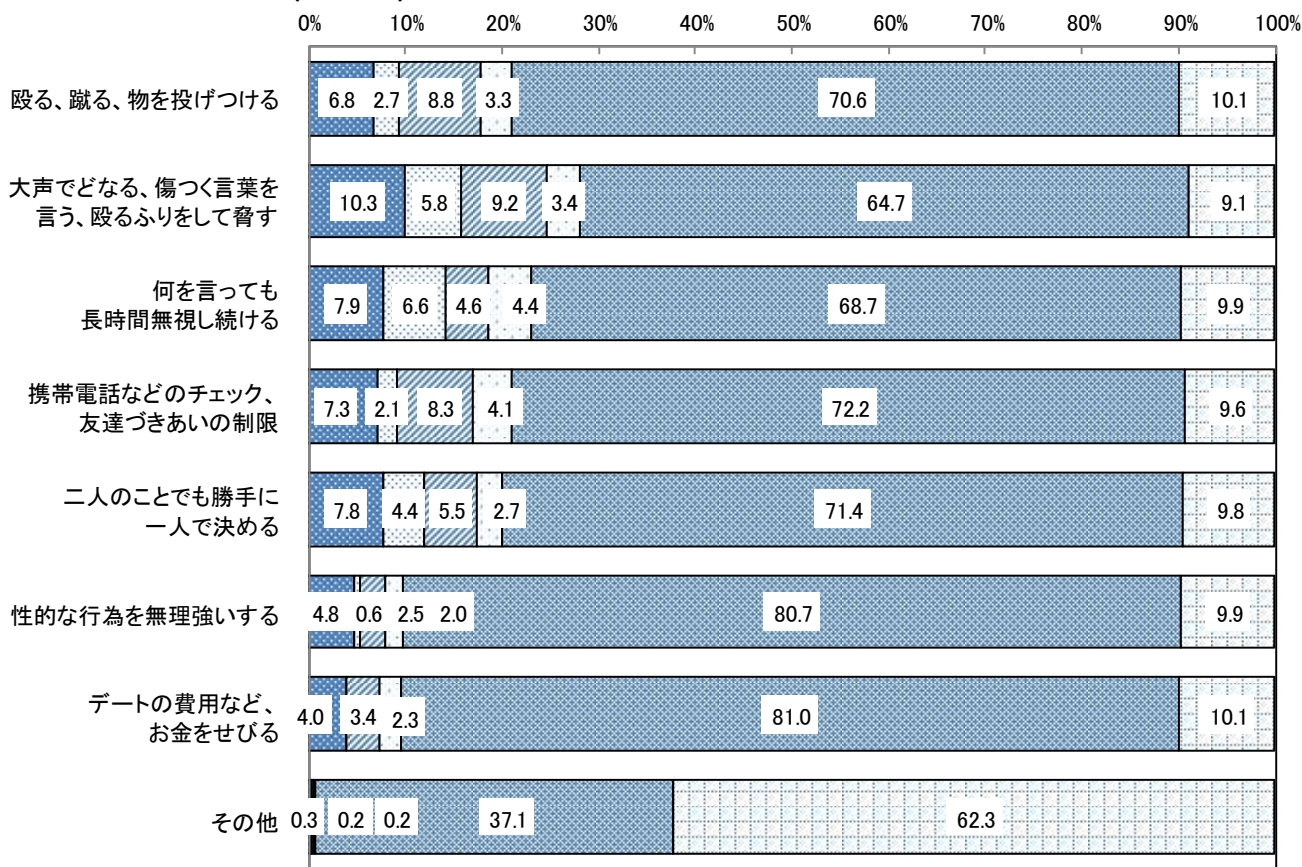
(29) デートDV

(10歳代～20歳代の経験について、すべての方が回答)

問29 あなたのこれまでの経験の中で、恋人などの親密な関係にある人から、次のような態度や行動をあなたがされたり、したことがありますか。また、次のような態度や行動を、あなたの友達などがされたり、しているのを、見聞きしたことがありますか。
(○はあてはまるものすべて)

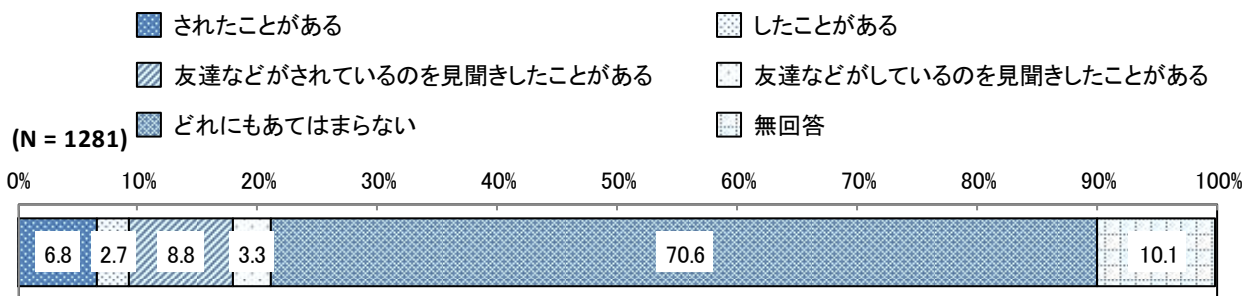
- されたことがある
- したことがある
- 友達などがされているのを見聞きしたことがある
- 友達などがしているのを見聞きしたことがある
- どれもあてはまらない
- 無回答

(N = 1281)

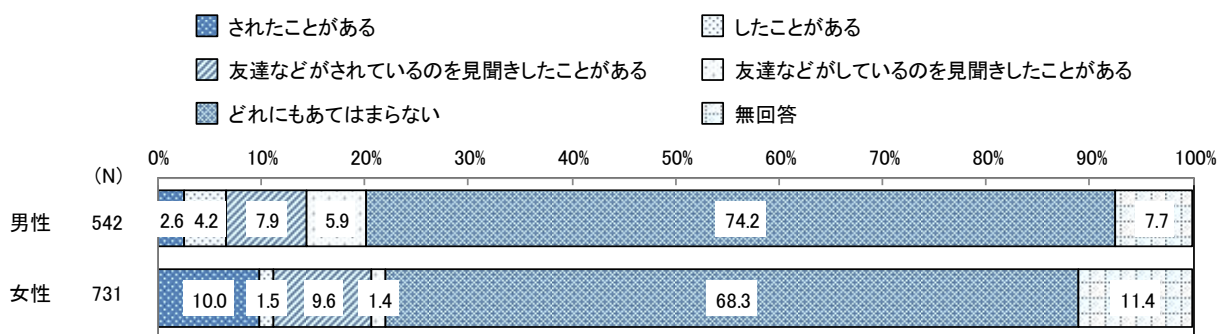


【全体】デートDVについては、「されたことがある」では、「大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す」が10.3%と最も高く、次いで「何を言っても長時間無視し続ける」(7.9%)、「二人のことで勝手に一人で決める」(7.8%)となっている。

殴る、蹴る、物を投げつける



【全 体】殴る、蹴る、物を投げつけるについては、「どれにもあてはまらない」を除くと、「友達などがされているのを見聞きしたことがある」が8.8%と最も高く、次いで「されたことがある」(6.8%)、「友達などがしているのを見聞きしたことがある」(3.3%)となっている。

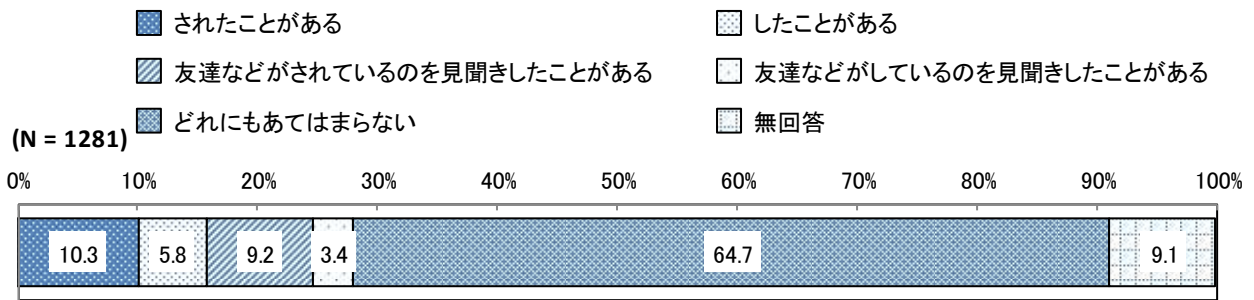


【性 別】「したことがある」では、男性(4.2%)が女性(1.5%)より2.7ポイント高くなっている。一方、「されたことがある」は、女性(10.0%)が男性(2.6%)より7.4ポイント高くなっている。

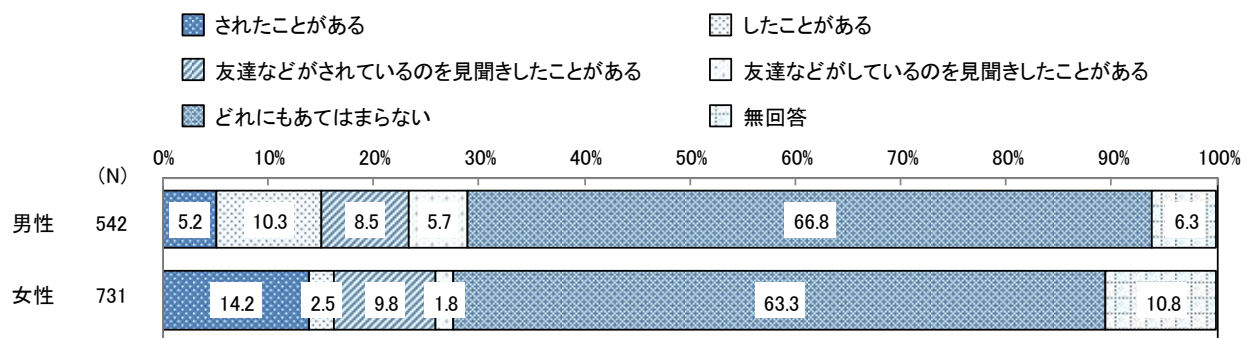
	全 体	殴る、蹴る、物を投げつける						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全 体	1281	6.8	2.7	8.8	3.3	70.6	10.1	
性・ 年 齢 別	男性(計)	542	2.6	4.2	7.9	5.9	74.2	7.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	85.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	18.9	0.0	81.1	0.0
	男性・40歳～49歳	94	9.6	3.2	14.9	4.3	72.3	4.3
	男性・50歳～59歳	145	1.4	6.9	4.1	5.5	80.0	4.8
	男性・60歳～64歳	64	1.6	6.3	6.3	0.0	73.4	12.5
	男性・65歳～69歳	60	3.3	10.0	10.0	13.3	63.3	3.3
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	5.0	9.9	70.2	14.9
	女性(計)	731	10.0	1.5	9.6	1.4	68.3	11.4
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	0.0	7.7	0.0	69.2	7.7
	女性・30歳～39歳	85	16.5	1.2	14.1	2.4	67.1	4.7
	女性・40歳～49歳	147	10.2	1.4	14.3	2.7	69.4	4.8
	女性・50歳～59歳	198	13.6	3.0	10.6	0.0	70.7	5.1
	女性・60歳～64歳	76	10.5	2.6	7.9	0.0	63.2	15.8
	女性・65歳～69歳	71	1.4	0.0	8.5	0.0	74.6	15.5
	女性・70歳以上	124	3.2	0.0	1.6	3.2	62.1	29.8
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、「女性 18 歳、19 歳」以外の女性のすべての年齢層において回答があった。「したことがある」は、男性の「65 歳～69 歳」で唯一 1 割以上となった。

大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す



【全 体】 大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅すについては、「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が10.3%と最も高く、次いで「友達などがされているのを見聞きしたことがある」(9.2%)、「したことがある」(5.8%)となっている。

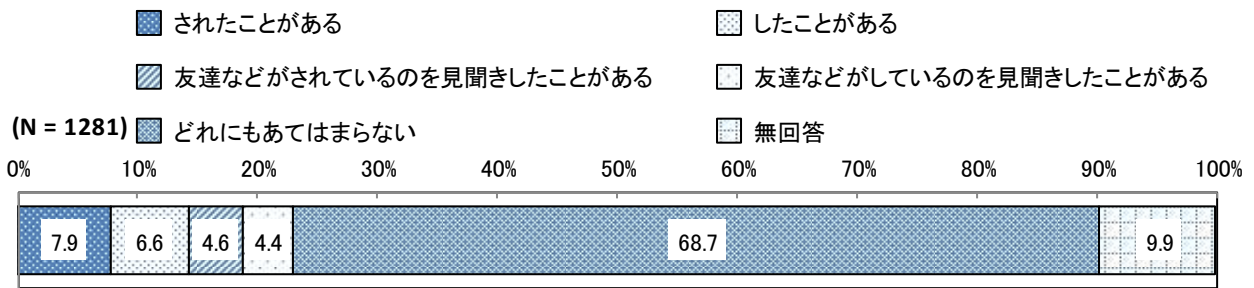


【性 別】 「したことがある」では、男性(10.3%)が女性(2.5%)より7.8ポイント高くなっている。一方、「されたことがある」は、女性(14.2%)が男性(5.2%)より9.0ポイント高くなっている。

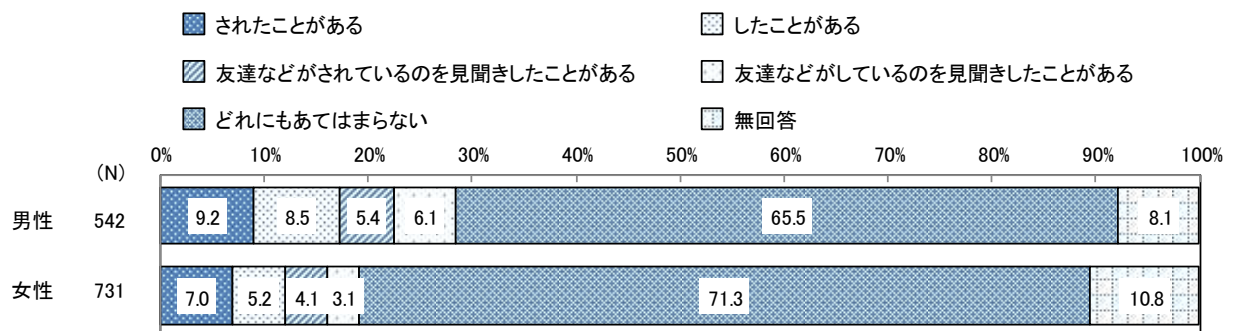
	全体	大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているの を見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全体	1281	10.3	5.8	9.2	3.4	64.7	9.1	
性・年齢別	男性(計)	542	5.2	10.3	8.5	5.7	66.8	6.3
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	5.0	0.0	0.0	0.0	80.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	10.8	13.5	0.0	75.7	0.0
	男性・40歳～49歳	94	12.8	9.6	8.5	2.1	70.2	2.1
	男性・50歳～59歳	145	8.3	13.1	6.2	9.0	64.1	4.8
	男性・60歳～64歳	64	1.6	12.5	12.5	3.1	67.2	6.3
	男性・65歳～69歳	60	3.3	20.0	10.0	3.3	60.0	3.3
	男性・70歳以上	121	0.0	3.3	8.3	9.9	65.3	13.2
	女性(計)	731	14.2	2.5	9.8	1.8	63.3	10.8
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	7.7	23.1	0.0	53.8	7.7
	女性・30歳～39歳	85	21.2	3.5	7.1	0.0	65.9	4.7
	女性・40歳～49歳	147	19.0	4.8	15.0	1.4	59.2	4.8
	女性・50歳～59歳	198	15.7	3.0	13.1	2.5	64.6	5.1
	女性・60歳～64歳	76	10.5	0.0	5.3	0.0	68.4	15.8
	女性・65歳～69歳	71	7.0	0.0	8.5	0.0	69.0	15.5
	女性・70歳以上	124	8.1	0.0	1.6	4.8	58.9	26.6
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「30歳～39歳」で唯一2割を超えている。「友達などがされているのを見聞きしたことがある」では、女性の「20歳～29歳」で唯一2割を超えている。

何を言っても長時間無視し続ける



【全体】何を言っても長時間無視し続けるについては、「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が7.9%と最も高く、次いで「したことがある」(6.6%)、「友達などがされているのを見聞きしたことがある」(4.6%)となっている。

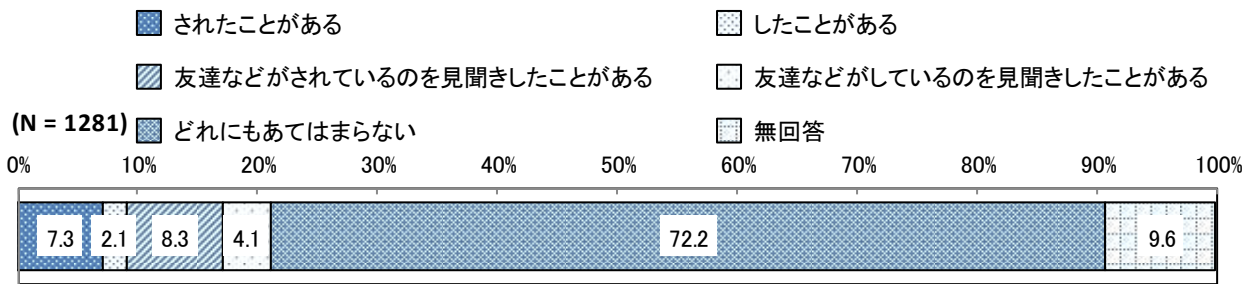


【性別】「したことがある」では、男性(8.5%)が女性(5.2%)より3.3ポイント高くなっている。また、「されたことがある」は、男性(9.2%)が女性(7.0%)より2.2ポイント高くなっている。

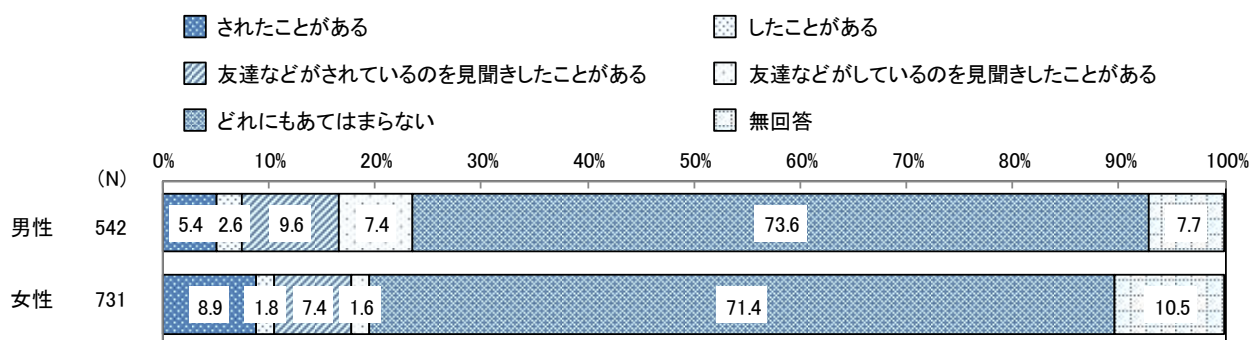
	全体	何を言っても長時間無視し続ける						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全体	1281	7.9	6.6	4.6	4.4	68.7	9.9	
性・年齢別	男性(計)	542	9.2	8.5	5.4	6.1	65.5	8.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	10.0	0.0	0.0	0.0	75.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	0.0	0.0	5.4	89.2	0.0
	男性・40歳～49歳	94	19.1	11.7	6.4	3.2	64.9	2.1
	男性・50歳～59歳	145	12.4	8.3	5.5	6.9	69.0	2.1
	男性・60歳～64歳	64	6.3	7.8	6.3	0.0	67.2	12.5
	男性・65歳～69歳	60	6.7	13.3	10.0	13.3	53.3	6.7
	男性・70歳以上	121	1.7	8.3	4.1	8.3	57.9	19.8
	女性(計)	731	7.0	5.2	4.1	3.1	71.3	10.8
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	7.7	0.0	7.7	76.9	7.7
	女性・30歳～39歳	85	8.2	2.4	5.9	1.2	80.0	5.9
	女性・40歳～49歳	147	12.9	4.8	4.8	2.7	72.8	4.8
	女性・50歳～59歳	198	8.1	7.6	2.5	3.0	73.7	6.1
	女性・60歳～64歳	76	5.3	2.6	10.5	5.3	63.2	15.8
	女性・65歳～69歳	71	7.0	2.8	5.6	2.8	67.6	14.1
	女性・70歳以上	124	0.0	6.5	0.8	3.2	64.5	25.0
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、全体的には男性が女性よりも高いが、「30歳～39歳」と「65歳～69歳」では女性の方が高くなっている。

携帯などのチェック、友達づきあいの制限



【全 体】携帯などのチェック、友達づきあいの制限については、「どれにもあてはまらない」を除くと、「友達がされているのを見聞きしたことがある」が8.3%と最も高く、次いで「されたことがある」(7.3%)、「友達がしているのを見聞きしたことがある」(4.1%) となっている。

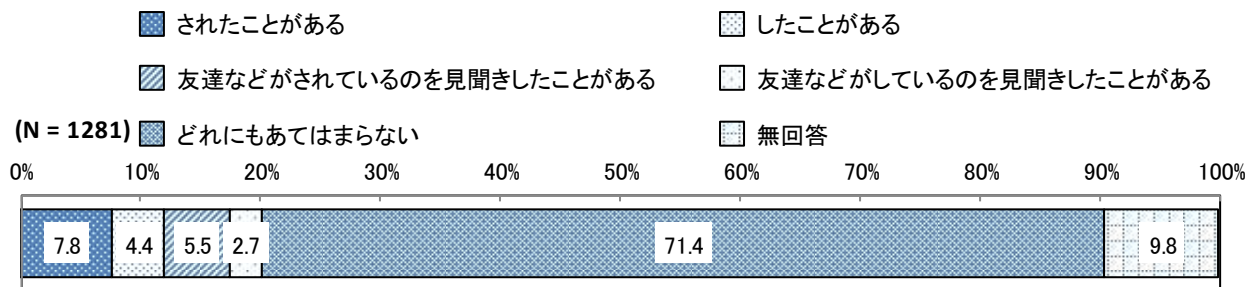


【性 別】「されたことがある」は、女性 (8.9%) が男性 (5.4%) より 3.5 ポイント高くなった。

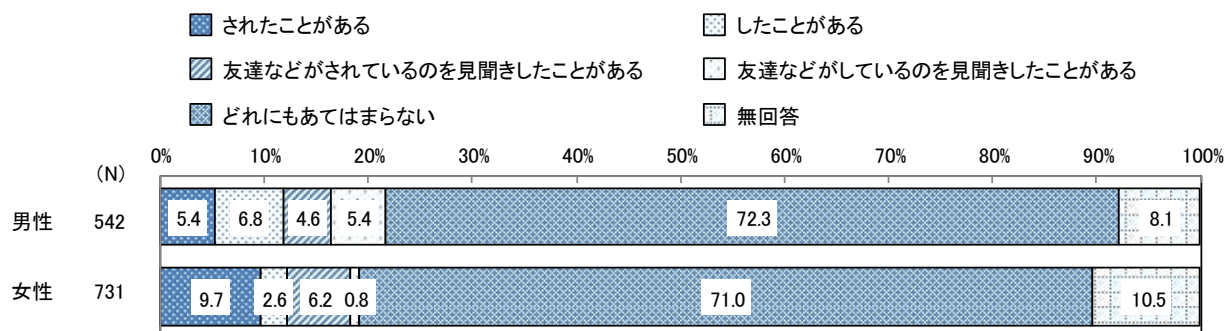
	全体	携帯電話などのチェック、友達づきあいの制限						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているの を見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全体	1281	7.3	2.1	8.3	4.1	72.2	9.6	
性・年齢別	男性(計)	542	5.4	2.6	9.6	7.4	73.6	7.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	5.0	10.0	10.0	50.0	25.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	0.0	10.8	0.0	83.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	13.8	5.3	16.0	6.4	69.1	2.1
	男性・50歳～59歳	145	6.9	4.1	14.5	11.0	73.1	3.4
	男性・60歳～64歳	64	1.6	3.1	6.3	3.1	73.4	12.5
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	6.7	10.0	76.7	6.7
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	1.7	6.6	76.9	14.9
	女性(計)	731	8.9	1.8	7.4	1.6	71.4	10.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	23.1	15.4	23.1	0.0	38.5	7.7
	女性・30歳～39歳	85	23.5	2.4	12.9	5.9	60.0	4.7
	女性・40歳～49歳	147	12.9	2.7	10.2	0.7	70.1	4.8
	女性・50歳～59歳	198	7.1	1.5	7.1	2.0	76.3	6.1
	女性・60歳～64歳	76	5.3	0.0	7.9	0.0	71.1	15.8
	女性・65歳～69歳	71	0.0	0.0	0.0	0.0	84.5	15.5
	女性・70歳以上	124	1.6	0.0	0.0	1.6	73.4	23.4
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「20歳～29歳」と「30歳～39歳」で2割を超え高くなっている。「友達などがされているのを見聞きしたことがある」では、男性の「65歳～69歳」と「70歳以上」で回答があるのに対し、女性ではどちらの年代も回答がなかった。

二人のことも勝手に一人で決める



【全体】二人のことも勝手に一人で決めるについては、「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が7.8%と最も高く、次いで「友達などがされているのを見聞きしたことがある」(5.5%)、「したことがある」(4.4%)となっている。

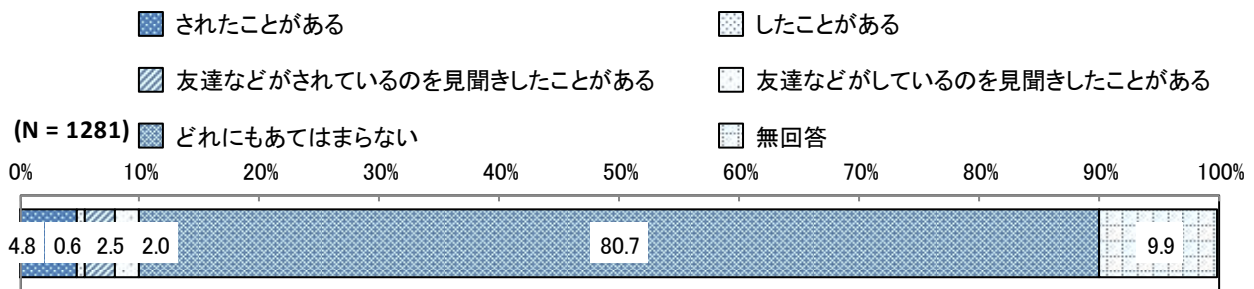


【性別】「したことがある」では、男性(6.8%)が女性(2.6%)より4.2ポイント高くなっている。一方、「されたことがある」は、女性(9.7%)が男性(5.4%)より4.3ポイント高くなっている。

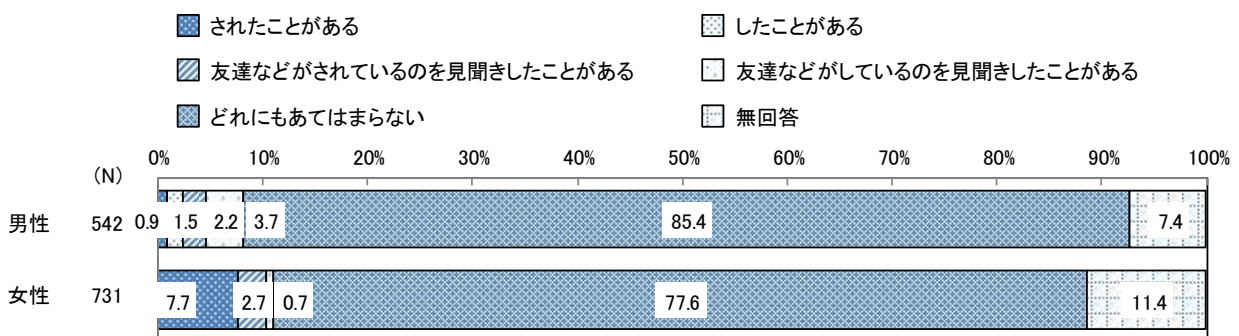
	全体	二人のことも勝手に一人で決める						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全体	1281	7.8	4.4	5.5	2.7	71.4	9.8	
性・年齢別	男性(計)	542	5.4	6.8	4.6	5.4	72.3	8.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	10.0	0.0	65.0	25.0
	男性・30歳～39歳	37	10.8	5.4	0.0	5.4	78.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	8.5	10.6	3.2	3.2	74.5	2.1
	男性・50歳～59歳	145	9.0	6.9	6.9	9.7	72.4	3.4
	男性・60歳～64歳	64	3.1	10.9	6.3	3.1	67.2	9.4
	男性・65歳～69歳	60	3.3	6.7	0.0	10.0	73.3	6.7
	男性・70歳以上	121	0.0	3.3	5.0	1.7	71.9	18.2
	女性(計)	731	9.7	2.6	6.2	0.8	71.0	10.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	15.4	15.4	7.7	53.8	7.7
	女性・30歳～39歳	85	7.1	3.5	9.4	1.2	74.1	4.7
	女性・40歳～49歳	147	10.2	1.4	7.5	0.0	77.6	4.8
	女性・50歳～59歳	198	12.6	3.0	3.5	1.5	73.2	6.1
	女性・60歳～64歳	76	13.2	0.0	2.6	0.0	71.1	13.2
	女性・65歳～69歳	71	4.2	2.8	9.9	0.0	67.6	15.5
	女性・70歳以上	124	6.5	1.6	3.2	0.0	63.7	25.0
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、「30歳～39歳」を除くすべての年齢層において、女性の方が男性よりも高くなっている。「したことがある」では、女性の「20歳～29歳」(15.4%)が最も高くなっている。

性的な行為を無理強いする



【全 体】性的な行為を無理強いするについては、「どちらにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が4.8%と最も高く、次いで「友達がされているのを見聞きしたことがある」(2.5%)、「友達がしているのを見聞きしたことがある」(2.0%)となっている。

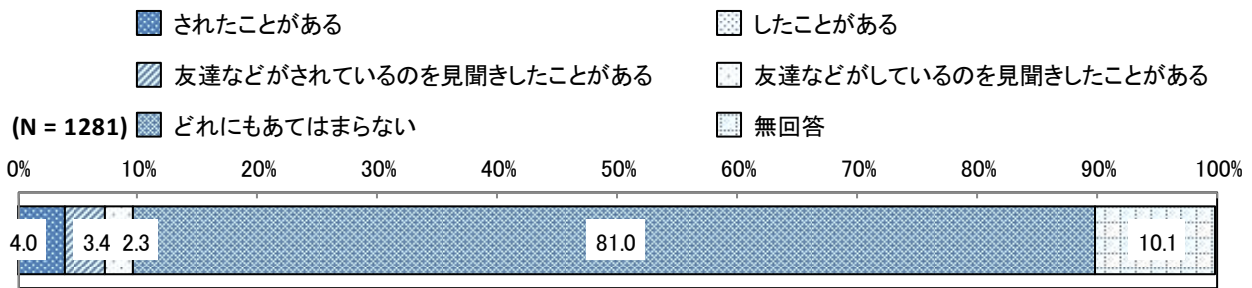


【性 別】「したことがある」では、男性(1.5%)が女性(0.0%)より1.5ポイント高くなっている。一方、「されたことがある」は、女性(7.7%)が男性(0.9%)より6.8ポイント高くなっている。

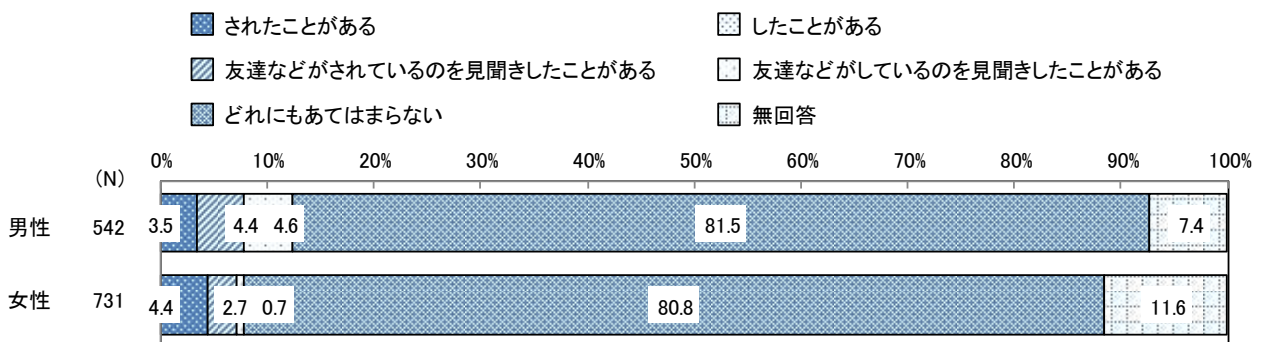
	全体	性的な行為を無理強いする						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全体	1281	4.8	0.6	2.5	2.0	80.7	9.9	
性・年齢別	男性(計)	542	0.9	1.5	2.2	3.7	85.4	7.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	5.4	0.0	94.6	0.0
	男性・40歳～49歳	94	0.0	0.0	2.1	4.3	91.5	2.1
	男性・50歳～59歳	145	1.4	2.8	2.8	2.8	91.0	3.4
	男性・60歳～64歳	64	4.7	0.0	3.1	3.1	79.7	9.4
	男性・65歳～69歳	60	0.0	3.3	0.0	6.7	83.3	6.7
	男性・70歳以上	121	0.0	1.7	1.7	5.0	76.9	14.9
	女性(計)	731	7.7	0.0	2.7	0.7	77.6	11.4
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	0.0	15.4	0.0	61.5	7.7
	女性・30歳～39歳	85	12.9	0.0	5.9	0.0	76.5	4.7
	女性・40歳～49歳	147	9.5	0.0	2.0	0.0	82.3	6.1
	女性・50歳～59歳	198	8.1	0.0	2.0	0.5	83.3	6.1
	女性・60歳～64歳	76	7.9	0.0	2.6	0.0	71.1	18.4
	女性・65歳～69歳	71	7.0	0.0	0.0	0.0	77.5	15.5
	女性・70歳以上	124	0.0	0.0	0.0	3.2	71.8	25.0
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「20歳～29歳」と「30歳～39歳」で1割を超え高くなっている。「したことがある」は、女性のすべての年齢層で回答がなかった。

デートの費用など、お金をせびる



【全 体】デートの費用など、お金をせびるについては、「どちらにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が4.0%と最も高く、次いで「友達がされているのを見聞きしたことがある」(3.4%)、「友達がしているのを見聞きしたことがある」(2.3%)となっている。

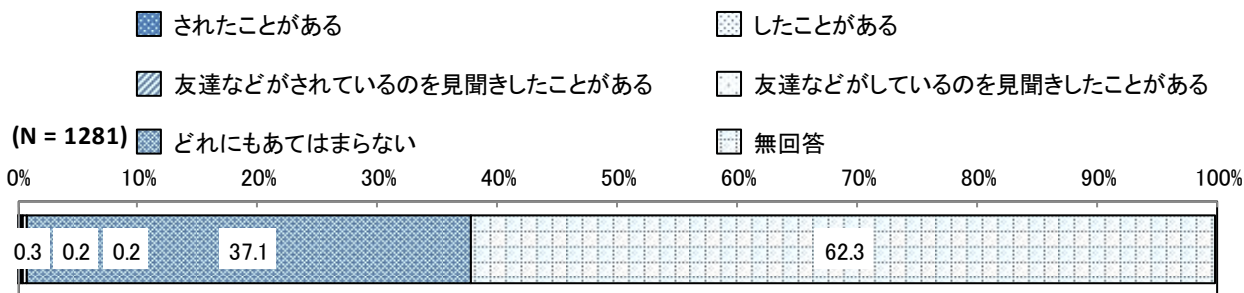


【性 別】「したことがある」では男女ともに回答がなかった。一方、「されたことがある」は、女性(4.4%)が男性(3.5%)より0.9ポイント高くなっている。

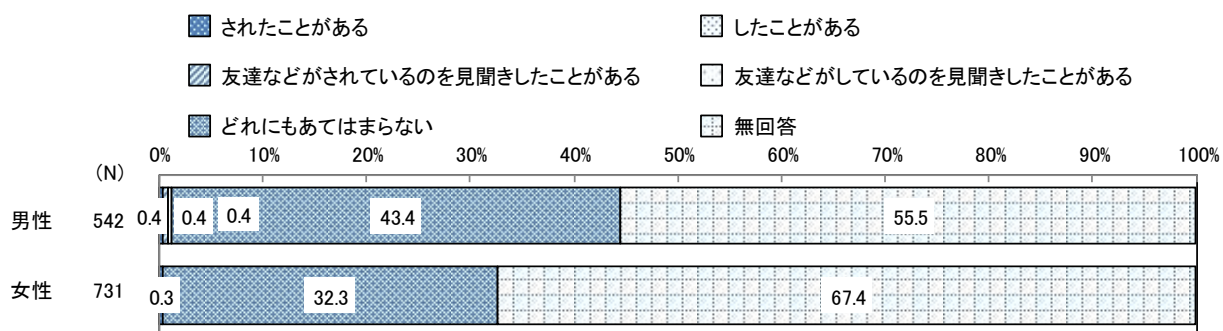
	全 体	デートの費用など、お金をせびる						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているの を見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全 体	1281	4.0	0.0	3.4	2.3	81.0	10.1	
性・ 年 齢 別	男性(計)	542	3.5	0.0	4.4	4.6	81.5	7.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	10.0	0.0	0.0	0.0	75.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	0.0	5.4	0.0	89.2	0.0
	男性・40歳～49歳	94	10.6	0.0	2.1	3.2	81.9	2.1
	男性・50歳～59歳	145	2.8	0.0	6.9	9.7	82.8	3.4
	男性・60歳～64歳	64	1.6	0.0	6.3	0.0	82.8	9.4
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	3.3	10.0	80.0	6.7
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	3.3	1.7	78.5	16.5
	女性(計)	731	4.4	0.0	2.7	0.7	80.8	11.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	23.1	7.7	69.2	7.7
	女性・30歳～39歳	85	2.4	0.0	1.2	0.0	91.8	4.7
	女性・40歳～49歳	147	5.4	0.0	3.4	0.0	85.0	6.1
	女性・50歳～59歳	198	7.6	0.0	3.0	0.5	82.8	6.1
	女性・60歳～64歳	76	5.3	0.0	2.6	0.0	73.7	18.4
	女性・65歳～69歳	71	1.4	0.0	0.0	0.0	83.1	15.5
	女性・70歳以上	124	1.6	0.0	0.0	1.6	70.2	26.6
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は、男性の「20～29歳」、「40歳～49歳」で1割を超えている。「友達などがされているのを見聞きしたことがある」は、女性の「20歳～29歳」で唯一2割を超え、突出して高くなっている。

その他



【全 体】その他については、「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が0.3%と最も高く、次いで「友達などがされているのを見聞きしたことがある」、「友達などがしているのを見聞きしたことがある」（それぞれ0.2%）となっている。

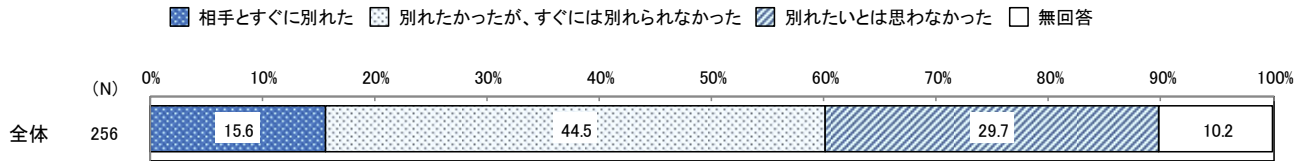


【性 別】男女に大きな差はほとんどみられない。

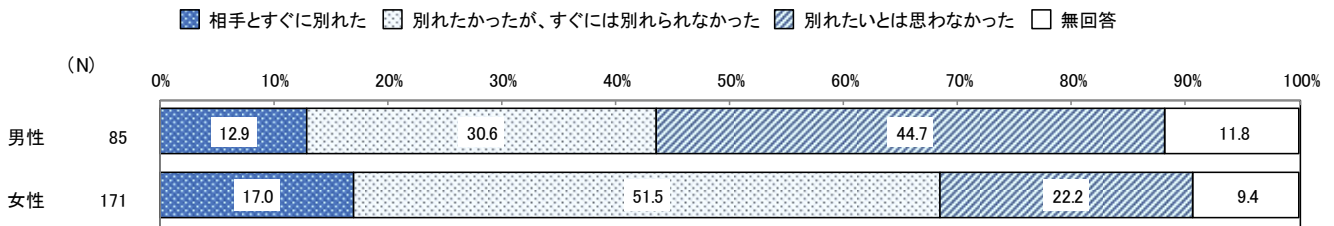
	全 体	その他						
		されたことがある	したことがある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	無回答	
全 体	1281	0.3	0.0	0.2	0.2	37.1	62.3	
性・ 年 齢 別	男性(計)	542	0.4	0.0	0.4	0.4	43.4	55.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5	40.5
	男性・40歳～49歳	94	0.0	0.0	2.1	0.0	63.8	34.0
	男性・50歳～59歳	145	1.4	0.0	0.0	0.0	51.7	46.9
	男性・60歳～64歳	64	0.0	0.0	0.0	0.0	32.8	67.2
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	0.0	1.7	19.8	78.5
	女性(計)	731	0.3	0.0	0.0	0.0	32.3	67.4
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	46.2
	女性・30歳～39歳	85	0.0	0.0	0.0	0.0	38.8	61.2
	女性・40歳～49歳	147	1.4	0.0	0.0	0.0	52.4	46.3
	女性・50歳～59歳	198	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	65.2
	女性・60歳～64歳	76	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5	85.5
	女性・65歳～69歳	71	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	83.1
	女性・70歳以上	124	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5	85.5
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「されたことがある」は男性の「50歳～59歳」、女性の「40歳～49歳」でのみ回答があった。

(問29で「されたことがある」と答えた方が回答)
 問29-1 問29のような行為をされたあと、あなたはどうしましたか。(〇は1つ)



【全体】問29のような行為をされたあとについて、「別れたかったが、すぐには別れられなかった」が44.5%と最も高く、次いで「別れたいとは思わなかった」(29.7%)、「相手とすぐに別れた」(15.6%)となっている。



【性別】男性は「別れたいとは思わなかった」(44.7%)が最も高いのに対し、女性は「別れたかったが、すぐには別れられなかった」(51.5%)が最も高くなっている。

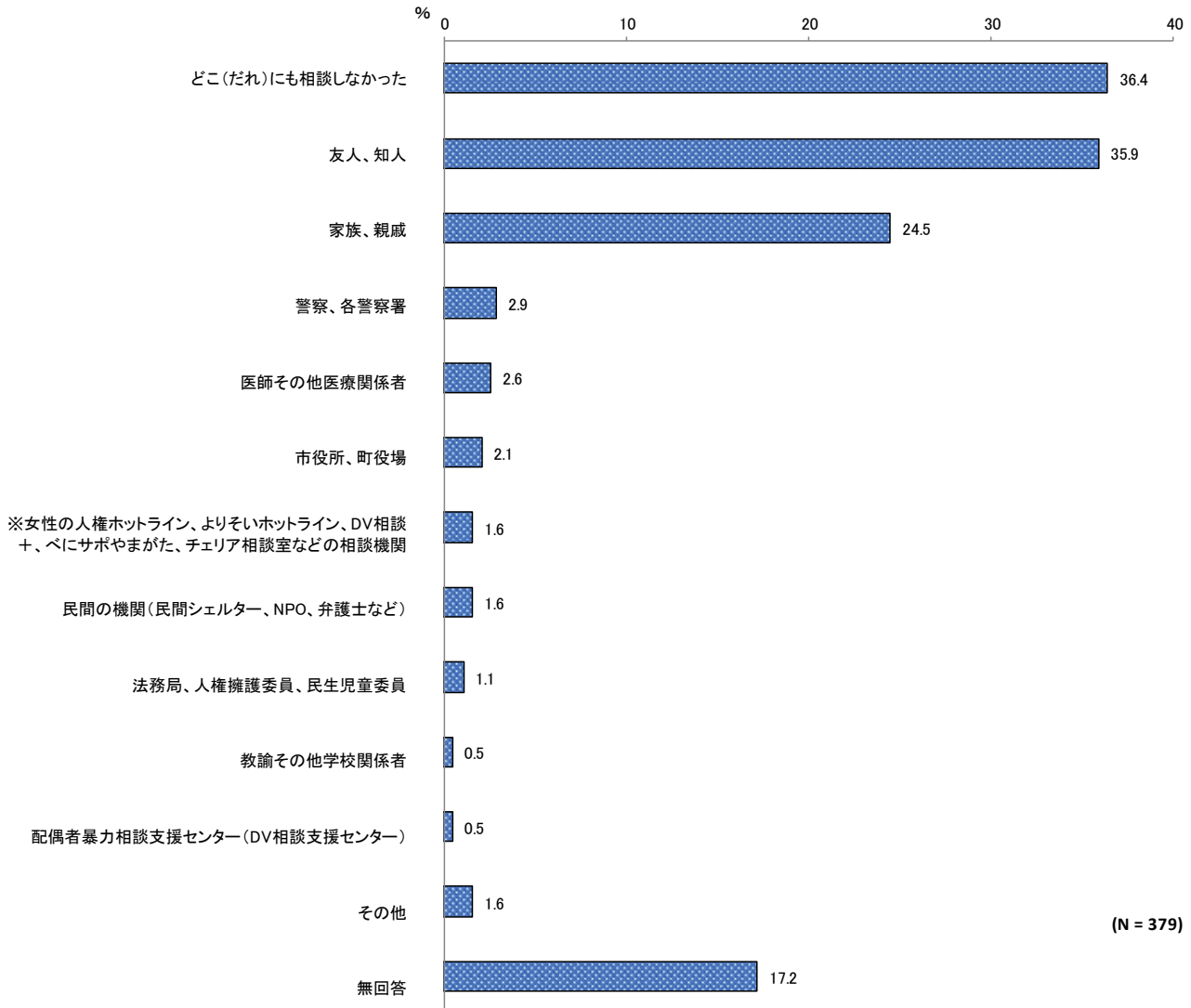
	全体	問29のような経験のあとにした行動				
		相手とすぐに別れた	別れたかったが、すぐには別れられなかった	別れたいとは思わなかった	無回答	
全体	256	15.6	44.5	29.7	10.2	
性・年齢別	男性(計)	85	12.9	30.6	44.7	11.8
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	6	0.0	50.0	16.7	33.3
	男性・30歳～39歳	6	0.0	33.3	33.3	33.3
	男性・40歳～49歳	28	10.7	42.9	39.3	7.1
	男性・50歳～59歳	30	20.0	23.3	43.3	13.3
	男性・60歳～64歳	5	40.0	0.0	60.0	0.0
	男性・65歳～69歳	8	0.0	25.0	75.0	0.0
	男性・70歳以上	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性(計)	171	17.0	51.5	22.2	9.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	8	25.0	50.0	25.0	0.0
	女性・30歳～39歳	26	26.9	69.2	3.8	0.0
	女性・40歳～49歳	42	11.9	47.6	31.0	9.5
	女性・50歳～59歳	60	18.3	48.3	20.0	13.3
	女性・60歳～64歳	16	12.5	50.0	37.5	0.0
	女性・65歳～69歳	7	28.6	14.3	0.0	57.1
	女性・70歳以上	12	0.0	66.7	33.3	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0

【性・年齢別】「別れたかったが、すぐには別れられなかった」は、全体的には女性の方が男性より高いが、「65歳～69歳」では男性（25.0%）が女性（14.3%）より高くなっている。

(30) DVを受けたときの相談先

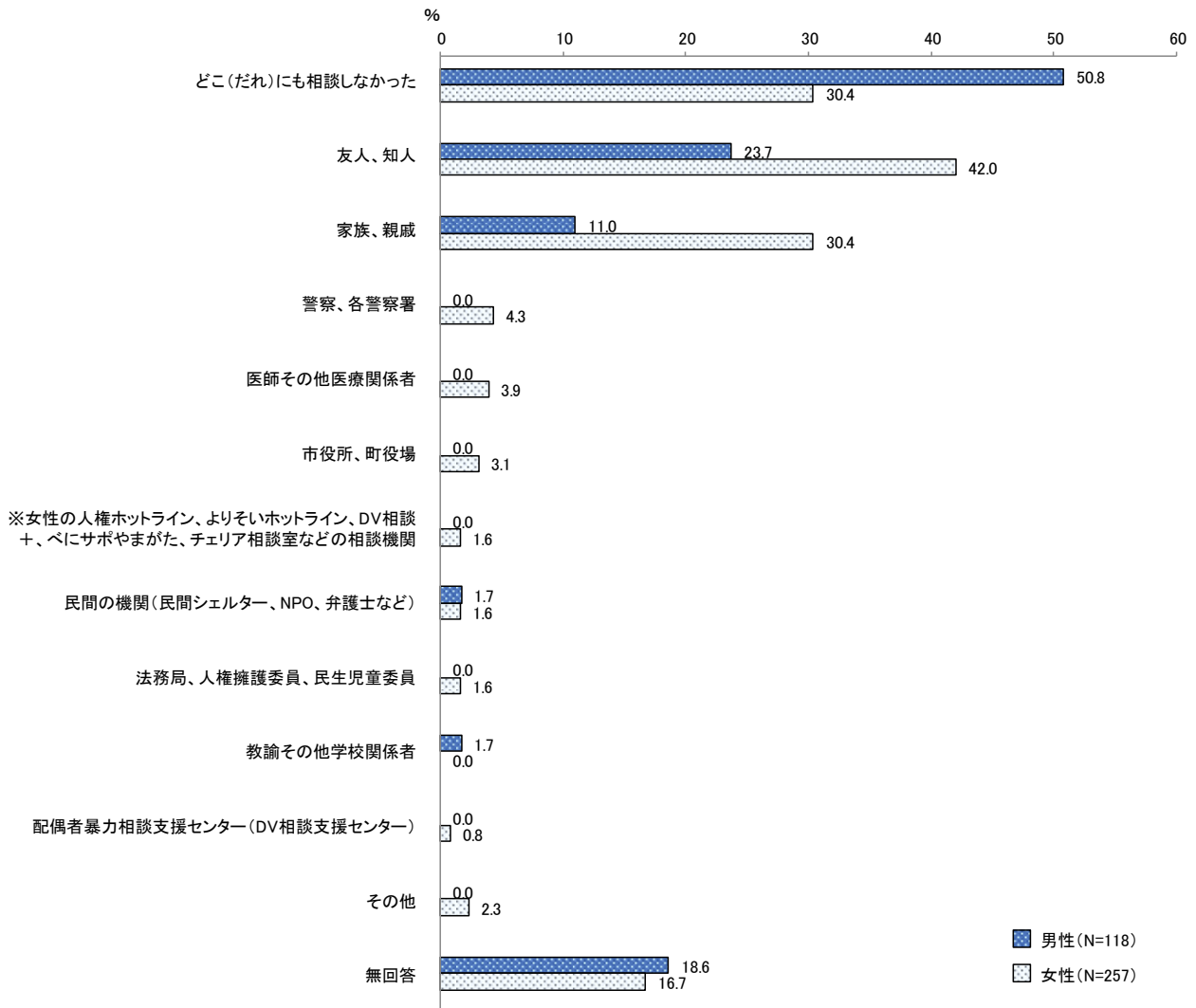
(問28で「何回もされた」、「1、2回された」、または問29で「されたことがある」を1つでも答えた方が回答)

問30 あなたはこれまでに、問28や問29であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はあてはまるものすべて)



※「女性の人権ホットライン(法務省)、よりそいホットライン(厚生労働省)、DV相談+ (内閣府)、べにサボやまがた(県性暴力被害者相談電話)、チェリア相談室(県男女共同参画センター)などの相談機関」を省略して記載している。(以下同様)

【全体】DVを受けたときの相談先については、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が36.4%と最も高く、次いで「友人、知人」(35.9%)、「家族、親戚」(24.5%)となっている。

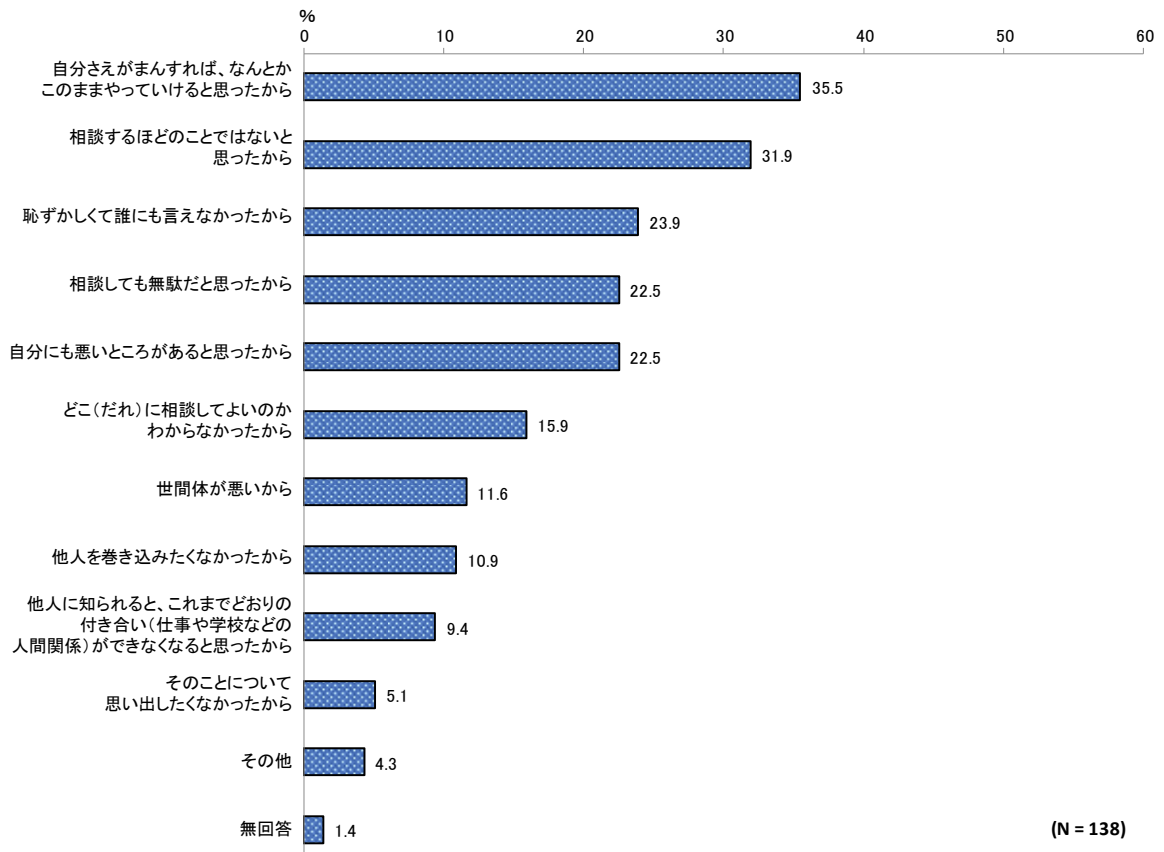


【性別】男性は「どこ(だれ)にも相談しなかった」が50.8%と最も高く、次いで「友人、知人」(23.7%)、「家族、親戚」(11.0%)となっている。女性は「友人、知人」が42.0%と最も高く、次いで「家族、親戚」、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(それぞれ30.4%)となっている。

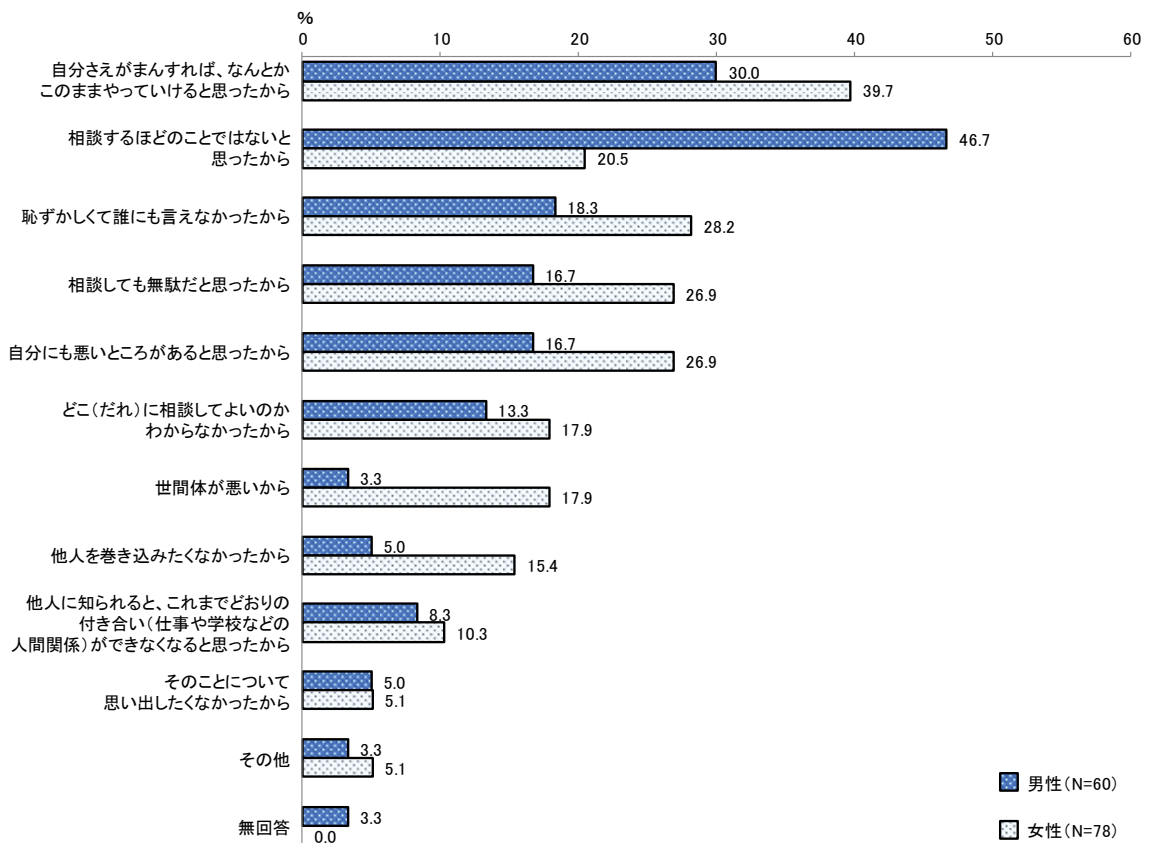
	全 体	配偶者や恋人からの行為の相談について													
		友人、知人	家族、親戚	教諭その他学校関係者	医師その他医療関係者	※女性の 人権ホット ライン など	民間の機 関（民間 シェルター、 NPO、弁 護士など）	配偶者暴 力相談支 援センター （DV相談 支援セン ター）	市役所、 町役場	警察、各 警察署	民生児童 委員	法務局、 人権擁護 委員、	どこ（だ れ）にも 相談しな かった	その他	無回 答
全体	379	35.9	24.5	0.5	2.6	1.6	1.6	0.5	2.1	2.9	1.1	36.4	1.6	17.2	
性・ 年 齢 別	男性(計)	118	23.7	11.0	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	50.8	0.0	18.6	
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・20歳～29歳	8	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
	男性・30歳～39歳	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	男性・40歳～49歳	32	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	68.8	0.0	
	男性・50歳～59歳	42	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	男性・60歳～64歳	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	
	男性・65歳～69歳	10	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	
	男性・70歳以上	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
	女性(計)	257	42.0	30.4	0.0	3.9	1.6	1.6	0.8	3.1	4.3	1.6	30.4	2.3	
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・20歳～29歳	12	83.3	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	
	女性・30歳～39歳	37	54.1	21.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6	0.0	
	女性・40歳～49歳	61	44.3	32.8	0.0	9.8	3.3	3.3	3.3	6.6	11.5	6.6	23.0	0.0	
	女性・50歳～59歳	84	42.9	31.0	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	40.5	2.4	
	女性・60歳～64歳	22	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	18.2	
	女性・65歳～69歳	13	38.5	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0	
	女性・70歳以上	28	21.4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	
無回答	4	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【性・年齢別】「友人、知人」や「家族、親戚」といった身近な人への相談は、全体的には女性の方が男性より高いが、「友人、知人」の「30歳～39歳」では男性（66.7%）が女性（54.1%）より高くなっている。「どこ（だれ）にも相談しなかった」では、男性の「60歳～64歳」と「65歳～69歳」でどちらも80.0%と、突出して高くなっている。

(問30で「11.どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方が回答)
 問30-1 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はあてはまるものすべて)



【全体】どこ(だれ)にも相談しなかった理由については、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が35.5%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」(31.9%)、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」(23.9%)となっている。



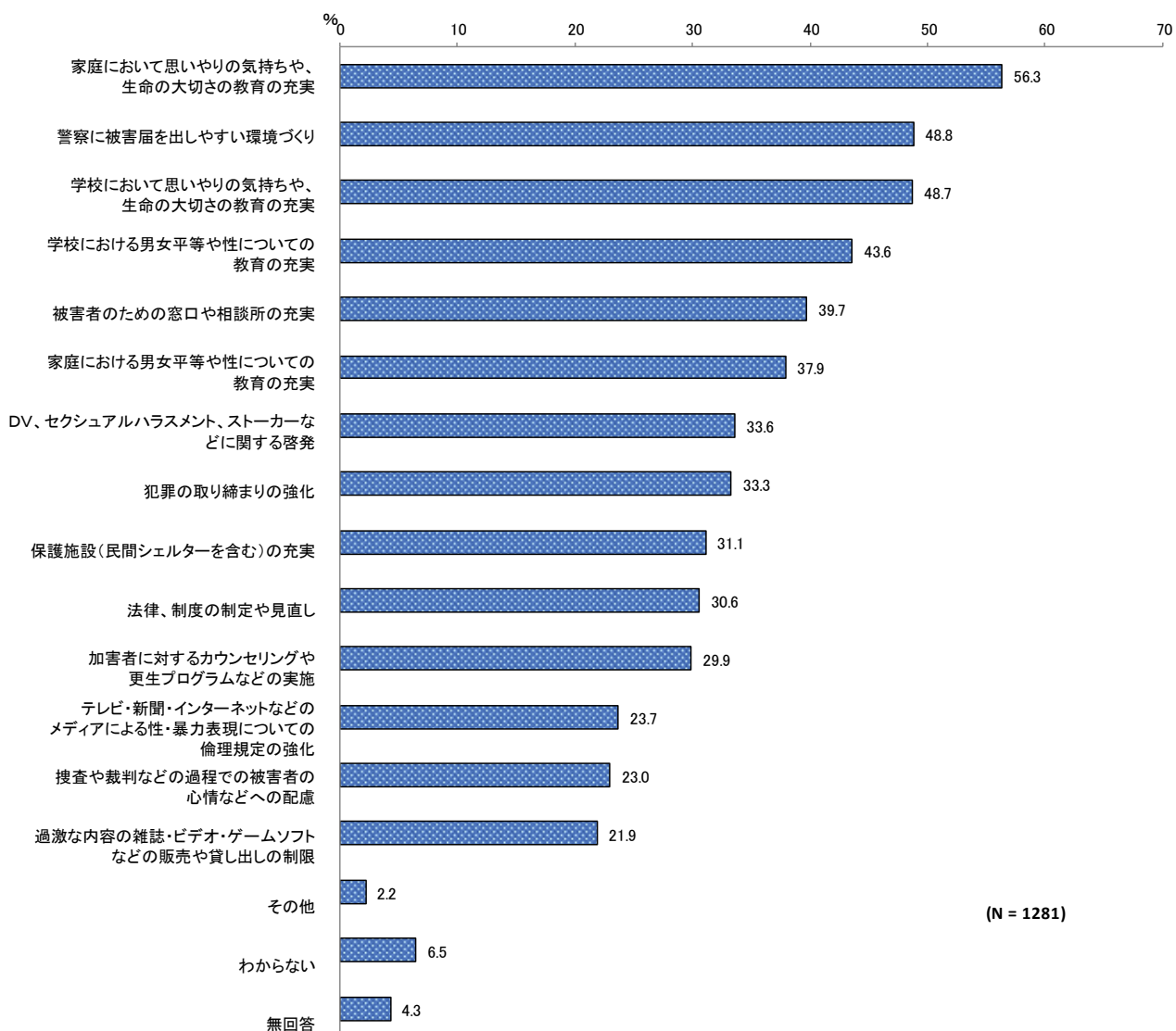
【性別】男性は「相談するほどのことではないと思ったから」が46.7%、女性は「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといったから」が39.7%とそれぞれ最も高い。

	全体	誰にも相談しなかった理由												
		かど わから なな かつた から	恥 ずか しく 誰に も言 えな かつた から	相 談し ても 無駄 だと思 つた から	自 分さ えが まん すれ ば、 なん とか この	世 間体 が 悪 い から	他 人 を 巻 き 込 み た く な かつた から	係 （） が で き な く な る と 思 つた から	他 人 に 知 ら れ る と、 これ ま で ど お り の	な か つた から	そ の こ と に つ い て 思 い 出 した く	自 分 に も 悪 い と こ ろ が あ る と	相 談 す る ほ ど の こ と で は な い と	そ の 他
全体	138	15.9	23.9	22.5	35.5	11.6	10.9	9.4	5.1	22.5	31.9	4.3	1.4	
性・年齢別	男性(計)	60	13.3	18.3	16.7	30.0	3.3	5.0	8.3	5.0	16.7	46.7	3.3	3.3
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	22	18.2	27.3	31.8	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	50.0	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	14	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3
	男性・60歳～64歳	8	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	男性・65歳～69歳	8	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性(計)	78	17.9	28.2	26.9	39.7	17.9	15.4	10.3	5.1	26.9	20.5	5.1	0.0
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	8	0.0	50.0	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	14	0.0	42.9	28.6	28.6	42.9	28.6	28.6	0.0	50.0	28.6	28.6	0.0
	女性・50歳～59歳	34	23.5	11.8	29.4	41.2	5.9	5.9	11.8	11.8	35.3	23.5	0.0	0.0
	女性・60歳～64歳	12	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・65歳～69歳	4	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	女性・70歳以上	6	0.0	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

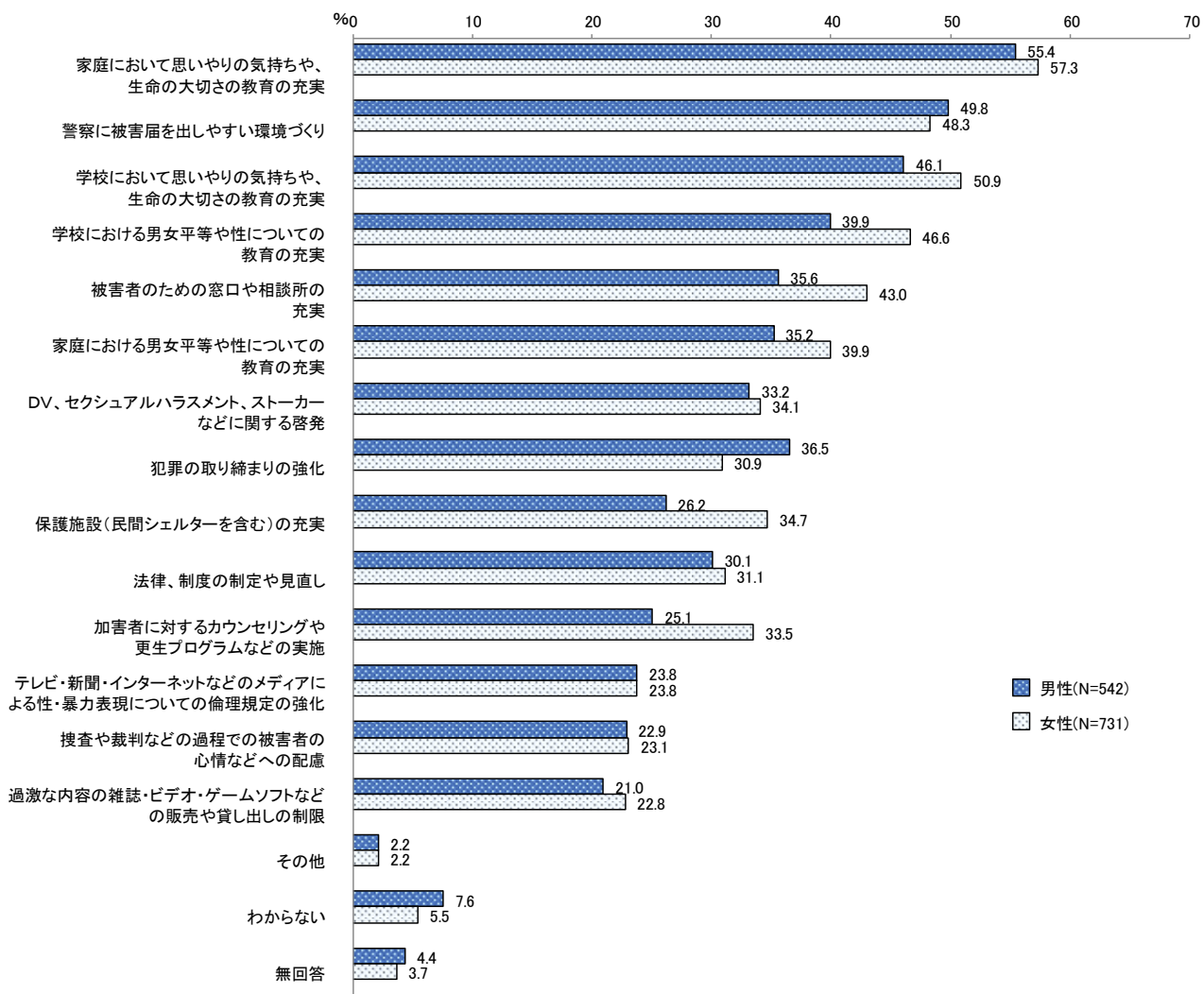
【性・年齢別】「相談するほどのことではないと思ったから」を除くすべての項目において、女性の方が男性よりも高くなっている。「相談するほどのことではないと思ったから」では男性の「40歳～49歳」が5割と突出して高くなっている。

(31) DVなどをなくすための対応

問31 DV(配偶者などからの暴力)、デートDV(交際相手からの暴力)、セクシュアルハラスメント、ストーカー、性暴力などの行為が社会問題になっていますが、このような行為を予防し、なくすためには、どうすればよいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



【全体】DVなどをなくすための対応については、「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実」が56.3%と最も高く、次いで「警察に被害届を出しやすい環境づくり」(48.8%)、「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実」(48.7%)となっている。



【性別】男女ともに「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」が最も高い。最も差がみられたのは、「保護施設(民間シェルターを含む)の充実」で、女性(34.7%)が男性(26.2%)より8.5ポイント高くなっている。

	全体	社会問題になっている行為を予防し、なくすための対策について																		
		家庭における男女平等や性についての教育の充実	学校における男女平等や性についての教育の充実	家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実	学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実	DV、セクシュアルハラスメント、ストーカーなどに関する啓発	被害者のための窓口や相談所の充実	保護施設（民間シェルターを含む）の充実	加害者に対するカウンセリングや更生プログラムなどの実施	警察に被害届を出しやすい環境づくり	捜査や裁判などの過程での被害者の心情などへの配慮	法律、制度の制定や見直し	犯罪の取り締まりの強化	過激な内容の雑誌・ビデオ・ゲームソフトなどの販売や貸し出しの制限	テレビ・新聞・インターネットなどのメディアによる性・暴力表現についての倫理規定の強化	その他	わからない	無回答		
全体	1281	37.9	43.6	56.3	48.7	33.6	39.7	31.1	29.9	48.8	23.0	30.6	33.3	21.9	23.7	2.2	6.5	4.3		
性・年齢別	男性(計)	542	35.2	39.9	55.4	46.1	33.2	35.6	26.2	25.1	49.8	22.9	30.1	36.5	21.0	23.8	2.2	7.6	4.4	
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・20歳～29歳	20	45.0	45.0	40.0	40.0	45.0	45.0	15.0	15.0	35.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	
	男性・30歳～39歳	37	45.9	51.4	59.5	56.8	29.7	40.5	27.0	32.4	45.9	24.3	43.2	35.1	24.3	29.7	5.4	8.1	2.7	
	男性・40歳～49歳	94	25.5	35.1	50.0	43.6	26.6	41.5	31.9	19.1	52.1	26.6	23.4	35.1	10.6	19.1	2.1	14.9	0.0	
	男性・50歳～59歳	145	32.4	31.0	49.0	42.1	33.1	27.6	29.0	23.4	49.7	16.6	27.6	29.7	11.0	17.2	4.1	9.7	1.4	
	男性・60歳～64歳	64	32.8	26.6	51.6	34.4	32.8	29.7	20.3	29.7	48.4	10.9	32.8	39.1	31.3	29.7	0.0	7.8	6.3	
	男性・65歳～69歳	60	43.3	55.0	61.7	58.3	46.7	43.3	30.0	30.0	41.7	23.3	41.7	48.3	26.7	20.0	0.0	0.0	3.3	
	男性・70歳以上	121	38.8	49.6	67.8	50.4	30.6	37.2	21.5	26.4	57.0	37.2	30.6	42.1	35.5	36.4	1.7	3.3	9.9	
	女性(計)	731	39.9	46.6	57.3	50.9	34.1	43.0	34.7	33.5	48.3	23.1	31.1	30.9	22.8	23.8	2.2	5.5	3.7	
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・20歳～29歳	26	23.1	46.2	38.5	38.5	46.2	38.5	30.8	23.1	69.2	15.4	15.4	46.2	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0	
	女性・30歳～39歳	85	51.8	54.1	67.1	58.8	27.1	51.8	36.5	41.2	51.8	25.9	37.6	42.4	14.1	14.1	1.2	0.0	0.0	
	女性・40歳～49歳	147	40.1	47.6	66.0	57.8	42.9	46.3	38.8	33.3	55.1	29.9	46.3	38.8	24.5	27.2	6.8	2.7	0.0	
	女性・50歳～59歳	198	39.4	47.0	52.5	46.5	37.4	44.4	39.9	41.9	52.5	22.2	34.3	24.2	23.2	25.3	1.5	3.5	1.5	
	女性・60歳～64歳	76	39.5	51.3	57.9	56.6	32.9	57.9	43.4	27.6	44.7	22.4	23.7	35.5	27.6	34.2	0.0	10.5	5.3	
	女性・65歳～69歳	71	45.1	43.7	54.9	45.1	29.6	35.2	22.5	32.4	35.2	23.9	16.9	19.7	21.1	21.1	2.8	11.3	8.5	
	女性・70歳以上	124	33.1	38.7	53.2	46.8	25.0	28.2	22.6	22.6	37.9	16.9	18.5	24.2	25.0	18.5	0.0	8.9	11.3	
	無回答	8	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	

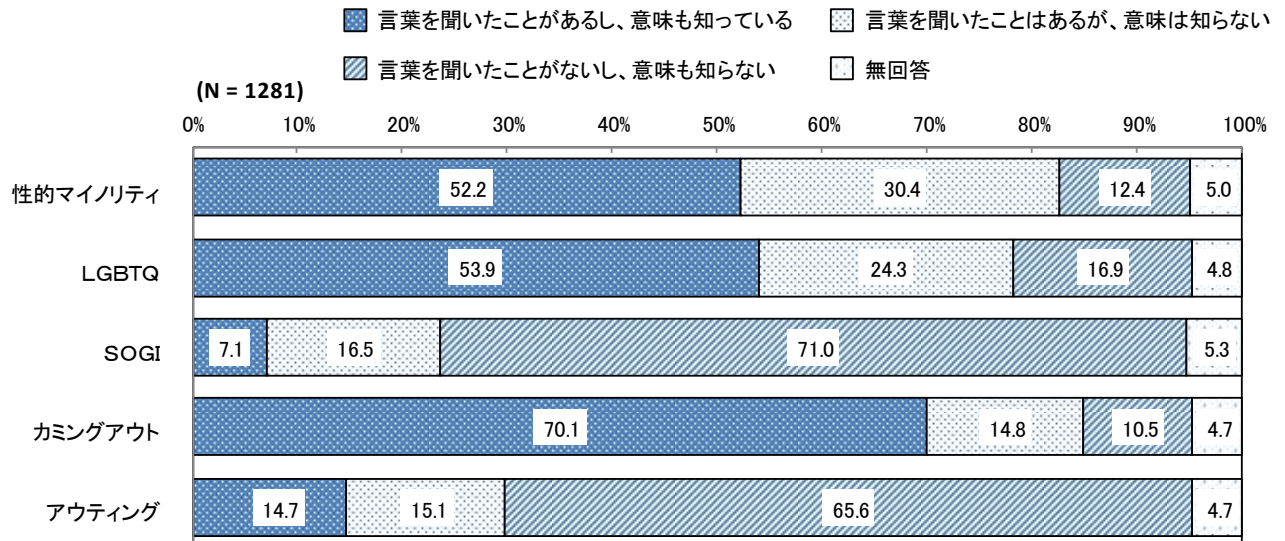
【性・年齢別】「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実」については、男性の「70歳以上」（67.8%）が最も高く、女性の「70歳以上」（53.2%）より14.6ポイント高くなっている。

「警察に被害届を出しやすい環境づくり」の「20歳～29歳」については、男性（35.0%）よりも、女性（69.2%）の方が、34.2ポイント高くなっている。

8. L G B T Qなど多様な性のあり方について

(32) 性の多様性に関する用語の認知度

問32 あなたは、多様な性のあり方に関する以下の言葉を聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。(〇はそれぞれ1つ)



【全体】性の多様性に関する用語の認知度については、「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」では、「カミングアウト」が70.1%と最も高く、次いで「LGBTQ」(53.9%)、「性的マイノリティ」(52.2%)となっている。一方、「アウティング」は14.7%、「SOGI」は7.1%と認知度は低くなっている。

【性的マイノリティ】

同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーやその他の多様な性自認(※1)や性的指向(※2)を持つ人

※1 性自認…自己の性についての認識

※2 性的指向…自己の恋愛または性愛の対象となる性についての指向

【LGBTQ】

L (レズビアン：女性の同性愛者)、G (ゲイ：男性の同性愛者)、B (バイセクシュアル：両性愛者)、

T (トランスジェンダー：出生時に割り当てられた性別と性自認/性同一性が異なる人)、

Q (クエスチョニング：自身の性のあり方について特定の枠に属さない人、わからないなどの人)

Q (クィア：規範的とされる性のあり方以外を包括的に表す言葉)

の頭文字を合わせた言葉

【SOGI】

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字を合わせた言葉

【カミングアウト】

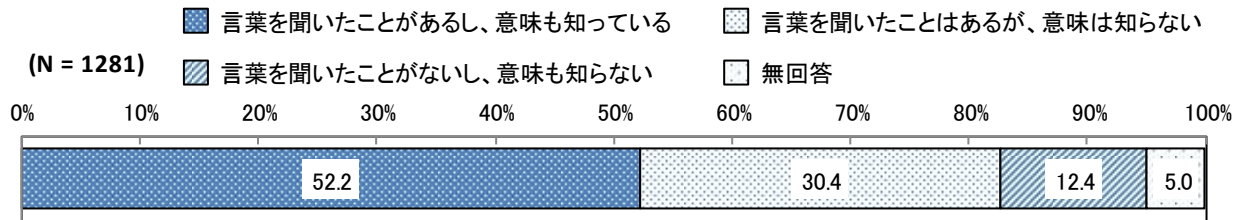
これまで公にしていなかった自分の性のあり方(性的指向や性自認/性同一性など)を本人が他者に表明すること

【アウティング】

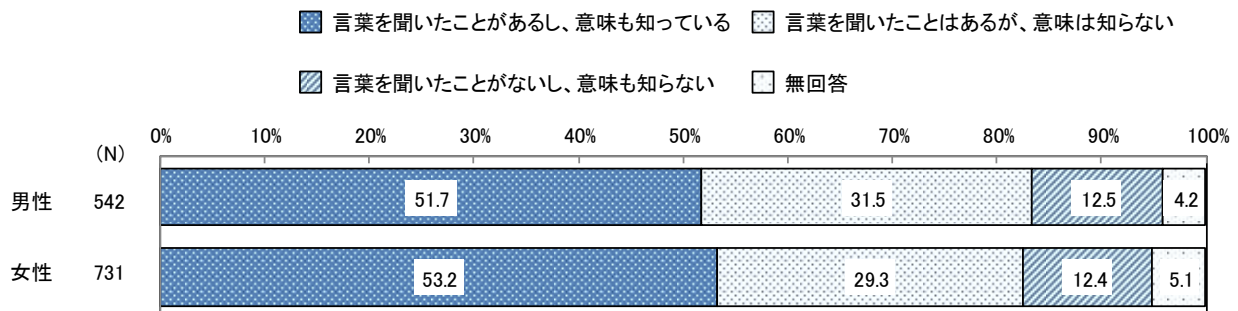
本人の同意なく、その人の性のあり方(性的指向や性自認/性同一性など)を第三者に暴露すること

アウティングはプライバシーの侵害であり、本人の尊厳を傷つける行為ですので、同意なく第三者に伝えてはいけません

性的マイノリティ



【全体】性的マイノリティについては、「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」が52.2%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(30.4%)、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」(12.4%)となっている。

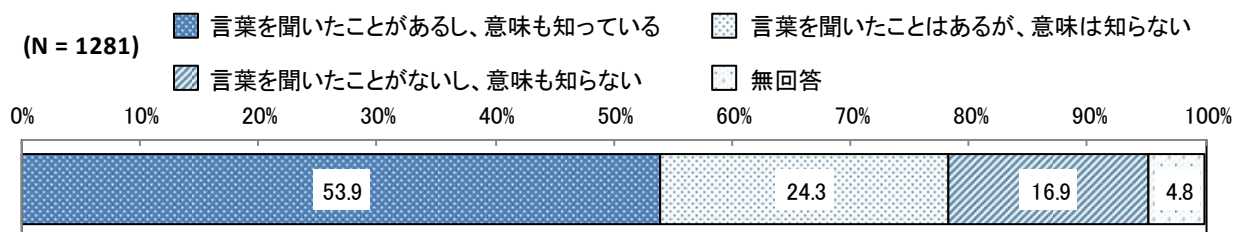


【性別】男女で大きな差はみられない。

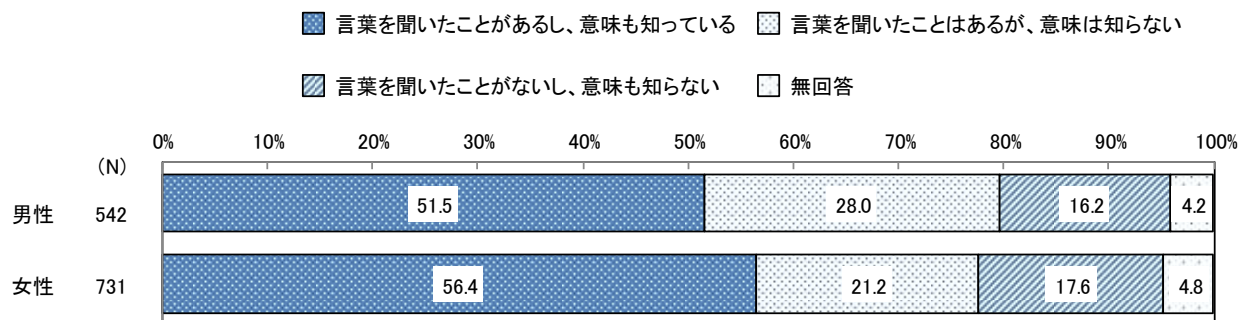
	全体	性的マイノリティの知識				
		言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている	言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない	言葉を聞いたことがないし、意味も知らない	無回答	
全体	1281	52.2	30.4	12.4	5.0	
性・年齢別	男性(計)	542	51.7	31.5	12.5	4.2
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	75.0	20.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	64.9	29.7	5.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	56.4	35.1	8.5	0.0
	男性・50歳～59歳	145	56.6	29.7	12.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	42.2	35.9	15.6	6.3
	男性・65歳～69歳	60	45.0	46.7	5.0	3.3
	男性・70歳以上	121	43.0	23.1	22.3	11.6
	女性(計)	731	53.2	29.3	12.4	5.1
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	69.2	15.4	15.4	0.0
	女性・30歳～39歳	85	54.1	36.5	7.1	2.4
	女性・40歳～49歳	147	62.6	29.9	6.1	1.4
	女性・50歳～59歳	198	61.1	30.8	7.1	1.0
	女性・60歳～64歳	76	55.3	21.1	21.1	2.6
	女性・65歳～69歳	71	47.9	28.2	9.9	14.1
	女性・70歳以上	124	27.4	29.0	28.2	15.3
無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0	

【性・年齢別】「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」は、男性の「20歳～29歳」(75.0%)が最も高く、女性の「70歳以上」(27.4%)と、47.6ポイントの差がみられた。「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」は、女性の「70歳以上」(28.2%)が最も高くなっている。

LGBTQ



【全体】LGBTQについては、「言葉を知っているし、意味も知っている」が53.9%と最も高く、次いで「言葉を知っているが、意味は知らない」(24.3%)、「言葉を知っていないし、意味も知らない」(16.9%)となっている。

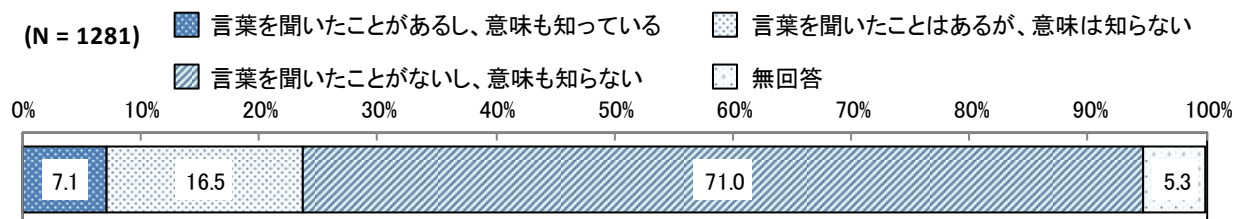


【性別】最も差がみられた「言葉を知っているが、意味は知らない」では、男性(28.0%)が女性(21.2%)より6.8ポイント高い。

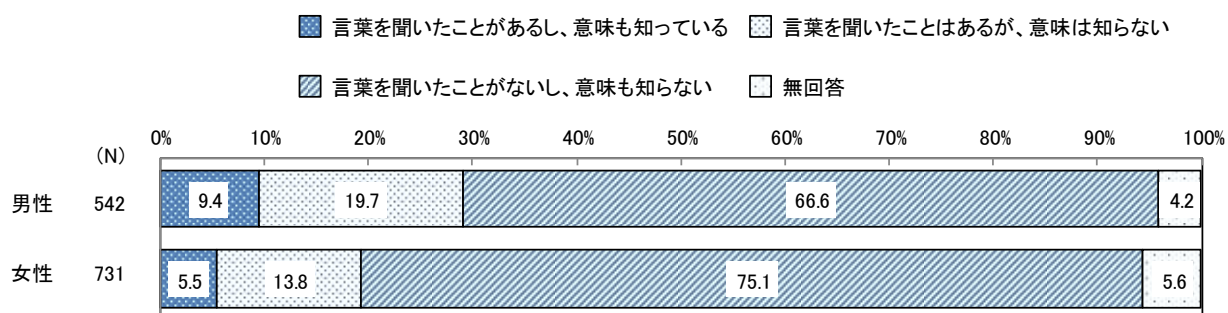
	全体	LGBTQの知識				
		言葉を知っているし、意味も知っている	言葉を知っているが、意味は知らない	言葉を知っていないし、意味も知らない	無回答	
全体	1281	53.9	24.3	16.9	4.8	
性・年齢別	男性(計)	542	51.5	28.0	16.2	4.2
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	75.0	10.0	10.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	51.4	37.8	10.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	67.0	24.5	8.5	0.0
	男性・50歳～59歳	145	64.8	25.5	8.3	1.4
	男性・60歳～64歳	64	39.1	20.3	34.4	6.3
	男性・65歳～69歳	60	48.3	43.3	5.0	3.3
	男性・70歳以上	121	28.1	30.6	29.8	11.6
	女性(計)	731	56.4	21.2	17.6	4.8
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	92.3	7.7	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	74.1	14.1	9.4	2.4
	女性・40歳～49歳	147	63.9	20.4	14.3	1.4
	女性・50歳～59歳	198	63.1	23.7	11.1	2.0
	女性・60歳～64歳	76	47.4	15.8	34.2	2.6
	女性・65歳～69歳	71	47.9	28.2	15.5	8.5
	女性・70歳以上	124	27.4	24.2	33.1	15.3
	無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0

【性・年齢別】「言葉を知っているし、意味も知っている」は、女性の「20歳～29歳」で最も高く、9割以上となっている。

SOGI



【全体】SOGIについては、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が71.0%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(16.5%)、「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」(7.1%)となっている。

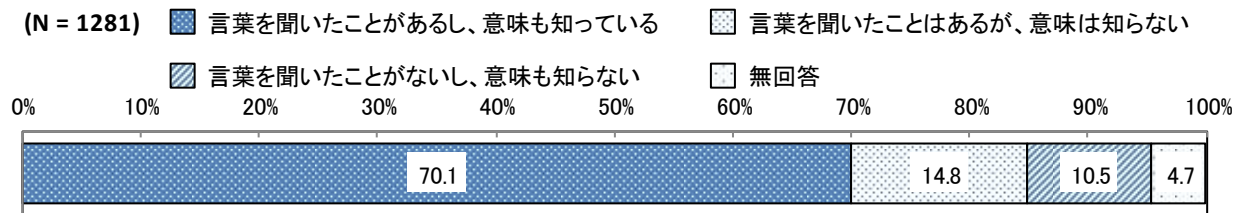


【性別】最も差がみられた「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」では、女性(75.1%)が男性(66.6%)より8.5ポイント高い。

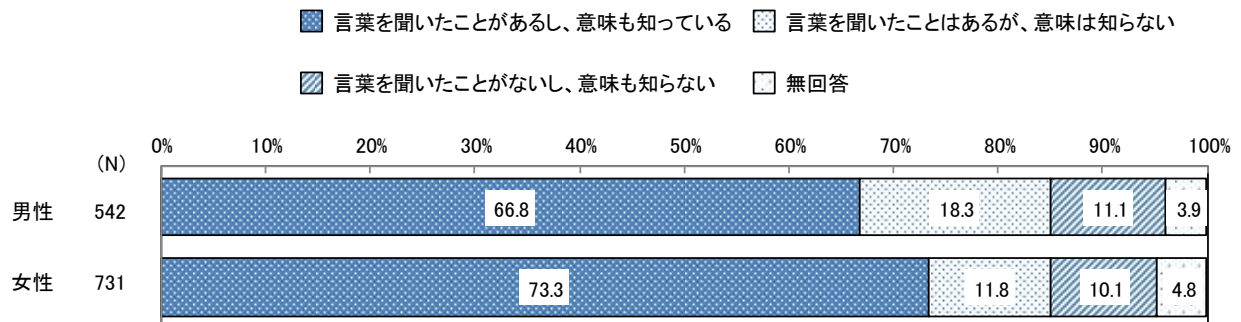
	全体	SOGIの知識				
		言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている	言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない	言葉を聞いたことがないし、意味も知らない	無回答	
全体	1281	7.1	16.5	71.0	5.3	
性・年齢別	男性(計)	542	9.4	19.7	66.6	4.2
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	35.0	10.0	50.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	27.0	67.6	0.0
	男性・40歳～49歳	94	9.6	12.8	77.7	0.0
	男性・50歳～59歳	145	17.9	20.7	60.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	7.8	18.8	67.2	6.3
	男性・65歳～69歳	60	0.0	40.0	56.7	3.3
	男性・70歳以上	121	1.7	14.0	72.7	11.6
	女性(計)	731	5.5	13.8	75.1	5.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	15.4	76.9	0.0
	女性・30歳～39歳	85	2.4	11.8	83.5	2.4
	女性・40歳～49歳	147	4.1	12.9	81.6	1.4
	女性・50歳～59歳	198	7.1	16.7	74.2	2.0
	女性・60歳～64歳	76	6.6	10.5	77.6	5.3
	女性・65歳～69歳	71	8.5	5.6	74.6	11.3
	女性・70歳以上	124	4.0	16.9	62.1	16.9
	無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0

【性・年齢別】「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」は、男性の「20歳～29歳」で唯一3割を超えている。また、男女ともにすべての年齢層で、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が5割以上となっている。

カミングアウト



【全体】カミングアウトについては、「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」が70.1%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(14.8%)、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」(10.5%)となっている。

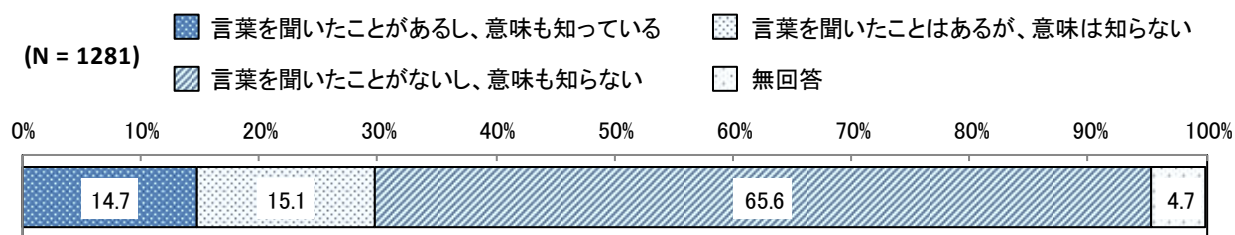


【性別】「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」について、それぞれの差は6.5ポイントとなっている。

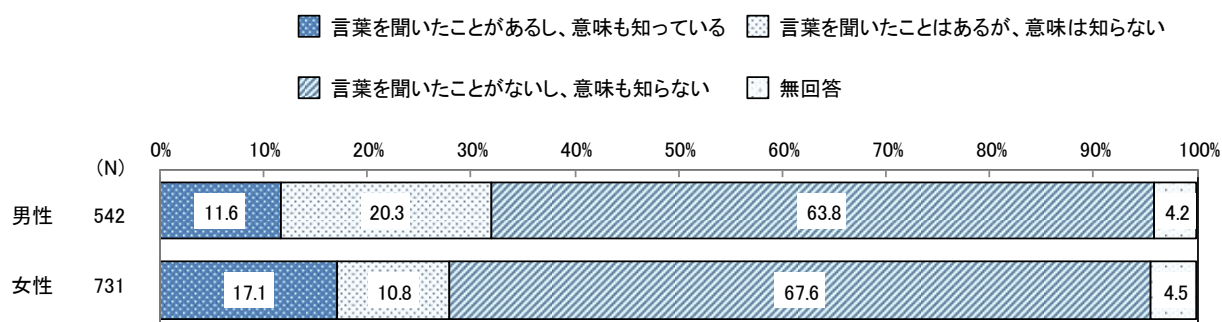
	全体	カミングアウトの知識				
		言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている	言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない	言葉を聞いたことがないし、意味も知らない	無回答	
全体	1281	70.1	14.8	10.5	4.7	
性・年齢別	男性(計)	542	66.8	18.3	11.1	3.9
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	70.0	20.0	5.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	64.9	21.6	13.5	0.0
	男性・40歳～49歳	94	89.4	8.5	2.1	0.0
	男性・50歳～59歳	145	84.8	9.7	4.1	1.4
	男性・60歳～64歳	64	65.6	7.8	20.3	6.3
	男性・65歳～69歳	60	56.7	35.0	5.0	3.3
	男性・70歳以上	121	33.1	32.2	24.8	9.9
	女性(計)	731	73.3	11.8	10.1	4.8
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	92.3	0.0	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	82.4	7.1	8.2	2.4
	女性・40歳～49歳	147	91.2	2.0	5.4	1.4
	女性・50歳～59歳	198	82.8	11.6	4.5	1.0
	女性・60歳～64歳	76	68.4	15.8	10.5	5.3
	女性・65歳～69歳	71	66.2	18.3	7.0	8.5
女性・70歳以上	124	33.1	23.4	28.2	15.3	
無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0	

【性・年齢別】「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」は、女性の「20歳～29歳」、「40歳～49歳」で9割を超えている。「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」は、女性の「70歳以上」(28.2%)が最も高く、次いで男性の「70歳以上」(24.8%)となっている。

アウトティング



【全体】アウトティングについては、「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」が65.6%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(15.1%)、「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」(14.7%)となっている。



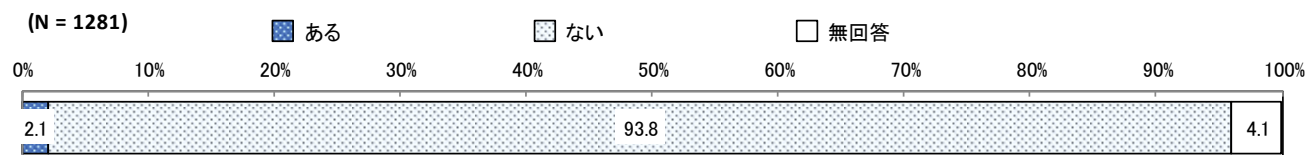
【性別】最も差がみられた「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」では、男性(20.3%)が女性(10.8%)より9.5ポイント高い。

	全体	アウトティングの知識				
		言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている	言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない	言葉を聞いたことがないし、意味も知らない	無回答	
全体	1281	14.7	15.1	65.6	4.7	
性・年齢別	男性(計)	542	11.6	20.3	63.8	4.2
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	20.0	20.0	55.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	35.1	59.5	0.0
	男性・40歳～49歳	94	17.0	17.0	66.0	0.0
	男性・50歳～59歳	145	24.8	17.2	56.6	1.4
	男性・60歳～64歳	64	4.7	21.9	67.2	6.3
	男性・65歳～69歳	60	3.3	30.0	63.3	3.3
	男性・70歳以上	121	0.0	15.7	72.7	11.6
	女性(計)	731	17.1	10.8	67.6	4.5
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	46.2	7.7	46.2	0.0
	女性・30歳～39歳	85	16.5	4.7	76.5	2.4
	女性・40歳～49歳	147	21.1	7.5	70.1	1.4
	女性・50歳～59歳	198	20.2	13.6	65.2	1.0
	女性・60歳～64歳	76	6.6	5.3	85.5	2.6
	女性・65歳～69歳	71	19.7	11.3	60.6	8.5
	女性・70歳以上	124	5.6	18.5	60.5	15.3
無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0	

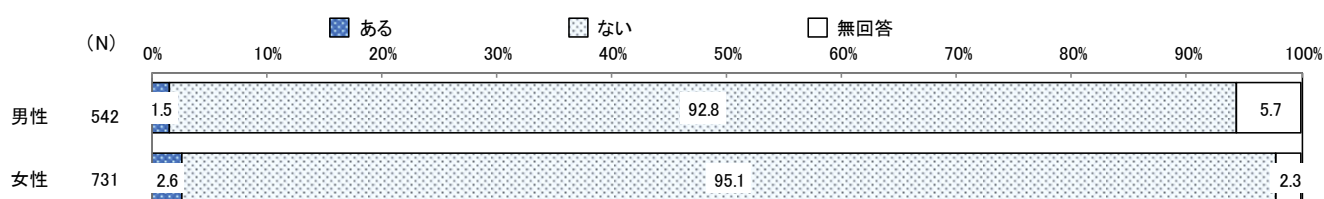
【性・年齢別】「言葉を聞いたことがあるし、意味も知っている」は女性の「20歳～29歳」で最も高く4割を超えている。「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」は、女性の「20歳～29歳」を除き、男女ともにすべての年齢層で5割を超えている。

(33) 自己のセクシュアリティに悩んだ経験

問33 あなたは、自分の性別やセクシュアリティに悩む（悩んだ）ことはありますか。（○は1つ）



【全体】自分の性別やセクシュアリティに悩む（悩んだ）ことについては、「ある」が2.1%、「ない」が93.8%となっている。



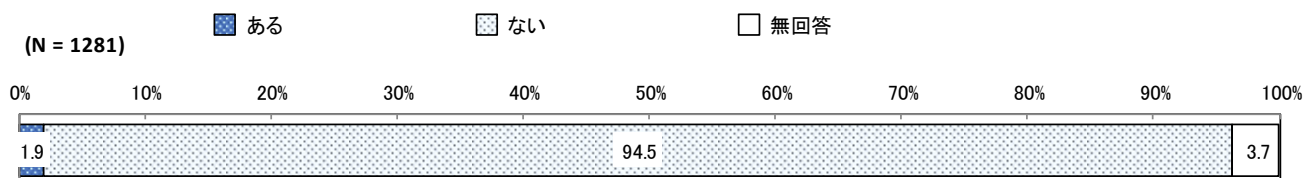
【性別】男女差で大きな差はみられない。

	全体	自分の性別やセクシュアリティに悩む（悩んだ）こと			
		ある	ない	無回答	
全体	1281	2.1	93.8	4.1	
性・年齢別	男性(計)	542	1.5	92.8	5.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	10.0	75.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	94.6	5.4
	男性・40歳～49歳	94	2.1	97.9	0.0
	男性・50歳～59歳	145	1.4	94.5	4.1
	男性・60歳～64歳	64	0.0	90.6	9.4
	男性・65歳～69歳	60	0.0	96.7	3.3
	男性・70歳以上	121	1.7	88.4	9.9
	女性(計)	731	2.6	95.1	2.3
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	84.6	0.0
	女性・30歳～39歳	85	5.9	94.1	0.0
	女性・40歳～49歳	147	0.0	100.0	0.0
	女性・50歳～59歳	198	3.0	95.5	1.5
	女性・60歳～64歳	76	0.0	97.4	2.6
	女性・65歳～69歳	71	2.8	95.8	1.4
	女性・70歳以上	124	0.0	91.1	8.9
無回答	8	0.0	50.0	50.0	

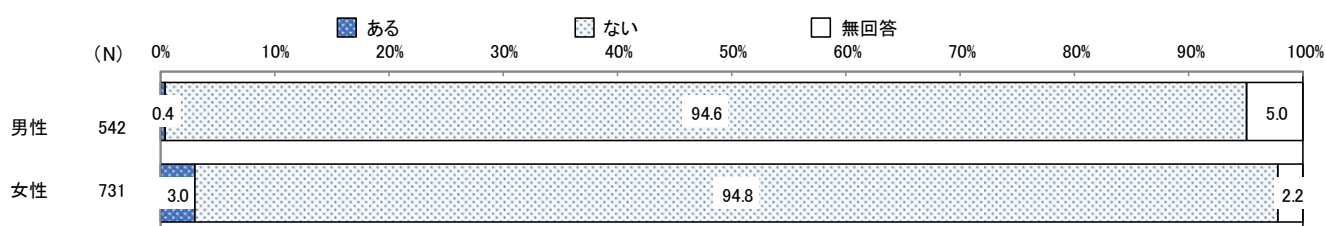
【性・年齢別】自分の性別やセクシュアリティに悩む（悩んだ）ことが「ある」と回答したのは、男女ともに「20歳～29歳」が最も高く、1割を超えている。

(34) 自己を性的マイノリティと思うかの意識

問3 4 あなたは、自身が性的マイノリティ（同性愛者・両性愛者・トランスジェンダーなど）の当事者である、またはそうかもしれないと思う（思った）ことはありますか。（○は1つ）



【全 体】自身が性的マイノリティの当事者である、またはそうかもしれないと思う（思った）ことについては、「ある」(1.9%)、「ない」(94.5%)となっている。



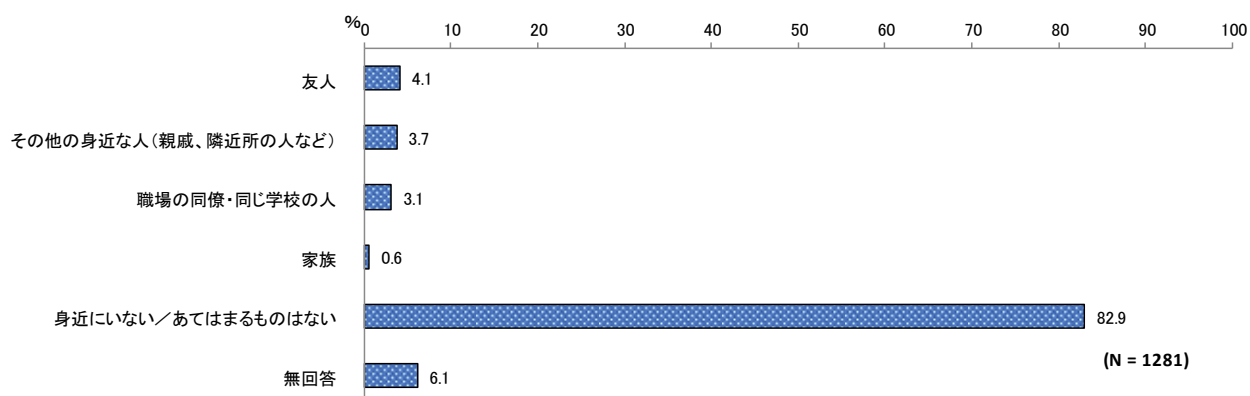
【性 別】「ある」は女性 (3.0%)、男性 (0.4%) と女性の方が2.6ポイント高くなっている。

	全 体	自身が性的マイノリティの当事者である、またはそうかもしれないと思う(思った)こと			
		ある	ない	無回答	
全 体	1281	1.9	94.5	3.7	
性・年齢別	男性(計)	542	0.4	94.6	5.0
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	95.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	100.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	0.0	100.0	0.0
	男性・50歳～59歳	145	0.0	95.9	4.1
	男性・60歳～64歳	64	0.0	90.6	9.4
	男性・65歳～69歳	60	0.0	96.7	3.3
	男性・70歳以上	121	1.7	88.4	9.9
	女性(計)	731	3.0	94.8	2.2
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	23.1	76.9	0.0
	女性・30歳～39歳	85	4.7	95.3	0.0
	女性・40歳～49歳	147	2.7	97.3	0.0
	女性・50歳～59歳	198	2.0	97.0	1.0
	女性・60歳～64歳	76	0.0	97.4	2.6
	女性・65歳～69歳	71	2.8	95.8	1.4
女性・70歳以上	124	0.0	91.1	8.9	
無回答	8	0.0	50.0	50.0	

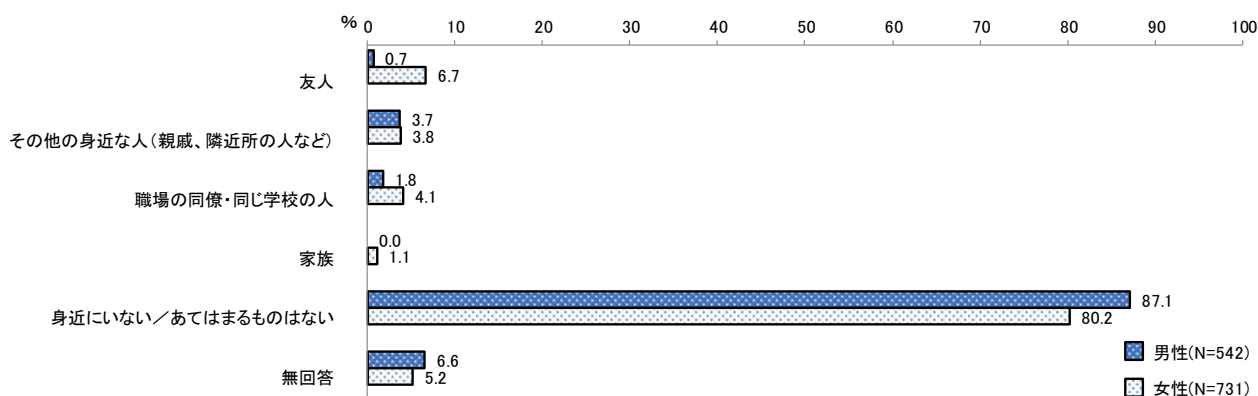
【性・年齢別】自身が性的マイノリティの当事者である、またはそうかもしれないと思う（思った）ことが「ある」のは、「女性20歳～29歳」が最も高く、2割を超えている。

(35) 身近に性的マイノリティがいるかどうか

問35 あなたの身近な人の中に、性的マイノリティ（同性愛者・両性愛者・トランスジェンダーなど）の方はいますか。そうした方との間柄を選んでください。（あてはまるものすべてに○）



【全体】身近な人の中に、性的マイノリティの方がいる場合、そうした方との間柄については、「友人」が4.1%と最も高く、次いで「その他の身近な人（親戚、隣近所の人など）」(3.7%)、「職場の同僚・同じ学校の人」(3.1%)となっている。



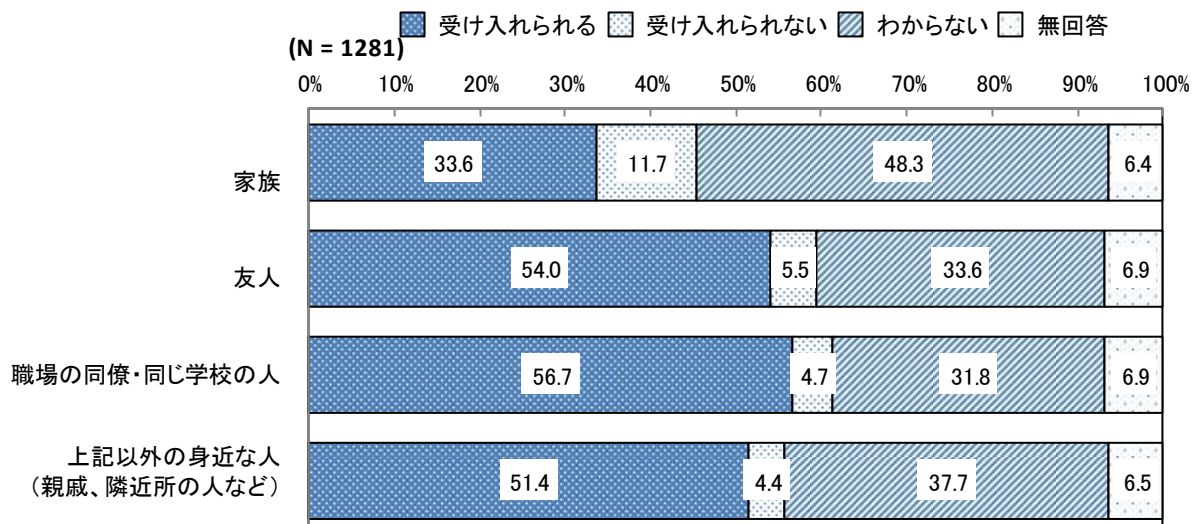
【性別】「友人」は女性(6.7%)、男性(0.7%)と女性の方が6.0ポイント高い。

	全体	身近な人の中に、性的マイノリティの方はいるか。そうした方との間柄						
		家族	友人	職場の同僚・ 同じ学校の人	その他の身近 な人 (親戚、隣近 所の人など)	身近にいない ／あてはまる ものはない	無回答	
全体	1281	0.6	4.1	3.1	3.7	82.9	6.1	
性・ 年齢別	男性(計)	542	0.0	0.7	1.8	3.7	87.1	6.6
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	85.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	5.4	0.0	5.4	86.5	2.7
	男性・40歳～49歳	94	0.0	0.0	2.1	10.6	87.2	0.0
	男性・50歳～59歳	145	0.0	1.4	2.8	2.8	89.0	4.1
	男性・60歳～64歳	64	0.0	0.0	0.0	0.0	90.6	9.4
	男性・65歳～69歳	60	0.0	0.0	3.3	6.7	83.3	6.7
	男性・70歳以上	121	0.0	0.0	1.7	0.0	85.1	13.2
	女性(計)	731	1.1	6.7	4.1	3.8	80.2	5.2
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	30.8	7.7	0.0	53.8	0.0
	女性・30歳～39歳	85	2.4	23.5	7.1	0.0	71.8	0.0
	女性・40歳～49歳	147	1.4	6.1	5.4	6.8	80.3	1.4
	女性・50歳～59歳	198	1.0	4.0	4.0	4.5	84.3	2.0
	女性・60歳～64歳	76	0.0	0.0	5.3	5.3	86.8	2.6
	女性・65歳～69歳	71	0.0	2.8	2.8	4.2	80.3	12.7
	女性・70歳以上	124	0.0	0.0	0.0	1.6	81.5	16.9
無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

【性・年齢別】「友人」では、女性の「20歳～29歳」が最も高く、3割を超えている。

(36) カミングアウトを受けた際の受けとめ

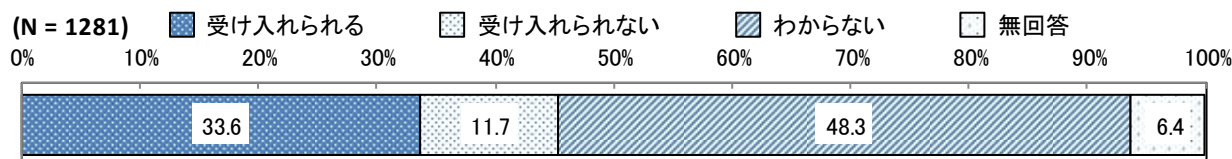
問36 あなたは、身近な方から性的マイノリティであることを打ち明けられたとき、それを受け入れられますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つ)



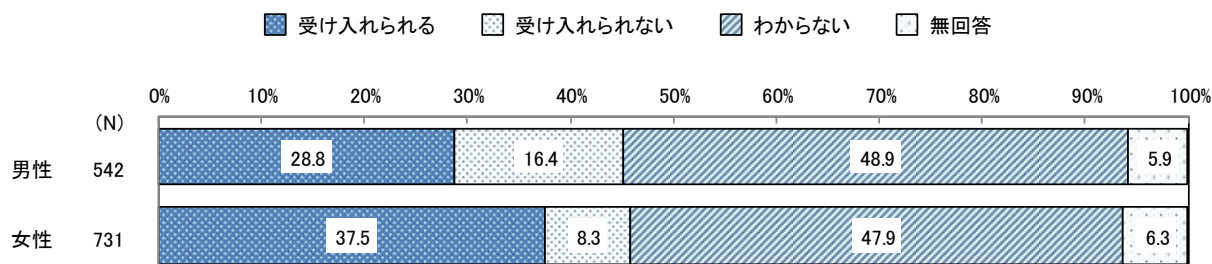
【全体】性的少数者に対する意識については、「受け入れられる」では、「職場の同僚・同じ学校の人」が56.7%と最も高く、次いで「友人」(54.0%)、「上記以外の身近な人(親戚、隣近所の人など)」(51.4%)となっている。

「受け入れられない」では、「家族」が11.7%と最も高く、次いで「友人」(5.5%)、「職場の同僚・同じ学校の人」(4.7%)となっている。

家族



【全体】家族については、「わからない」が48.3%と最も高く、次いで「受け入れられる」(33.6%)、「受け入れられない」(11.7%)となっている。

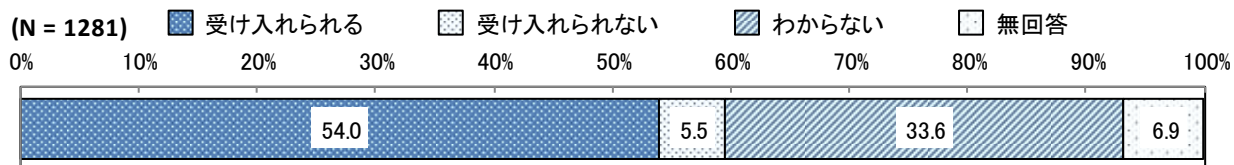


【性別】最も差がみられた「受け入れられない」では、男性(16.4%)が女性(8.3%)より8.1ポイント高い。

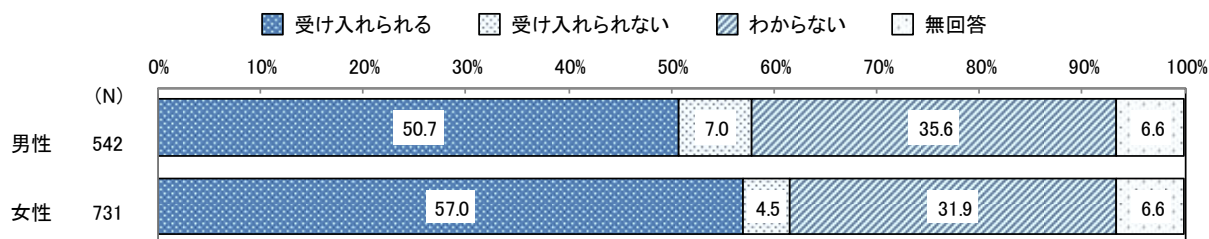
	全体	家族から性的マイノリティと告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全体	1281	33.6	11.7	48.3	6.4	
性・年齢別	男性(計)	542	28.8	16.4	48.9	5.9
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	40.0	10.0	45.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	43.2	8.1	45.9	2.7
	男性・40歳～49歳	94	36.2	21.3	42.6	0.0
	男性・50歳～59歳	145	33.8	14.5	50.3	1.4
	男性・60歳～64歳	64	15.6	21.9	53.1	9.4
	男性・65歳～69歳	60	35.0	13.3	48.3	3.3
	男性・70歳以上	121	14.0	17.4	52.1	16.5
	女性(計)	731	37.5	8.3	47.9	6.3
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	76.9	15.4	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	57.6	7.1	35.3	0.0
	女性・40歳～49歳	147	51.7	4.8	42.2	1.4
	女性・50歳～59歳	198	40.4	4.0	53.0	2.5
	女性・60歳～64歳	76	21.1	5.3	71.1	2.6
	女性・65歳～69歳	71	25.4	14.1	47.9	12.7
	女性・70歳以上	124	10.5	17.7	49.2	22.6
	無回答	8	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「受け入れられない」では、男性の「60歳～64歳」(21.9%)と「40歳～49歳」(21.3%)が高くなっており、女性の「60歳～64歳」(5.3%)と「40歳～49歳」(4.8%)と比べ、大きな差がみられた。

友人



【全 体】友人については、「受け入れられる」が54.0%と最も高く、次いで「わからない」(33.6%)、「受け入れられない」(5.5%)となっている。

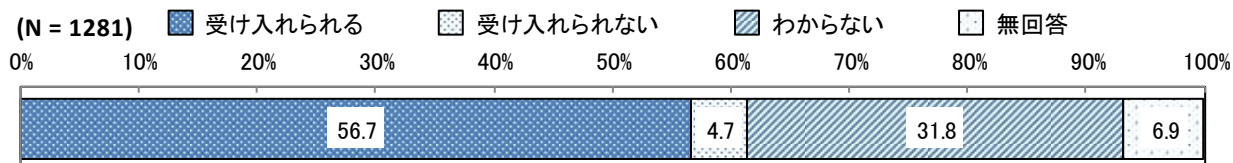


【性 別】「受け入れられる」では、女性 (57.0%) が男性 (50.7%) より 6.3 ポイント高い。

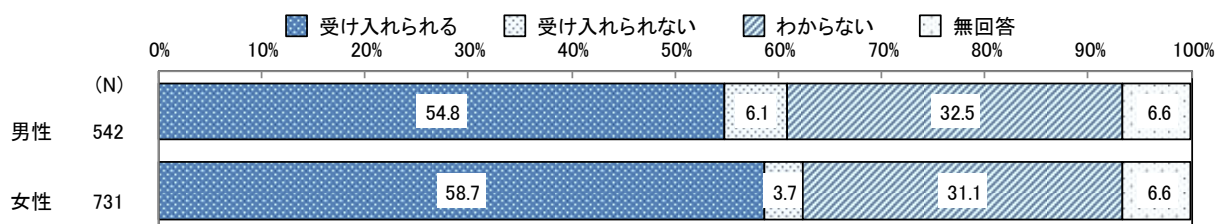
	全体	友人から性的マイノリティと告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全体	1281	54.0	5.5	33.6	6.9	
性・年齢別	男性(計)	542	50.7	7.0	35.6	6.6
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	40.0	10.0	45.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	81.1	2.7	13.5	2.7
	男性・40歳～49歳	94	62.8	8.5	28.7	0.0
	男性・50歳～59歳	145	56.6	6.9	35.2	1.4
	男性・60歳～64歳	64	50.0	3.1	37.5	9.4
	男性・65歳～69歳	60	43.3	10.0	40.0	6.7
	男性・70歳以上	121	30.6	7.4	43.8	18.2
	女性(計)	731	57.0	4.5	31.9	6.6
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	84.6	7.7	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	87.1	4.7	8.2	0.0
	女性・40歳～49歳	147	72.1	2.7	23.8	1.4
	女性・50歳～59歳	198	60.6	3.5	33.3	2.5
	女性・60歳～64歳	76	51.3	0.0	46.1	2.6
	女性・65歳～69歳	71	46.5	8.5	32.4	12.7
	女性・70歳以上	124	16.9	8.1	50.8	24.2
	無回答	8	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「受け入れられる」では、男性の「30歳～39歳」、女性の「20歳～29歳」と「30歳～39歳」でそれぞれ8割以上となり、特に高くなっている。一方、女性の「70歳以上」では16.9%と特に低くなっている。

職場の同僚・同じ学校の人



【全体】職場の同僚・同じ学校の人については、「受け入れられる」が56.7%と最も高く、次いで「わからない」(31.8%)、「受け入れられない」(4.7%)となっている。

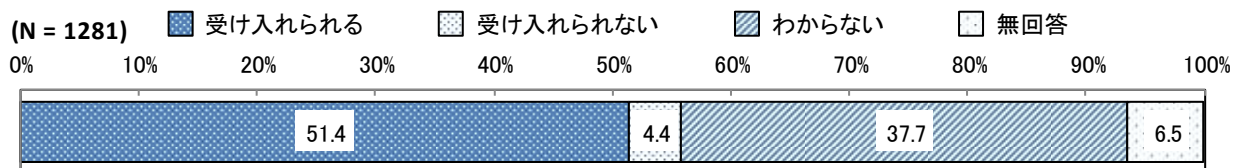


【性別】男女で大きな差はみられない。

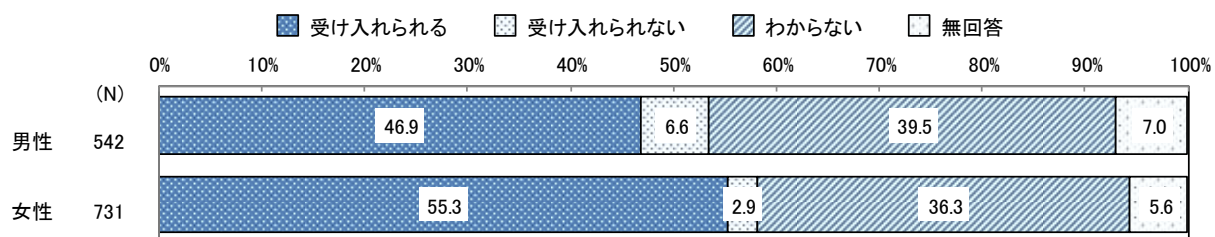
	全体	職場の同僚・同じ学校の人から 性的マイノリティと告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全体	1281	56.7	4.7	31.8	6.9	
性・年齢別	男性(計)	542	54.8	6.1	32.5	6.6
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	45.0	10.0	40.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	75.7	2.7	18.9	2.7
	男性・40歳～49歳	94	64.9	8.5	26.6	0.0
	男性・50歳～59歳	145	65.5	4.1	29.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	53.1	6.3	31.3	9.4
	男性・65歳～69歳	60	50.0	6.7	36.7	6.7
	男性・70歳以上	121	32.2	6.6	43.0	18.2
	女性(計)	731	58.7	3.7	31.1	6.6
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	84.6	7.7	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	84.7	4.7	10.6	0.0
	女性・40歳～49歳	147	70.7	0.0	27.9	1.4
	女性・50歳～59歳	198	63.1	3.5	30.8	2.5
	女性・60歳～64歳	76	61.8	0.0	35.5	2.6
	女性・65歳～69歳	71	46.5	5.6	35.2	12.7
	女性・70歳以上	124	19.4	8.1	48.4	24.2
	無回答	8	0.0	0.0	50.0	50.0

【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「20歳～29歳」(84.6%)と「30歳～39歳」(84.7%)で8割を超え高くなっている。男性では「30歳～39歳」(75.7%)が最も高くなっている。

身近な人（親戚、隣近所の人など）



【全 体】身近な人（親戚、隣近所の人など）については、「受け入れられる」が51.4%と最も高く、次いで「わからない」（37.7%）、「受け入れられない」（4.4%）となっている。



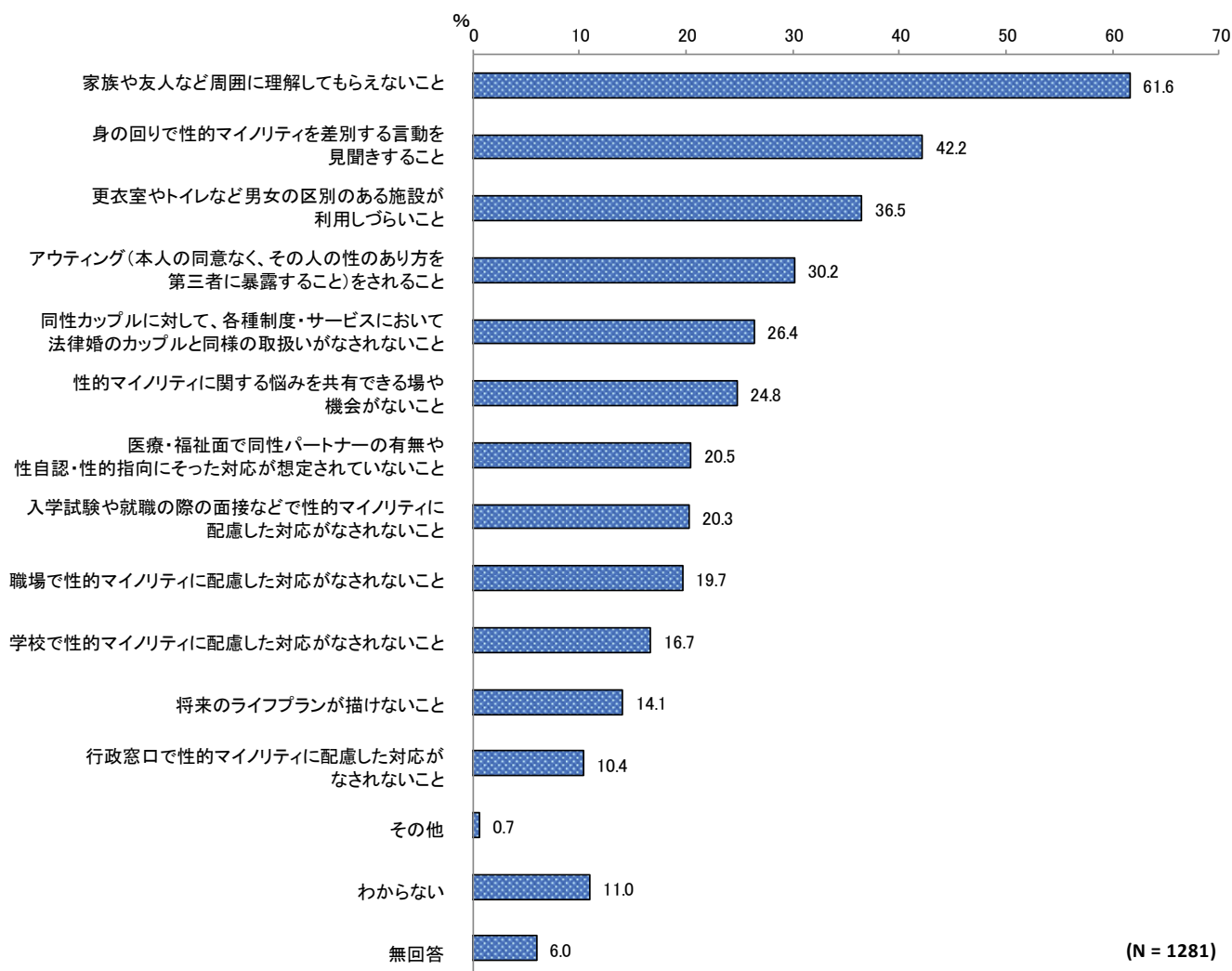
【性 別】最も差がみられた「受け入れられる」では、女性（55.3%）が男性（46.9%）より8.4ポイント高い。

	全体	身近な人（親戚、隣近所の人など）から性的マイノリティと告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全体	1281	51.4	4.4	37.7	6.5	
性・年齢別	男性（計）	542	46.9	6.6	39.5	7.0
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	40.0	10.0	45.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	70.3	2.7	24.3	2.7
	男性・40歳～49歳	94	56.4	9.6	34.0	0.0
	男性・50歳～59歳	145	55.2	6.2	37.2	1.4
	男性・60歳～64歳	64	40.6	7.8	39.1	12.5
	男性・65歳～69歳	60	41.7	6.7	41.7	10.0
	男性・70歳以上	121	28.9	5.0	49.6	16.5
	女性（計）	731	55.3	2.9	36.3	5.6
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	84.6	0.0	15.4	0.0
	女性・30歳～39歳	85	72.9	7.1	20.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	66.0	0.0	32.7	1.4
	女性・50歳～59歳	198	61.6	1.5	34.8	2.0
	女性・60歳～64歳	76	51.3	0.0	46.1	2.6
	女性・65歳～69歳	71	47.9	5.6	36.6	9.9
	女性・70歳以上	124	21.0	6.5	51.6	21.0
	無回答	8	0.0	0.0	50.0	50.0

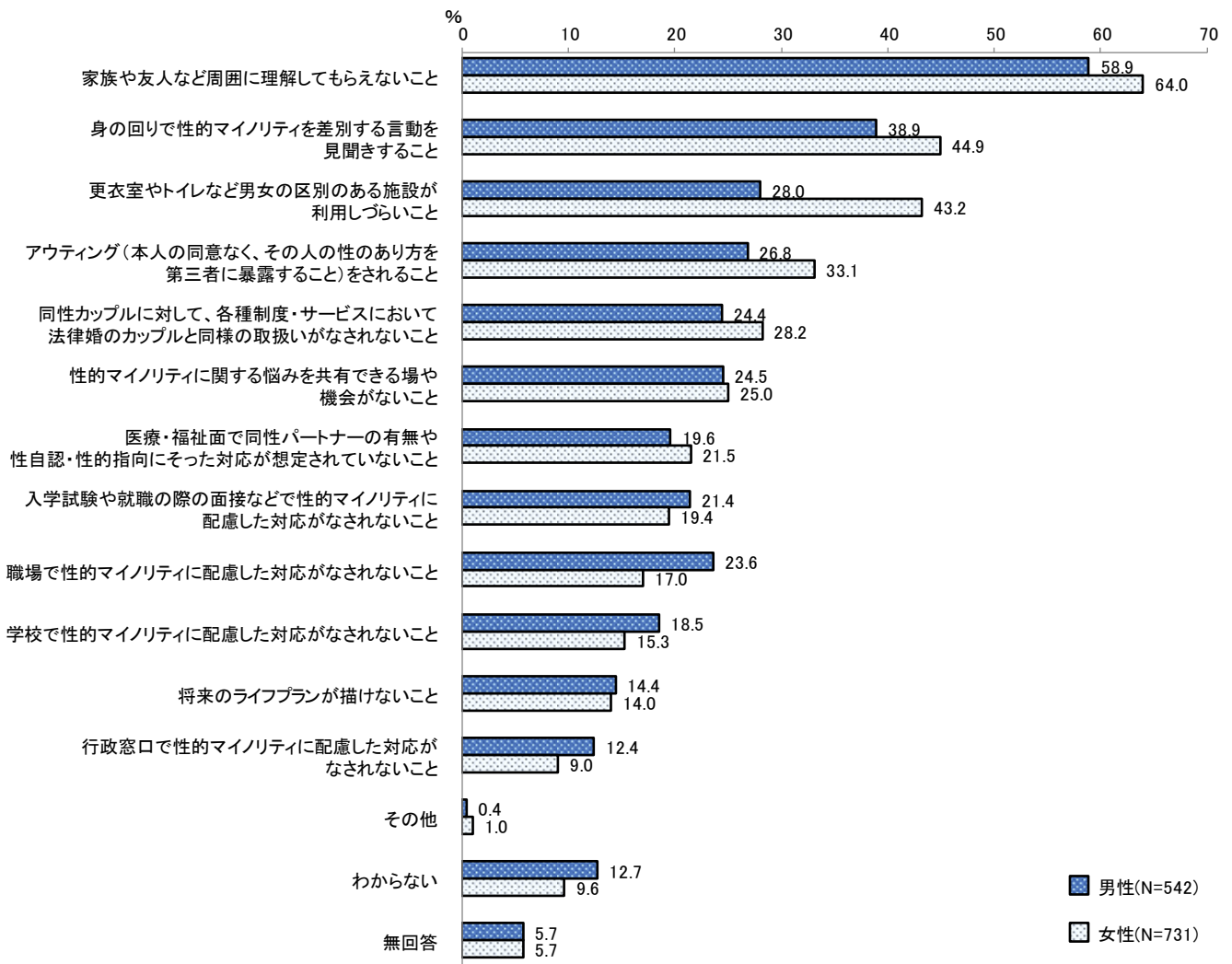
【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「20歳～29歳」（84.6%）が唯一8割を超え高くなっている。男性では「30歳～39歳」（70.3%）が最も高くなっている。

(37) 性的マイノリティが抱える困難

問37 性的マイノリティの方々が困難を感じるとしたら、どんな場面だと思いますか。(〇は5つまで)



【全体】性的マイノリティの方々が困難を感じる場面については、「家族や友人など周囲に理解してもらえないこと」が61.6%と最も高く、次いで「身の回りで性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること」(42.2%)、「更衣室やトイレなど男女の区別のある施設が利用しづらいこと」(36.5%)となっている。



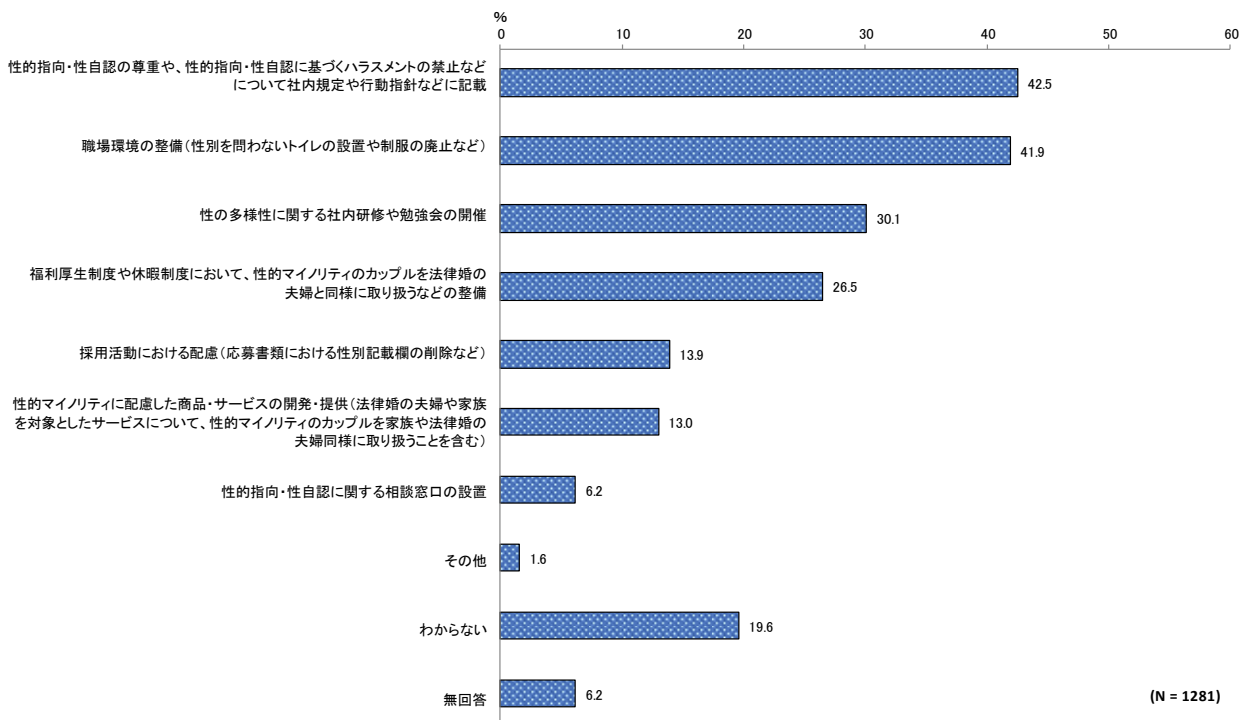
【性別】「更衣室やトイレなど男女の区別のある施設が利用しづらいこと」では、女性（43.2%）が男性（28.0%）を15.2ポイント上回っている。

	全体	性的マイノリティの方々が困難を感じる場面																	
		身の回りで見聞きすること	家族や友人など周囲に理解してもらえないこと	入学試験や就職の際の面接などで性的マイノリティに配慮しなされないこと	性的マイノリティに関する悩みを共有できる場や機会がないこと	性的マイノリティのあり方を第三者に暴露すること	アウティング（本人の同意なく、その人の性に関する情報を第三者に暴露すること）をされること	スにおいて法律婚のカップルと同様の取扱いがなされないこと	同性カップルに対して、各種制度・サービ	自認・性的指向にそった対応が想定されて	医療・福祉面で同性パートナーの有無や性	行政窓口で性的マイノリティに配慮した	対応がなされないこと	学校で性的マイノリティに配慮した	職場で性的マイノリティに配慮した	更衣室やトイレなど男女の区別のある施設が利用しづらいこと	将来のライフプランが描けないこと	その他	わからない
全体	1281	42.2	61.6	20.3	24.8	30.2	26.4	20.5	10.4	16.7	19.7	36.5	14.1	0.7	11.0	6.0			
性・年齢別	男性(計)	542	38.9	58.9	21.4	24.5	26.8	24.4	19.6	12.4	18.5	23.6	28.0	14.4	0.4	12.7	5.7		
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	男性・20歳～29歳	20	40.0	60.0	25.0	25.0	20.0	25.0	20.0	0.0	10.0	25.0	40.0	15.0	0.0	10.0	5.0		
	男性・30歳～39歳	37	48.6	81.1	32.4	37.8	27.0	21.6	13.5	8.1	29.7	18.9	29.7	16.2	0.0	5.4	2.7		
	男性・40歳～49歳	94	24.5	61.7	11.7	17.0	34.0	23.4	29.8	4.3	19.1	16.0	23.4	22.3	0.0	14.9	0.0		
	男性・50歳～59歳	145	46.9	57.2	15.2	21.4	29.7	20.0	17.9	11.0	17.2	24.8	34.5	12.4	1.4	13.8	1.4		
	男性・60歳～64歳	64	56.3	64.1	28.1	23.4	23.4	21.9	14.1	15.6	14.1	35.9	34.4	6.3	0.0	4.7	9.4		
	男性・65歳～69歳	60	46.7	66.7	26.7	33.3	33.3	36.7	23.3	25.0	35.0	33.3	18.3	13.3	0.0	3.3	3.3		
	男性・70歳以上	121	24.8	44.6	26.4	26.4	16.5	26.4	16.5	14.9	11.6	18.2	23.1	14.9	0.0	21.5	15.7		
	女性(計)	731	44.9	64.0	19.4	25.0	33.1	28.2	21.5	9.0	15.3	17.0	43.2	14.0	1.0	9.6	5.7		
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	女性・20歳～29歳	26	61.5	84.6	7.7	23.1	61.5	46.2	30.8	7.7	7.7	0.0	30.8	38.5	0.0	0.0	0.0		
	女性・30歳～39歳	85	67.1	82.4	17.6	35.3	49.4	38.8	29.4	14.1	22.4	9.4	54.1	5.9	4.7	0.0	1.2		
	女性・40歳～49歳	147	53.1	63.9	22.4	20.4	36.7	31.3	21.1	6.1	8.8	13.6	46.9	17.7	1.4	5.4	2.7		
	女性・50歳～59歳	198	42.4	69.2	17.2	26.3	28.3	27.8	20.7	7.1	23.7	30.3	42.9	17.2	0.0	9.1	3.0		
	女性・60歳～64歳	76	32.9	56.6	21.1	28.9	25.0	28.9	26.3	19.7	15.8	7.9	60.5	7.9	0.0	11.8	2.6		
	女性・65歳～69歳	71	39.4	69.0	21.1	14.1	45.1	31.0	25.4	9.9	11.3	18.3	35.2	11.3	1.4	8.5	7.0		
	女性・70歳以上	124	32.3	42.7	20.2	25.0	16.9	12.9	11.3	5.6	7.3	12.1	29.8	10.5	0.0	21.8	19.4		
無回答	8	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0			

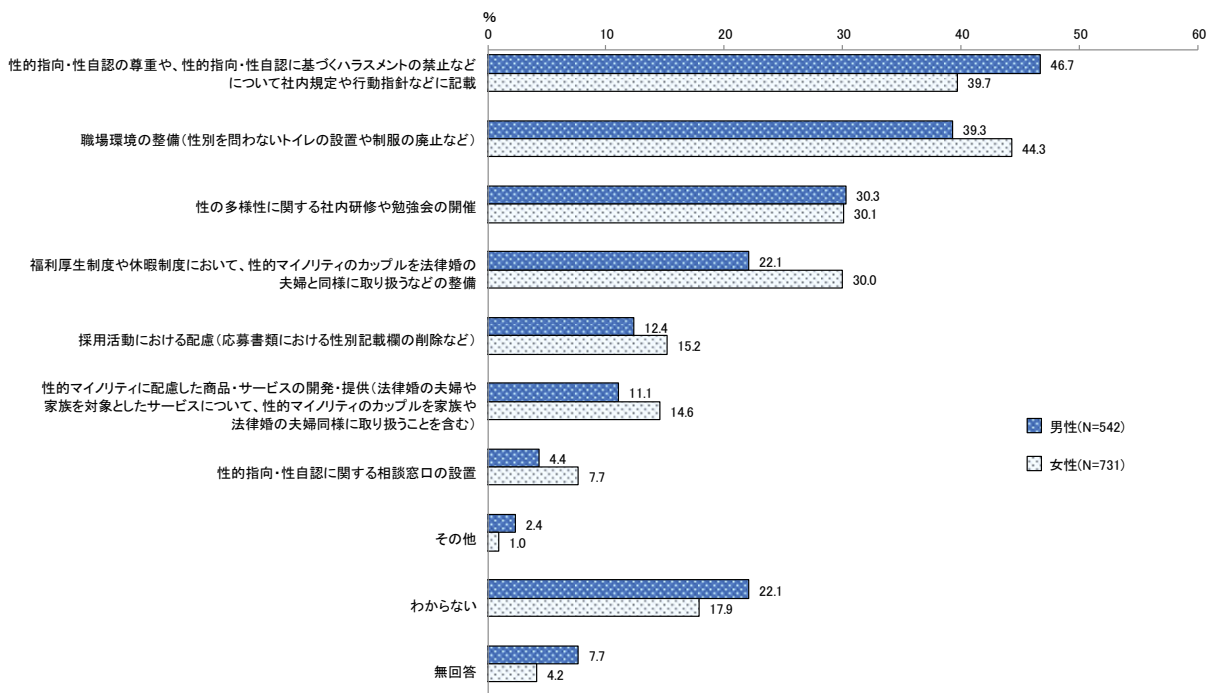
【性・年齢別】「家族や友人など周囲に理解してもらえないこと」は男女ともに「70歳以上」を除くすべての年齢層で5割を超えている。

(38) 性的マイノリティが働きやすい職場づくりのために必要な取組み

問38 性的マイノリティが働きやすい職場づくりのために、企業が取り組むべきことは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



【全体】性的マイノリティが働きやすい職場づくりのために企業が取り組むべきことについては、「性的指向・性自認の尊重や、性的指向・性自認に基づくハラスメントの禁止などについて社内規定や行動指針などに記載」が42.5%と最も高く、次いで「職場環境の整備（性別を問わないトイレの設置や制服の廃止など）」(41.9%)、「性の多様性に関する社内研修や勉強会の開催」(30.1%)となっている。



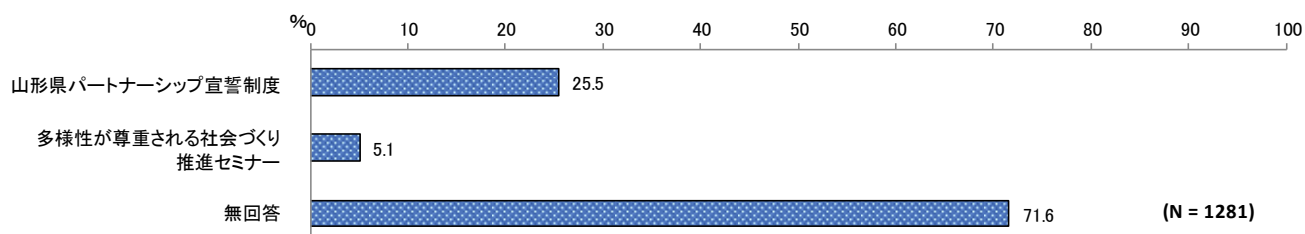
【性別】男性は「性的指向・性自認の尊重や、性的指向・性自認に基づくハラスメントの禁止などについて社内規定や行動指針などに記載」(46.7%)、女性は「職場環境の整備（性別を問わないトイレの設置や制服の廃止など）」(44.3%)が最も高くなった。

	全体	性的マイノリティが働きやすい職場づくりのために、企業が取り組むべきこと													
		記載 ラスメ ントの 禁止な どにつ いて社 内規定 や行動 指針な どにハ	性的指 向・性 自認の 尊重や 、性的 指向・ 性自認 に基づく	性の多 様性に 関する 社内研 修や勉 強会の 開催	(性別 を問わ ないト イレの 設置や 制服の 廃止な ど)	職場環 境の整 備	福利厚 生制度 や休暇 制度に おいて 、性的 マイノ リティ の整備	カッ ブルを 法律婚 の夫婦 と同様 に取り 扱うな どの整 備	採用活 動にお ける配 慮 (応募 書類に おける 性別記 載欄の 削除な ど)	性的指 向・性 自認に 関する 相談窓 口の設 置	り扱 うこと を含む)	的(法 律婚の 夫婦や 家族を 対象と したサ ービス の開発 ・提供 性	性的 マイノ リティ に配慮 した商 品・サ ービス の提供	その 他	わか らない
全体	1281	42.5	30.1	41.9	26.5	13.9	6.2	13.0	1.6	19.6	6.2				
性・年齢別	男性(計)	542	46.7	30.3	39.3	22.1	12.4	4.4	11.1	2.4	22.1	7.7			
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0			
	男性・20歳～29歳	20	55.0	10.0	50.0	25.0	25.0	0.0	30.0	10.0	10.0	5.0			
	男性・30歳～39歳	37	48.6	32.4	54.1	16.2	10.8	5.4	2.7	5.4	16.2	8.1			
	男性・40歳～49歳	94	34.0	26.6	22.3	23.4	8.5	8.5	13.8	4.3	29.8	2.1			
	男性・50歳～59歳	145	46.9	24.1	42.8	20.7	11.7	3.4	11.0	1.4	28.3	1.4			
	男性・60歳～64歳	64	46.9	39.1	51.6	18.8	7.8	1.6	7.8	3.1	14.1	12.5			
	男性・65歳～69歳	60	75.0	41.7	48.3	33.3	25.0	0.0	6.7	1.7	3.3	6.7			
	男性・70歳以上	121	40.5	32.2	31.4	20.7	9.9	6.6	11.6	0.0	26.4	18.2			
	女性(計)	731	39.7	30.1	44.3	30.0	15.2	7.7	14.6	1.0	17.9	4.2			
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	女性・20歳～29歳	26	38.5	38.5	61.5	69.2	15.4	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0			
	女性・30歳～39歳	85	50.6	27.1	49.4	34.1	12.9	15.3	16.5	0.0	8.2	0.0			
	女性・40歳～49歳	147	38.8	29.3	40.8	36.1	13.6	3.4	12.9	1.4	18.4	0.0			
	女性・50歳～59歳	198	37.4	33.3	49.0	22.7	17.7	7.1	14.6	2.0	16.7	2.0			
	女性・60歳～64歳	76	44.7	32.9	40.8	26.3	19.7	7.9	21.1	0.0	18.4	2.6			
	女性・65歳～69歳	71	43.7	33.8	52.1	28.2	12.7	9.9	8.5	1.4	11.3	9.9			
	女性・70歳以上	124	33.1	23.4	33.1	25.8	12.1	5.6	15.3	0.0	32.3	14.5			
	無回答	8	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0			

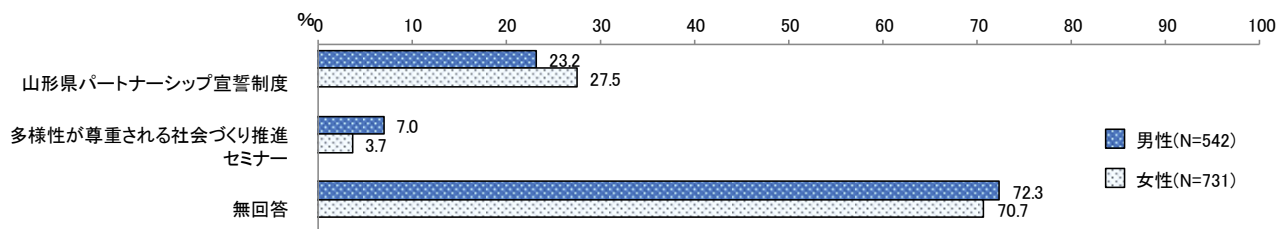
【性・年齢別】「性的指向・性自認の尊重や、性的指向・性自認に基づくハラスメントの禁止などについて社内規定や行動指針などに記載」は、「男性 65歳～69歳」(75.0%)が最も高い。

(39) 性的マイノリティに関する県の施策の認知度

問39 山形県が最近実施・開始した、性的マイノリティに関する次の取組みで、知っているものはありますか。(〇はあてはまるものすべて)



【全 体】山形県が最近実施・開始した性的マイノリティに関する取組みの認知度については、「山形県パートナーシップ宣誓制度」が25.5%と最も高く、次いで「多様性が尊重される社会づくり推進セミナー」(5.1%)となっている。



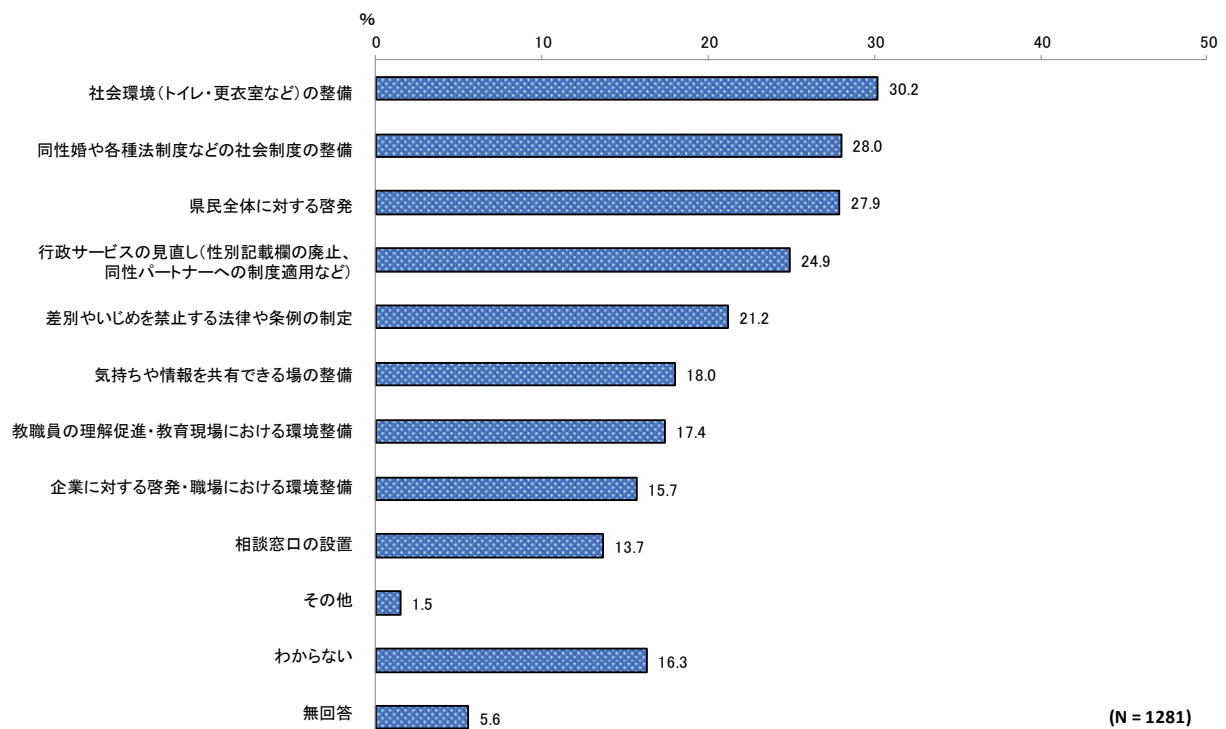
【性 別】男女で大きな差はみられなかった。

		全体	山形県が最近実施・開始した、性的マイノリティに関する取組みで、知っているもの		
			山形県 パートナーシップ 宣誓制度	多様性が尊重 される社会づくり推 進セミナー	無回答
全体		1281	25.5	5.1	71.6
性・ 年齢別	男性(計)	542	23.2	7.0	72.3
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	20	35.0	10.0	65.0
	男性・30歳～39歳	37	27.0	8.1	73.0
	男性・40歳～49歳	94	28.7	6.4	67.0
	男性・50歳～59歳	145	23.4	6.2	73.8
	男性・60歳～64歳	64	15.6	6.3	78.1
	男性・65歳～69歳	60	30.0	6.7	63.3
	男性・70歳以上	121	16.5	8.3	76.9
	女性(計)	731	27.5	3.7	70.7
	女性・18歳、19歳	2	100.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	30.8	7.7	61.5
	女性・30歳～39歳	85	23.5	2.4	74.1
	女性・40歳～49歳	147	34.7	4.1	64.6
	女性・50歳～59歳	198	24.7	3.0	72.2
	女性・60歳～64歳	76	34.2	1.3	64.5
	女性・65歳～69歳	71	28.2	7.0	70.4
	女性・70歳以上	124	20.2	2.4	79.8
	無回答	8	0.0	0.0	100.0

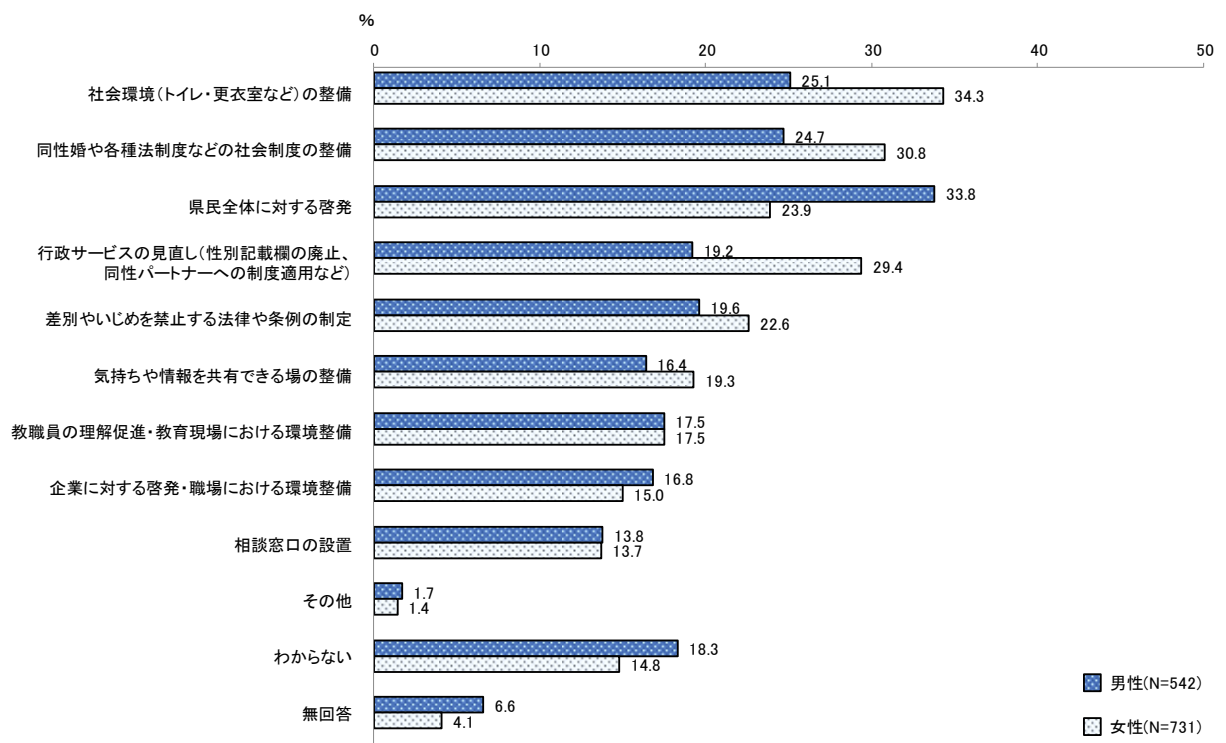
【性・年齢別】「山形県パートナーシップ宣誓制度」は男女ともにすべての年齢層で1割を超えている。

(40) 性的マイノリティ支援のために必要な取組み

問40 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、当事者の方々が生活しやすくなるためにはどのような取組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】性的マイノリティ支援のために必要な取組みについては、「社会環境(トイレ・更衣室など)の整備」が30.2%と最も高く、次いで「同性婚や各種法制度などの社会制度の整備」(28.0%)、「県民全体に対する啓発」(27.9%)となっている。



【性別】男性は「県民全体に対する啓発」(33.8%)、女性は「社会環境(トイレ・更衣室など)の整備」(34.3%)が最も高い。

	全体	性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために必要な取組み												
		県民全体に対する啓発	相談窓口の設置	気持ちや情報を共有できる場の整備	同性婚や各種法制度などの社会制度の整備	差別やいじめを禁止する法律や条例の制定	社会環境（トイレ・更衣室など）の整備	教職員の理解促進・教育現場における環境整備	企業に対する啓発・職場における環境整備	行政サービスの見直し（性別記載欄の廃止、同性パートナーへの制度適用など）	その他	わからない	無回答	
全体	1281	27.9	13.7	18.0	28.0	21.2	30.2	17.4	15.7	24.9	1.5	16.3	5.6	
性・年齢別	男性(計)	542	33.8	13.8	16.4	24.7	19.6	25.1	17.5	16.8	19.2	1.7	18.3	6.6
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	25.0	20.0	25.0	40.0	5.0	35.0	15.0	5.0	10.0	0.0	20.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	51.4	10.8	24.3	29.7	29.7	18.9	16.2	10.8	13.5	0.0	16.2	2.7
	男性・40歳～49歳	94	20.2	16.0	16.0	18.1	24.5	19.1	19.1	10.6	25.5	5.3	21.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	29.0	15.2	12.4	17.9	10.3	28.3	15.9	17.2	11.7	2.8	25.5	5.5
	男性・60歳～64歳	64	31.3	15.6	10.9	23.4	34.4	35.9	17.2	20.3	23.4	0.0	9.4	12.5
	男性・65歳～69歳	60	56.7	3.3	20.0	43.3	20.0	13.3	30.0	26.7	25.0	0.0	6.7	3.3
	男性・70歳以上	121	35.5	14.9	19.0	24.8	18.2	25.6	13.2	18.2	21.5	0.0	18.2	13.2
	女性(計)	731	23.9	13.7	19.3	30.8	22.6	34.3	17.5	15.0	29.4	1.4	14.8	4.1
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	15.4	30.8	46.2	15.4	46.2	7.7	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	20.0	21.2	24.7	38.8	31.8	51.8	27.1	17.6	30.6	2.4	1.2	0.0
	女性・40歳～49歳	147	27.2	10.2	12.9	27.2	31.3	32.0	19.7	12.2	29.9	1.4	18.4	0.0
	女性・50歳～59歳	198	26.3	14.1	22.7	34.8	14.1	34.3	15.7	15.2	25.3	2.0	12.6	3.0
	女性・60歳～64歳	76	30.3	13.2	31.6	22.4	23.7	32.9	18.4	13.2	30.3	0.0	13.2	2.6
	女性・65歳～69歳	71	23.9	2.8	18.3	36.6	25.4	31.0	12.7	23.9	38.0	2.8	14.1	7.0
	女性・70歳以上	124	17.7	18.5	8.9	21.0	17.7	26.6	14.5	11.3	25.0	0.0	26.6	13.7
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0

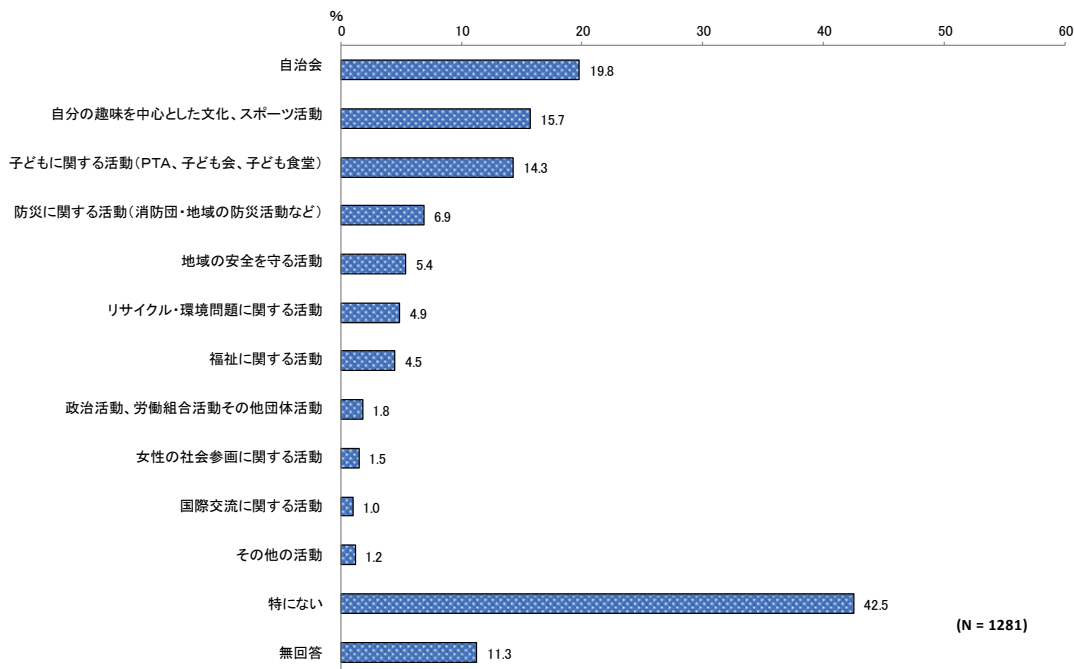
【性・年齢別】全体で最も割合が高い「社会環境（トイレ・更衣室など）の整備」では、女性の「30歳～39歳」（51.8%）が唯一5割を超え高くなっている。女性の「70歳以上」では、すべての項目の割合が1割未満～2割半ばと、他の年齢層と比べて低くなっている。

9. 地域活動など社会参加について

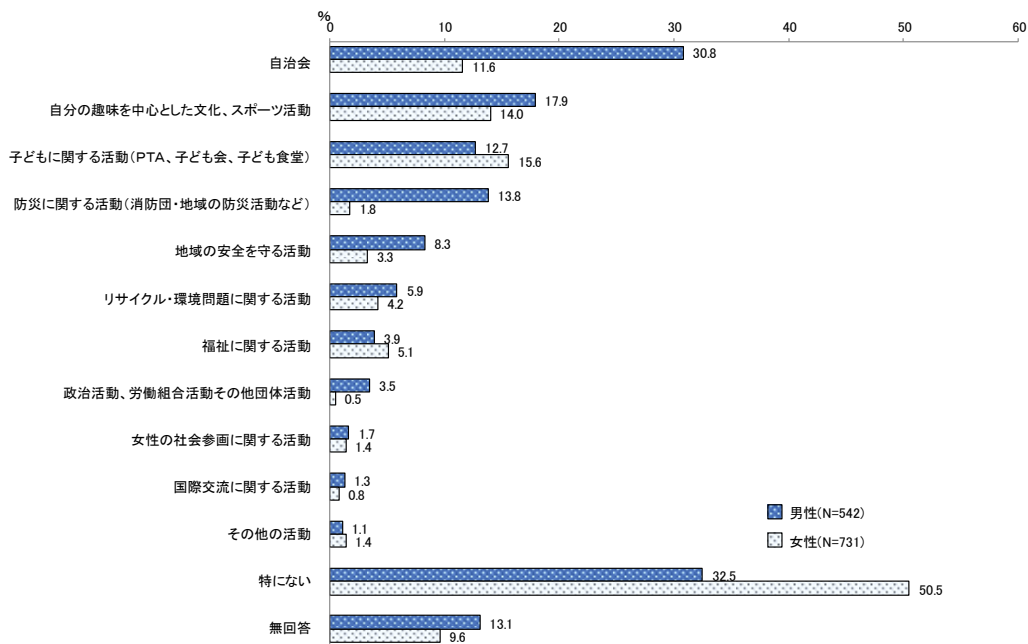
(41) 地域活動などへの参加

問4 1 あなたは現在、団体・グループなどで何か仕事以外の活動をしていますか。また、今後どのような活動をしてみたいですか。(1) 現状、(2) 理想を選んでください((1)の○はあてはまるものすべて、(2)の○は2つまで)

現状



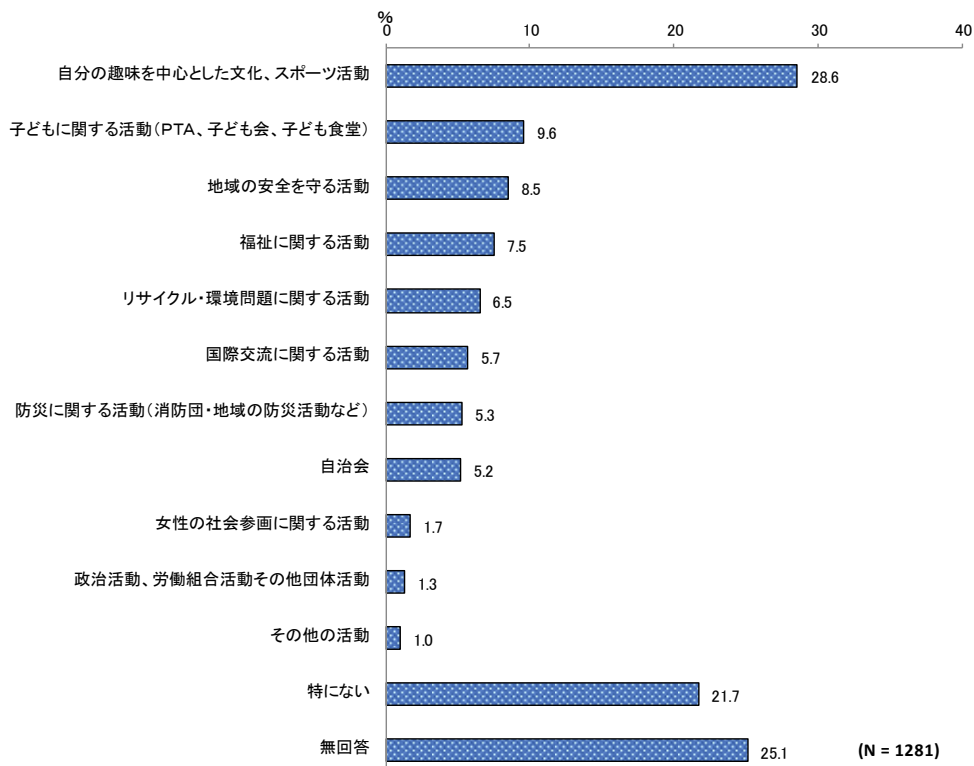
【全体】地域活動等への参加については、現状では、「自治会」が19.8%と最も高く、次いで「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」(15.7%)、「子どもに関する活動 (PTA、子ども会、子ども食堂)」(14.3%)となっている。



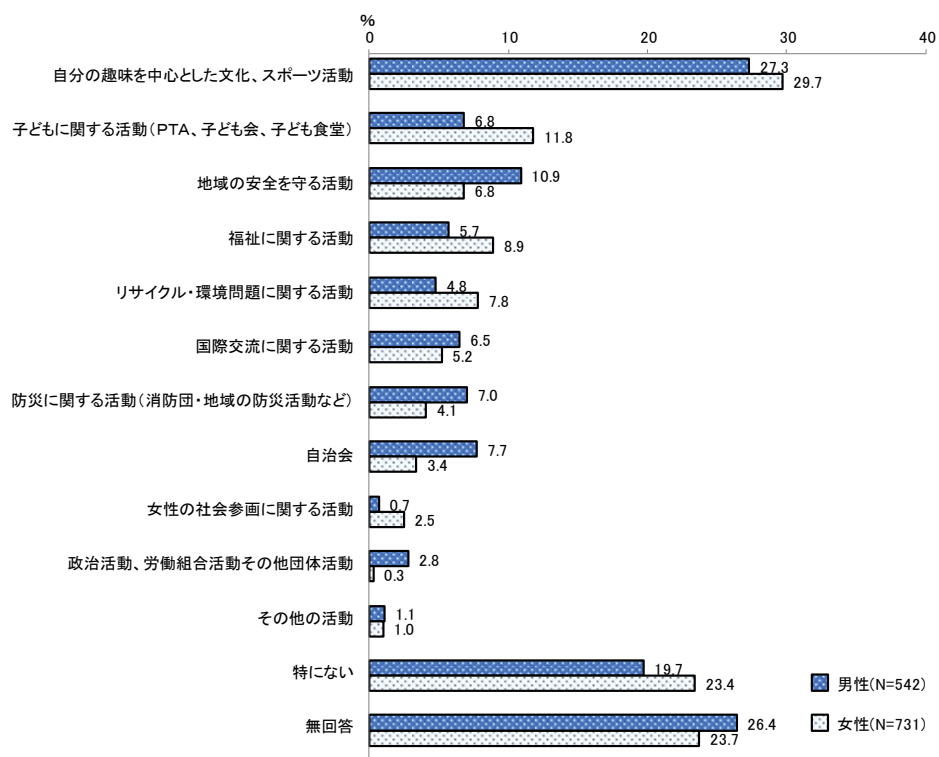
【性別】地域活動等への参加については、ほとんどの分野で男性の方が高くなっているが、「子どもに関する活動 (PTA、子ども会、子ども食堂)」や「福祉に関する活動」などは、女性の方が男性よりも高くなっている。

	全体	仕事以外の活動／現状													
		自治会	子どもに関する活動 (PTA、子ども会、子ども食堂)	リサイクル・環境問題に関する活動	福祉に関する活動	防災に関する活動 (消防団・地域の防災活動など)	地域の安全を守る活動	国際交流に関する活動	スポーツ活動	自分の趣味を中心とした文化、 団体活動	政治活動、労働組合活動その他	女性の社会参画に関する活動	その他の活動	特にない	無回答
全体	1281	19.8	14.3	4.9	4.5	6.9	5.4	1.0	15.7	1.8	1.5	1.2	42.5	11.3	
性・年齢別	男性(計)	542	30.8	12.7	5.9	3.9	13.8	8.3	1.3	17.9	3.5	1.7	1.1	32.5	13.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	20.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	45.0	5.0	0.0	0.0	15.0	20.0
	男性・30歳～39歳	37	27.0	35.1	2.7	2.7	16.2	8.1	2.7	13.5	2.7	2.7	5.4	29.7	10.8
	男性・40歳～49歳	94	30.9	33.0	6.4	0.0	25.5	5.3	0.0	12.8	7.4	0.0	0.0	31.9	4.3
	男性・50歳～59歳	145	29.0	12.4	2.8	4.1	9.0	4.1	1.4	18.6	1.4	0.0	1.4	42.8	6.2
	男性・60歳～64歳	64	31.3	0.0	1.6	3.1	6.3	4.7	3.1	17.2	3.1	0.0	0.0	28.1	18.8
	男性・65歳～69歳	60	48.3	3.3	11.7	0.0	10.0	8.3	0.0	15.0	0.0	0.0	3.3	26.7	6.7
	男性・70歳以上	121	27.3	4.1	10.7	9.9	17.4	19.0	1.7	19.8	5.0	6.6	0.0	28.9	28.1
	女性(計)	731	11.6	15.6	4.2	5.1	1.8	3.3	0.8	14.0	0.5	1.4	1.4	50.5	9.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0
	女性・30歳～39歳	85	11.8	31.8	1.2	0.0	2.4	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	1.2	50.6	2.4
	女性・40歳～49歳	147	13.6	39.5	5.4	5.4	2.7	4.1	1.4	7.5	1.4	0.0	0.0	42.2	2.7
	女性・50歳～59歳	198	14.6	8.1	2.0	1.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	1.0	2.0	64.6	8.1
	女性・60歳～64歳	76	6.6	7.9	7.9	3.9	2.6	2.6	0.0	10.5	2.6	7.9	3.9	55.3	6.6
	女性・65歳～69歳	71	12.7	4.2	5.6	5.6	4.2	2.8	0.0	22.5	0.0	2.8	2.8	45.1	14.1
	女性・70歳以上	124	8.1	1.6	6.5	15.3	1.6	11.3	3.2	29.8	0.0	0.0	0.0	30.6	26.6
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

【性・年齢別】「自治会」は男性では「18歳、19歳」以外のすべての年齢層で2割を超え、女性を上回っている。



【全 体】地域活動等への参加については、理想では、「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」が28.6%と最も高く、次いで「子どもに関する活動 (PTA、子ども会、子ども食堂)」(9.6%)、「地域の安全を守る活動」(8.5%)となっている。



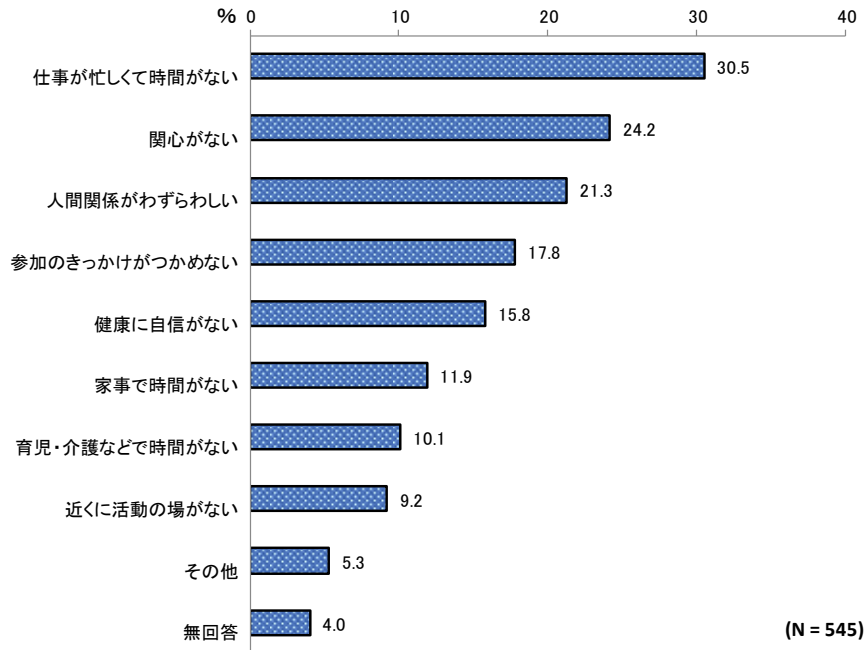
【性 別】地域活動等への参加については、男性は「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」(27.3%)が最も高く、次いで「地域の安全を守る活動」(10.9%)、「自治会」(7.7%)となっている。女性は「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」(29.7%)が最も高く、次いで「子どもに関する活動 (PTA、子ども会、子ども食堂)」(11.8%)、「福祉に関する活動」(8.9%)となっている。

	全体	仕事以外の活動／理想													
		自治会	子どもに関する活動 (PTA、子ども会、子ども食堂)	リサイクル・環境問題に関する活動	福祉に関する活動	防災に関する活動 (消防団・地域の防災活動など)	地域の安全を守る活動	国際交流に関する活動	スポーツ活動	自分の趣味を中心とした文化、	団体活動、労働組合活動その他	女性の社会参画に関する活動	その他の活動	特にな	無回答
全体	1281	5.2	9.6	6.5	7.5	5.3	8.5	5.7	28.6	1.3	1.7	1.0	21.7	25.1	
性・年齢別	男性(計)	542	7.7	6.8	4.8	5.7	7.0	10.9	6.5	27.3	2.8	0.7	1.1	19.7	26.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	10.0
	男性・30歳～39歳	37	2.7	16.2	0.0	0.0	5.4	5.4	16.2	35.1	0.0	0.0	0.0	32.4	24.3
	男性・40歳～49歳	94	3.2	13.8	6.4	3.2	5.3	4.3	6.4	28.7	4.3	0.0	0.0	34.0	13.8
	男性・50歳～59歳	145	11.7	6.9	3.4	1.4	2.8	12.4	5.5	24.8	2.8	1.4	1.4	26.9	20.0
	男性・60歳～64歳	64	6.3	3.1	9.4	6.3	12.5	6.3	7.8	28.1	4.7	0.0	3.1	7.8	35.9
	男性・65歳～69歳	60	13.3	3.3	3.3	13.3	6.7	33.3	0.0	40.0	0.0	0.0	3.3	8.3	21.7
	男性・70歳以上	121	5.0	1.7	5.0	11.6	11.6	9.1	6.6	16.5	3.3	1.7	0.0	6.6	44.6
	女性(計)	731	3.4	11.8	7.8	8.9	4.1	6.8	5.2	29.7	0.3	2.5	1.0	23.4	23.7
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	23.1	0.0	15.4	7.7	15.4	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0	15.4	7.7
	女性・30歳～39歳	85	0.0	12.9	0.0	5.9	1.2	0.0	4.7	38.8	0.0	0.0	3.5	36.5	11.8
	女性・40歳～49歳	147	4.8	21.1	8.2	5.4	2.7	8.2	9.5	31.3	0.0	1.4	1.4	24.5	18.4
	女性・50歳～59歳	198	3.0	10.6	6.6	11.1	3.5	4.0	4.0	33.8	0.0	0.5	0.0	29.3	17.2
	女性・60歳～64歳	76	0.0	2.6	13.2	10.5	5.3	7.9	2.6	34.2	0.0	0.0	0.0	28.9	21.1
	女性・65歳～69歳	71	2.8	12.7	8.5	12.7	5.6	19.7	0.0	16.9	0.0	5.6	2.8	12.7	35.2
	女性・70歳以上	124	6.5	4.8	12.9	5.6	6.5	4.8	0.0	23.4	1.6	7.3	0.0	8.9	47.6
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

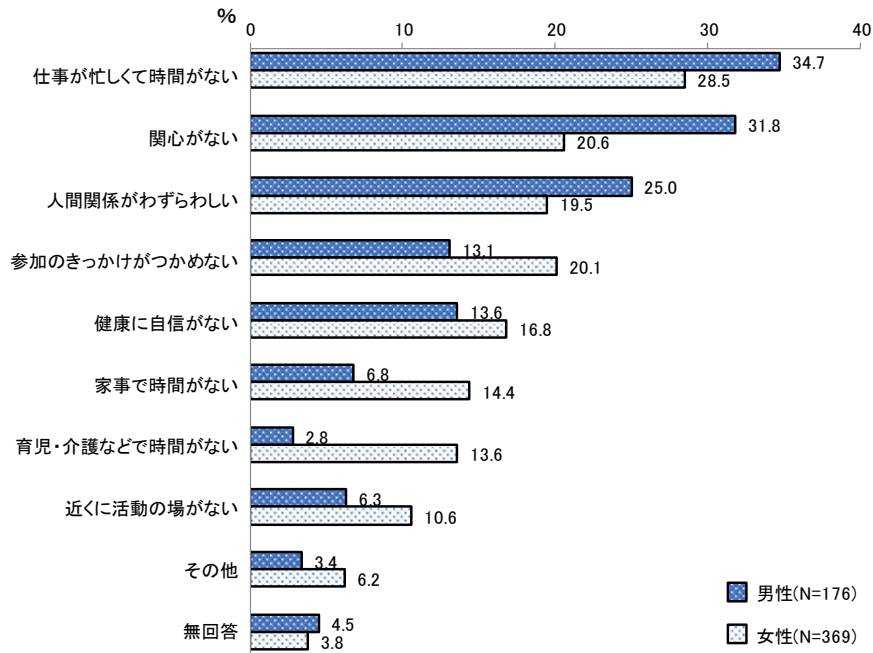
【性・年齢別】「自治会」では、「40歳～49歳」を除き、すべての年齢層で男性の方が女性よりも高くなっている。

「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」では、男性の「20歳～29歳」が50.0%と最も高くなっている。

(問41の(1)で「特になし」と答えた方が回答)
 問41-1 活動していない理由は何ですか。(〇は2つまで)



【全体】活動していない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が30.5%と最も高く、次いで「関心がない」(24.2%)、「人間関係がわずらわしい」(21.3%)となっている。



【性別】男性は「仕事が忙しくて時間がない」が34.7%と最も高く、次いで「関心がない」(31.8%)、「人間関係がわずらわしい」(25.0%)となっている。

女性は「仕事が忙しくて時間がない」が28.5%と最も高く、次いで「関心がない」(20.6%)、「参加のきっかけがつかめない」(20.1%)となっている。

	全体	活動していない理由										
		仕事が忙しくて時間がない	育児・介護などで時間がない	家事で時間がない	健康に自信がない	参加のきっかけがつかめない	近くに活動の場がない	人間関係がわずらわしい	関心がない	その他	無回答	
全体	545	30.5	10.1	11.9	15.8	17.8	9.2	21.3	24.2	5.3	4.0	
性・年齢別	男性(計)	176	34.7	2.8	6.8	13.6	13.1	6.3	25.0	31.8	3.4	4.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	11	72.7	27.3	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	30	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0	40.0	53.3	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	62	45.2	0.0	9.7	6.5	11.3	0.0	22.6	30.6	3.2	12.9
	男性・60歳～64歳	18	44.4	0.0	11.1	0.0	33.3	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0
	男性・65歳～69歳	16	37.5	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	男性・70歳以上	35	5.7	0.0	0.0	40.0	11.4	0.0	20.0	37.1	11.4	0.0
	女性(計)	369	28.5	13.6	14.4	16.8	20.1	10.6	19.5	20.6	6.2	3.8
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	22	27.3	9.1	9.1	0.0	54.5	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	女性・30歳～39歳	43	23.3	32.6	23.3	16.3	9.3	16.3	16.3	20.9	0.0	4.7
	女性・40歳～49歳	62	41.9	25.8	21.0	1.6	3.2	6.5	17.7	19.4	9.7	6.5
	女性・50歳～59歳	128	39.1	7.0	14.1	13.3	19.5	7.0	24.2	25.8	3.1	3.1
	女性・60歳～64歳	42	23.8	16.7	11.9	23.8	31.0	7.1	14.3	33.3	0.0	0.0
	女性・65歳～69歳	32	9.4	6.3	3.1	25.0	31.3	0.0	28.1	18.8	9.4	6.3
女性・70歳以上	38	0.0	0.0	10.5	44.7	15.8	15.8	21.1	5.3	21.1	5.3	
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

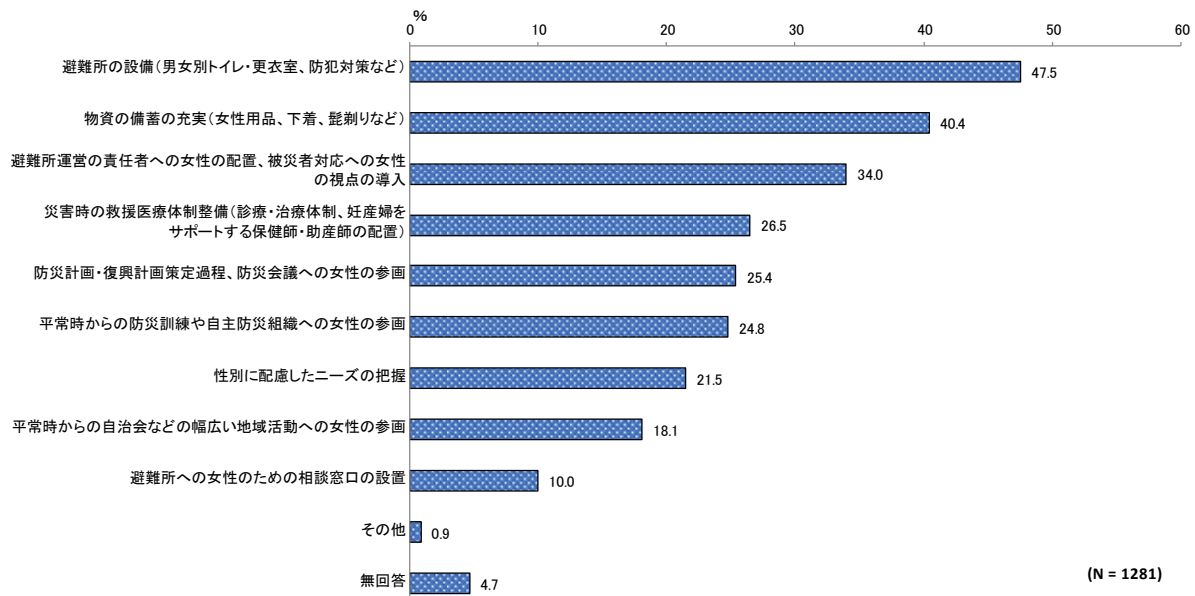
【性・年齢別】「仕事が忙しくて時間がない」では、男性では「30歳～39歳」が72.7%、女性では「40歳～49歳」が41.9%と最も高くなっている。

「関心がない」では、「60歳～64歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。特に、男性の「40歳～49歳」で5割以上となっている。

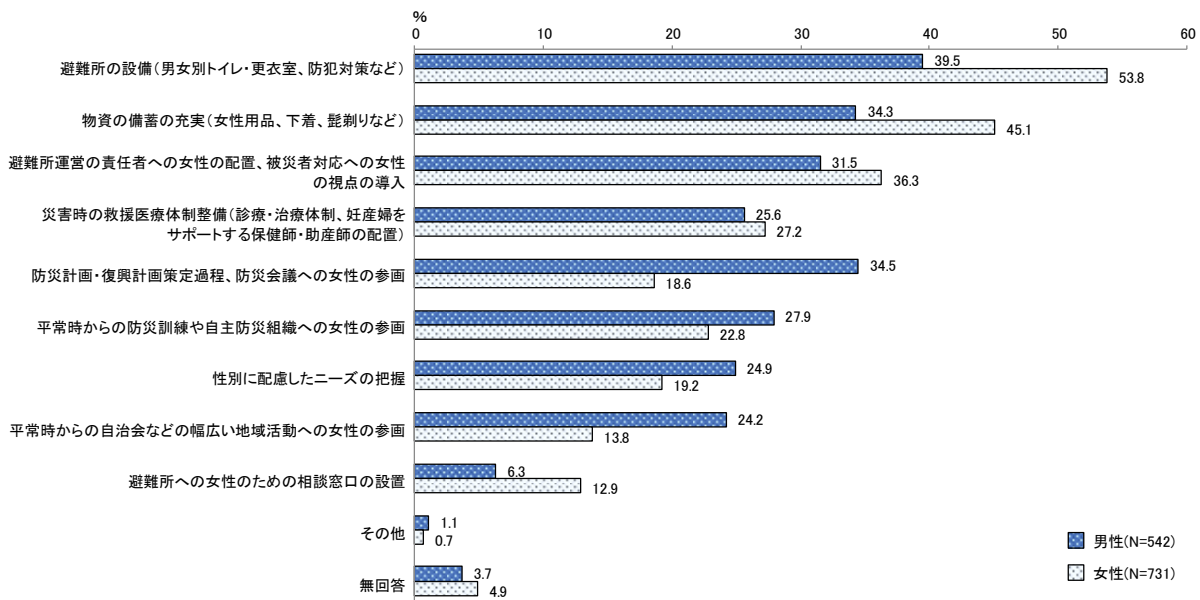
10. 防災・復興について

(42) 性別に配慮した防災・災害対応のために必要な取組み

問42 次のうち、性別に配慮した防災・災害対応を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)



【全体】性別に配慮した防災・災害対応のために必要な取組みについては、「避難所の設備 (男女別トイレ・更衣室、防犯対策など)」が47.5%と最も高く、次いで「物資の備蓄の充実 (女性用品、下着、髭剃りなど)」(40.4%)、「避難所運営の責任者への女性の配置、被災者対応への女性の視点の導入」(34.0%)となっている。



【性別】男性は「避難所の設備 (男女別トイレ・更衣室、防犯対策など)」(39.5%)が最も高く、次いで「防災計画・復興計画策定過程、防災会議への女性の参画」(34.5%)、「物資の備蓄の充実 (女性用品、下着、髭剃りなど)」(34.3%)となっている。女性は「避難所の設備 (男女別トイレ・更衣室、防犯対策など)」(53.8%)が最も高く、次いで「物資の備蓄の充実 (女性用品、下着、髭剃りなど)」(45.1%)、「避難所運営の責任者への女性の配置、被災者対応への女性の視点の導入」(36.3%)となっている。

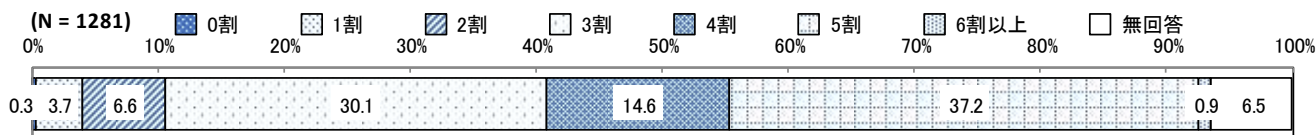
	全体	性別に配慮した防災・災害対応を進めるために必要なこと											
		防災計画・復興計画策定過程、防災会議への女性の参画	平常時からの防災訓練や自主防災組織への女性の参画	平常時からの自治会などの幅広い地域活動への女性の参画	物資の備蓄の充実（女性用品、下着、髭剃りなど）	避難所運営の責任者への女性の視点の導入	（男女別トイレ・更衣室、防犯対策など）	性別に配慮したニーズの把握	の配置（災害時の救済医療体制整備（診療・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師）	避難所への女性のための相談窓口の設置	その他	無回答	
全体	1281	25.4	24.8	18.1	40.4	34.0	47.5	21.5	26.5	10.0	0.9	4.7	
性・年齢別	男性(計)	542	34.5	27.9	24.2	34.3	31.5	39.5	24.9	25.6	6.3	1.1	3.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	20.0	5.0	20.0	15.0	30.0	30.0	45.0	0.0	20.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	24.3	29.7	13.5	59.5	21.6	37.8	37.8	18.9	5.4	0.0	5.4
	男性・40歳～49歳	94	37.2	22.3	20.2	45.7	16.0	35.1	28.7	23.4	2.1	2.1	0.0
	男性・50歳～59歳	145	31.7	24.1	23.4	32.4	39.3	40.7	33.1	22.8	5.5	2.8	1.4
	男性・60歳～64歳	64	29.7	28.1	17.2	25.0	34.4	46.9	17.2	31.3	6.3	0.0	7.8
	男性・65歳～69歳	60	48.3	43.3	40.0	25.0	40.0	31.7	13.3	28.3	6.7	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	37.2	31.4	28.1	33.1	32.2	43.0	14.9	33.1	8.3	0.0	8.3
	女性(計)	731	18.6	22.8	13.8	45.1	36.3	53.8	19.2	27.2	12.9	0.7	4.9
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	7.7	23.1	69.2	30.8	61.5	7.7	30.8	15.4	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	18.8	22.4	14.1	65.9	37.6	69.4	29.4	16.5	3.5	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	15.0	19.7	15.6	52.4	40.8	53.7	25.9	28.6	10.2	1.4	2.0
	女性・50歳～59歳	198	21.7	19.2	8.6	38.4	34.3	53.5	22.7	27.3	13.6	1.0	4.0
	女性・60歳～64歳	76	11.8	22.4	13.2	43.4	40.8	65.8	13.2	25.0	21.1	0.0	2.6
	女性・65歳～69歳	71	22.5	26.8	11.3	33.8	42.3	29.6	19.7	40.8	7.0	1.4	9.9
	女性・70歳以上	124	19.4	34.7	18.5	35.5	27.4	48.4	4.8	26.6	17.7	0.0	12.9
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0

【性・年齢別】「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室・防犯対策など）」は女性で特に高く、「65歳～69歳」、「70歳以上」を除くすべての年齢層で5割以上となっている。

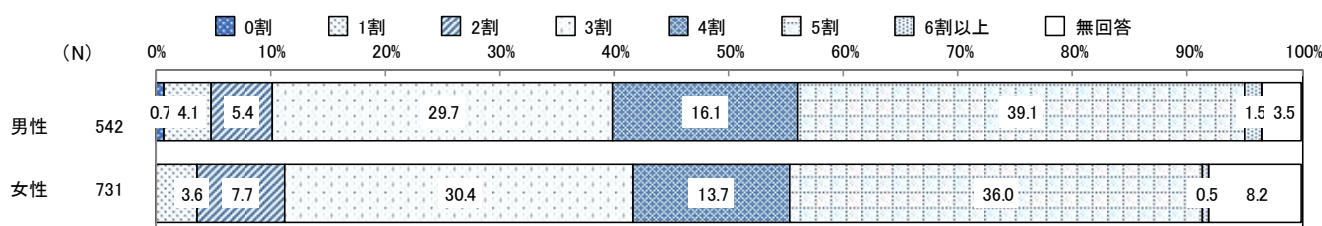
11. 政策・方針決定過程への女性の参画について

(43) 地方議会における女性議員の理想の割合

問 4 3 あなたは、地方議会（県議会・市町村議会）における女性議員の割合は何割程度が理想と考えますか。（○は1つ）



【全 体】地方議会（県議会・市町村議会）における女性議員の理想の割合については、「5割」が37.2%と最も高く、次いで「3割」（30.1%）、「4割」（14.6%）となっている。



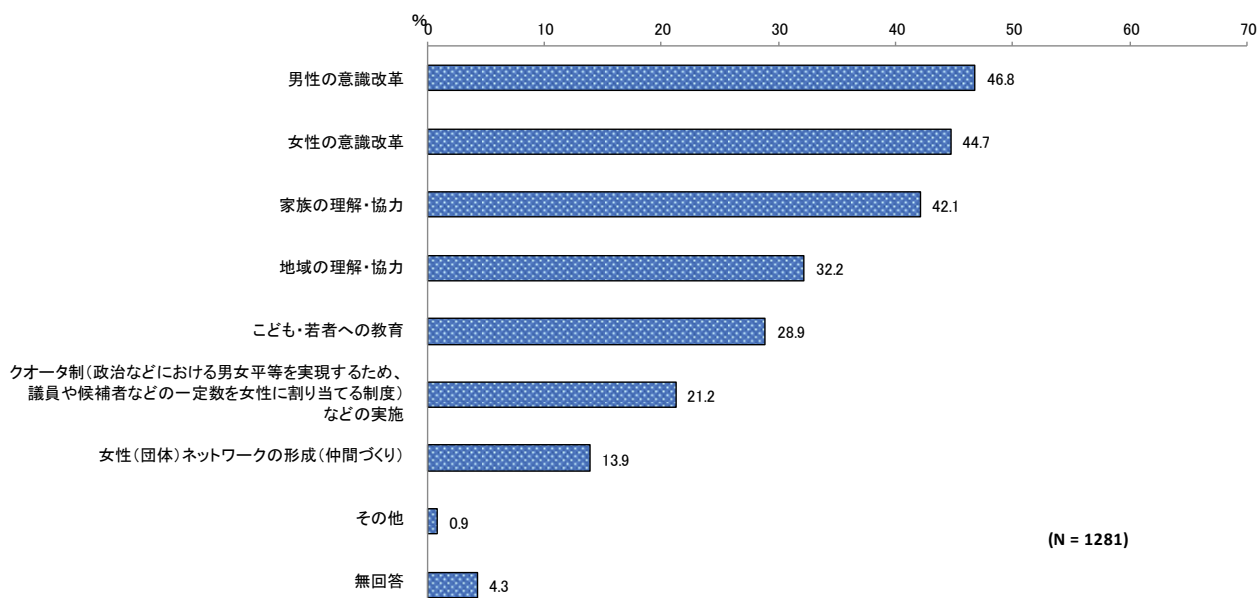
【性 別】男女ともに大きな差はみられない。

	全体	地方議会（県議会・市町村議会）における女性議員の理想の割合								
		0割	1割	2割	3割	4割	5割	6割以上	無回答	
全体	1281	0.3	3.7	6.6	30.1	14.6	37.2	0.9	6.5	
性・年齢別	男性(計)	542	0.7	4.1	5.4	29.7	16.1	39.1	1.5	3.5
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	10.0	5.0	30.0	10.0	40.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	5.4	10.8	35.1	13.5	29.7	5.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	4.3	8.5	5.3	19.1	13.8	44.7	0.0	4.3
	男性・50歳～59歳	145	0.0	2.8	6.9	30.3	15.9	41.4	1.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	0.0	3.1	4.7	31.3	21.9	32.8	0.0	6.3
	男性・65歳～69歳	60	0.0	3.3	0.0	35.0	16.7	38.3	6.7	0.0
	男性・70歳以上	121	0.0	1.7	5.0	31.4	16.5	38.8	0.0	6.6
	女性(計)	731	0.0	3.6	7.7	30.4	13.7	36.0	0.5	8.2
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	0.0	7.7	7.7	30.8	15.4	38.5	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	0.0	0.0	12.9	24.7	28.2	31.8	2.4	0.0
	女性・40歳～49歳	147	0.0	9.5	10.9	17.7	17.7	40.8	1.4	2.0
	女性・50歳～59歳	198	0.0	3.5	3.0	34.8	9.1	41.4	0.0	8.1
	女性・60歳～64歳	76	0.0	0.0	7.9	38.2	19.7	28.9	0.0	5.3
	女性・65歳～69歳	71	0.0	0.0	5.6	32.4	9.9	35.2	0.0	16.9
	女性・70歳以上	124	0.0	2.4	8.9	37.1	4.8	26.6	0.0	20.2
無回答	8	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	

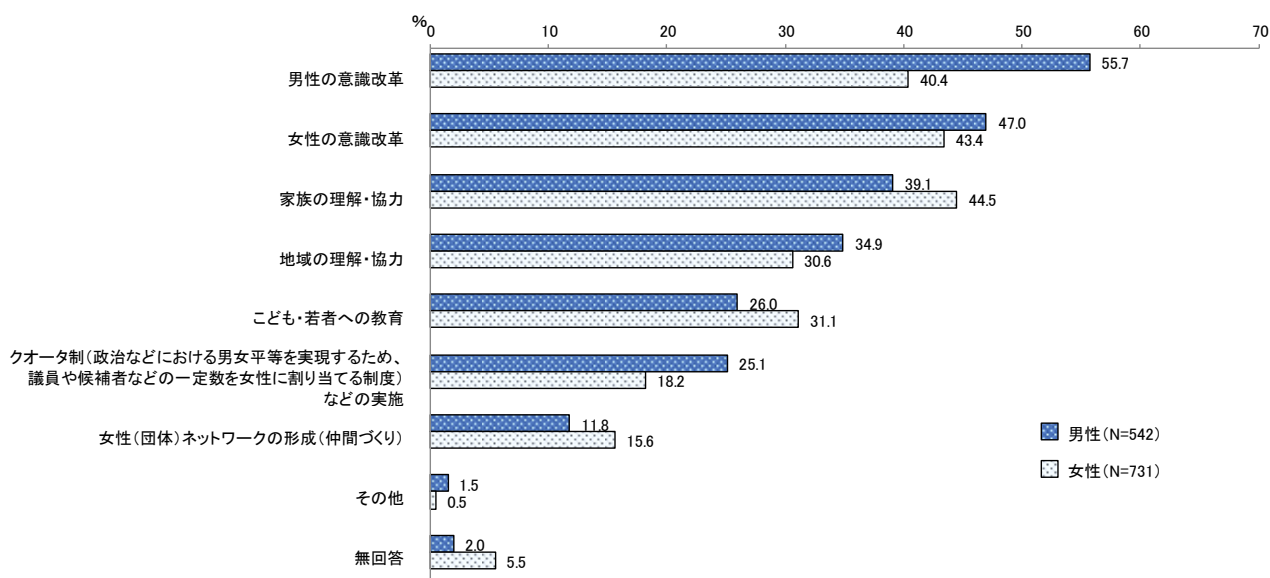
【性・年齢別】女性議員の理想の割合「5割」は、男性の「40歳～49歳」、女性では「50歳～59歳」が最も高かった。

(44) 政策・方針決定過程への女性の参画を進める上で必要と思われること

問 4 4 政策・方針決定過程への女性の参画（例：県・市町村議会議員、審議会委員、町内会役員、農業委員、防災など各分野での女性の参画）を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）



【全 体】政策・方針決定過程への女性の参画を進めるために必要なことについては、「男性の意識改革」が46.8%と最も高く、次いで「女性の意識改革」(44.7%)、「家族の理解・協力」(42.1%)となっている。



【性 別】男性は「男性の意識改革」(55.7%)、女性は「家族の理解・協力」(44.5%)が最も高い。

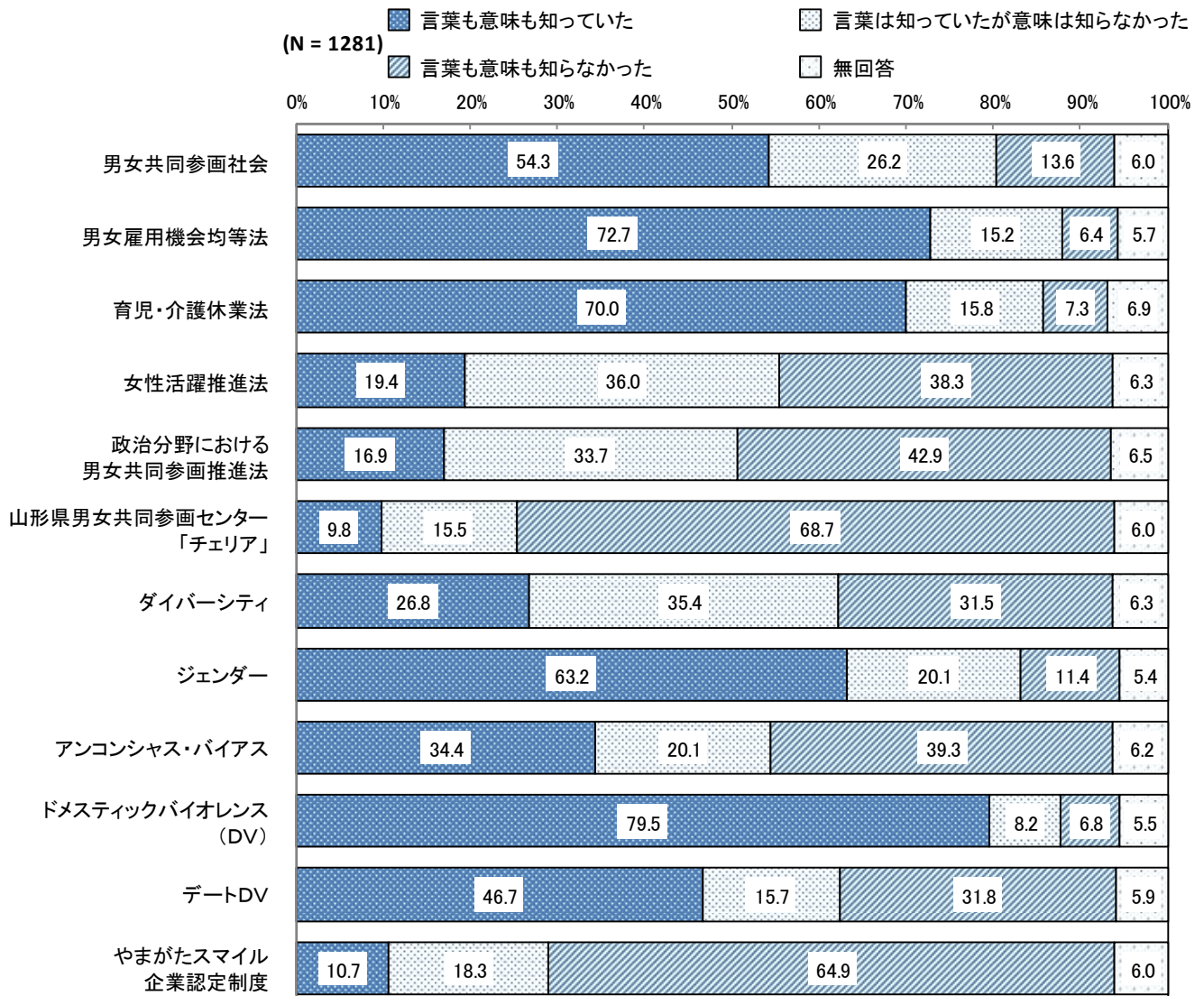
	全体	政策・方針決定過程への女性の参画を進めるために必要なこと									
		女性の意識改革	男性の意識改革	子ども・若者への教育	家族の理解・協力	地域の理解・協力	女性(団体)ネットワークの形成(仲間づくり)	クオータ制(政治などにおける男女平等を実現するため、議員や候補者などの一定数を女性に割り当てる制度)などの実施	その他	無回答	
全体	1281	44.7	46.8	28.9	42.1	32.2	13.9	21.2	0.9	4.3	
性・年齢別	男性(計)	542	47.0	55.7	26.0	39.1	34.9	11.8	25.1	1.5	2.0
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	60.0	75.0	45.0	0.0	10.0	0.0	15.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	51.4	54.1	51.4	40.5	35.1	8.1	10.8	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	94	47.9	50.0	28.7	29.8	31.9	7.4	12.8	6.4	0.0
	男性・50歳～59歳	145	41.4	53.8	26.2	42.8	29.7	13.8	31.0	1.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	54.7	57.8	25.0	35.9	35.9	10.9	26.6	0.0	3.1
	男性・65歳～69歳	60	33.3	63.3	11.7	60.0	35.0	11.7	38.3	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	52.9	55.4	19.8	39.7	46.3	16.5	26.4	0.0	5.0
	女性(計)	731	43.4	40.4	31.1	44.5	30.6	15.6	18.2	0.5	5.5
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	38.5	46.2	38.5	23.1	30.8	7.7	7.7	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	41.2	41.2	50.6	35.3	30.6	9.4	17.6	0.0	1.2
	女性・40歳～49歳	147	32.7	47.6	42.2	46.3	32.0	12.2	23.8	1.4	0.0
	女性・50歳～59歳	198	51.5	44.9	25.3	41.4	29.3	11.1	20.2	1.0	4.0
	女性・60歳～64歳	76	44.7	28.9	13.2	63.2	35.5	25.0	19.7	0.0	5.3
	女性・65歳～69歳	71	43.7	43.7	22.5	42.3	28.2	26.8	12.7	0.0	11.3
	女性・70歳以上	124	42.7	27.4	27.4	49.2	30.6	21.0	12.1	0.0	15.3
	無回答	8	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0

【性・年齢別】「男性の意識改革」は男性ではすべての年齢層で5割を超えている。

12. 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

(45) 男女共同参画に関する法律や用語、施設などの認知度

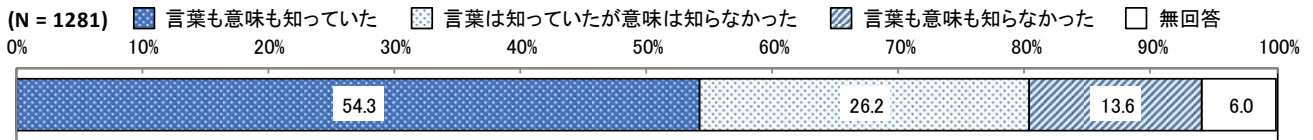
問45 あなたは、次の法律や用語、施設などについて知っていますか。(それぞれ〇は1つ)



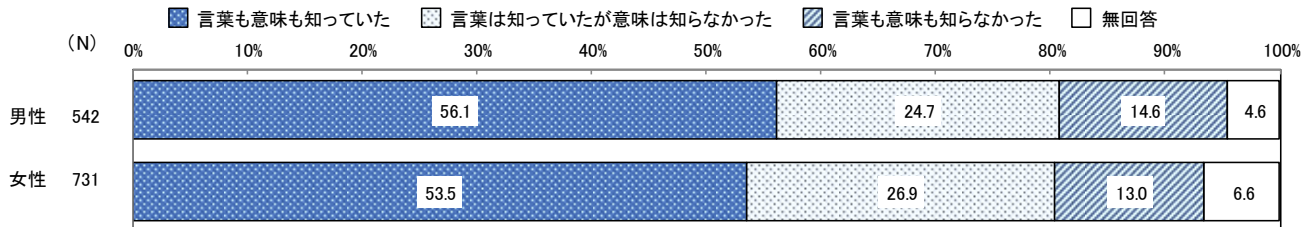
【全体】法律や用語、施設の知識については、「言葉も意味も知っていた」では、「ドメスティックバイオレンス(DV)」が79.5%と最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」(72.7%)、「育児・介護休業法」(70.0%)となっている。

一方、認知度が低かったのは、「山形県男女共同参画センター「チェリア」」が9.8%と最も低く、次いで「やまがたスマイル企業認定制度」(10.7%)、「政治分野における男女共同参画推進法」(16.9%)となっている。

男女共同参画社会



【全 体】男女共同参画社会については、「言葉も意味も知っていた」が54.3%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(26.2%)、「言葉も意味も知らなかった」(13.6%)となっている。



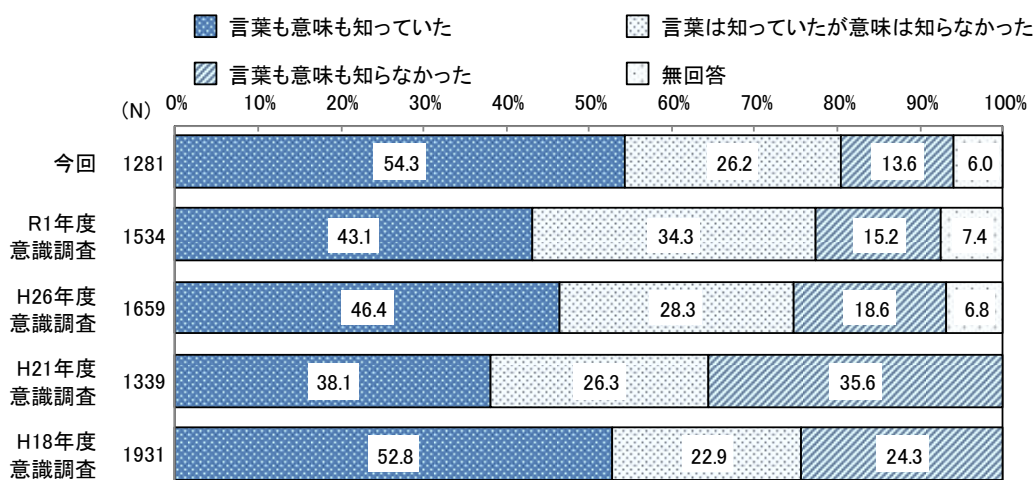
【性 別】男女に大きな差はみられない。

	全体	男女共同参画社会の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	54.3	26.2	13.6	6.0	
性・年齢別	男性(計)	542	56.1	24.7	14.6	4.6
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	80.0	15.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	59.5	27.0	13.5	0.0
	男性・40歳～49歳	94	48.9	23.4	27.7	0.0
	男性・50歳～59歳	145	51.0	26.9	19.3	2.8
	男性・60歳～64歳	64	53.1	25.0	12.5	9.4
	男性・65歳～69歳	60	63.3	33.3	3.3	0.0
	男性・70歳以上	121	60.3	19.8	8.3	11.6
	女性(計)	731	53.5	26.9	13.0	6.6
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	69.2	30.8	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	69.4	20.0	10.6	0.0
	女性・40歳～49歳	147	49.7	34.0	13.6	2.7
	女性・50歳～59歳	198	55.1	26.8	16.7	1.5
	女性・60歳～64歳	76	48.7	31.6	9.2	10.5
	女性・65歳～69歳	71	54.9	21.1	9.9	14.1
	女性・70歳以上	124	43.5	22.6	15.3	18.5
	無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0

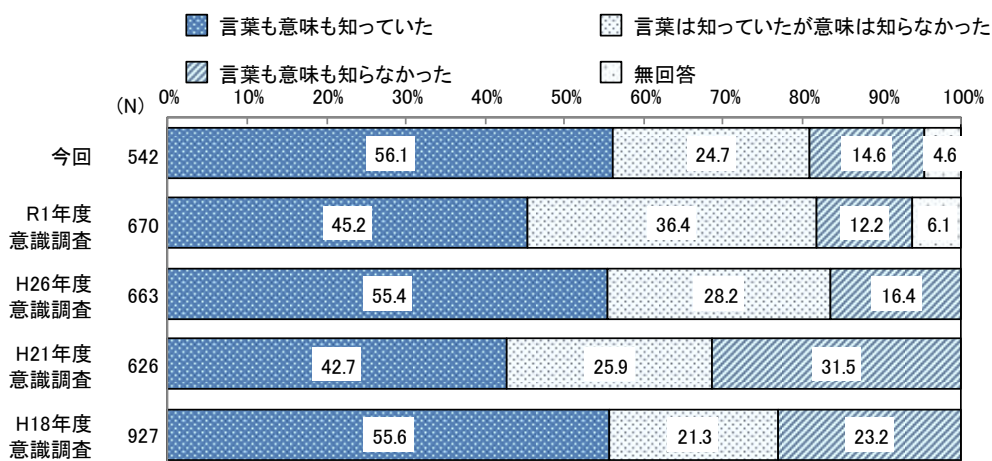
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、男性の「20歳～29歳」(80.0%)が最も高くなっている。また、「言葉も意味も知らなかった」は、「65歳～69歳」と「70歳以上」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【男女共同参画社会】

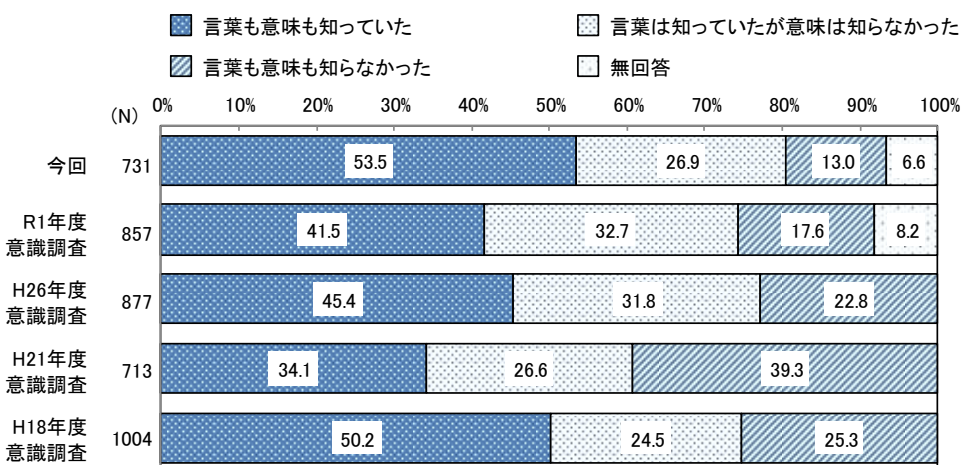
全体



男性



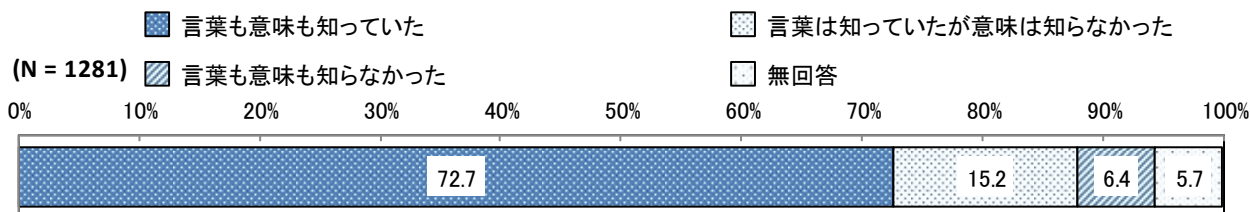
女性



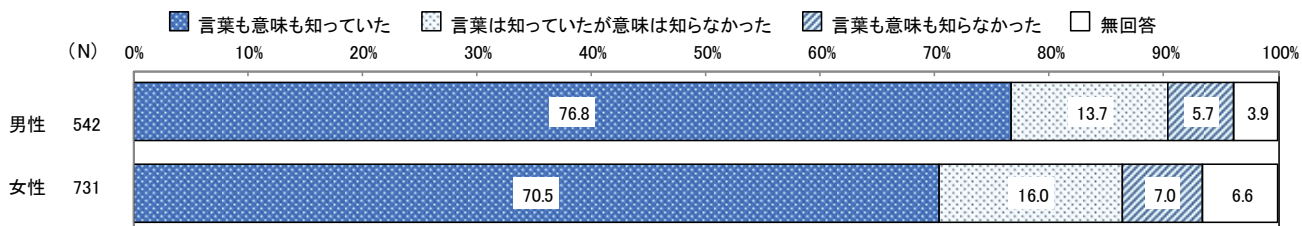
【全 体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が11.2ポイント増加している。

【性 別】男女では大きな差異はみられなかった。

男女雇用機会均等法



【全体】男女雇用機会均等法については、「言葉も意味も知っていた」が72.7%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(15.2%)、「言葉も意味も知らなかった」(6.4%)となっている。



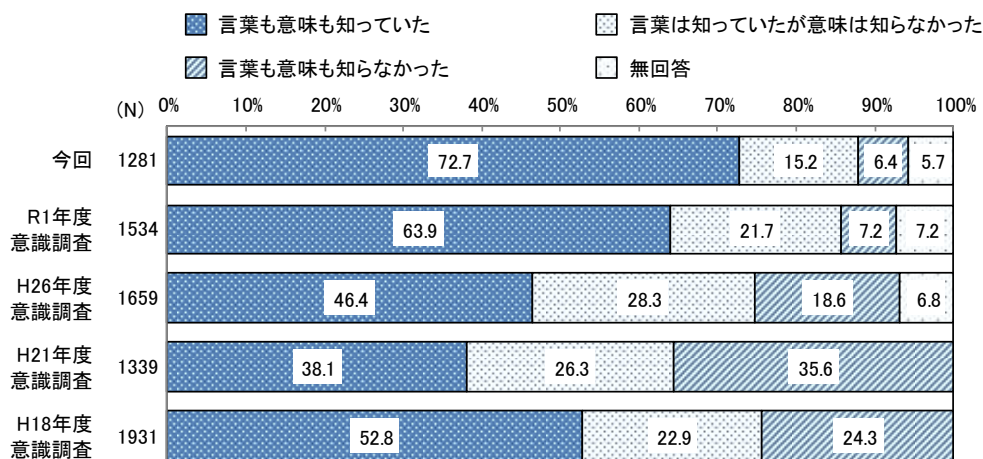
【性別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、男性(76.8%)が女性(70.5%)より6.3ポイント高い。

	全体	男女雇用機会均等法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	72.7	15.2	6.4	5.7	
性・年齢別	男性(計)	542	76.8	13.7	5.7	3.9
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	90.0	5.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	78.4	8.1	13.5	0.0
	男性・40歳～49歳	94	78.7	8.5	12.8	0.0
	男性・50歳～59歳	145	77.9	13.8	6.9	1.4
	男性・60歳～64歳	64	75.0	15.6	0.0	9.4
	男性・65歳～69歳	60	73.3	26.7	0.0	0.0
	男性・70歳以上	121	73.6	13.2	3.3	9.9
	女性(計)	731	70.5	16.0	7.0	6.6
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	76.9	23.1	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	74.1	15.3	10.6	0.0
	女性・40歳～49歳	147	78.9	13.6	4.8	2.7
	女性・50歳～59歳	198	76.3	16.7	5.6	1.5
	女性・60歳～64歳	76	63.2	15.8	10.5	10.5
	女性・65歳～69歳	71	66.2	21.1	0.0	12.7
	女性・70歳以上	124	54.8	12.9	12.9	19.4
	無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0

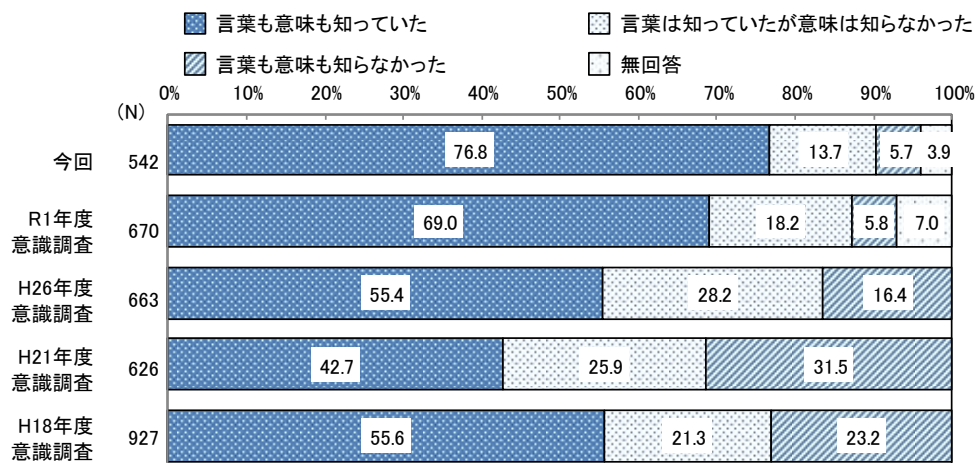
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で男性の方が女性よりも高くなっている。特に、男性の「20歳～29歳」(90.0%)で最も高くなっている。

過去調査との比較【男女雇用機会均等法】

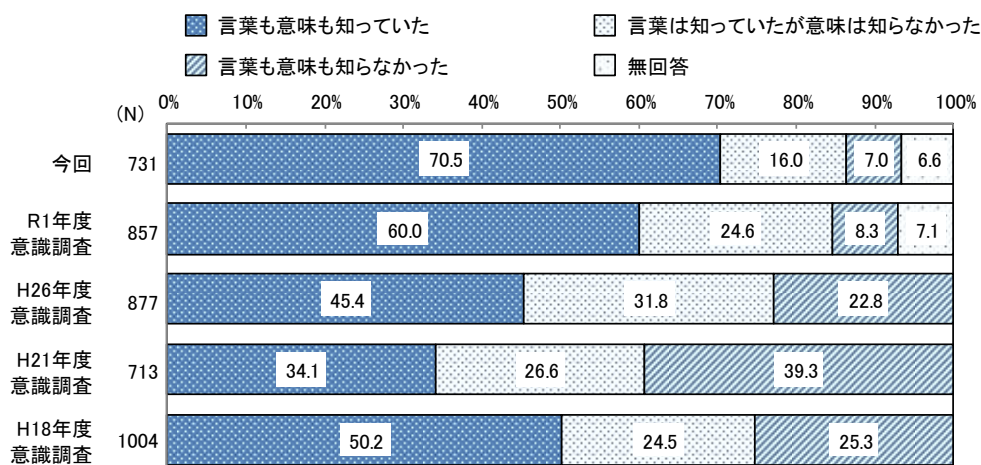
全体



男性



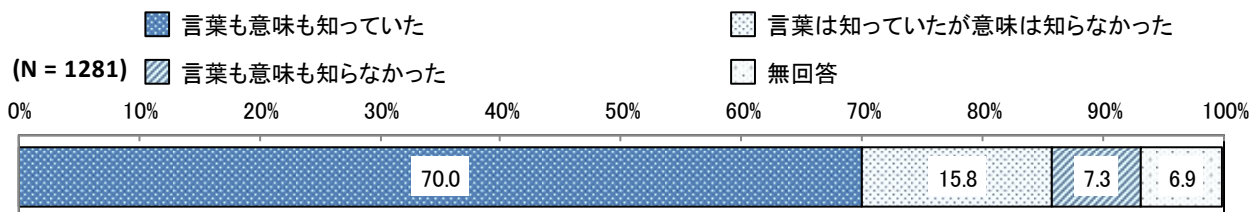
女性



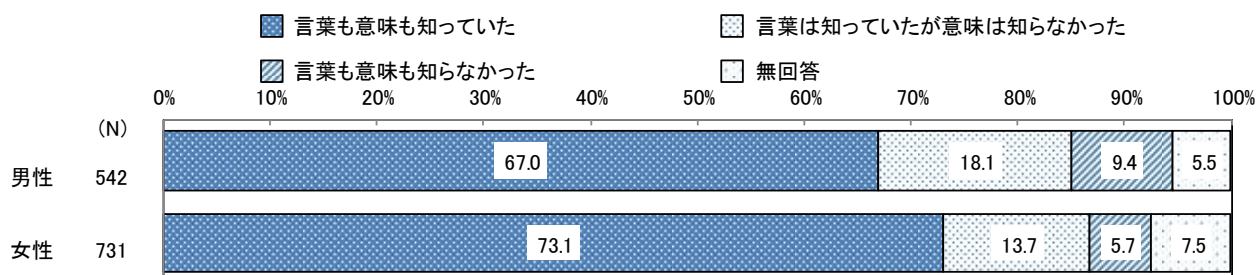
【全体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が8.8ポイント増加している。

【性別】女性は「言葉も意味も知っていた」が令和元年度調査から10.5ポイント増加している。

育児・介護休業法



【全体】 育児・介護休業法については、「言葉も意味も知っていた」が70.0%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(15.8%)、「言葉も意味も知らなかった」(7.3%)となっている。



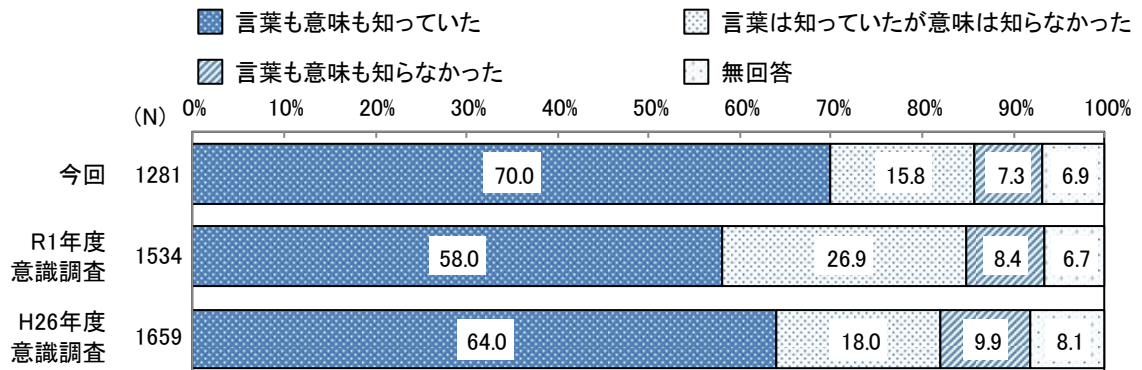
【性別】 「言葉も意味も知っていた」は、女性が73.1%で男性の67.0%より6.1ポイント高い。「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は、男性が18.1%で女性の13.7%より4.4ポイント高い。

	全体	育児・介護休業法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	70.0	15.8	7.3	6.9	
性・年齢別	男性(計)	542	67.0	18.1	9.4	5.5
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	75.0	5.0	15.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	75.7	18.9	5.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	67.0	18.1	14.9	0.0
	男性・50歳～59歳	145	71.0	15.2	12.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	68.8	12.5	9.4	9.4
	男性・65歳～69歳	60	66.7	23.3	6.7	3.3
	男性・70歳以上	121	57.0	24.0	3.3	15.7
	女性(計)	731	73.1	13.7	5.7	7.5
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	84.6	7.7	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	85.9	9.4	4.7	0.0
	女性・40歳～49歳	147	77.6	12.9	6.8	2.7
	女性・50歳～59歳	198	72.7	17.2	7.1	3.0
	女性・60歳～64歳	76	76.3	13.2	0.0	10.5
	女性・65歳～69歳	71	71.8	12.7	2.8	12.7
	女性・70歳以上	124	56.5	12.9	8.1	22.6
	無回答	8	0.0	50.0	0.0	50.0

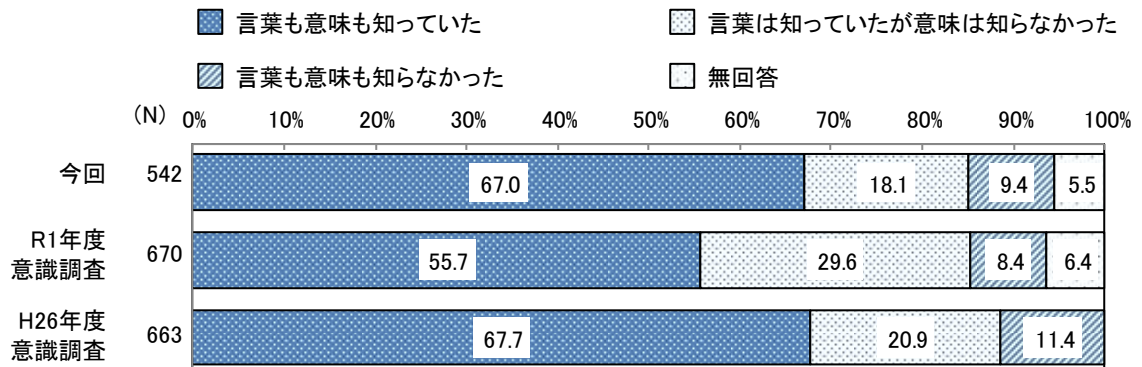
【性・年齢別】 「言葉も意味も知っていた」は、女性の「30歳～39歳」が85.9%と最も高く、次いで女性の「20歳～29歳」(84.6%)、女性の「40歳～49歳」(77.6%)となっており、女性の方が認知度は高い傾向になっている。

過去調査との比較【育児・介護休業法】

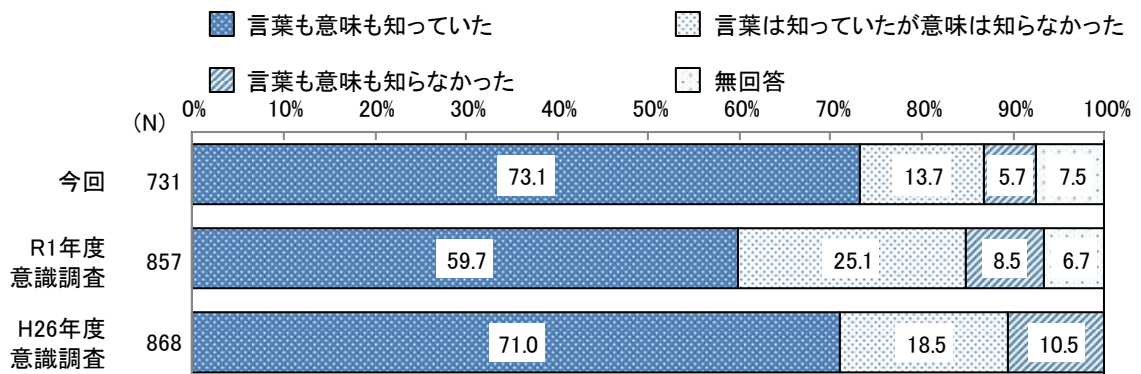
全体



男性



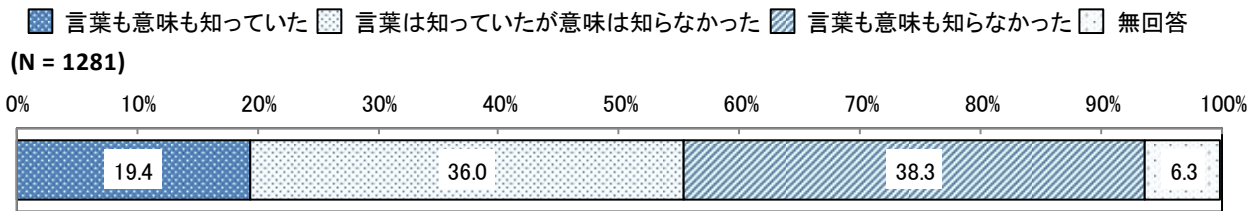
女性



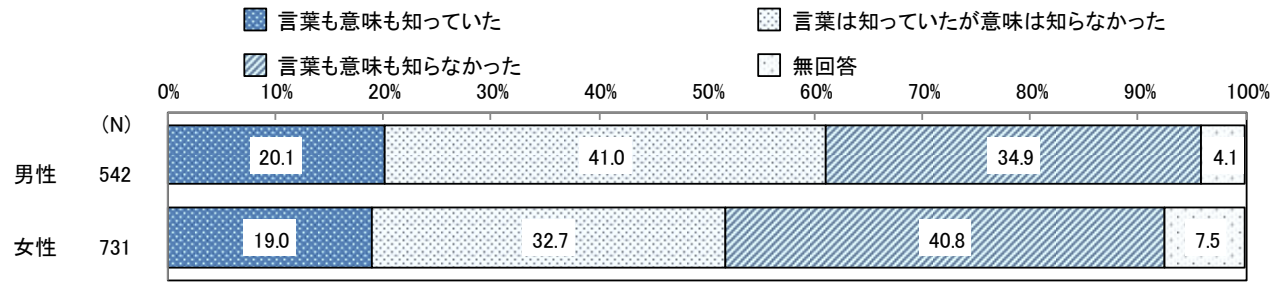
【全体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が12.0ポイント増加している。また、「言葉も意味も知らなかった」については、大きな差はみられない。

【性別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が10ポイント以上増加している。

女性活躍推進法



【全 体】女性活躍推進法については、「言葉も意味も知らなかった」が38.3%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(36.0%)、「言葉も意味も知っていた」(19.4%)となっている。



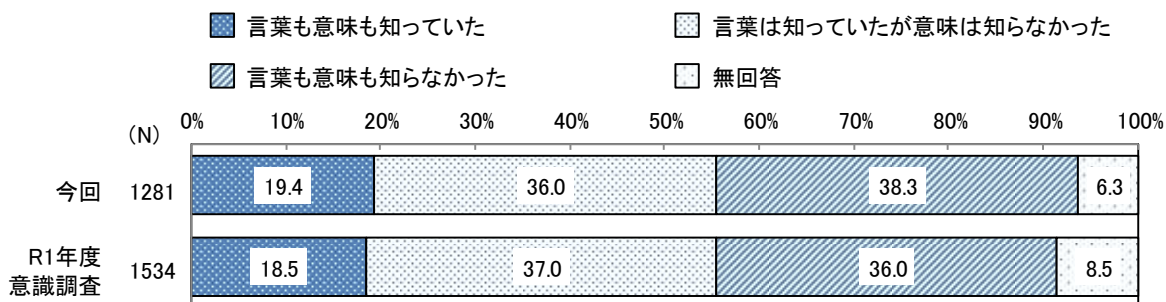
【性 別】「言葉は知っていたが意味は知らなかった」では、男性(41.0%)が女性(32.7%)より8.3ポイント高く、他の項目と比べて差がみられた。

	全体	女性活躍推進法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	19.4	36.0	38.3	6.3	
性・年齢別	男性(計)	542	20.1	41.0	34.9	4.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	45.0	25.0	25.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	10.8	40.5	48.6	0.0
	男性・40歳～49歳	94	29.8	37.2	33.0	0.0
	男性・50歳～59歳	145	23.4	38.6	36.6	1.4
	男性・60歳～64歳	64	15.6	48.4	25.0	10.9
	男性・65歳～69歳	60	13.3	48.3	38.3	0.0
	男性・70歳以上	121	13.2	41.3	35.5	9.9
	女性(計)	731	19.0	32.7	40.8	7.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	38.5	53.8	0.0
	女性・30歳～39歳	85	21.2	38.8	40.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	24.5	31.3	41.5	2.7
	女性・50歳～59歳	198	21.7	36.9	39.4	2.0
	女性・60歳～64歳	76	22.4	28.9	38.2	10.5
	女性・65歳～69歳	71	15.5	33.8	38.0	12.7
	女性・70歳以上	124	9.7	23.4	42.7	24.2
無回答	8	0.0	0.0	50.0	50.0	

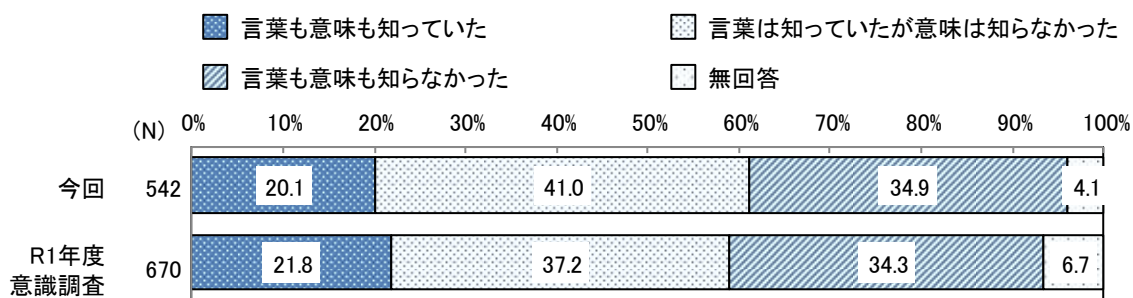
【性・年齢別】「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は、「20歳～29歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【女性活躍推進法】

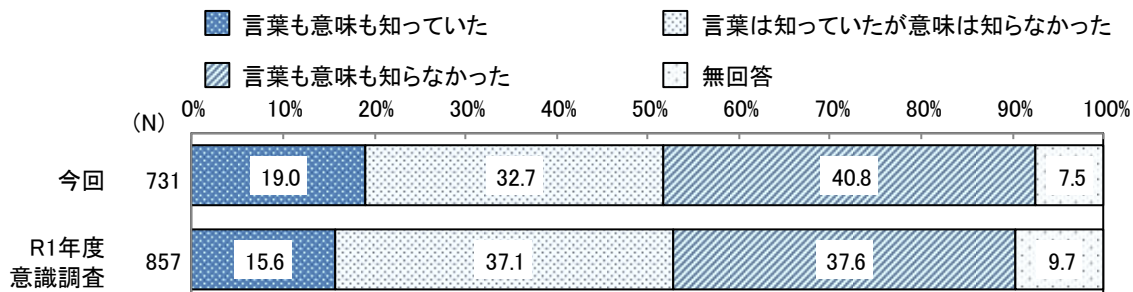
全体



男性



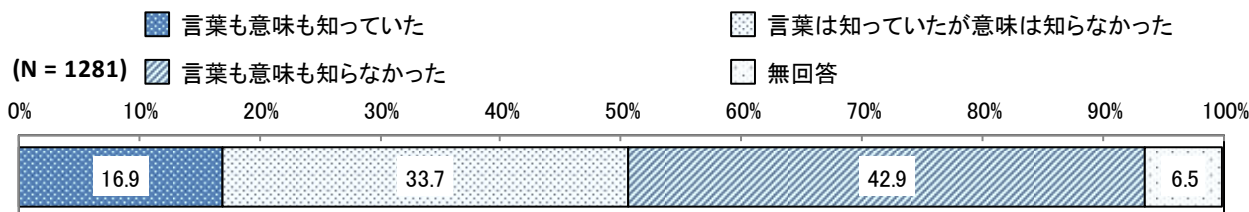
女性



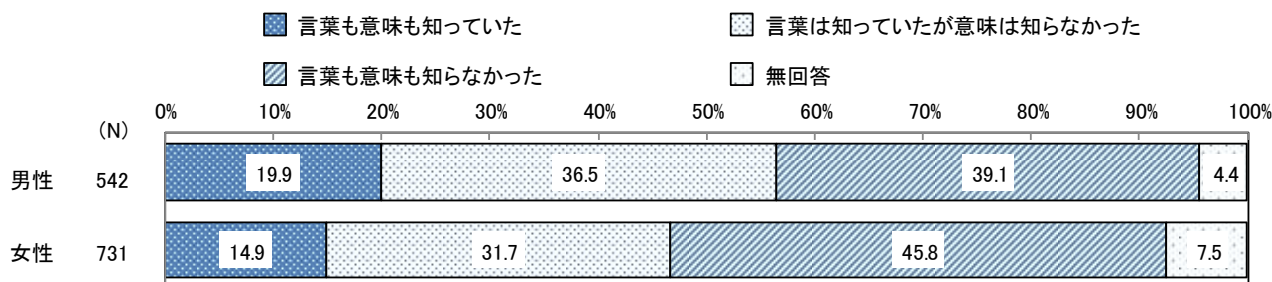
【全 体】 令和元年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

【性 別】 女性は「言葉も意味も知っていた」が3.4ポイント増加に対し、「言葉も意味も知らなかった」も3.2ポイント増加している。

政治分野における男女共同参画推進法



【全 体】政治分野における男女共同参画推進法については、「言葉も意味も知らなかった」が42.9%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(33.7%)、「言葉も意味も知っていた」(16.9%)となっている。



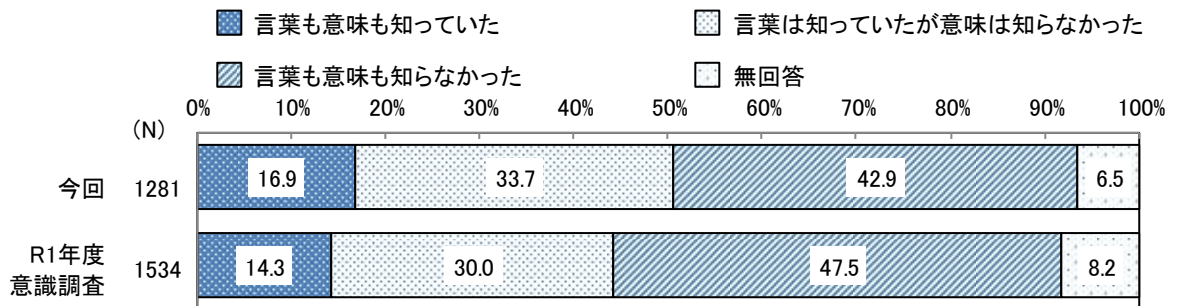
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知らなかった」では、女性(45.8%)が男性(39.1%)より6.7ポイント高い。

	全体	政治分野における男女共同参画推進法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	16.9	33.7	42.9	6.5	
性・年齢別	男性(計)	542	19.9	36.5	39.1	4.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	70.0	20.0	5.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	27.0	29.7	43.2	0.0
	男性・40歳～49歳	94	25.5	27.7	46.8	0.0
	男性・50歳～59歳	145	16.6	40.7	41.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	12.5	43.8	32.8	10.9
	男性・65歳～69歳	60	13.3	43.3	40.0	3.3
	男性・70歳以上	121	16.5	36.4	37.2	9.9
	女性(計)	731	14.9	31.7	45.8	7.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	23.1	23.1	53.8	0.0
	女性・30歳～39歳	85	11.8	34.1	54.1	0.0
	女性・40歳～49歳	147	11.6	27.2	58.5	2.7
	女性・50歳～59歳	198	19.7	36.4	42.4	1.5
	女性・60歳～64歳	76	14.5	42.1	32.9	10.5
	女性・65歳～69歳	71	15.5	26.8	39.4	18.3
	女性・70歳以上	124	12.1	25.8	40.3	21.8
無回答	8	0.0	25.0	25.0	50.0	

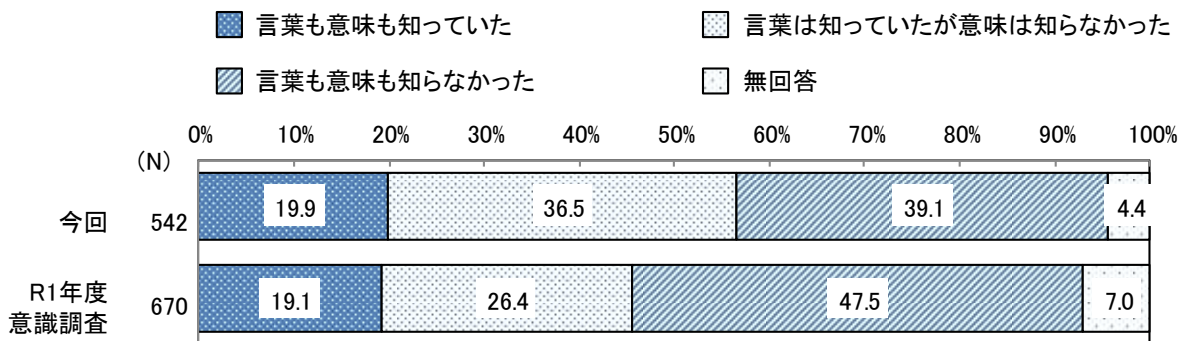
【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、「18歳、19歳」、「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性より高くなっている。

過去調査との比較【政治分野における男女共同参画推進法】

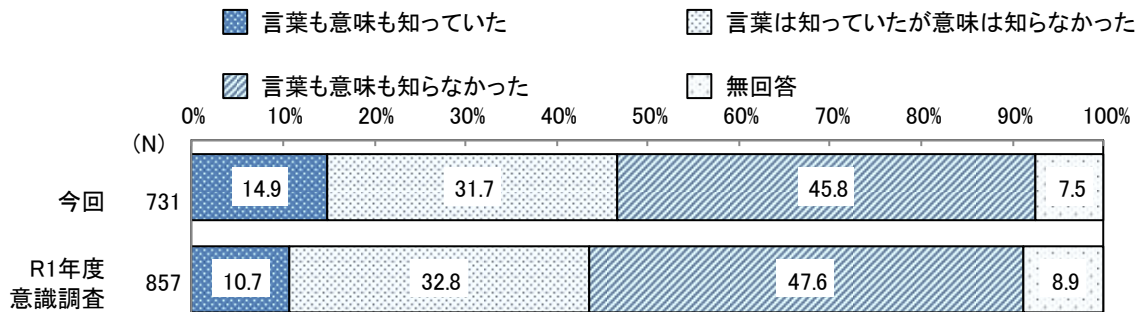
全体



男性



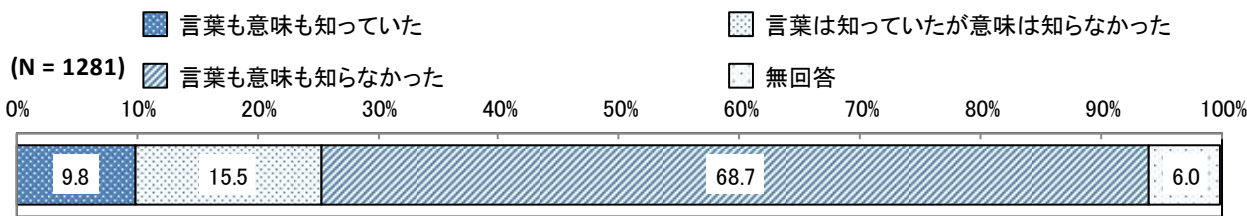
女性



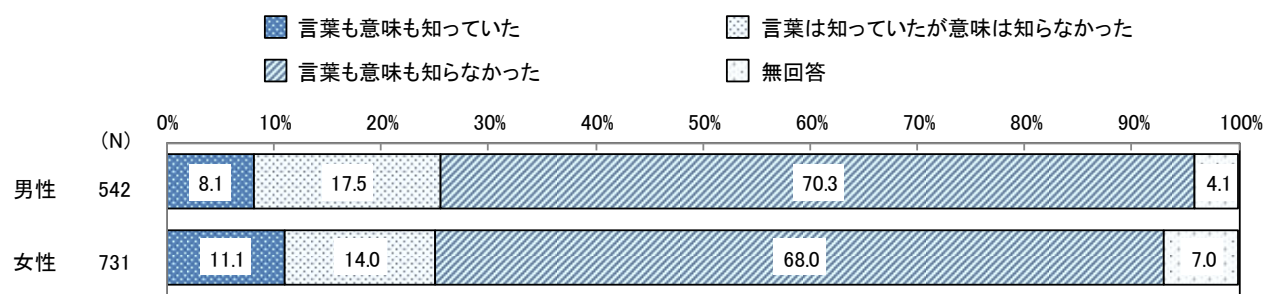
【全 体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が2.6ポイント増加している。

【性 別】「言葉も意味も知らなかった」は男性が8.4ポイント減少、女性は1.8ポイント減少している。

山形県男女共同参画センター「チェリア」



【全 体】 山形県男女共同参画センター「チェリア」については、「言葉も意味も知らなかった」が68.7%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(15.5%)、「言葉も意味も知っていた」(9.8%)となっている。



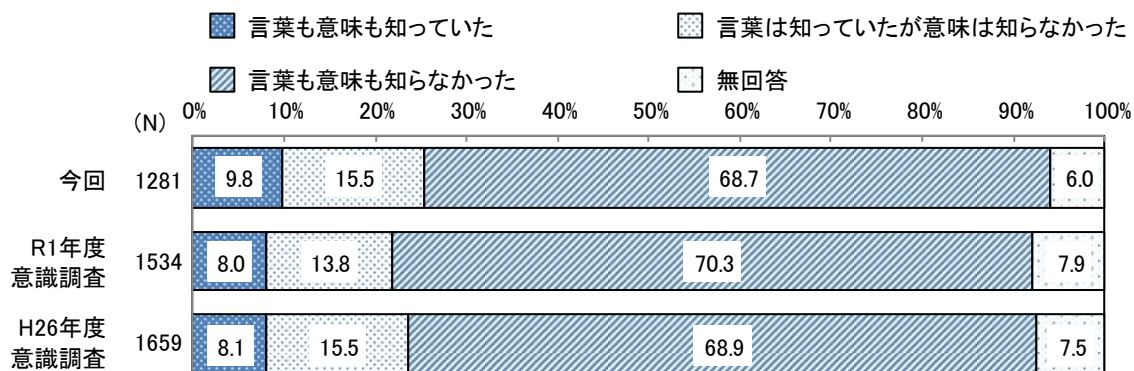
【性 別】 男女で大きな差はみられない。

	全体	山形県男女共同参画センター「チェリア」の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	9.8	15.5	68.7	6.0	
性・年齢別	男性(計)	542	8.1	17.5	70.3	4.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	15.0	65.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	8.1	16.2	75.7	0.0
	男性・40歳～49歳	94	10.6	12.8	76.6	0.0
	男性・50歳～59歳	145	6.9	16.6	75.2	1.4
	男性・60歳～64歳	64	9.4	18.8	60.9	10.9
	男性・65歳～69歳	60	10.0	26.7	63.3	0.0
	男性・70歳以上	121	5.0	18.2	66.9	9.9
	女性(計)	731	11.1	14.0	68.0	7.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	0.0	92.3	0.0
	女性・30歳～39歳	85	10.6	9.4	80.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	10.9	12.9	73.5	2.7
	女性・50歳～59歳	198	14.1	18.2	66.2	1.5
	女性・60歳～64歳	76	15.8	19.7	53.9	10.5
	女性・65歳～69歳	71	11.3	12.7	63.4	12.7
	女性・70歳以上	124	4.8	12.1	62.9	20.2
	無回答	8	0.0	25.0	25.0	50.0

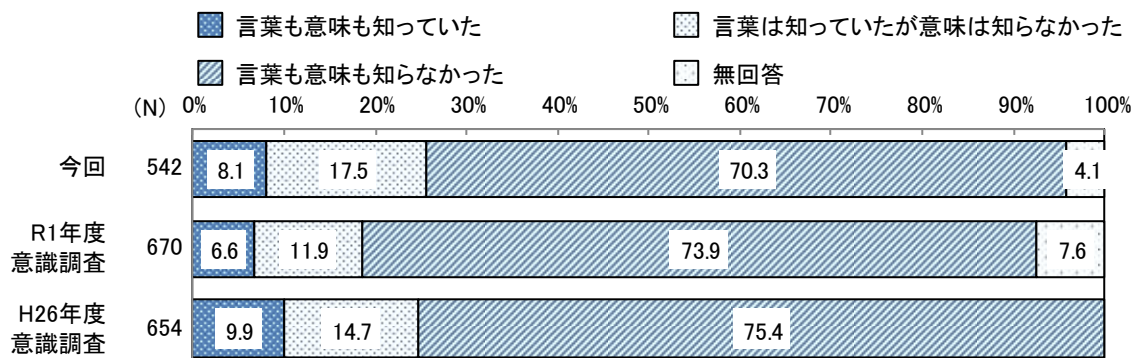
【性・年齢別】 「言葉も意味も知っていた」は、「20歳～29歳」と「70歳以上」を除くすべての年齢層において、女性の方が高くなっている。「言葉も意味も知らなかった」は、女性の「20歳～29歳」(92.3%)で唯一9割を超えて高くなっている。

過去調査との比較【山形県男女共同参画センター「チェリア」】

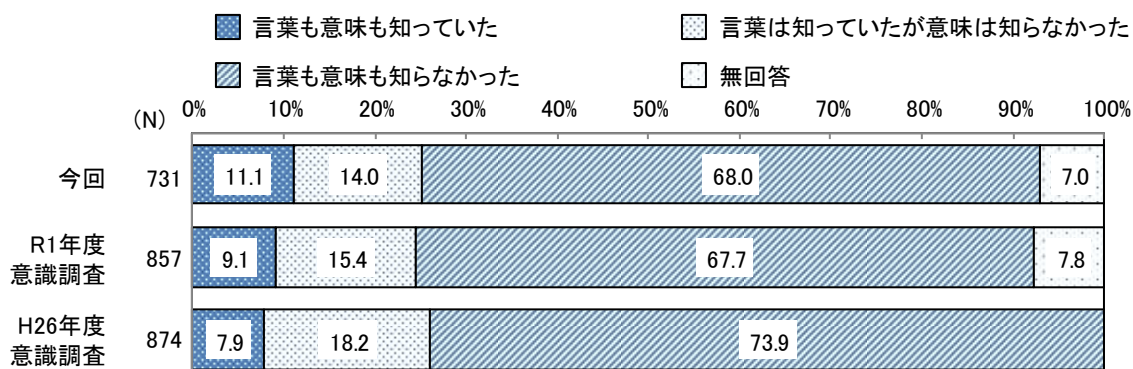
全体



男性



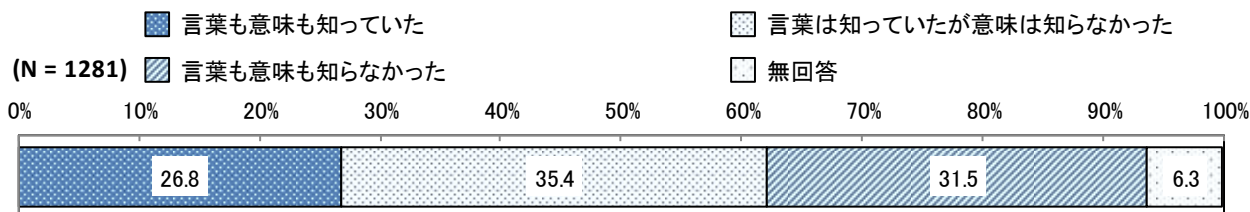
女性



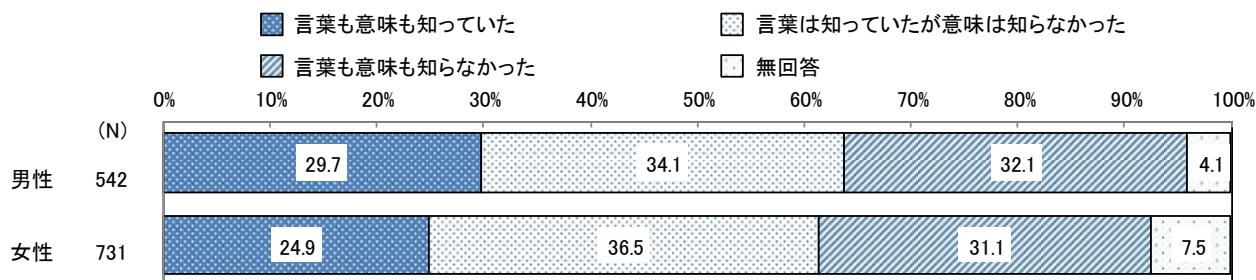
【全 体】 令和元年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

【性 別】 令和元年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

ダイバーシティ



【全 体】ダイバーシティについては、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が35.4%と最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(31.5%)、「言葉も意味も知っていた」(26.8%)となっている。

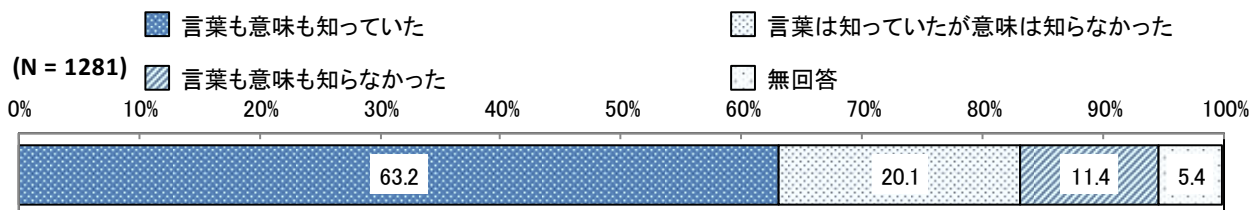


【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、男性(29.7%)が女性(24.9%)より4.8ポイント高くなっている。

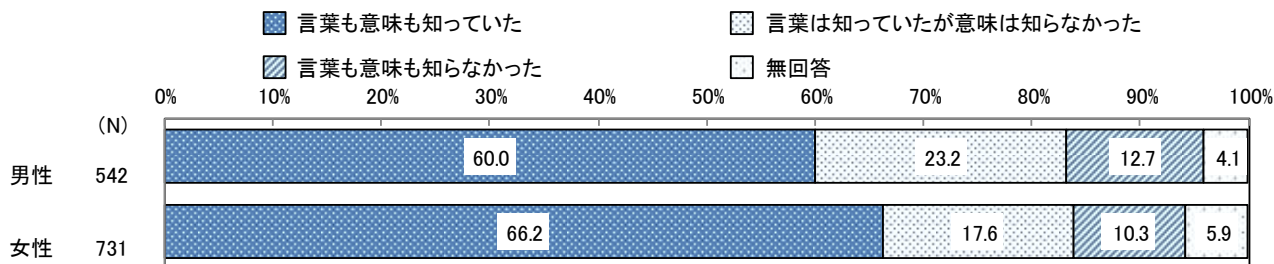
	全体	ダイバーシティの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	26.8	35.4	31.5	6.3	
性・年齢別	男性(計)	542	29.7	34.1	32.1	4.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	35.0	25.0	35.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	29.7	32.4	37.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	44.7	35.1	20.2	0.0
	男性・50歳～59歳	145	36.6	40.7	21.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	18.8	42.2	28.1	10.9
	男性・65歳～69歳	60	23.3	38.3	38.3	0.0
	男性・70歳以上	121	18.2	21.5	50.4	9.9
	女性(計)	731	24.9	36.5	31.1	7.5
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	38.5	30.8	30.8	0.0
	女性・30歳～39歳	85	34.1	44.7	21.2	0.0
	女性・40歳～49歳	147	30.6	35.4	31.3	2.7
	女性・50歳～59歳	198	24.7	50.0	22.7	2.5
	女性・60歳～64歳	76	30.3	30.3	28.9	10.5
	女性・65歳～69歳	71	18.3	32.4	31.0	18.3
	女性・70歳以上	124	7.3	19.4	53.2	20.2
無回答	8	0.0	25.0	25.0	50.0	

【性・年齢別】「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は、女性の「50歳～59歳」が50.0%と最も高い。

ジェンダー



【全体】ジェンダーについては、「言葉も意味も知っていた」が63.2%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(20.1%)、「言葉も意味も知らなかった」(11.4%)となっている。



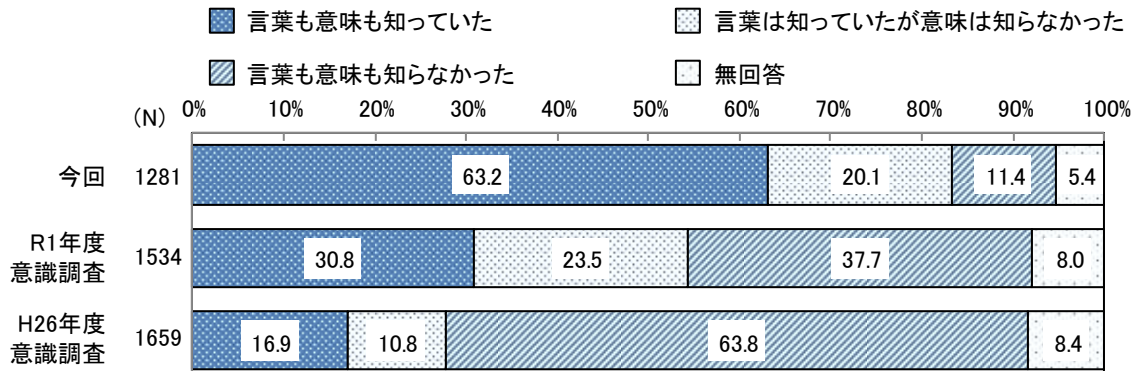
【性別】「言葉も意味も知っていた」が女性(66.2%)に比べ男性(60.0%)と女性の方が6.2ポイント高い。

	全体	ジェンダーの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	63.2	20.1	11.4	5.4	
性・年齢別	男性(計)	542	60.0	23.2	12.7	4.1
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	80.0	5.0	10.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	81.1	13.5	5.4	0.0
	男性・40歳～49歳	94	69.1	21.3	9.6	0.0
	男性・50歳～59歳	145	73.1	18.6	6.9	1.4
	男性・60歳～64歳	64	40.6	28.1	20.3	10.9
	男性・65歳～69歳	60	41.7	43.3	15.0	0.0
	男性・70歳以上	121	46.3	24.0	19.8	9.9
	女性(計)	731	66.2	17.6	10.3	5.9
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	92.3	7.7	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	78.8	16.5	4.7	0.0
	女性・40歳～49歳	147	81.0	13.6	4.1	1.4
	女性・50歳～59歳	198	72.7	17.2	7.6	2.5
	女性・60歳～64歳	76	68.4	15.8	5.3	10.5
	女性・65歳～69歳	71	59.2	22.5	8.5	9.9
	女性・70歳以上	124	25.8	25.0	32.3	16.9
	無回答	8	0.0	25.0	25.0	50.0

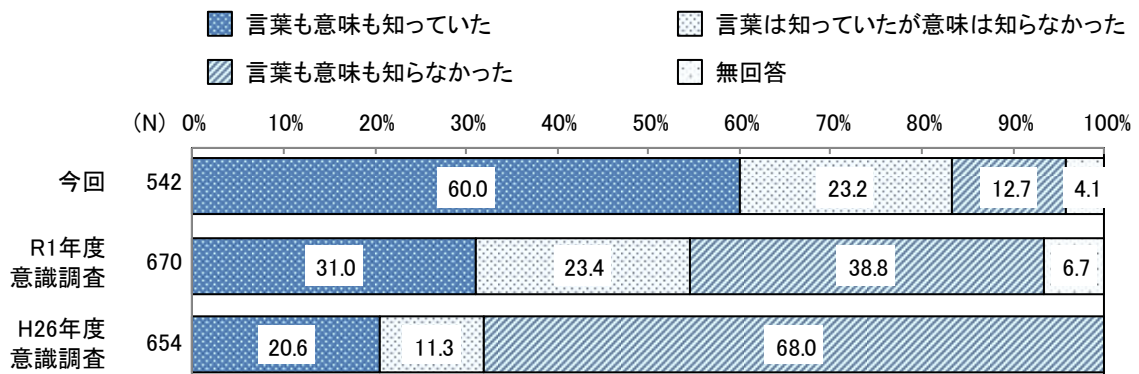
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、男女ともに若年層で数値が高い傾向がある。

過去調査との比較【ジェンダー】

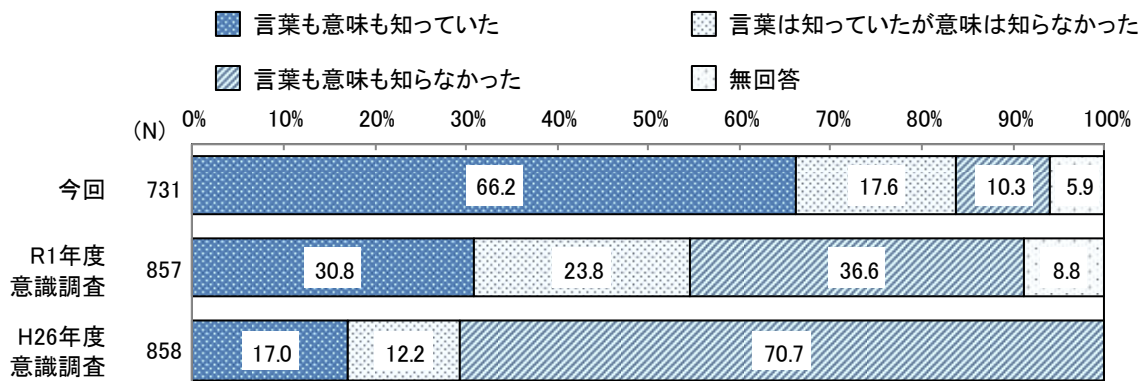
全体



男性



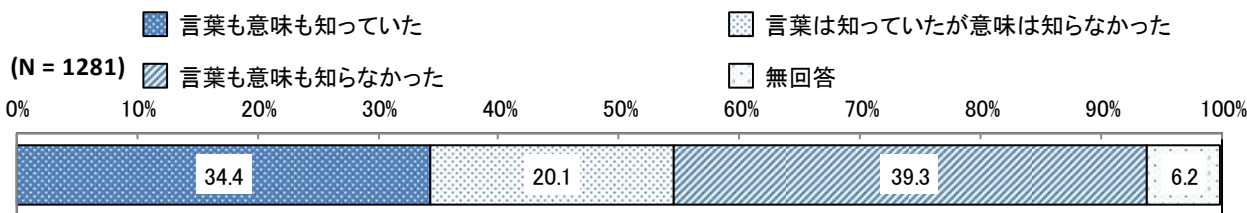
女性



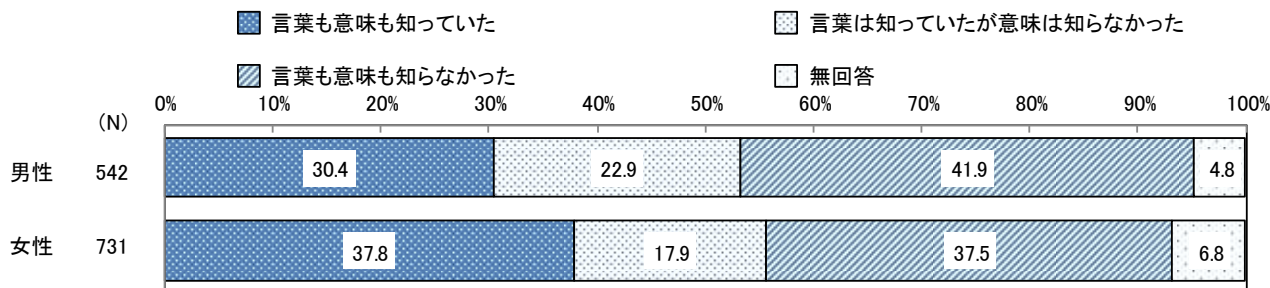
【全体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が32.4ポイント増加し、認知度が向上している。

【性別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が令和元年度調査より倍近く増加した。

アンコンシャス・バイアス



【全 体】アンコンシャス・バイアスについては、「言葉も意味も知らなかった」が39.3%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」(34.4%)、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(20.1%)となっている。

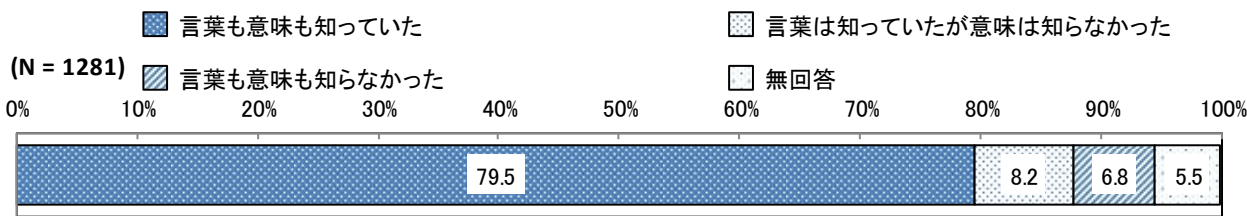


【性 別】「言葉も意味も知っていた」は女性(37.8%)、男性(30.4%)と女性の方が7.4ポイント高い。

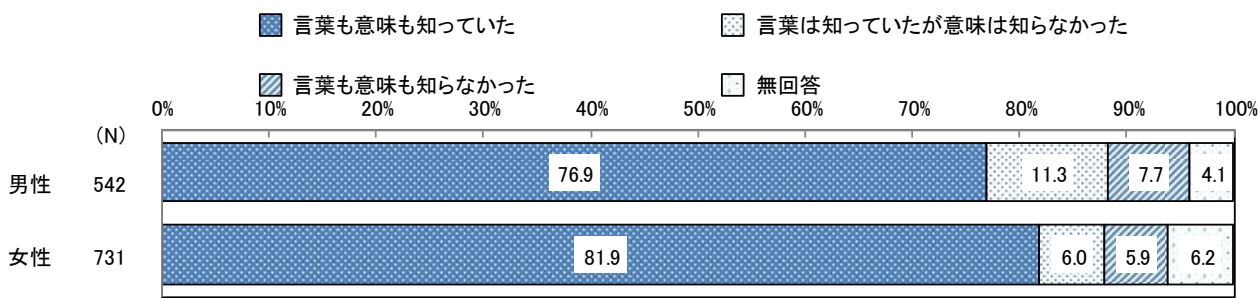
	全体	アンコンシャス・バイアスの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	34.4	20.1	39.3	6.2	
性・年齢別	男性(計)	542	30.4	22.9	41.9	4.8
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	15.0	65.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	37.8	24.3	37.8	0.0
	男性・40歳～49歳	94	35.1	31.9	30.9	2.1
	男性・50歳～59歳	145	47.6	18.6	32.4	1.4
	男性・60歳～64歳	64	28.1	21.9	39.1	10.9
	男性・65歳～69歳	60	20.0	36.7	40.0	3.3
	男性・70歳以上	121	13.2	14.9	62.0	9.9
	女性(計)	731	37.8	17.9	37.5	6.8
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	53.8	7.7	38.5	0.0
	女性・30歳～39歳	85	47.1	14.1	38.8	0.0
	女性・40歳～49歳	147	42.2	20.4	34.7	2.7
	女性・50歳～59歳	198	48.5	18.2	31.3	2.0
	女性・60歳～64歳	76	27.6	26.3	35.5	10.5
	女性・65歳～69歳	71	36.6	15.5	35.2	12.7
	女性・70歳以上	124	10.5	16.1	53.2	20.2
無回答	8	0.0	25.0	25.0	50.0	

【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、男性は「20歳～29歳」、女性は「70歳以上」で最も高くなっている。

ドメスティックバイオレンス (DV)



【全 体】ドメスティックバイオレンス (DV) については、「言葉も意味も知っていた」が79.5%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(8.2%)、「言葉も意味も知らなかった」(6.8%)となっている。



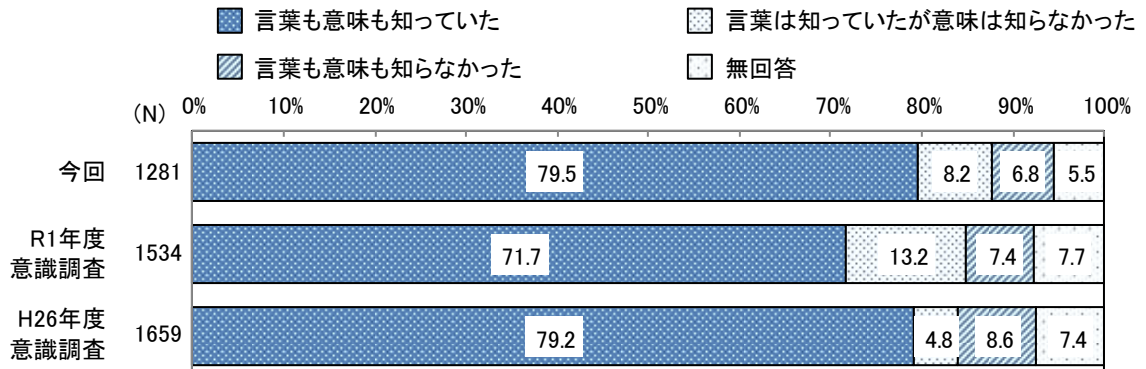
【性 別】最も差がみられた「言葉は知っていたが意味は知らなかった」では、男性 (11.3%) が女性 (6.0%) より5.3ポイント高い。

	全体	ドメスティックバイオレンス(DV)の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	79.5	8.2	6.8	5.5	
性・年齢別	男性(計)	542	76.9	11.3	7.7	4.1
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	90.0	5.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	81.1	10.8	8.1	0.0
	男性・40歳～49歳	94	91.5	4.3	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	145	83.4	11.0	4.1	1.4
	男性・60歳～64歳	64	75.0	7.8	6.3	10.9
	男性・65歳～69歳	60	68.3	26.7	5.0	0.0
	男性・70歳以上	121	59.5	12.4	18.2	9.9
	女性(計)	731	81.9	6.0	5.9	6.2
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	92.3	0.0	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	95.3	4.7	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	92.5	6.1	0.0	1.4
	女性・50歳～59歳	198	91.9	2.5	4.0	1.5
	女性・60歳～64歳	76	76.3	10.5	2.6	10.5
	女性・65歳～69歳	71	76.1	8.5	5.6	9.9
	女性・70歳以上	124	48.4	9.7	21.8	20.2
無回答	8	25.0	0.0	25.0	50.0	

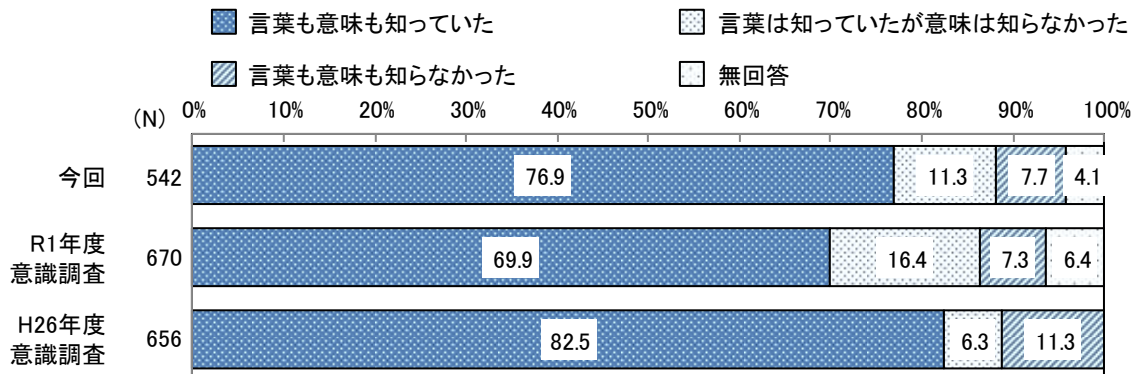
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、「70歳以上」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較 【ドメスティックバイオレンス(DV)】

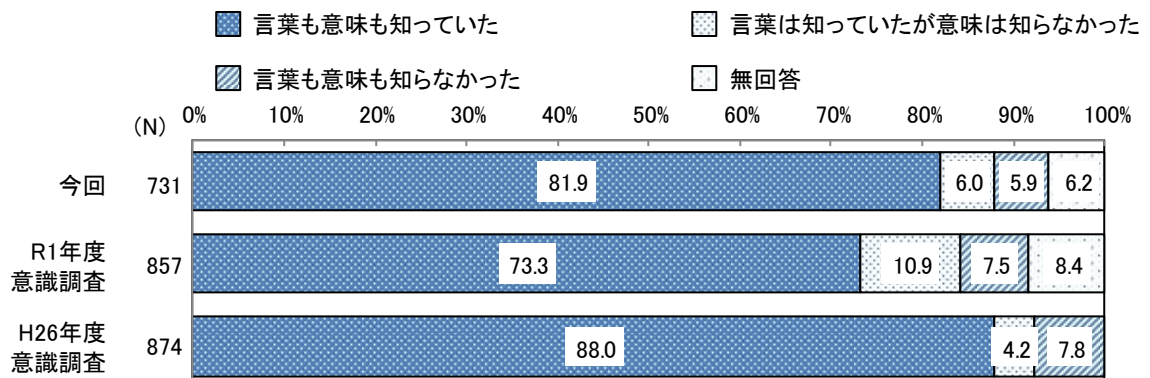
全体



男性



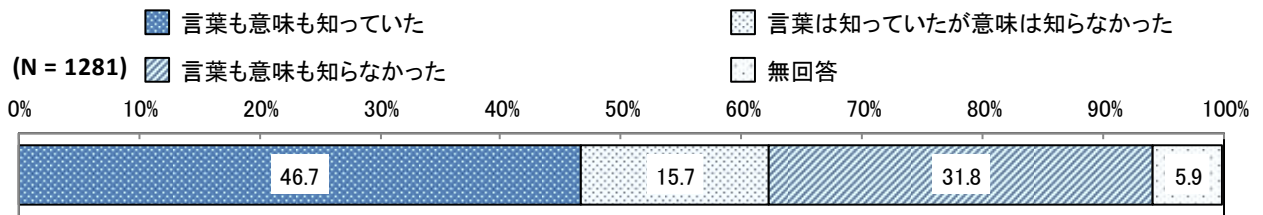
女性



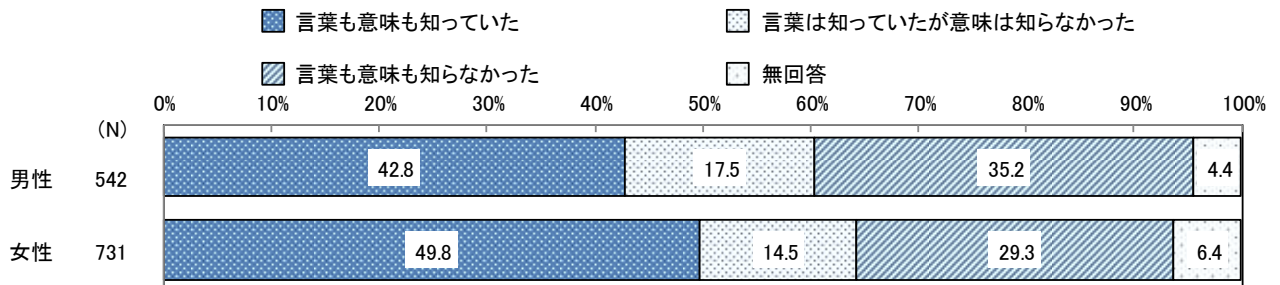
【全体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が7.8ポイント増加している。

【性別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が増加し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が減少している。

デートDV



【全 体】デートDVについては、「言葉も意味も知っていた」が46.7%と最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(31.8%)、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(15.7%)となっている。



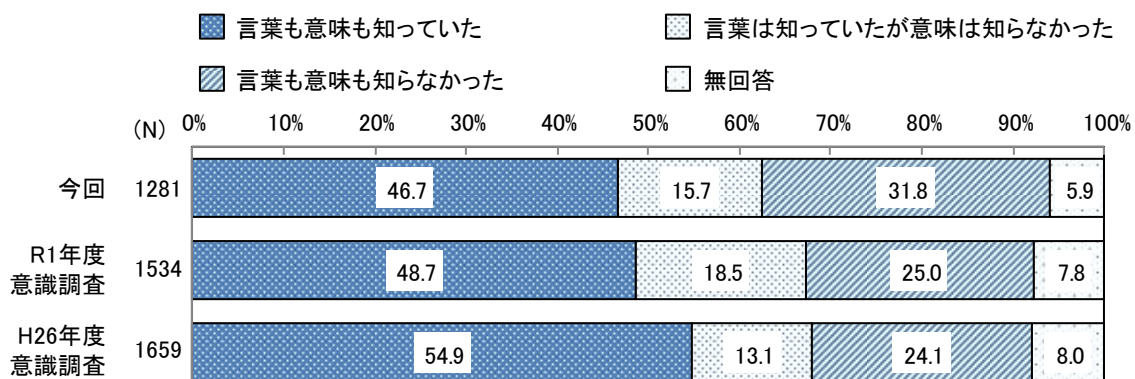
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、女性(49.8%)が男性(42.8%)より7.0ポイント高い。

	全体	デートDVの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	46.7	15.7	31.8	5.9	
性・年齢別	男性(計)	542	42.8	17.5	35.2	4.4
	男性・18歳、19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	65.0	5.0	25.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	40.5	35.1	24.3	0.0
	男性・40歳～49歳	94	54.3	10.6	35.1	0.0
	男性・50歳～59歳	145	49.0	20.7	29.0	1.4
	男性・60歳～64歳	64	37.5	14.1	37.5	10.9
	男性・65歳～69歳	60	35.0	23.3	41.7	0.0
	男性・70歳以上	121	29.8	14.9	43.8	11.6
	女性(計)	731	49.8	14.5	29.3	6.4
	女性・18歳、19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	76.9	15.4	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	85	55.3	21.2	23.5	0.0
	女性・40歳～49歳	147	54.4	12.2	32.0	1.4
	女性・50歳～59歳	198	61.6	11.6	24.2	2.5
	女性・60歳～64歳	76	52.6	18.4	18.4	10.5
	女性・65歳～69歳	71	42.3	15.5	29.6	12.7
	女性・70歳以上	124	18.5	14.5	48.4	18.5
	無回答	8	25.0	0.0	25.0	50.0

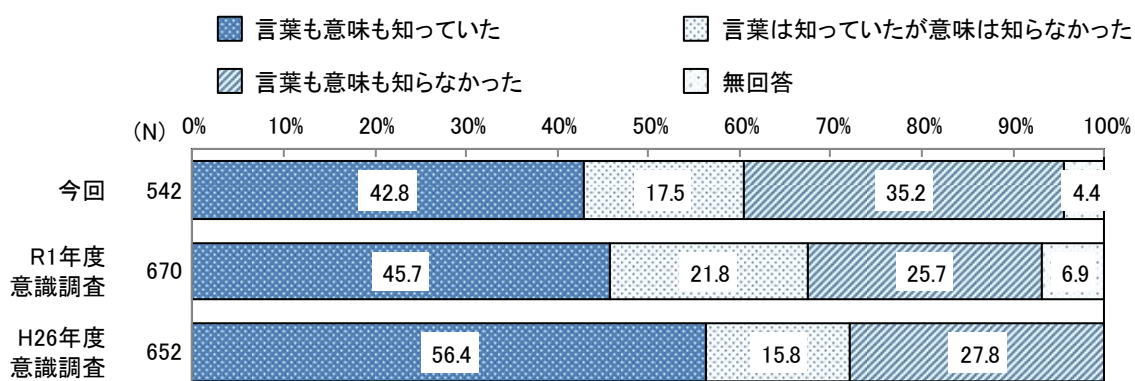
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、男女ともに「20歳～29歳」が高くなっている。

過去調査との比較【デートDV】

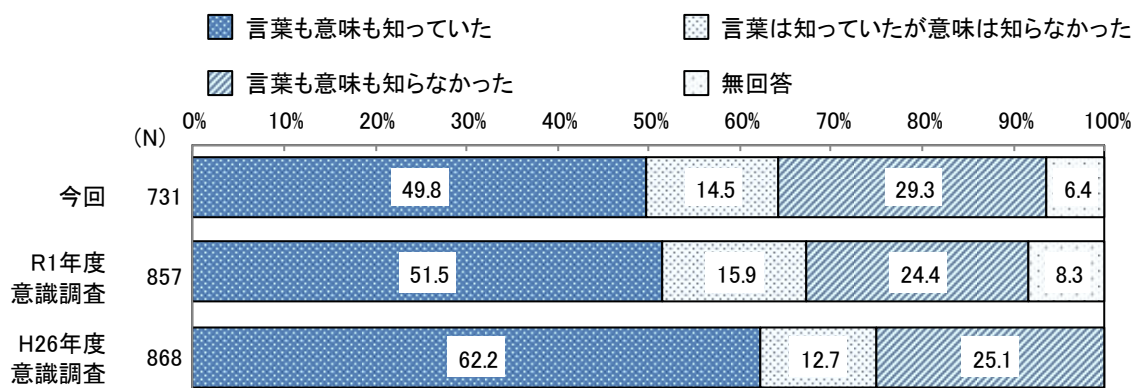
全体



男性



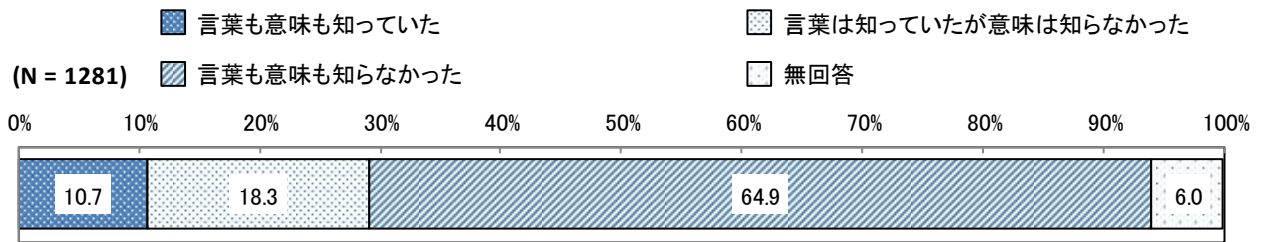
女性



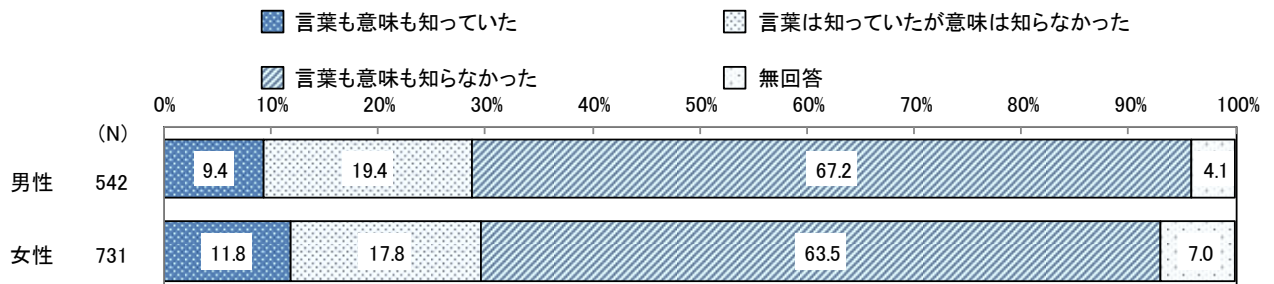
【全体】令和元年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が2.0ポイント減少し、「言葉も意味も知らなかった」が6.8ポイント増加している。

【性別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が減少し、「言葉も意味も知らなかった」が増加している。

やまがたスマイル企業認定制度



【全体】やまがたスマイル企業認定制度については、「言葉も意味も知らなかった」が64.9%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(18.3%)、「言葉も意味も知っていた」(10.7%)となっている。



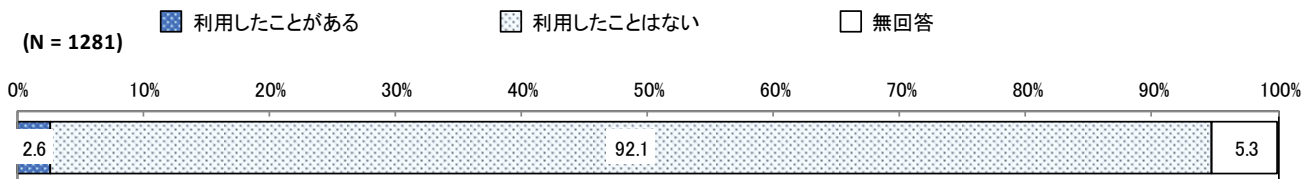
【性別】男女で大きな差はみられない。

	全体	やまがたスマイル企業認定制度の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1281	10.7	18.3	64.9	6.0	
性・年齢別	男性(計)	542	9.4	19.4	67.2	4.1
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	15.0	15.0	65.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	0.0	32.4	67.6	0.0
	男性・40歳～49歳	94	16.0	24.5	59.6	0.0
	男性・50歳～59歳	145	10.3	21.4	66.9	1.4
	男性・60歳～64歳	64	9.4	12.5	67.2	10.9
	男性・65歳～69歳	60	10.0	13.3	76.7	0.0
	男性・70歳以上	121	5.0	16.5	68.6	9.9
	女性(計)	731	11.8	17.8	63.5	7.0
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	15.4	15.4	69.2	0.0
	女性・30歳～39歳	85	21.2	12.9	65.9	0.0
	女性・40歳～49歳	147	14.3	15.6	66.7	3.4
	女性・50歳～59歳	198	12.6	21.7	63.1	2.5
	女性・60歳～64歳	76	10.5	18.4	60.5	10.5
	女性・65歳～69歳	71	8.5	21.1	57.7	12.7
	女性・70歳以上	124	3.2	14.5	62.9	19.4
	無回答	8	0.0	0.0	50.0	50.0

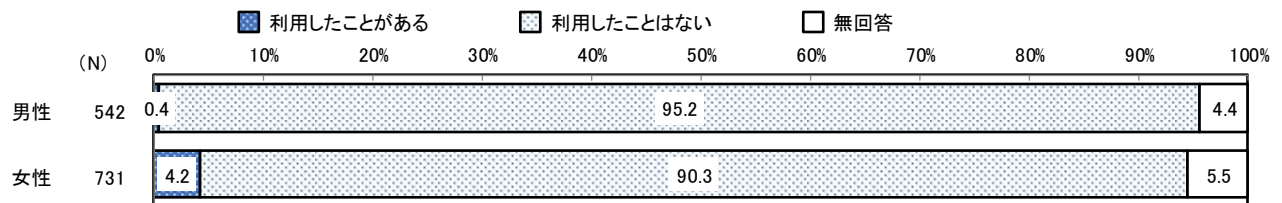
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、男性では「40歳～49歳」(16.0%)、女性では「30歳～39歳」(21.2%)で最も高くなっている。

(46) 男女共同参画センター利用の有無

問46 「山形県男女共同参画センター“チェリア”を利用したことがありますか。(○は1つ)



【全体】男女共同参画センター利用の有無については、「利用したことがある」が2.6%、「利用したことはない」が92.1%となっている。



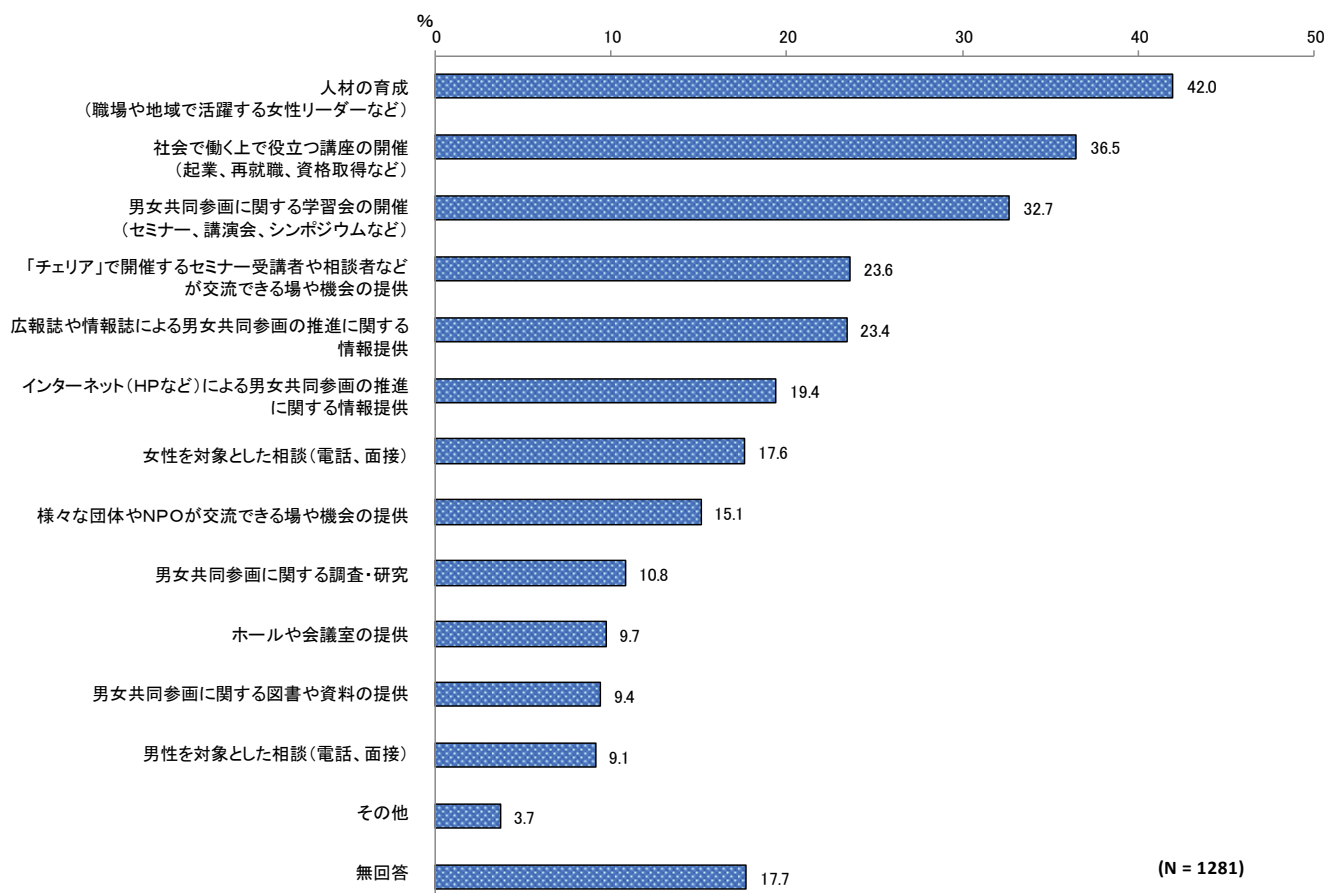
【性別】「利用したことがある」は女性が4.2%であった。

	全体	山形県男女共同参画センター「チェリア」の利用有無			
		利用したことがある	利用したことはない	無回答	
全体	1281	2.6	92.1	5.3	
性・年齢別	男性(計)	542	0.4	95.2	4.4
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	0.0	85.0	15.0
	男性・30歳～39歳	37	5.4	94.6	0.0
	男性・40歳～49歳	94	0.0	97.9	2.1
	男性・50歳～59歳	145	0.0	98.6	1.4
	男性・60歳～64歳	64	0.0	93.8	6.3
	男性・65歳～69歳	60	0.0	93.3	6.7
	男性・70歳以上	121	0.0	92.6	7.4
	女性(計)	731	4.2	90.3	5.5
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	7.7	92.3	0.0
	女性・30歳～39歳	85	2.4	95.3	2.4
	女性・40歳～49歳	147	2.7	97.3	0.0
	女性・50歳～59歳	198	6.6	92.9	0.5
	女性・60歳～64歳	76	0.0	89.5	10.5
	女性・65歳～69歳	71	11.3	78.9	9.9
	女性・70歳以上	124	1.6	80.6	17.7
	無回答	8	0.0	50.0	50.0

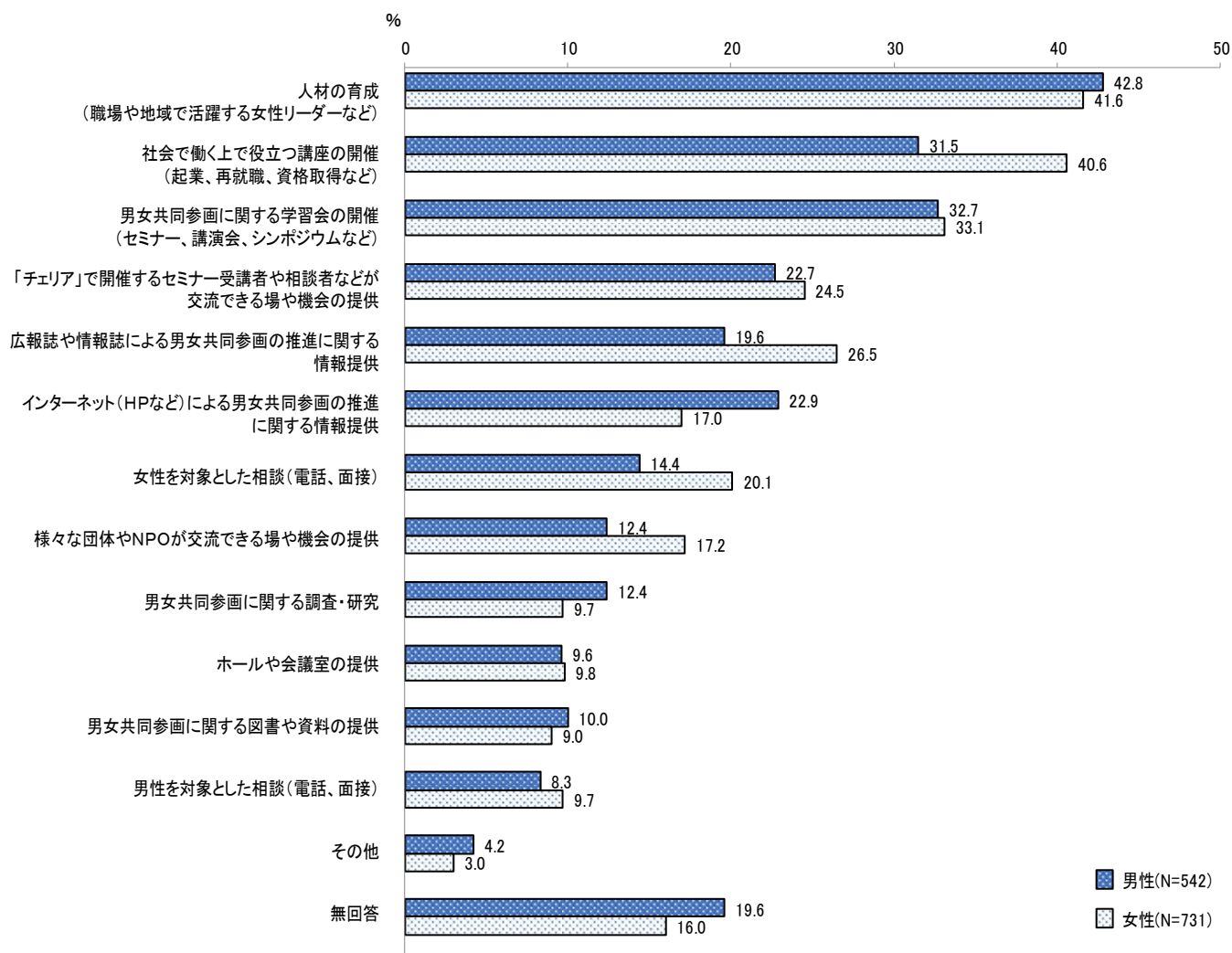
【性・年齢別】「利用したことがある」は、男性の「30歳～39歳」(5.4%)と女性の「65歳～69歳」(11.3%)で高くなっている。

(47) 男女共同参画センターに期待する役割

問47 「山形県男女共同参画センター“チェリア”について、あなたは、この施設にどのような役割を期待していますか。(あてはまるものすべてに○)



【全体】男女共同参画センターの役割については、「人材の育成（職場や地域で活躍する女性リーダーなど）」が42.0%と最も高く、次いで「社会で働く上で役立つ講座の開催（起業、再就職、資格取得など）」（36.5%）、「男女共同参画に関する学習会の開催（セミナー、講演会、シンポジウムなど）」（32.7%）となっている。



【性別】男性は「人材の育成」が42.8%と最も高く、次いで「男女共同参画に関する学習会の開催」(32.7%)、「社会で働く上で役立つ講座の開催」(31.5%)となっている。

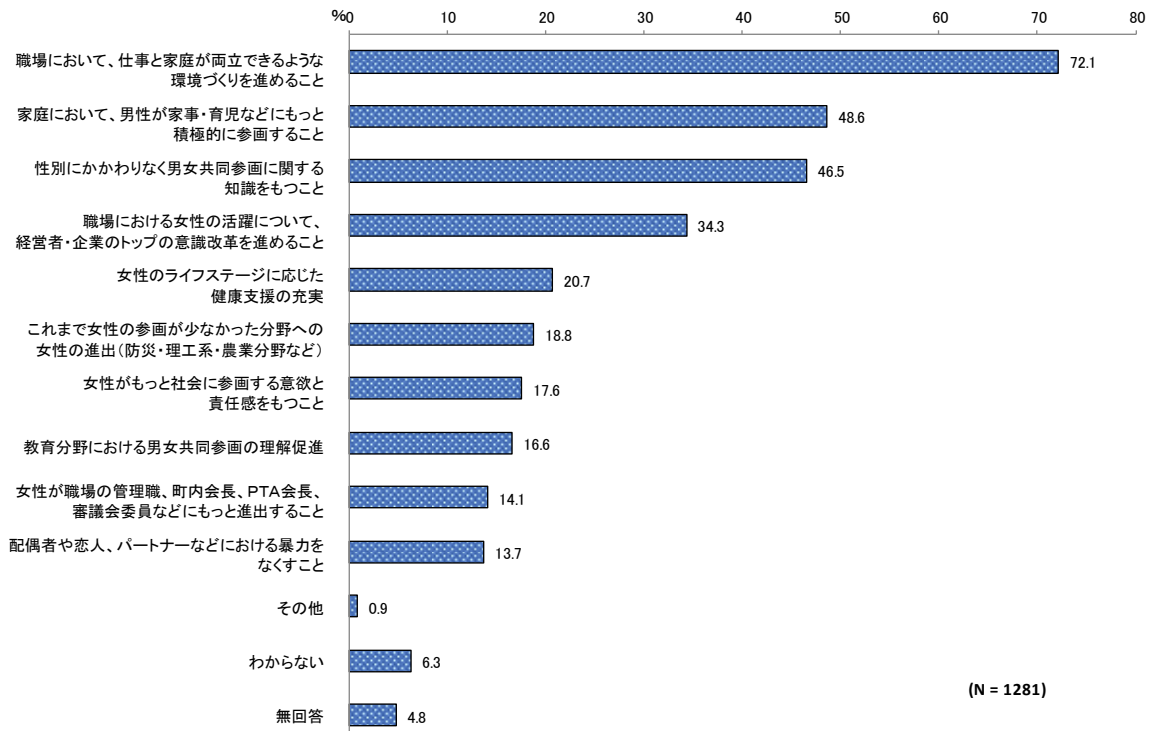
女性は「人材の育成」が41.6%と最も高く、次いで「社会で働く上で役立つ講座の開催」(40.6%)、「男女共同参画に関する学習会の開催」(33.1%)となっている。

	全体	山形県男女共同参画センター「チェリア」に期待すること														
		人材の育成（職場や地域で活躍する女性リーダーなど）	男女共同参画に関する学習会の開催（セミナー、講演会、シンポジウムなど）	社会で働く上で役立つ講座の開催（起業、再就職、資格取得など）	女性を対象とした相談（電話、面接）	男性を対象とした相談（電話、面接）	広報誌や情報誌による男女共同参画の推進に関する情報提供	インターネット（HPなど）による男女共同参画の推進に関する情報提供	男女共同参画に関する図書や資料の提供	「チェリア」で開催するセミナー受講者や相談者などが交流できる場や機会の提供	様々な団体やNPOが交流できる場や機会の提供	男女共同参画に関する調査・研究	ホールや会議室の提供	その他	無回答	
全体	1281	42.0	32.7	36.5	17.6	9.1	23.4	19.4	9.4	23.6	15.1	10.8	9.7	3.7	17.7	
性・年齢別	男性(計)	542	42.8	32.7	31.5	14.4	8.3	19.6	22.9	10.0	22.7	12.4	12.4	9.6	4.2	19.6
	男性・18歳、19歳	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	30.0	20.0	20.0	30.0	25.0	10.0	10.0	20.0	10.0	5.0	5.0	25.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	59.5	32.4	48.6	18.9	16.2	5.4	18.9	8.1	27.0	10.8	18.9	5.4	5.4	5.4
	男性・40歳～49歳	94	31.9	23.4	31.9	11.7	7.4	13.8	19.1	12.8	10.6	8.5	10.6	11.7	8.5	16.0
	男性・50歳～59歳	145	41.4	26.2	25.5	13.1	6.2	13.1	18.6	2.8	17.2	14.5	11.0	7.6	4.1	22.1
	男性・60歳～64歳	64	43.8	40.6	40.6	14.1	3.1	23.4	23.4	12.5	35.9	9.4	10.9	1.6	1.6	12.5
	男性・65歳～69歳	60	51.7	38.3	30.0	13.3	3.3	36.7	43.3	10.0	26.7	11.7	10.0	10.0	0.0	13.3
	男性・70歳以上	121	45.5	42.1	31.4	14.0	10.7	27.3	24.0	14.0	30.6	16.5	16.5	13.2	5.0	33.1
	女性(計)	731	41.6	33.1	40.6	20.1	9.7	26.5	17.0	9.0	24.5	17.2	9.7	9.8	3.0	16.0
	女性・18歳、19歳	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	30.8	30.8	23.1	38.5	23.1	7.7	15.4	0.0	23.1	15.4	7.7	23.1	0.0	7.7
	女性・30歳～39歳	85	45.9	38.8	50.6	24.7	10.6	18.8	18.8	16.5	27.1	20.0	9.4	5.9	0.0	7.1
	女性・40歳～49歳	147	32.7	28.6	44.2	24.5	13.6	28.6	23.1	11.6	21.1	20.4	8.8	12.9	4.1	14.3
	女性・50歳～59歳	198	47.0	30.8	44.4	18.2	10.1	20.7	12.6	3.5	21.2	14.6	7.6	8.6	6.1	11.6
	女性・60歳～64歳	76	39.5	46.1	36.8	17.1	0.0	31.6	25.0	10.5	35.5	17.1	14.5	9.2	0.0	11.8
	女性・65歳～69歳	71	49.3	36.6	35.2	16.9	9.9	32.4	15.5	4.2	35.2	23.9	15.5	8.5	5.6	18.3
	女性・70歳以上	124	39.5	28.2	33.9	15.3	7.3	37.1	10.5	13.7	20.2	12.9	8.9	9.7	0.0	33.1
無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	

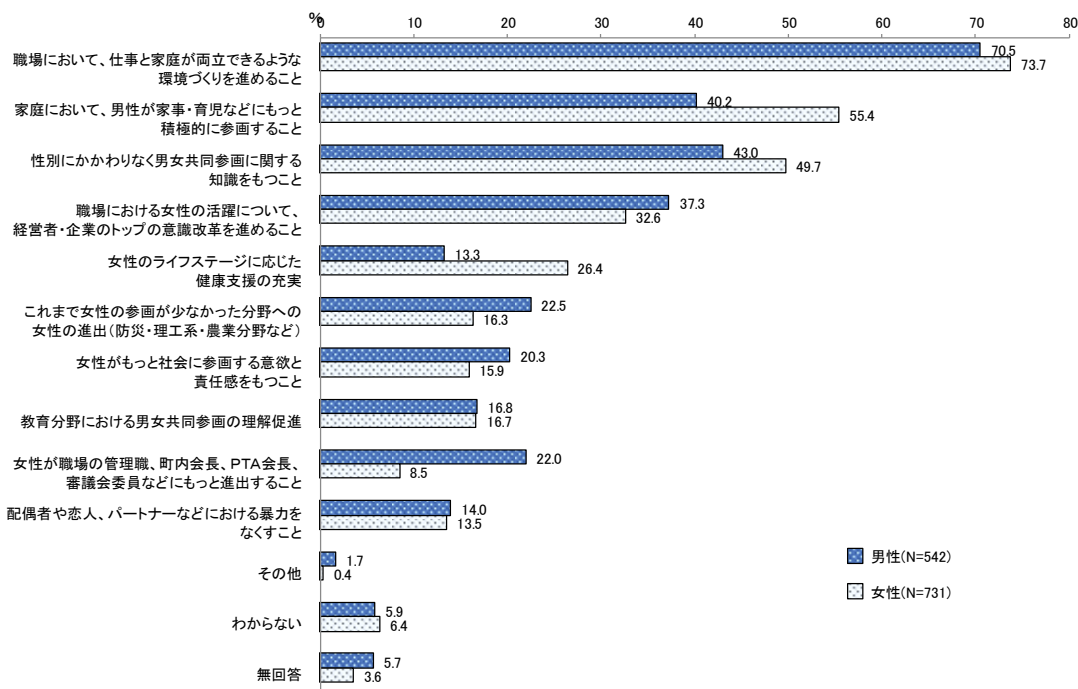
【性・年齢別】「人材の育成」は、男性では「30歳～39歳」（59.5%）、女性では「65歳～69歳」（49.3%）で最も高くなっている。

(48) 男女共同参画社会の実現のために重要なこと

問 4 8 男女共同参画社会を実現するうえで重要なことはどのようなことだと思いますか。(○は5つまで)



【全体】男女共同参画社会の実現のために重要なことについては、「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」が72.1%と最も高く、次いで「家庭において、男性が家事・育児などにもっと積極的に参画すること」(48.6%)、「性別にかかわらず男女共同参画に関する知識をもつこと」(46.5%)となっている。



【性別】男性は「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」が70.5%と最も高く、次いで「性別にかかわらず男女共同参画に関する知識をもつこと」(43.0%)、「家庭において、男性が家事・育児などにもっと積極的に参画すること」(40.2%)となっている。

女性は「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」が73.7%と最も高く、次いで高いのは「家庭において、男性が家事・育児などにもっと積極的に参画すること」(55.4%)となっており、男性(40.2%)よりも15.2ポイント高く、男女の意識の差が表れている。

	全体	男女共同参画社会を実現する為に重要なこと													
		職場づくりを 進めること	職場における 女性の活躍を 進めること	家庭において、 男性が家事・ 育児などにも 積極的に参画 すること	配偶者や恋人、 パートナーなど における暴力を なくすこと	性別にかわりなく 男女共同参画に 関する知識をも つこと	女性がもつと社 会に参画する意 欲と責任感を もつこと	女性が職場の管 理職、町内会 長、PTA会長、 審議会委員など にもつと進出す ること	教育分野にお ける男女共同 参画の理解促 進	これまで女性 の参画が少な かつた分野へ の女性の進出 (防災・理工系 ・農業分野な ど)	女性のライフ ステージに応 じた健康支援 の充実	その他	わからない	無回答	
全体	1281	72.1	34.3	48.6	13.7	46.5	17.6	14.1	16.6	18.8	20.7	0.9	6.3	4.8	
性・年齢別	男性(計)	542	70.5	37.3	40.2	14.0	43.0	20.3	22.0	16.8	22.5	13.3	1.7	5.9	5.7
	男性・18歳、19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	20	40.0	35.0	5.0	25.0	45.0	20.0	10.0	15.0	10.0	20.0	0.0	0.0	5.0
	男性・30歳～39歳	37	81.1	32.4	62.2	21.6	37.8	18.9	18.9	0.0	5.4	18.9	0.0	10.8	5.4
	男性・40歳～49歳	94	55.3	28.7	30.9	12.8	37.2	22.3	25.5	14.9	25.5	10.6	2.1	9.6	2.1
	男性・50歳～59歳	145	73.1	33.8	37.9	15.2	36.6	14.5	13.1	20.0	21.4	15.2	4.1	4.1	5.5
	男性・60歳～64歳	64	75.0	35.9	56.3	17.2	48.4	7.8	17.2	17.2	26.6	20.3	1.6	0.0	6.3
	男性・65歳～69歳	60	83.3	48.3	35.0	3.3	60.0	20.0	21.7	28.3	26.7	20.0	0.0	0.0	10.0
	男性・70歳以上	121	72.7	45.5	43.0	13.2	45.5	32.2	35.5	13.2	24.8	3.3	0.0	10.7	6.6
	女性(計)	731	73.7	32.6	55.4	13.5	49.7	15.9	8.5	16.7	16.3	26.4	0.4	6.4	3.6
	女性・18歳、19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	84.6	30.8	30.8	7.7	61.5	7.7	15.4	23.1	7.7	53.8	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	85	85.9	36.5	63.5	11.8	52.9	5.9	2.4	16.5	16.5	27.1	1.2	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	147	77.6	29.3	49.7	16.3	41.5	9.5	7.5	16.3	20.4	27.9	0.0	7.5	3.4
	女性・50歳～59歳	198	74.2	35.9	64.1	8.6	54.0	15.2	10.1	10.1	11.1	25.8	1.0	7.1	1.0
	女性・60歳～64歳	76	81.6	26.3	51.3	13.2	59.2	23.7	3.9	22.4	14.5	32.9	0.0	2.6	2.6
	女性・65歳～69歳	71	64.8	33.8	42.3	7.0	53.5	32.4	12.7	25.4	7.0	22.5	0.0	11.3	7.0
	女性・70歳以上	124	60.5	31.5	59.7	25.0	39.5	17.7	10.5	16.9	28.2	16.9	0.0	9.7	8.1
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

【性・年齢別】「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」では男性の「65歳～69歳」(83.3%)、女性の「30歳～39歳」(85.9%)が最も高くなっている。